おしゃれな洋服たち

知りたかった製図のコツ

古川みや

けやき出版

おしゃれな洋服たち 知りたかった製図のコツ 古川みや けやき出版

おしゃれな洋服たち

知りたかった製図のコツ

NOIR

Haute Couture

デザイン　折田良子

おしゃれな洋服たち　もくじ

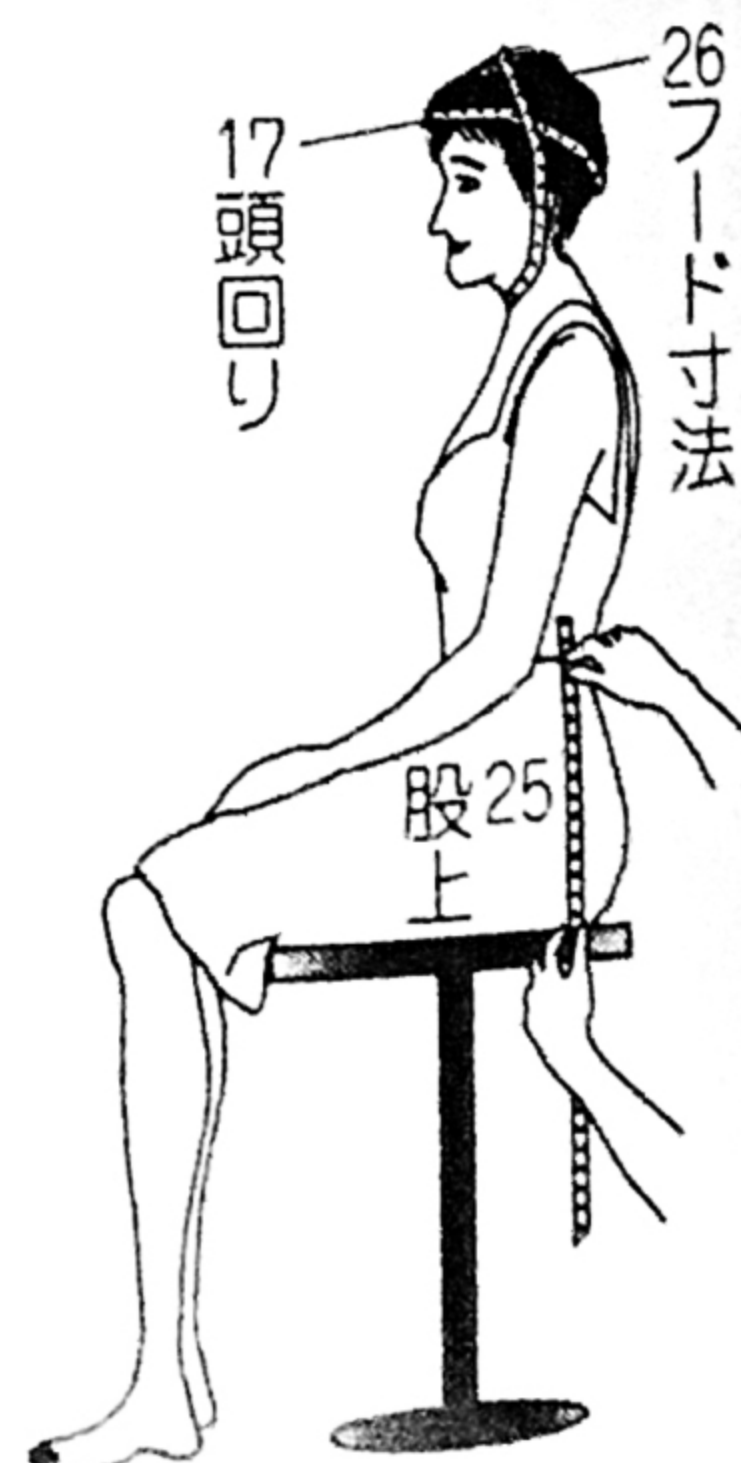
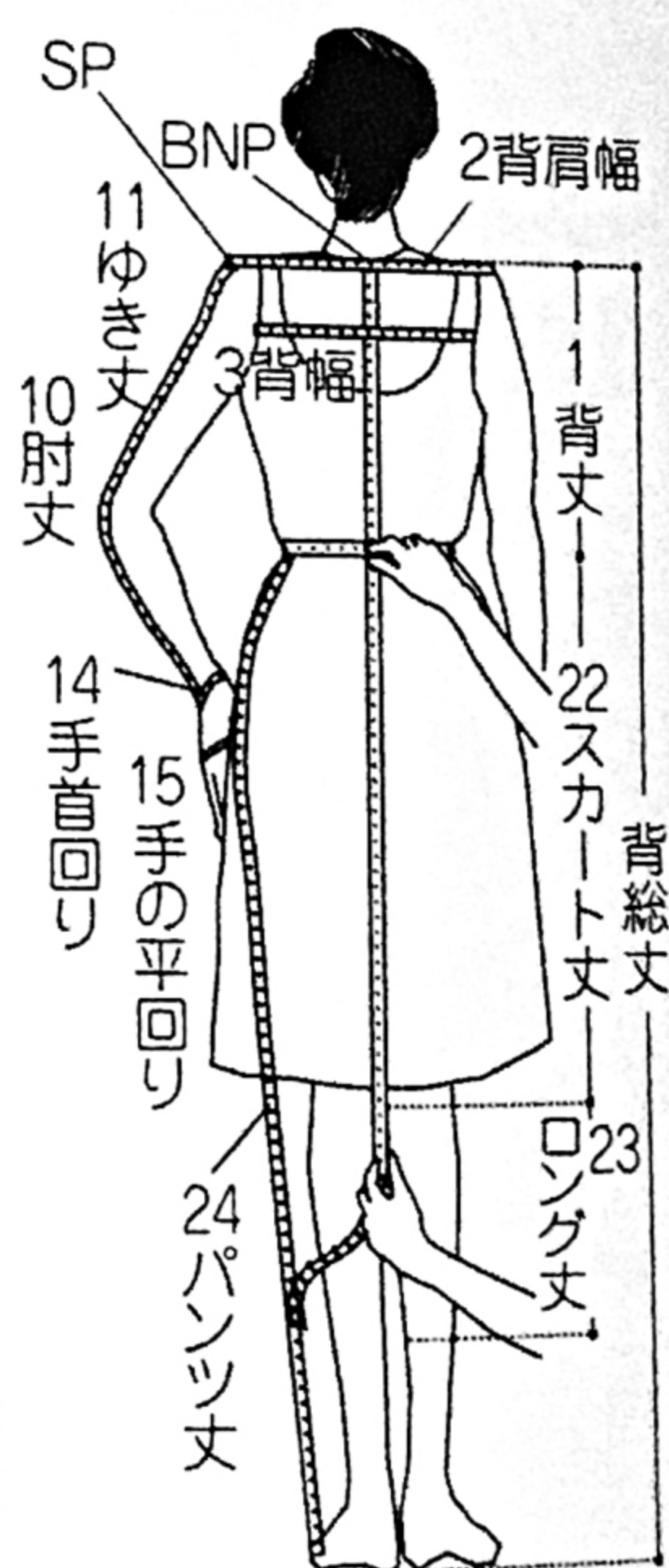
部分縫い

寸法のはかりかた――正確な原型を製図し、作りたい洋服を作図する必要寸法

参考寸法　採寸時はウエストラインにメジャーを水平に締めてはかります

寸法のはかりかた

区分	No.	項目	寸法	はかりかた
原型を引くための寸法	1	背丈	39	後ろ首つけ根から、メジャーの下まで
	2	背肩幅	37	左右の肩先まで
	3	背幅	36	肩胛骨のところで両腕のつけ根まで
	4	首回り	32	首つけ根より2～3cm上を
	5	首つけ根回り	34	首つけ根
	6	バスト(B)	84	胸の高いところを平らに
	7	胸幅	33	左右の腕のつけ根まで
	8	乳下がり	34	後ろ首のつけ根から耳下を経て乳首まで
	9	前丈	50	後ろ首つけ根、耳下、乳首を経てメジャーの下まで
袖を引く寸法	10	肘丈	50	後ろ首のつけ根から肩先を経て肘まで
	11	裄丈	71.5	後ろ首のつけ根から肩先、肘を経て手首まで
	12	腕回り	27	腕の一番太いところ
	13	肘下回り	22.5	七分袖、タイトスリーブなどの必要寸法
	14	手首回り	16	手首の太さ
	15	手の平回り	19	手の内側に親指をつけて親指のつけ根回り
	16	袖丈	53	裄丈から $\frac{背肩幅}{2}$ を引いて出す
着やすい洋服を作るための寸法	17	頭回り	56	帽子をかぶる位置
	18	ウエスト(W)	68	腹囲の最も細いところ
	19	ミドルヒップ	90	ウエストより12cm位下ったところ（WとHの中間）
	20	ヒップ（H）	94	腰回りの一番大きなところ
	21	腰丈	20	位
	22	スカート丈	62	位
	23	ロング丈	78	スカートとパンツの中間寸法
	24	パンツ丈	95	ウエストから踵の下まで
	25	股上	26	椅子に深くこしかけ、ウエストから腰下までの脇
	26	フード寸法	74	前中心、首のつけ根から頭の頂上を経て首のつけ根まで

縫製の基本 ——大切な洋服のゆがみや、くるいを防ぐために

○ 寸法のはかりかた
自然な姿勢で立ち、目の高さを見て頂き、正確にはかるよう心掛け、体型をよく観察してメモをとります（怒り肩、下り肩、並肩、前肩、そり肩）。

○ 原型を引く
洋服の基礎となるものですから、初めから細心の注意を払って正確に原型を製図しましょう。

○ 製図する場合
上身頃は**後ろ型紙**から引き、スカート、パンツ類は**前型紙**から引きます。

○ カーブ尺、Dカーブルーラの使いかた
B、W、H、背丈、パンツ丈などの割合によって使用箇所が違いますが、寸法に合う箇所を求めて上手に使い、美しい製図を引いて下さい。

○ 製図と生地との誤差
製図をした時点の型紙と縫製する過程では、生地の伸びにより誤差が生じる事があります。女性が**まとう**ということを心して、今手がけているシルエットを想像しながら縫い合わせ部分が**デコ・ボコ**になったり**トンガル**ことのないように、なだらかな曲線に仕上げて下さい。

○ 仮縫い
初めての洋服は必ず仮縫いをしてから縫います。又生地の持ち味がみな違いますので、できるかぎり、特に良いもの程仮縫いをして下さい。

○ 縫いかた
生地に合わせて引っ張って縫います。スカート、パンツなどのダーツは腰の丸みを出すようにしましょう。

○ アイロン
アイロン掛けはとても大切です。ミシンを掛けたら必ず縫目にアイロンを掛けます。しっかり使うと仕上がりが違います。

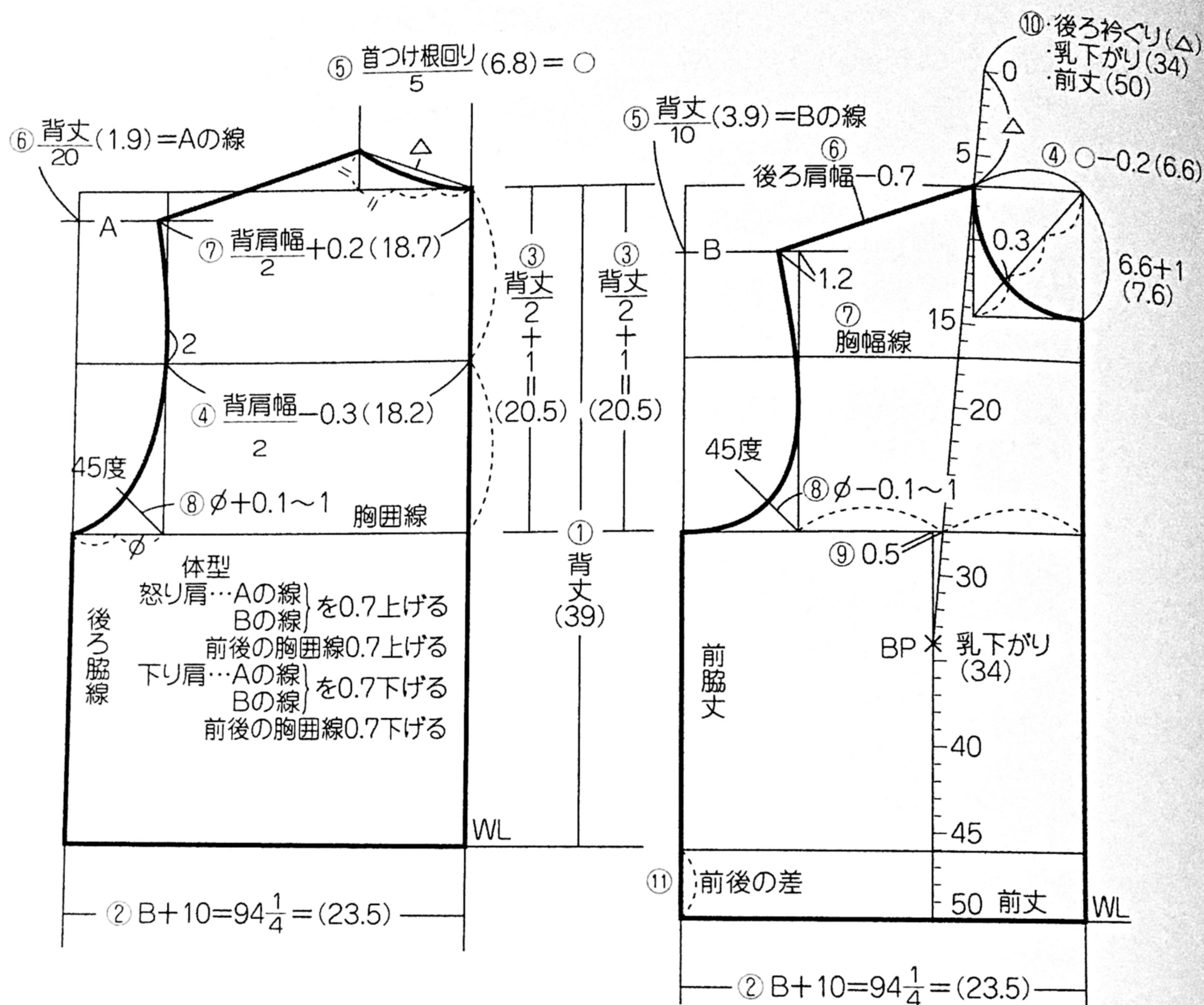
1 布の扱いかた
- ○ 生地の方向は洋服の裾をどこにするかによって変わります。花柄などは元気よく上を向くようにします。縞柄は裾を太く、徐々に上は細くなるようにします。
- ○ 毛脚のある布は、洋服の裾になる方向を下向きにして撫で、毛を確かめて糸を抜きます。
- ○ ベロア、ベルベット、コーデュロイは毛並みを確認し、美しく、深い光沢のある逆毛で使用します。しわをつけないようにすることが大切です。
- ○ 布を切る場合は、洋服の裾になる方向の糸を**布の端**から**端まで**1本抜き、その線に沿って切り裾にします。

2 地伸し（じのし）
- ○ ウール、絹物、その他（ドライクリーニング用の品）は、仕上がりのくるいを防ぐために、生地を中表にし、万遍なく霧を吹いて一晩おき、布の**ゆがみ**や幅を整えながらアイロンを掛けます。
- ○ 化学繊維、綿織物など（家庭で洗える品）は水に浸してかるく脱水し、陰干しにしてからアイロンで整えます。
- ○ 裏地も一度水に浸し、陰干しにして生乾きのうちにアイロンで整えます。

3 裁断
- ○ 毛並みのあるウール物などは撫で毛になるよう下向きにして、型紙をおきます。
- ○ 格子（チェック）、縞などは前中心、後ろ中心を同じにし、注意して裁ちましょう。

(1) **裏地は表生地の伸び**ぐあいに**注意しましょう。**
- ○ 上着、コート類は後ろ中心と脇縫いで0.3〜0.5位きせ分をとり、白毛（しろも）で縫い、**加減**しながらミシンを掛けます。
- ○ スカートも**伸び**ぐあいをみて前、後ろ中心で0.2〜0.5ゆとりを入れて裁ちます。

(2) ヘム
- ○ スカート・パンツのヘム（5〜6）
  シルエットを美しく保つ役目を果たしていますので多めにつけます。
- ○ フレアースカートのヘム（3〜4）
  裾を軽やかにするために少なめにつけます。

原型の引きかた(後ろから引きます)――美しく着やすい洋服を作図するために正確に

◆後ろ身頃順序

① 背丈(39)

② B+10=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

③ 胸囲線 $\frac{背丈}{2}$+1=(20.5) 袖ぐりの深さを決める線

・背丈38より低い方は $\frac{背丈}{2}$+1.5にします。

・背丈40より高い方は $\frac{背丈}{2}$+0.5にします。

④ 背幅線 $\frac{背肩幅}{2}$−0.3(18.2)

⑤ $\frac{首つけ根回り}{5}$(6.8)=○

⑥ 肩先 $\frac{背丈}{20}$(1.9)をAの線とします。

⑦ $\frac{背肩幅}{2}$+0.2(18.7)をAの線に求めます。

⑧ 袖ぐり45度にしφ+0.1〜1

・胸囲100位からは−0.1〜0.5位になる場合もあります。

◆前身頃順序

① ①〜③番までは、後ろ身頃と同じに引きます。

④ $\frac{首つけ根回り}{5}$=○−0.2(6.6)、6.6+1(7.6)

⑤ 肩先 $\frac{背丈}{10}$(3.9)をBの線とします。

⑥ 後ろ肩幅−0.7をBの線に求めます。

⑦ 胸幅線、肩先Bの線から1.2入り直下します。

⑧ 後ろ袖ぐりのφ−0.1〜1

・胸囲100位からは−1〜1.5位になる場合もあります。

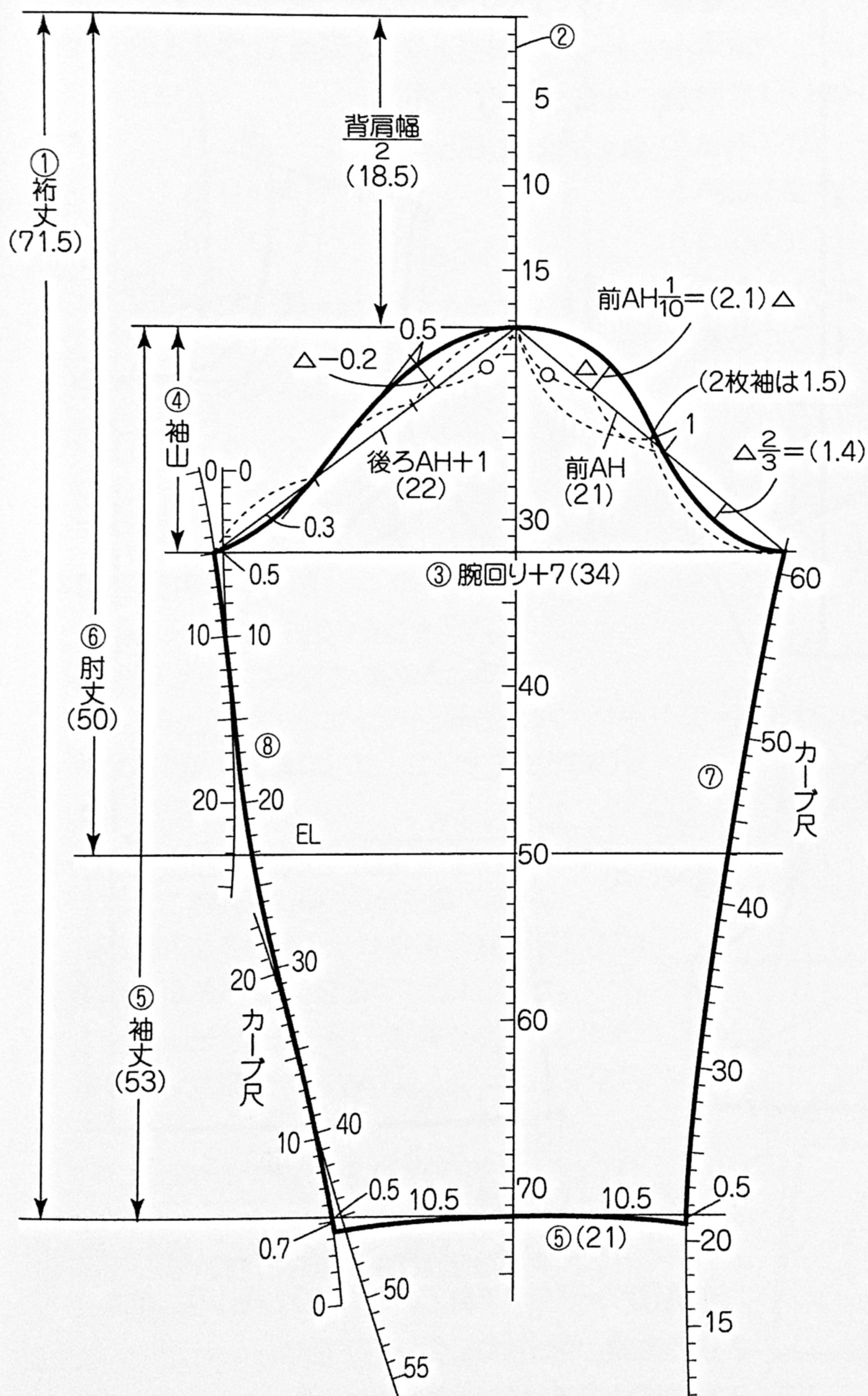
⑨ $\frac{胸幅線}{2}$+0.5を脇寄りにWまで直下します。

⑩ 後ろ衿ぐり(△)、乳下がり(34)、前丈(50)

⑪ 前後脇丈の差、胸の高さ、ダーツ分です。

基本の袖 ── ブラウスからコートまで幅広く用います

◆袖AHの丸みを出す線について

④前AH(21)の$\frac{1}{10}$=2.1△を基準にしますが、前AH25以上の場合には、特別なデザインでない限り、美しいAHになるように加減して下さい。

◆製図順序

① 袖丈を決めます。

　裄丈－$\frac{背肩幅}{2}$＝(53)

② 袖中心線

③ 袖幅線

　･腕回り＋7＝(34)

④ 袖山の高さを求めます。

　･前AH(21)

　･後ろAH＋1＝(22)

⑤ 袖丈、袖口線

　手の平回り＋2＝(21)

⑥ 肘丈線(50)

⑦ 前袖下線

⑧ 後ろ袖下線

　･前後の袖下線

　カーブ尺を上手に使って下さい。

　･袖丈＋パット分

　パットの高さは流行やデザインにより異なります。

　･カーブ尺の使いかた

　袖丈、袖幅などによって使用箇所が違いますが、寸法に合う箇所を求めて上手に使って下さい。

◆その他の腕回り＋ゆとり寸法

･腕回り＋6～10位

ブラウス、ワンピース、ソフトスーツ、スーツ

･腕回り＋20前後

コート類

ゆとり寸法はデザインにより異なります。

◆袖山の決めかた

11頁を参考にしてひいて下さい。

半袖のブラウス —— ラウンドネックのTブラウス

◆用　　尺　110幅140cm/150幅100cm

◆作図寸法　B　84+10=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

　　　　　　H　94+10=104 $\frac{1}{4}$=(26)

◆製図順序（後ろから）

1 原型WLから丈15引き、裾線とします。

2 胸囲線(23.5)とH(26)を結びます。

3 脇線ハイWで1入り、裾0.5上げ、引き直します。

4 前後の衿ぐりが58以上ないと頭が入りませんので、あき加減には気をつけて下さい。

5 AHと脇丈をはかり印します。

接着芯は身頃にはります

後ろ身頃

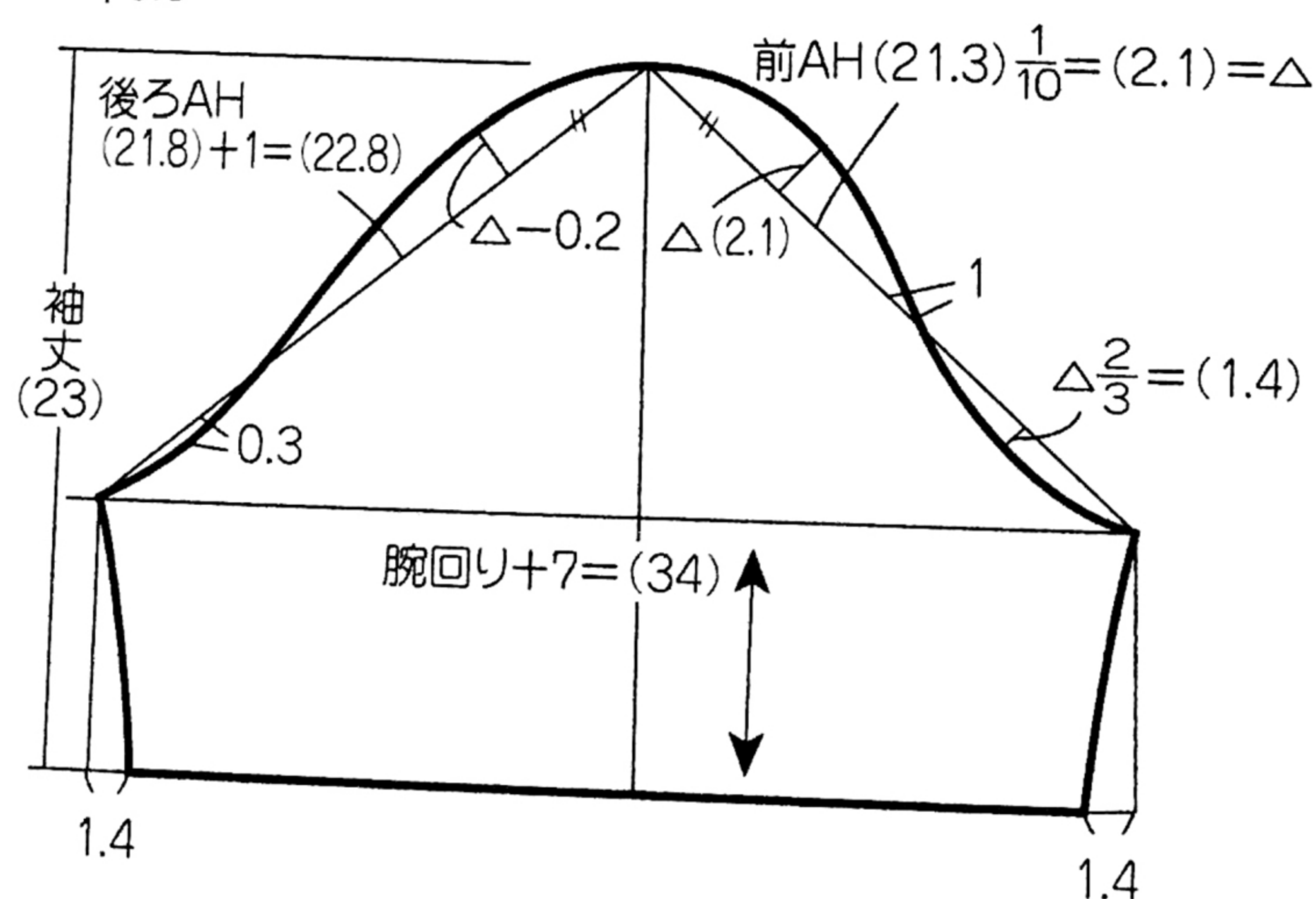
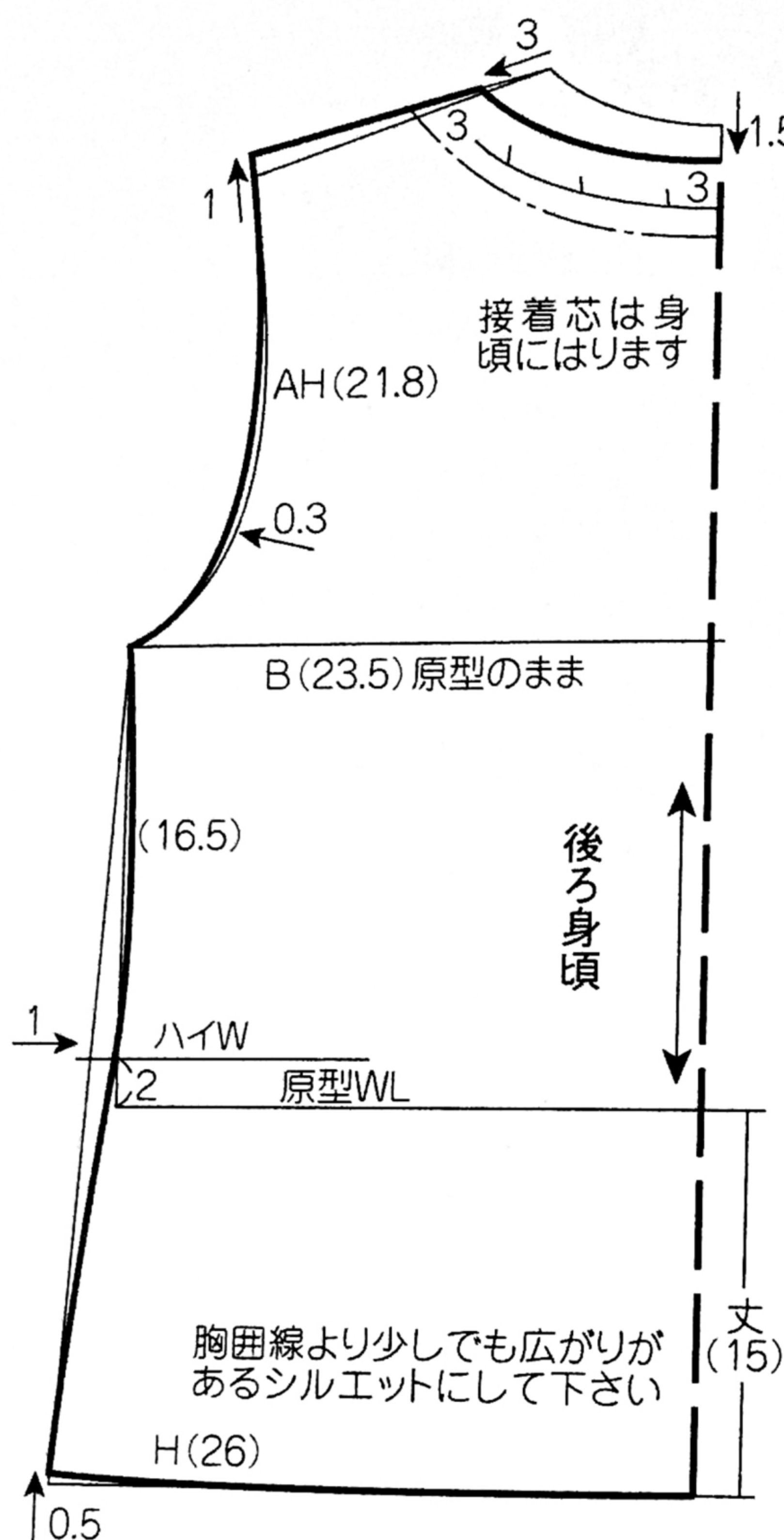
胸囲線より少しでも広がりがあるシルエットにして下さい

原型BPをマチ針でおさえて0.5倒し写します

前身頃

前AH(21.3)$\frac{1}{10}$=(2.1)=△

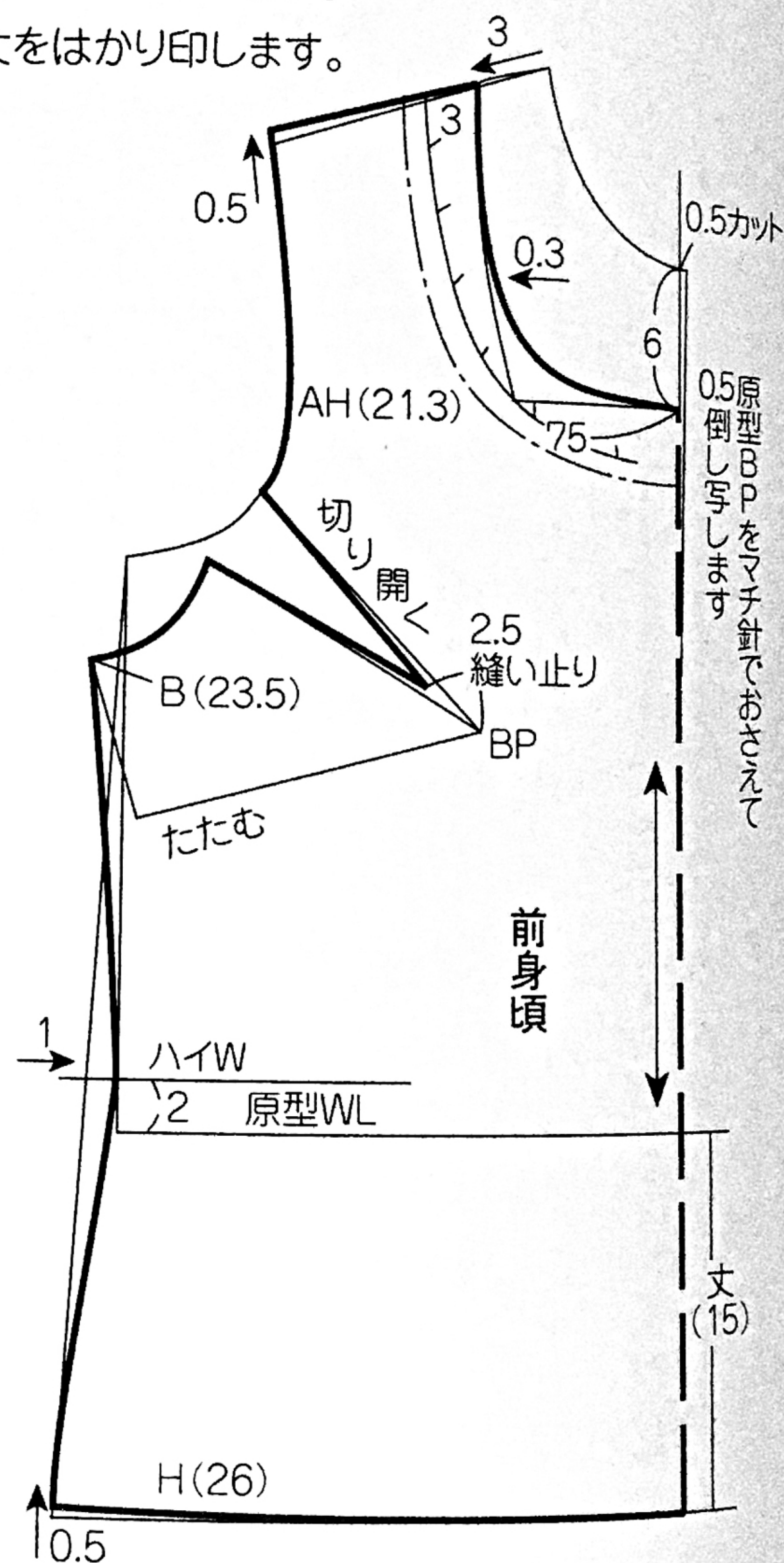
後ろAH (21.8)+1=(22.8)

腕回り+7=(34)

◆袖作図寸法

腕回り　(27)+7=(34)

袖　丈　23

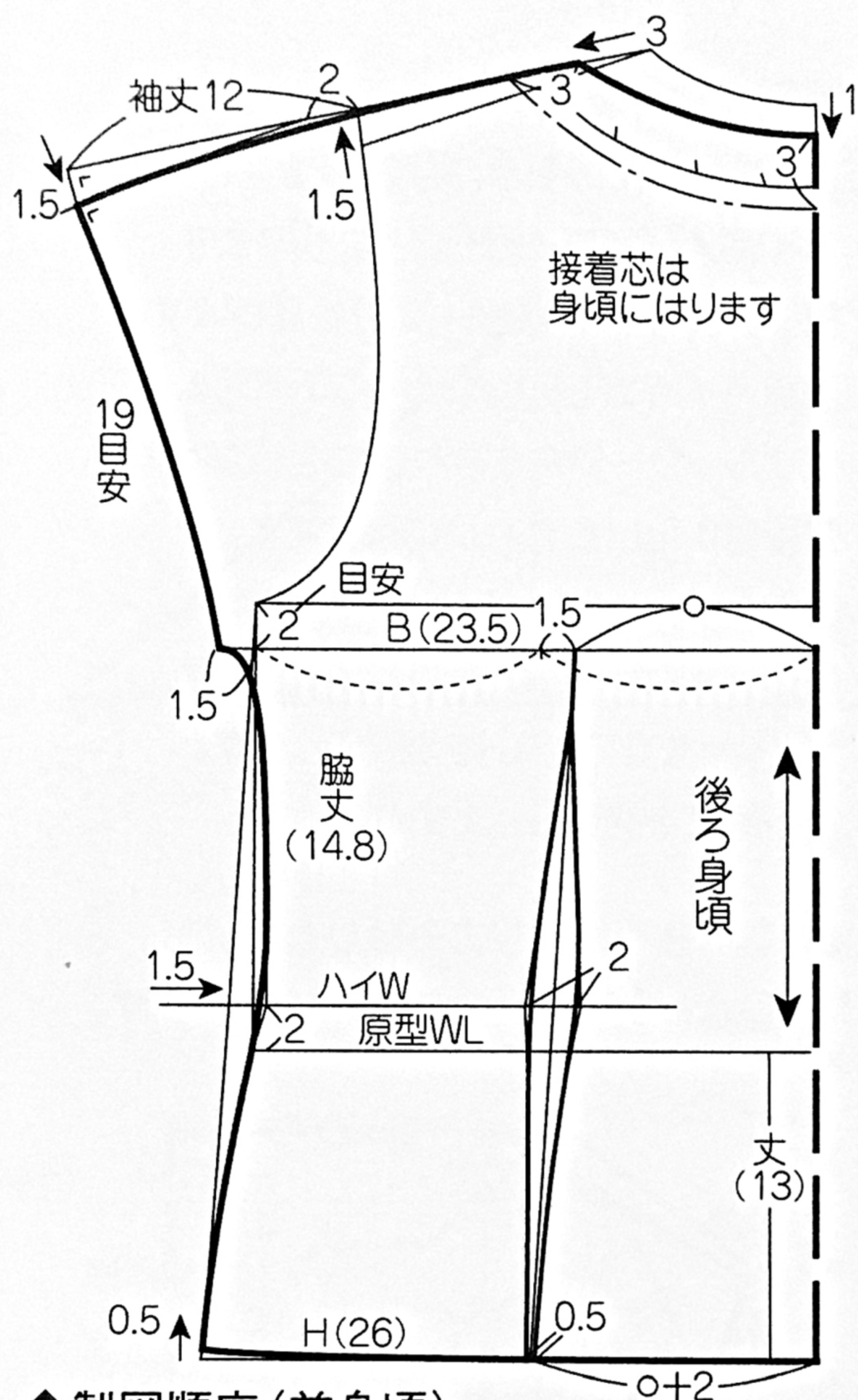
前ＡＨ　(21.3)

後ろAH　(21.8)+1=(22.8)

◆製図順序（前身頃）

1 少し大きくあく衿ぐりを美しく着るために、前中心線を引き、原型のBPをマチ針でおさえて0.5倒し写します。

2 後ろ身頃と同じように引いて下さい。

3 前後脇丈の差は切り開き、たたみました。

半袖のブラウス —— フレンチスリーブ

◆用　　尺　110幅130cm/150幅80cm

◆作図寸法

B　84+10=94 $\frac{1}{4}$ =(23.5)
H　94+10=104 $\frac{1}{4}$ =(26)
（B・Hの）差2.5が大切です。

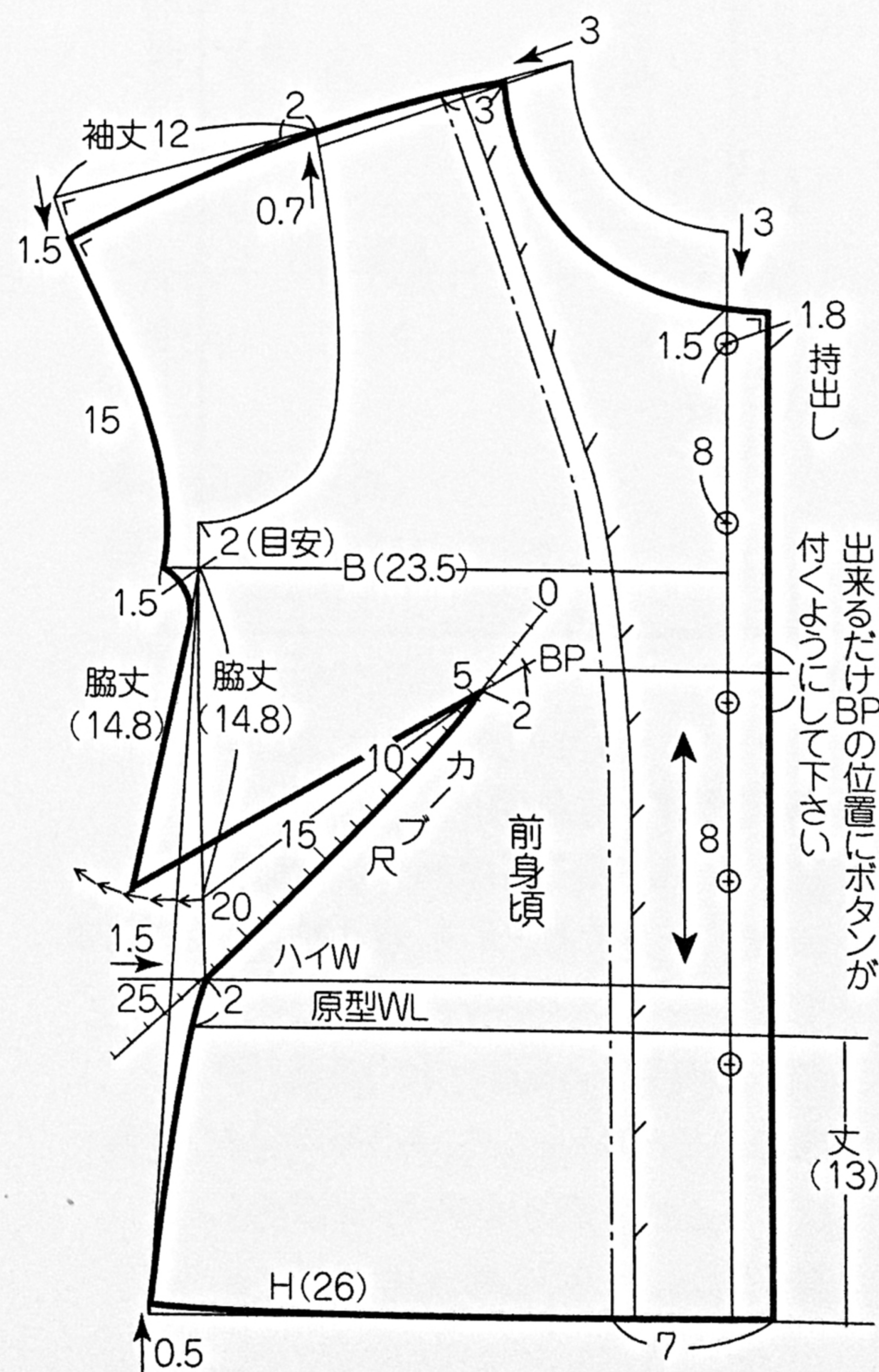
腕回り 27+7=(34) $\frac{1}{2}$ =(17) 目安（後ろ+2(19)／前−2(15)）

接着芯薄地

◆製図順序（後ろから）

1 原型WLから丈13引き、裾線とします。
2 肩先1.5上げ、ネックポイントと結びます。
3 袖丈12印し、直角にして1.5下げ、肩2と結びます。
4 袖口に直角を引き、目安19を印し、1.5出します。
5 B(23.5)とH(26)を結びます。
6 脇線ハイWで1.5入り、裾0.5上げ、結び直します。
7 後ろ中心1下げ、ネックポイントで3入り結びます。

◆製図順序（前身頃）

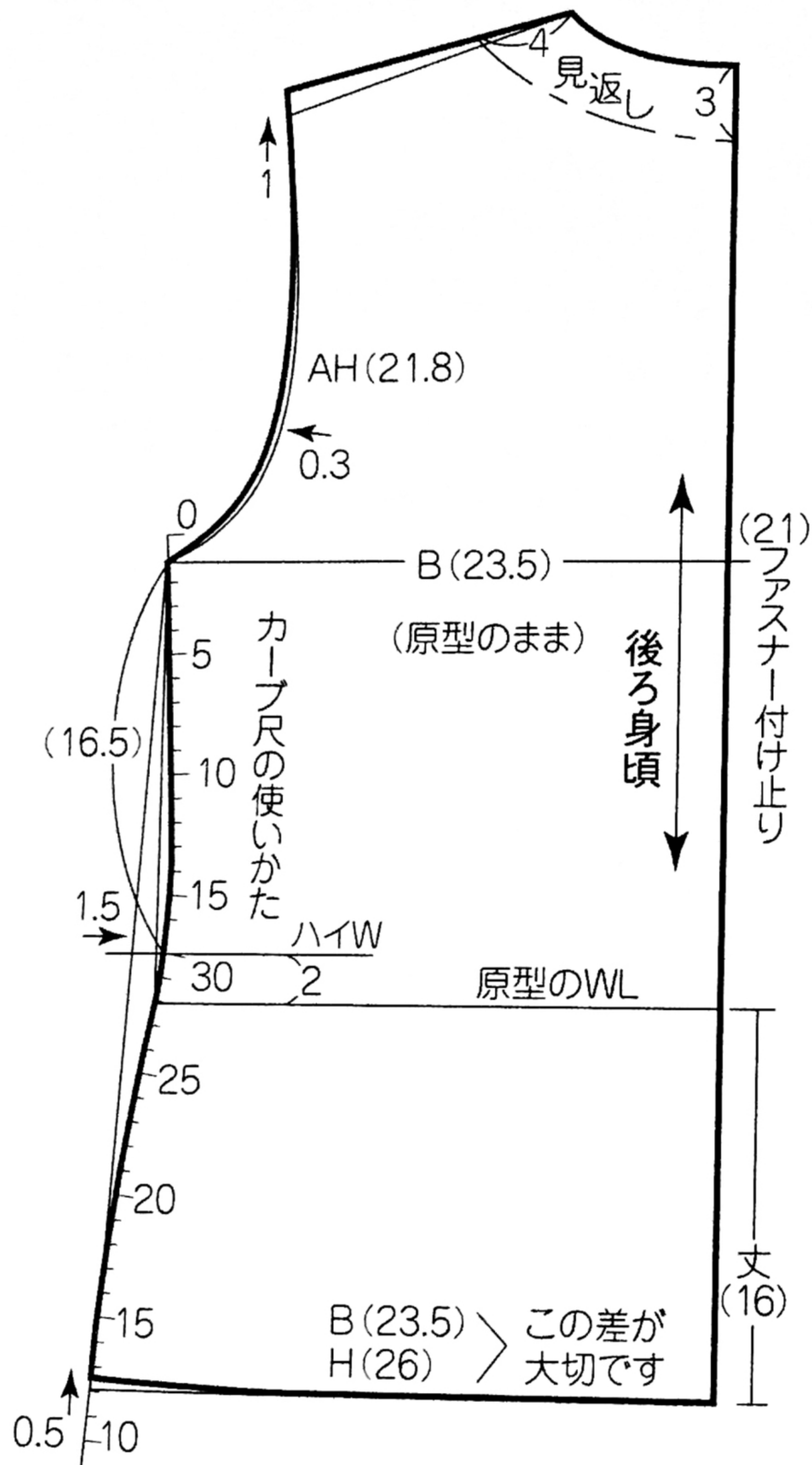
1 前中心を引き、持出し1.8引きます。
2 原型WLから丈13引き、裾線とします。
3 肩先0.7上げ、ネックポイントと結びます。
4 袖丈12印し、直角にして1.5下げ、肩2と結びます。
5 袖口に直角を引き、目安15を印し、後ろ袖下と合わせて腕回りのゆとり分を調べます。
後ろ袖下2下げましたが前後の差が多い方は前袖下は後ろより1位多くてもよいです。
6 B(23.5)とH(26)を結び、裾線を結び直します。
7 前後脇丈の差をハイWから上に印し、BPと結びます。
8 BPより2手前で縫い止まりの印をし、ハイWと結びます。
9 脇丈の案内線（矢印）に同寸法を求め、ダーツをとります。
10 カーブ尺で角ばらないようにDカーブルーラなどを上手に使って美しい線を引いて下さい。

半袖のブラウス ― ドレープの華やぎがうれしい装いです

◆用　　尺　110幅150cm/150幅110cm

◆作図寸法　B　84＋10＝94 $\frac{1}{4}$(23.5)

H　94＋10＝104 $\frac{1}{4}$(26)

着丈　55（WLから16）

4
見返し
3
1
AH(21.8)
0.3
0
B(23.5)
(21)
ファスナー付け止り
(原型のまま)
後ろ身頃
カーブ尺の使いかた
(16.5)
5
10
15
1.5
ハイW
30
2
原型のWL
25
20
丈(16)
15
B(23.5)
H(26)
この差が大切です
0.5
10

◆製図順序（前身頃）

1 前原型WLから16引き裾線とします。

2 BPをマチ針でおさえて、後ろ脇丈と同寸法まで原型を倒し写します。

3 原型の胸囲線と裾線H(26)を結びます。

4 脇線ハイWで1.5入れ、後ろ脇線のようにカーブ尺を上手に使い、きれいに引きます。

5 肩先0.5上げ、AHを測り印します。

◆製図順序（後ろから）

1 原型WLから16引き、裾線とします。

2 ハイW、原型のWLから2上に引きます。

3 原型の胸囲線と裾線H(26)を結びます。

4 脇線ハイWで1.5入れ、カーブ尺で引いてDカーブルーラーで角をきれいになくします。

5 脇線裾0.5上げ、きれいに引きます。

6 肩先1上げ、ネックポイントと結びます。

7 後ろファスナー付け止まり21印します。

8 メジャーを立ててAHを測り印します。

9 後ろ脇丈を測り印します。

○接着芯は後ろ衿ぐりのみはります。
見返しより0.7〜1内側の身頃にはります。

4
(ロ)
(イ)
3
この分がドレープになります
0.5
(イ)〜(ロ)のドレープは前後の差をたたんだドレープの量です
ドレープの量を多くなさりたい方はダーツを短くたたむとドレープが多くなります。
×BP
3.5
前身頃
後ろ脇丈と同寸法
BPより3.5脇寄をマチ針でおさえ原型を倒した好みの線
1.5
2
原型のWL
丈(16)
H(26)
0.5

◆使用寸法（袖）

腕回り　27

袖　丈　27

◆作図寸法

腕回り　+7=（34）

前ＡＨ　（21.3）+2（タック分）=23.3

後ろAH　（21.8）+1（ゆとり分）
+2（タック分）=24.8

◆製図順序（袖）

図1 ① 袖中心線を引きます。

② 腕回り+7=（34）を中心から $\frac{1}{2}$（17）を左右に印します。

③ 腕回り（17）の印から前AH（23.3）の山を求め印します。

④ 前AHの山に合わせて後ろAH（24.8）を印します。

⑤ 後ろ袖幅（17）の印しより出た分の $\frac{1}{2}$ を前袖幅（17）より内側に入れ印します。

図2 ⑥ 腕回り+7=（34）を確かめて前AH（23.3）の山を求めて引きます。後ろAH（24.8）を前AHの山に合わせて引きます。

図3　タックは図3のように配分します。

ワイドパンツ —— レース、ベルベットなど、素材を変えて優雅な装いに

◆用尺　110幅2m/150幅2m

前Wでタック分が多くなるように、H寸法を2前に移動して製図をします。

W出来上がり寸法　68 $\frac{1}{4}$＝17

◆作図寸法

股　上	26＋1（ゆとり分）＝27
パンツ丈	95−5＝90（くるぶし丈）
W	（68）＋2（いせ分）＝70 $\frac{1}{4}$＝17.5
H	（94）＋16（ゆとり分）＝110 $\frac{1}{4}$ ＝27.5

前　H　$\frac{H}{4}$(27.5)＋2＝29.5

後ろH　$\frac{H}{4}$(27.5)−2＝25.5

◆製図順序（前パンツ）

① 裾からパンツ丈（90）を引いたところがWLになります。

② 股上寸法を引きます。

③ 前H29.5をイ〜ロ、ハ〜ニへとり、結びます。

④ 股上 $\frac{1}{3}$ をHLとして引きます。

⑤ 股下線 ○＋△を前端に出し、裾まで直下します。

⑥ 45度の $\frac{1}{3}$ に前股下線を作ります。HL 1位上で丸み止まりにします。

⑦ $\frac{W}{4}$（17.5）印し、脇1.5入り印し、残りタック2本にします。

⑧ 脇線HLより裾まで直下し、脇WL0.7上よりきれいに引きます。

⑨ 脇よりWLを引き、タック2本をとります。

⑩ WLから20.5下がり、ファスナーの合印をします。

⑦ $\frac{W}{4}$(17.5)
0.7
$\frac{W}{20}$ ⑨ $\frac{W}{10}$
2
二
1.5(位)
1
⑥ハ
②股上+1=(27)
12
13
⑧
HL④
1
⑩20.5
45度
□
③イ
H(25.5)
⑤
①パンツ丈ひく5=(90)(くるぶし丈)
合印
後ろパンツ
合印

（注）ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23の少し伸びる布用（ウール、チリメンなど）や、P32の伸びない布用（絹、綿など）を読んで参考にして下さい。

○このようなHLから直下のデザインでは布地によりますがH+6〜20位がよいでしょう。H+6は必要寸法ですが、それ以上多ければタック分にします。

◆製図順序（後ろパンツ）

① パンツ丈（90）がWLになります。
② 股上寸法を引きます。
③ 後ろH25.5をイ〜ロ、ハ〜ニへとり、結びます。
④ 股上$\frac{1}{3}$をHLとして引きます。
⑤ 股下線$\frac{1}{2}$(⌀)を出し、直下し前股下寸法（前寸法◎）を印します。
⑥ WLハから2入り、イと結び、45度の$\frac{1}{3}$に後ろ股下線をHL 1位上で丸み止まりにします。
⑦ 後WLを1下げ印し、$\frac{W}{4}$(17.5)印し、脇1.5入り印し、残りダーツ2本にします（残り3.5以内では1本に）。
⑧ 脇線HLより裾まで直下し、脇WL0.7上より結びます。
⑨ 脇よりWLを引き、$\frac{W}{10}$、ダーツ⌀、$\frac{W}{20}$(3.5)、ダーツ○をきれいに引きます。
⑩ Wより20.5下がり、ファスナーの合印をします。

長袖のブラウス ―― ハイネックのドレープが美しい装いです

◆用　　尺　110幅160cm/150幅130cm

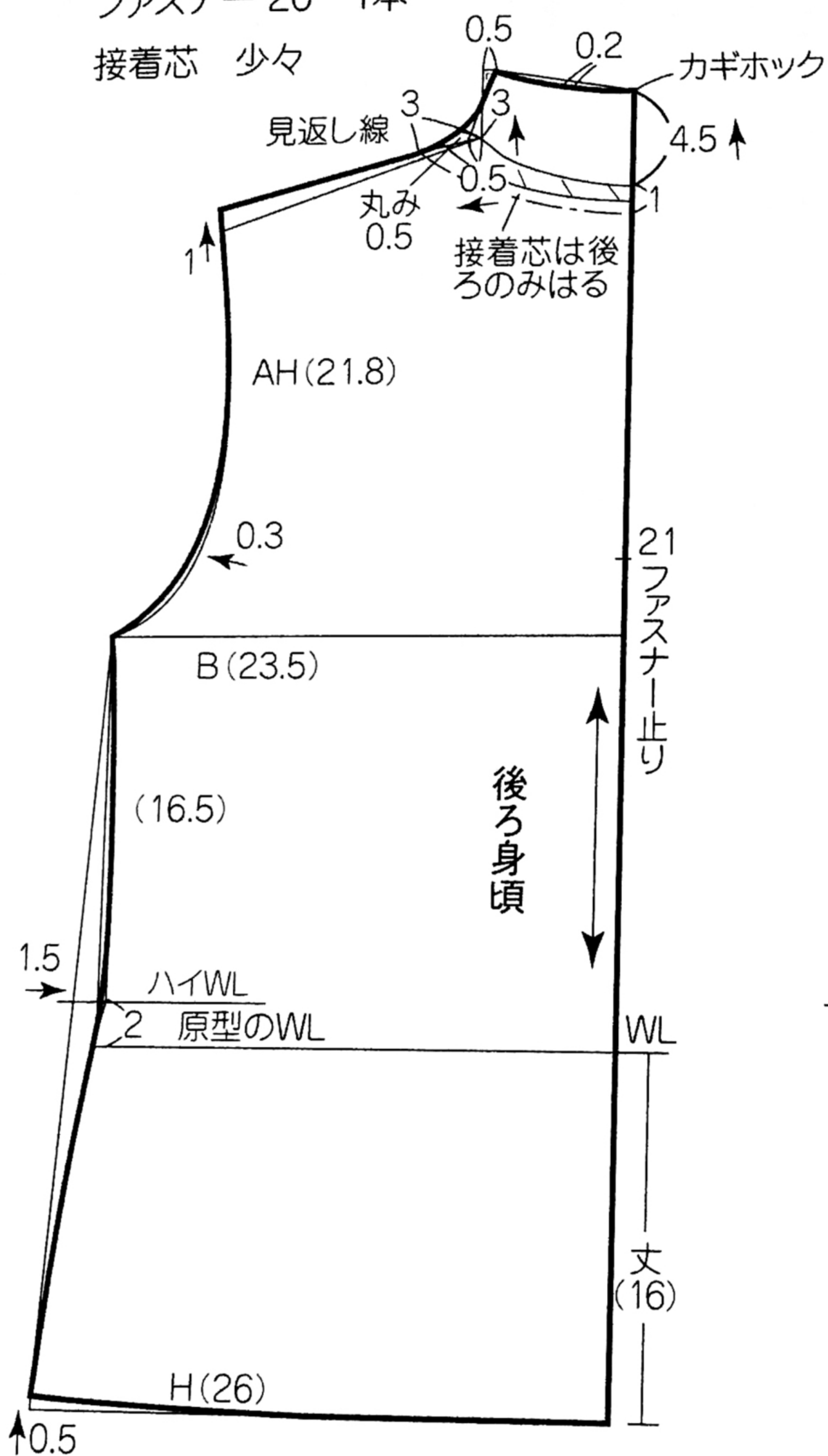
◆作図寸法

B　84＋10（ゆとり分）$=94\frac{1}{4}=$（23.5）

H　94＋10（ゆとり分）$=104\frac{1}{4}=$（26）

着丈　55（WLから16）

ファスナー 20　1本

接着芯　少々

◆製図順序（後ろから）

1 原型のWLから丈（16）引き、裾線とします。

2 原型の胸囲線と裾線H（26）を結びます。

3 脇線ハイWで1.5入り、引き直します。

4 肩先1上げ、ネックポイントと結びます。

5 ネックポイント0.5印し3上げ、後ろ中心4.5と結び、0.2のカーブをつけます。

◆袖製図使用寸法

肘　　丈　50

裄　　丈　71.5

背 肩 幅　$37\frac{1}{2}=$（18.5）

腕 回 り　27＋7＝（34）

手の平回り　19＋2＝（21）

◆袖丈、肘丈を出すために

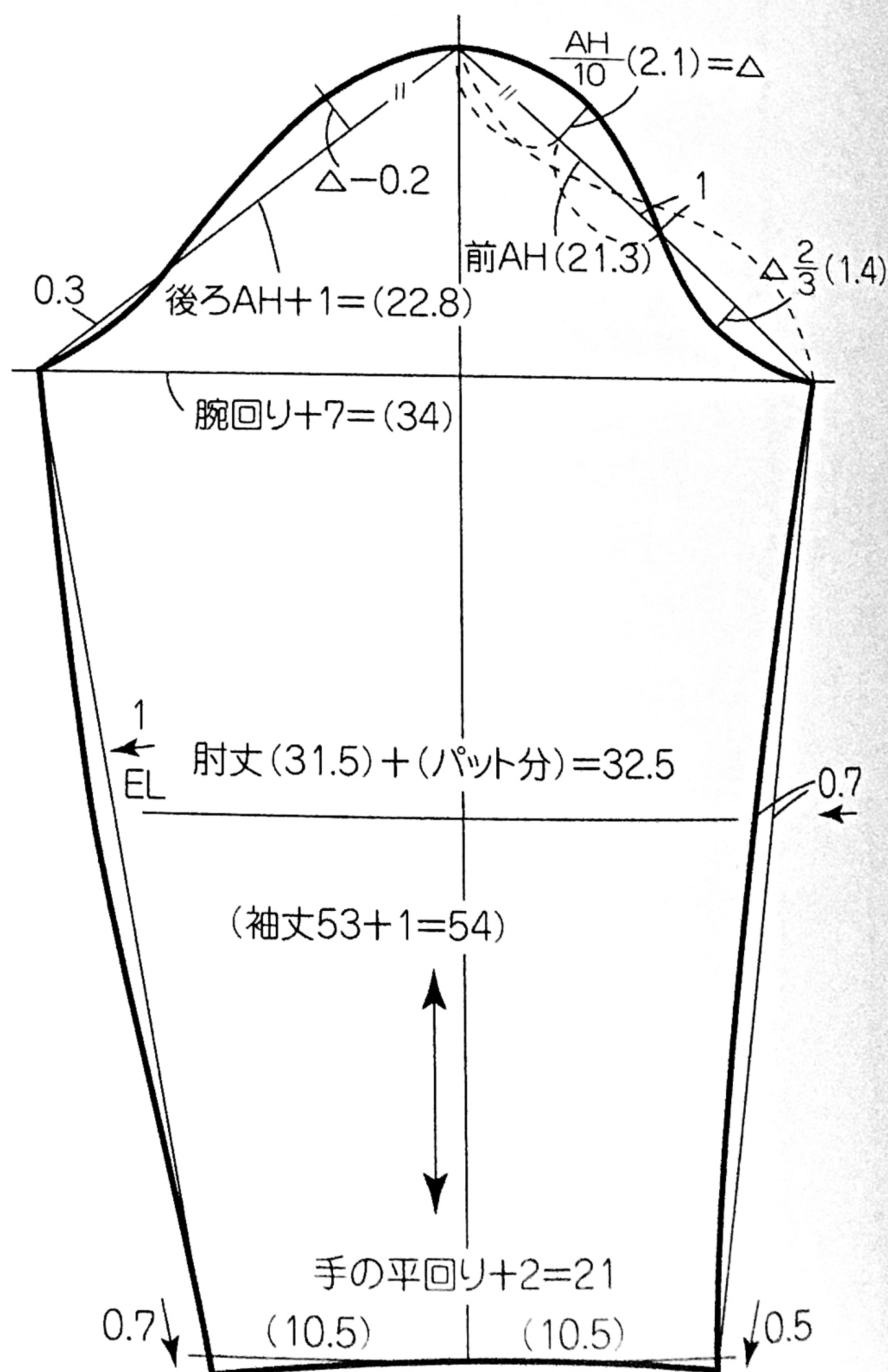
肘丈＝肘丈－$\frac{背肩幅}{2}$＝31.5肘丈

袖丈＝裄丈－$\frac{背肩幅}{2}$＝53袖丈

◆袖山の引きかた（P11参照）

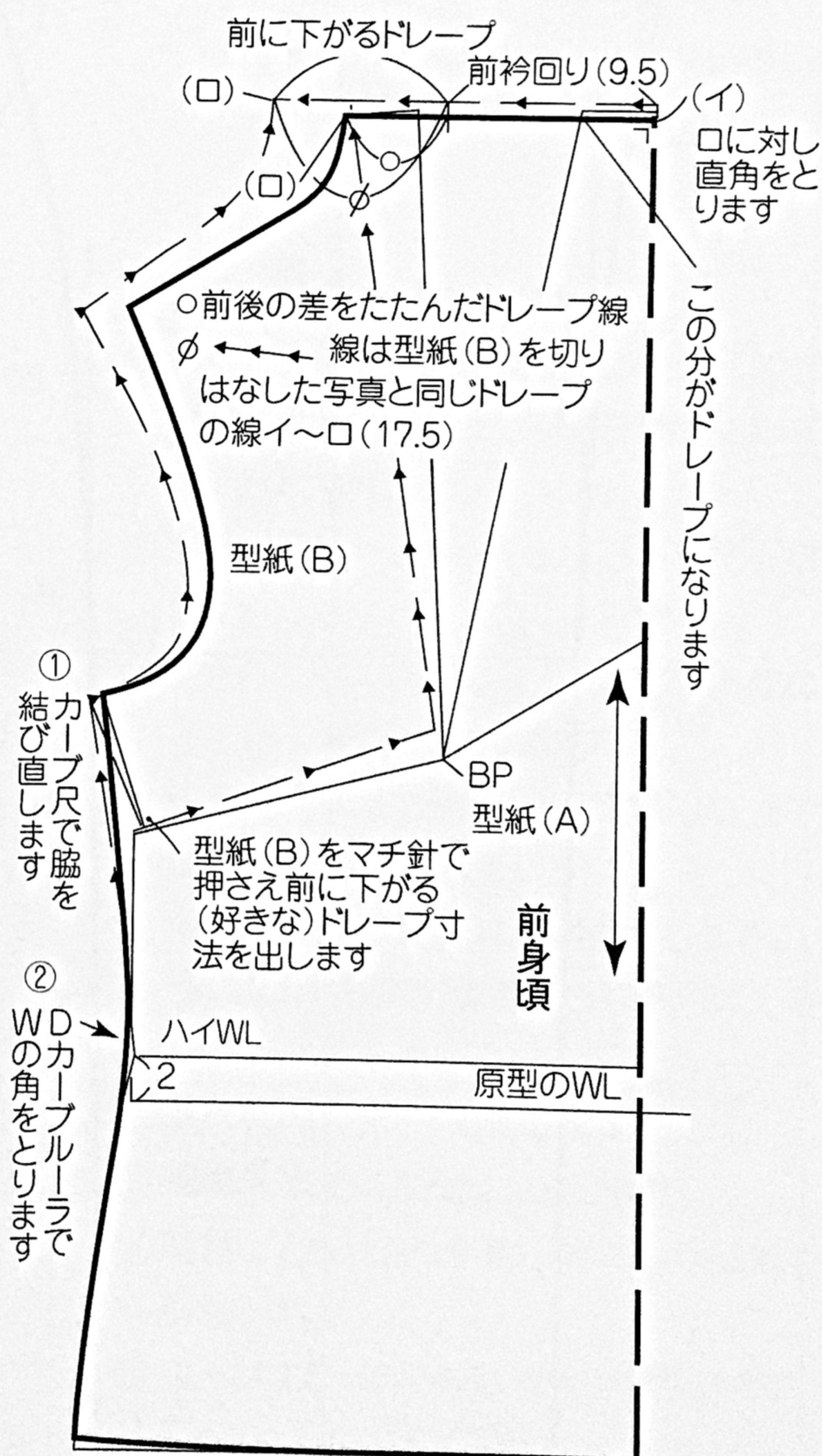
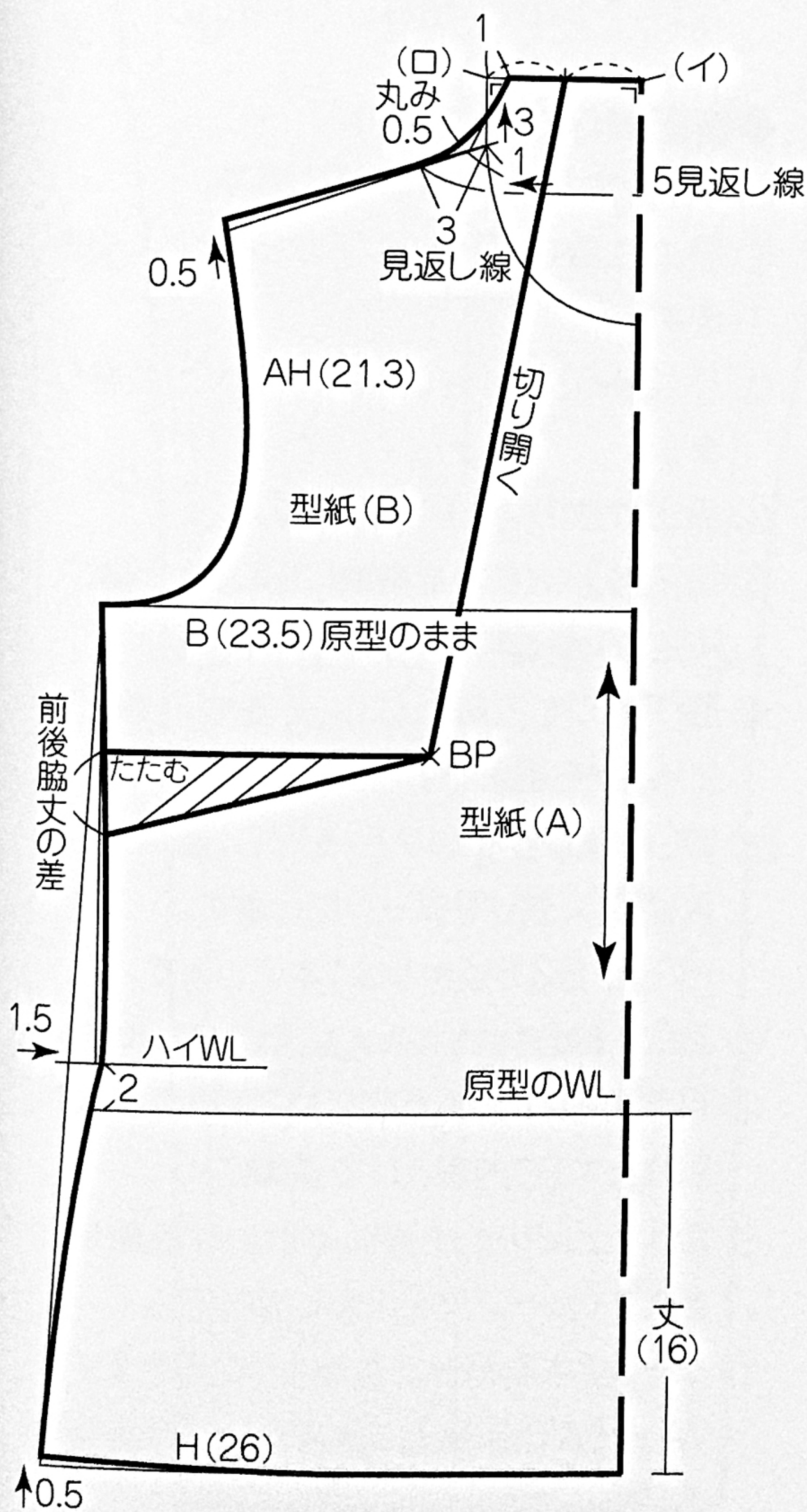
1 腕回り（34）をとり$\frac{1}{2}$（17）を印します。

2 前AH（21.3）を袖山に求めます。

3 袖山から後ろAH（22.8）を腕回り線に印します。

◆製図順序（前身頃）

1 原型のWLから（16）引き裾線とします。
2 原型の胸囲線と裾線H（26）を結びます。
3 脇線ハイWで1.5入り、引き直します。
4 ネックポイント3上げ、（ロ）を前中心に直角をとります。
5 肩先0.5上げ、ネックポイントと結びます。
6 ネックポイントから1外に（ロ）から1内を結びます。
7 前後脇丈の差をBPと結びます。
8 （イ）と（ロ）の$\frac{1}{2}$とBPを結び、切り開き線を引きます。

1
（ロ）
（イ）
丸み
0.5
3
1
5見返し線
3
見返し線
0.5
AH（21.3）
切り開く
型紙（B）
B（23.5）原型のまま
前後脇丈の差
たたむ
BP
型紙（A）
1.5
ハイWL
2
原型のWL
丈（16）
H（26）
0.5

首回り32$\frac{1}{2}$＝16
16−6.5（後ろ衿）＝9.5（前衿回り）
前に下がるドレープ
前衿回り（9.5）
（ロ）
（イ）
ロに対し直角をとります
（ロ）
○前後の差をたたんだドレープ線
ø 線は型紙（B）を切りはなした写真と同じドレープの線イ～ロ（17.5）
この分がドレープになります
型紙（B）
① カーブ尺で脇を結び直します
BP
型紙（A）
型紙（B）をマチ針で押さえ前に下がる（好きな）ドレープ寸法を出します
前身頃
② Dカーブルーラで Wの角をとります
ハイWL
2
原型のWL

はきやすいパンツ —— 何枚も欲しい素敵なパンツです

⑧ 0.7 ダーツ分 ⑦$\frac{W}{4}$(17.5) 0.5
ニ 1 $\frac{W}{20}$ ハ
②股上+1=(27)
⑩ ⑪
11 12
HL④
⑫24.5
はきやすい股下寸法
45度
ロ③ $\frac{H}{4}$(24.5) ⑥ イ
⑤
5
10
前
カーブ尺の使いかた
20
①パンツ丈(95)
30
11.5 KL 11.5
◎$\frac{1}{10}$(3.4)
40
◎(34)
前裏布線
10.5 ⑨ 10.5

◆用　　尺　110幅210cm/150幅120cm

W出来上がり寸法　68$\frac{1}{4}$17

◆作図寸法

W　68+2(いせ分)=70$\frac{1}{4}$=17.5

H　94+3〜4(ゆとり分)=98$\frac{1}{4}$=24.5

股　　上　26+1(ゆとり分)=27

パンツ丈　95

裾　　幅　22.5

(注)はきやすい股下寸法
・若い方、スポーツなどで筋肉のある方はこの寸法で。
・車生活などで筋肉が少しなえている方は－1〜2少なくし加減して下さい。

◆製図順序(前パンツ)

① パンツ丈(95)がWLになります。
② 股上寸法(27)をWL下からはかり、引きます。
③ $\frac{H}{4}$(24.5)をイ〜ロ、ハ〜ニ、へとり、結びます。
④ 股上寸法の$\frac{1}{3}$をHLとします。
⑤ 股下線$\frac{1}{4}$○(6.1)を前端に出し、HLと結び、45度の$\frac{1}{3}$に前股下線を作ります。
⑥ 股下線○を三等分にし、$\frac{2}{3}$を中心線としてWLから裾まで引きます。
⑦ WL前端から$\frac{W}{4}$(17.5)を印し、脇端から1入り印し、残りをダーツにします。
・ダーツ分3.5位までは1本にします。
⑧ 脇0.7上げきれいなWLに引き直します。
⑨ 裾幅左右に10.5を印しKLで11.5にして引きます(案内線として長めに)。
⑩ 脇0.7上よりHLを通り、きれいな脇線を引きます(カーブ尺を上手に使って)。
⑪ ダーツ2本を等分になるように引きます。
⑫ WLから20.5下り、ファスナーつけ止りの合印をします。

部分縫い シック、靴ずれの作りかた

シック（15）

中心をアイロンで折って股下にまつりつけます。

靴ずれ（15）

パンツの後ろ裾にミシンでつけます。

（注）ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23の（ウールなど少し伸びる布用）や、P32の（絹、綿など伸びない布用）がありますので参考にして下さい。

◆製図順序（後ろパンツ）

① 後ろパンツの製図は前型紙の上に引きます。前型紙の出来上がりは赤鉛筆にしておくとよいでしょう。

② 股下線○$\frac{2}{3}$＝△（4）を出し、1下げて印します。

③ イから1入り、ハから$\frac{1}{3}$入り結び、45度の$\frac{1}{2}$を通り、後ろ股下線になります。

④ 後ろHLで入った分を脇線で出し、WLまで案内線として引きます。

⑤ 後ろ股上線1上げ、WLへ直角にします。

⑥ $\frac{W}{4}$（17.5）を印し、脇端から1入り印し、残りをダーツにします。

⑦ 後ろ$\frac{W}{10}$(7)、ダーツを印します。

⑧ 裾幅KL左右に1.5出し、結びます。

⑨ 脇線0.7上よりHLを通り、きれいな脇線を引きます。

⑩ ダーツはカーブ尺を使いきれいに引きます。

⑪ ファスナーの合印（20.5）にします。

ベスト── 裏表着られます(ブラウス生地を裏に使い毛抜き合わせに仕立てます)

◆用　　尺　110幅120cm/150幅70cm

◆作図寸法

B　84+10(ゆとり分)=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

H　94+12(ゆとり分)=106 $\frac{1}{4}$=(26.5)

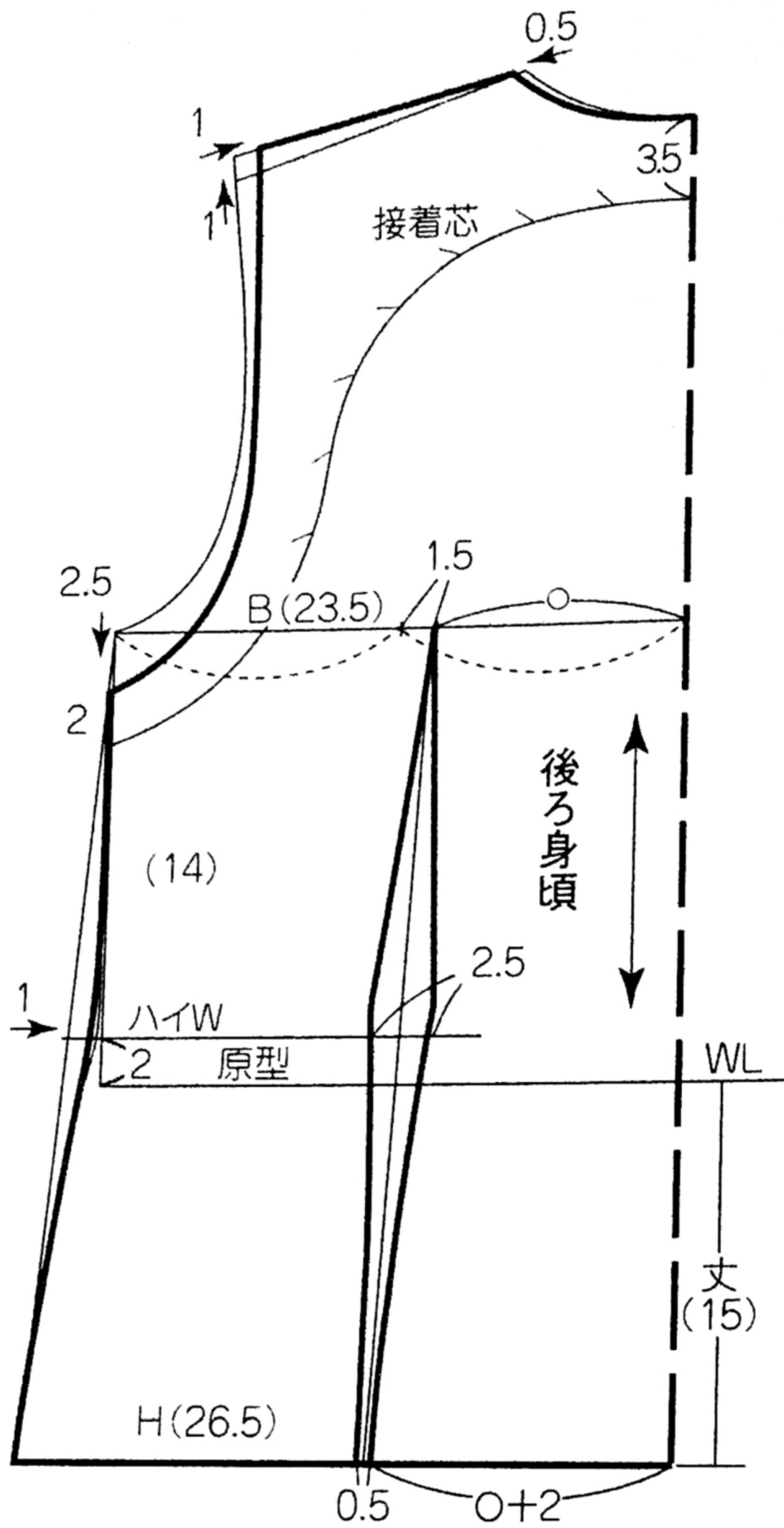
◆製図順序(後ろから)

1 原型のWLから丈15引き、裾線とします。

2 原型の胸囲線を2.5下げ、裾線H(26.5)と結びます。

3 脇線ハイWで1入り、結び直します。

4 肩先1上げ1入り、ネックポイントで0.5印し結び直します。

5 原型の胸囲線 $\frac{1}{2}$ から1.5中心に寄せ(○)とし、裾線(○+2)を印し結びダーツを引きます。

◆製図順序(前身頃)

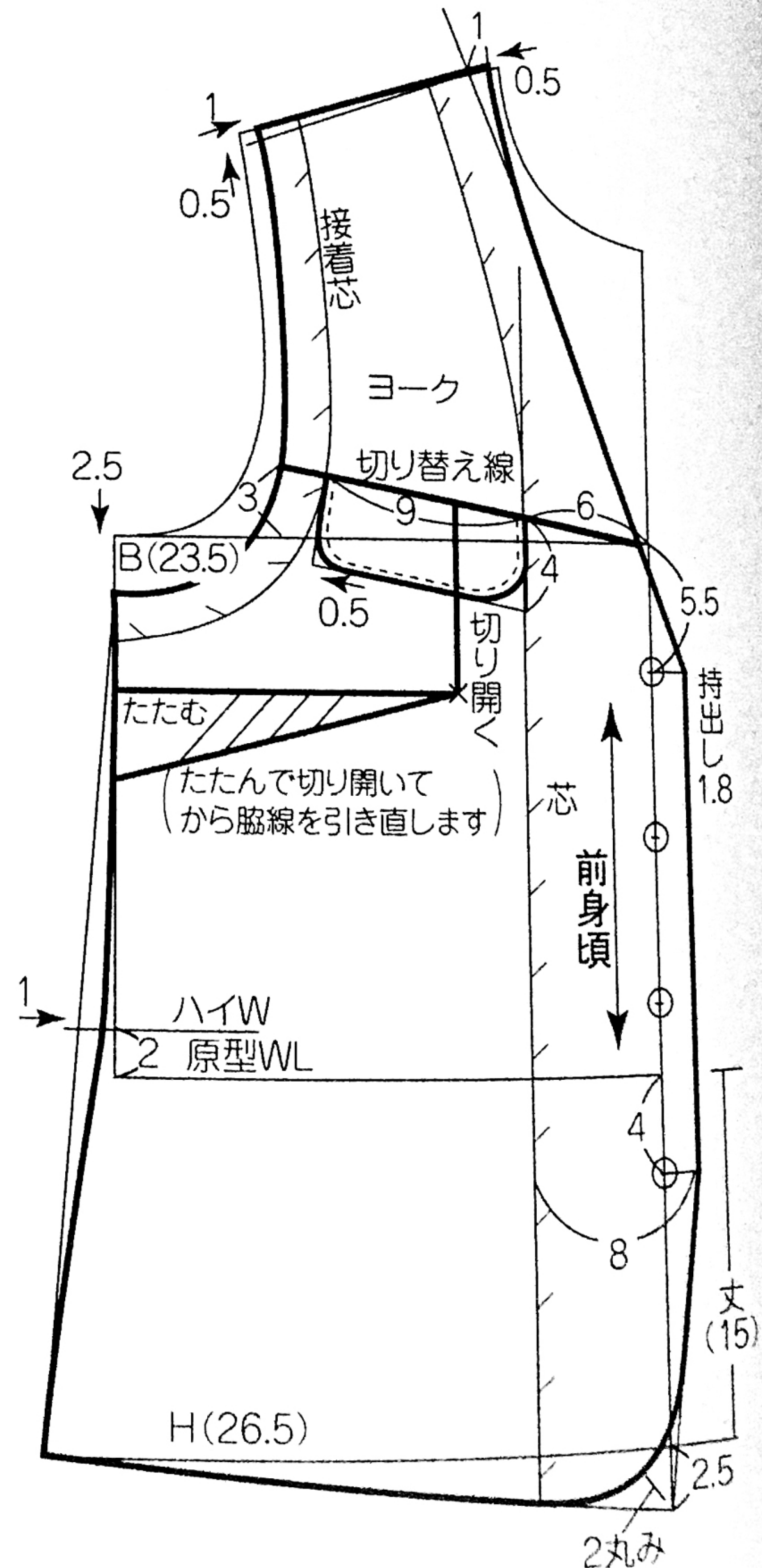
1 前中心で持出し1.8を出し、1〜3まで後ろ身頃と同じに引きます。

4 前後脇丈の差をBPと結びます。

5 肩先0.5上げ1入り、ネックポイントで0.5印し結び直します。

6 胸囲線から5.5下がり、持出し線とネックポイントの印1入って仮に結び、衿のカーブをつけて0.5の印と結び直します。

7 胸囲線から3上がり前中心線と結び、中心から6に印しポケットを引きます。

8 BPを切り替え線まで直上し、切り開き線を引きます。

ギャザーフレアースカート —— 型紙をたたみながら製図をします

◆製図順序（前スカートから）

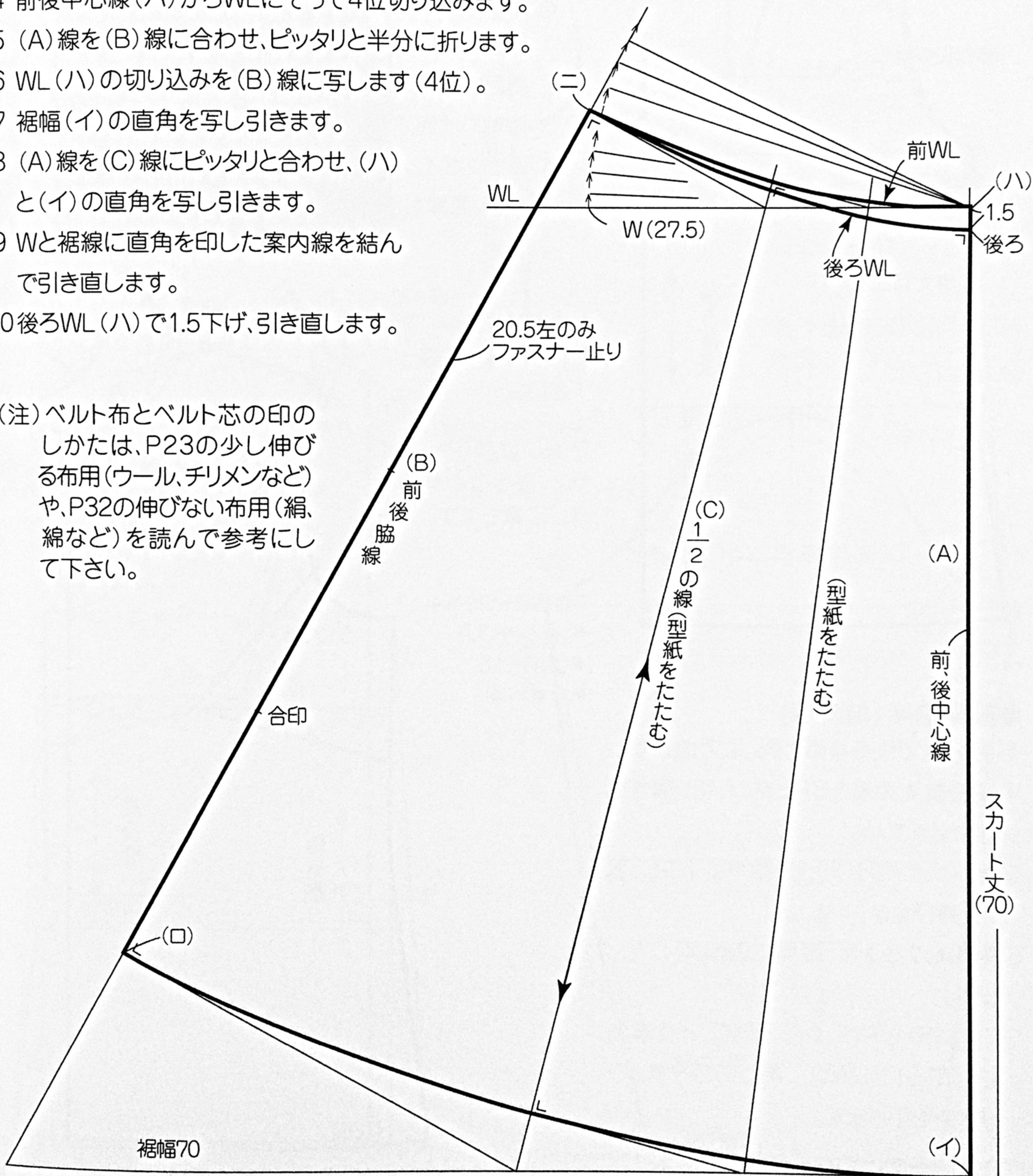
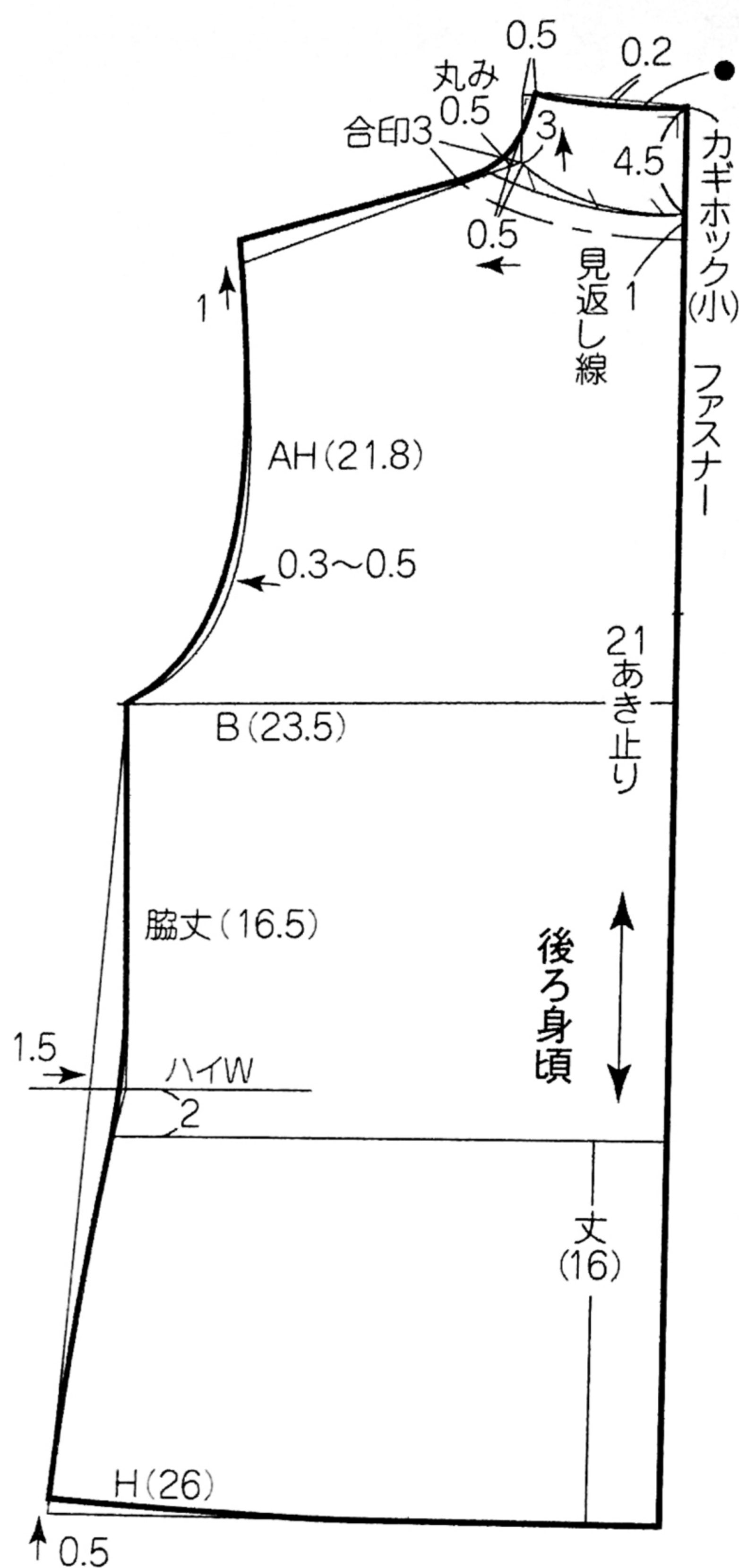
1 スカート丈（70）を型紙の端から引き、前後の中心は型紙の角を使います。
2 裾幅（70）を印し、W（27.5）を↑印にコンパスで引きます（15位上まで）。
3 裾幅（70）とW（27.5）の交わる点を結びます。
4 前後中心線（ハ）からWLにそって4位切り込みます。
5 （A）線を（B）線に合わせ、ピッタリと半分に折ります。
6 WL（ハ）の切り込みを（B）線に写します（4位）。
7 裾幅（イ）の直角を写し引きます。
8 （A）線を（C）線にピッタリと合わせ、（ハ）と（イ）の直角を写し引きます。
9 Wと裾線に直角を印した案内線を結んで引き直します。
10 後ろWL（ハ）で1.5下げ、引き直します。

（注）ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23の少し伸びる布用（ウール、チリメンなど）や、P32の伸びない布用（絹、綿など）を読んで参考にして下さい。

◆用　　尺　110幅350cm/150幅180cm

◆作図寸法

W　68+2（いせ分）=70$\frac{1}{4}$=（17.5）
W　（17.5）+10（ギャザー分）=27.5
スカート丈　70

（ニ）
前WL
（ハ）
1.5
後ろ
WL
W（27.5）
後ろWL
20.5左のみ
ファスナー止り
（B）
前後脇線
（C）
$\frac{1}{2}$の線（型紙をたたむ）
（型紙をたたむ）
（A）
前、後中心線
スカート丈（70）
合印
（ロ）
裾幅70
（イ）

長袖のブラウス —— ハイネックで前中心のみ縫目を入れました

◆用　　尺　110幅160cm/150幅140cm

◆作図寸法

B　(84)＋10(ゆとり分)＝94 $\frac{1}{4}$＝(23.5)

H　(94)＋10(ゆとり分)＝104 $\frac{1}{4}$＝(26)

着丈　Wより16

◆製図順序（後ろから）

1 原型のWLから丈(16)を引き裾線とします。

2 胸囲線B(23.5)とH(26)を結びます。

3 脇線ハイWで1.5入り、裾0.5上り結びます。

4 ネックポイント3上げ、直角に0.5出し、後ろ中心4.5と結び、肩線もきれいに結び直します。

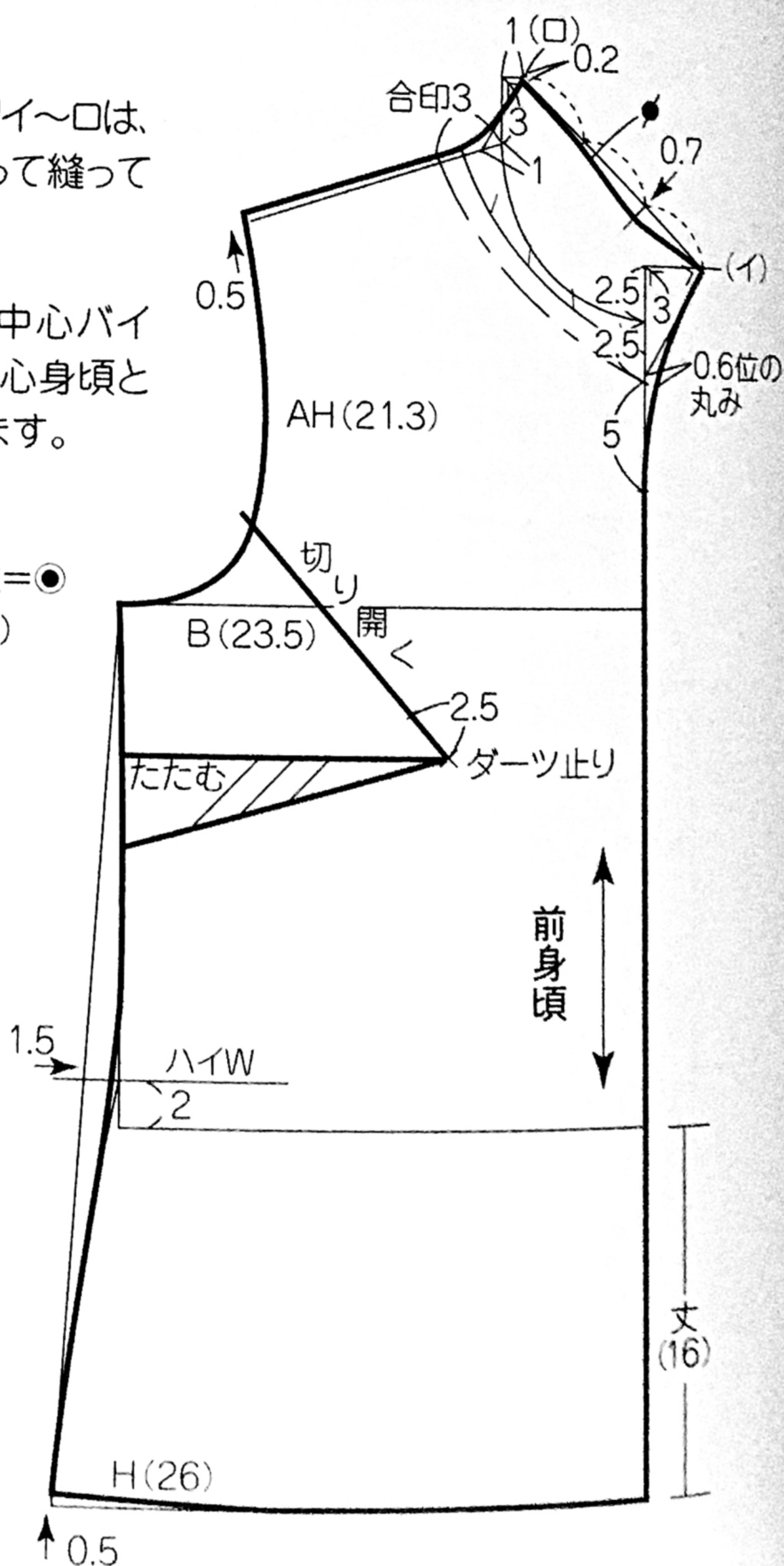
・前身頃衿ぐりイ〜ロは、特に引っ張って縫って下さい。

・見返しは前中心バイヤス、後ろ中心身頃と同じに裁ちます。

○首回り＋5位＝◉

●(後ろ衿ぐり)

◐(前衿ぐり)

●＋◐＝◉

◆製図順序（前身頃）

1 1〜3まで後ろ身頃と同じに引きます。

4 前後脇丈の差をBPと結び、切り開き線を引きます。

5 ネックポイント3上げ、直角に1印し、肩1と結びます。

6 前中心2.5上げ、直角に3出し(イ)とします。

7 (ロ)で0.2下げ、(イ)と結び、イを直角にして $\frac{1}{3}$ に0.7印し、美しいハイネックラインを引きます。

(注)袖の製図はP21を使用して下さい。

長袖のブラウス ── ハイネックに2本のダーツを入れました

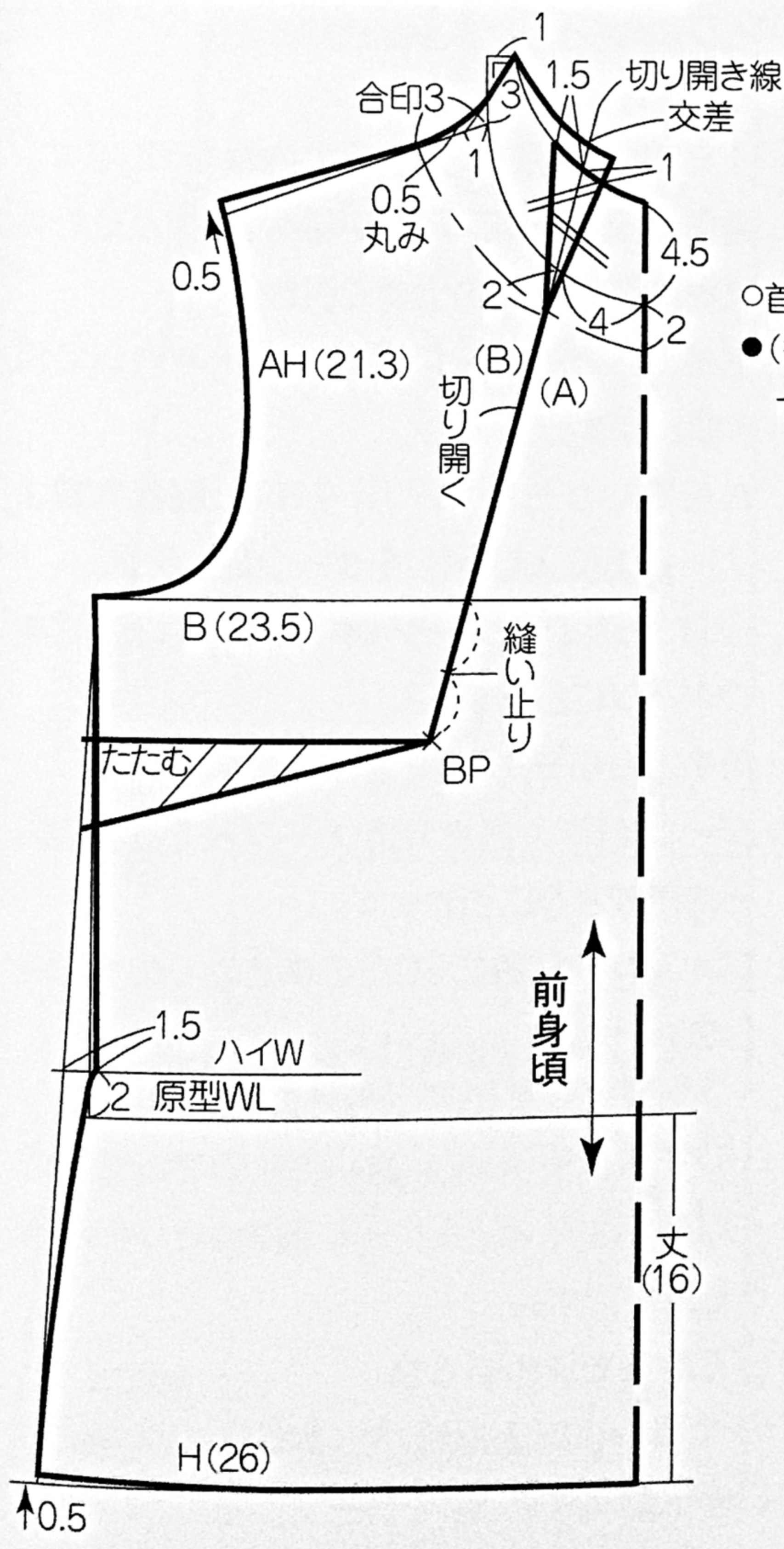
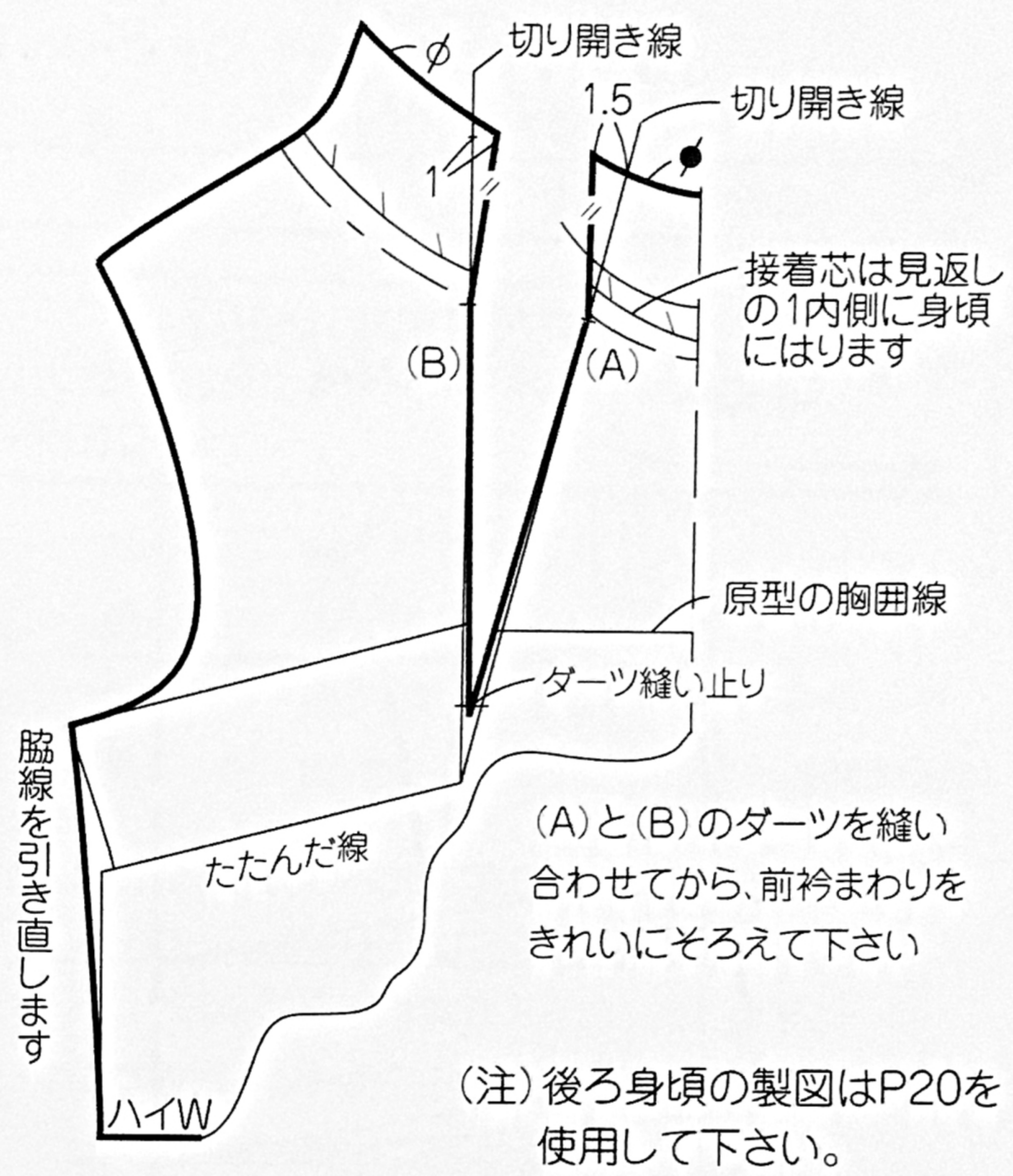
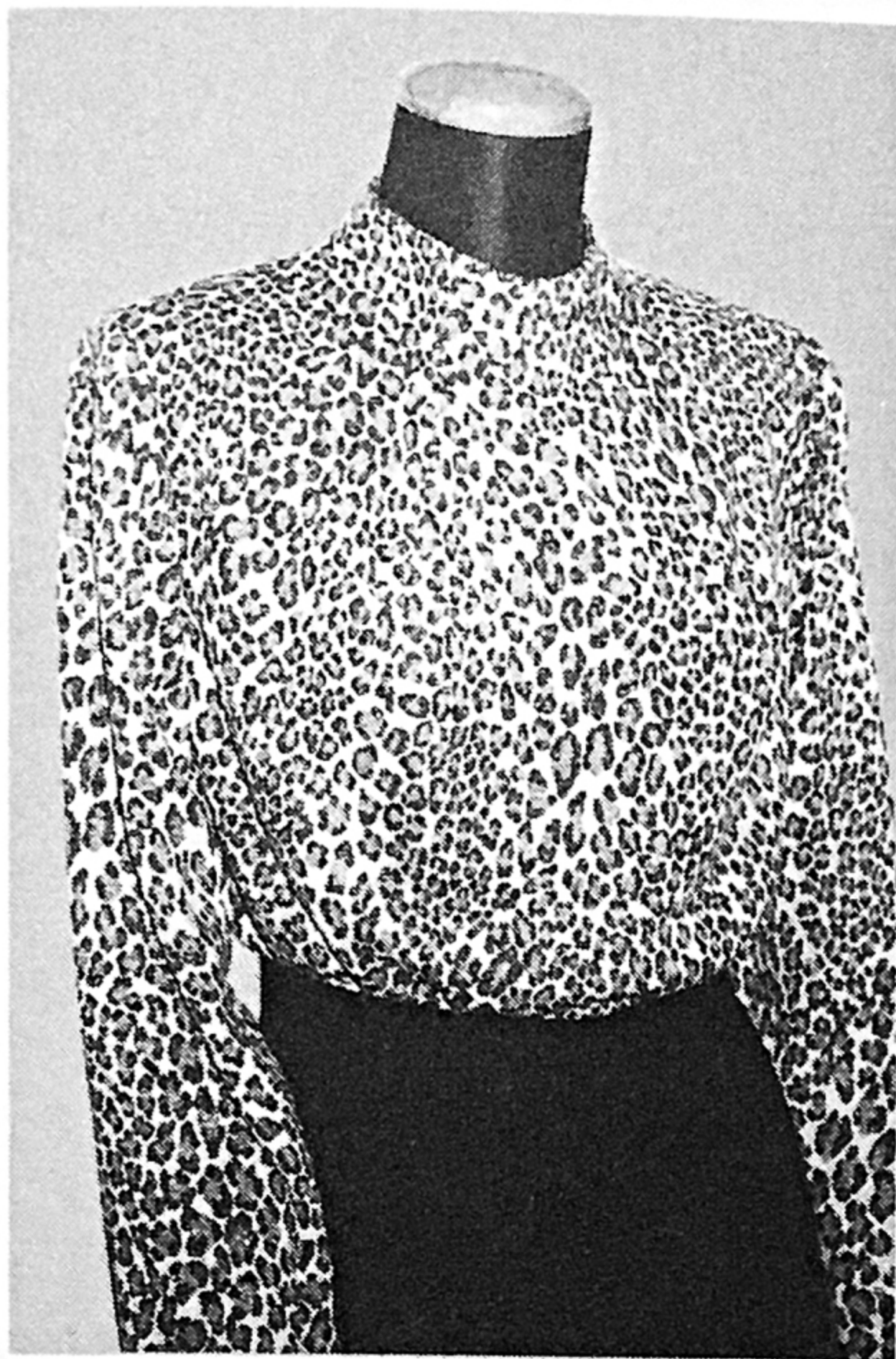
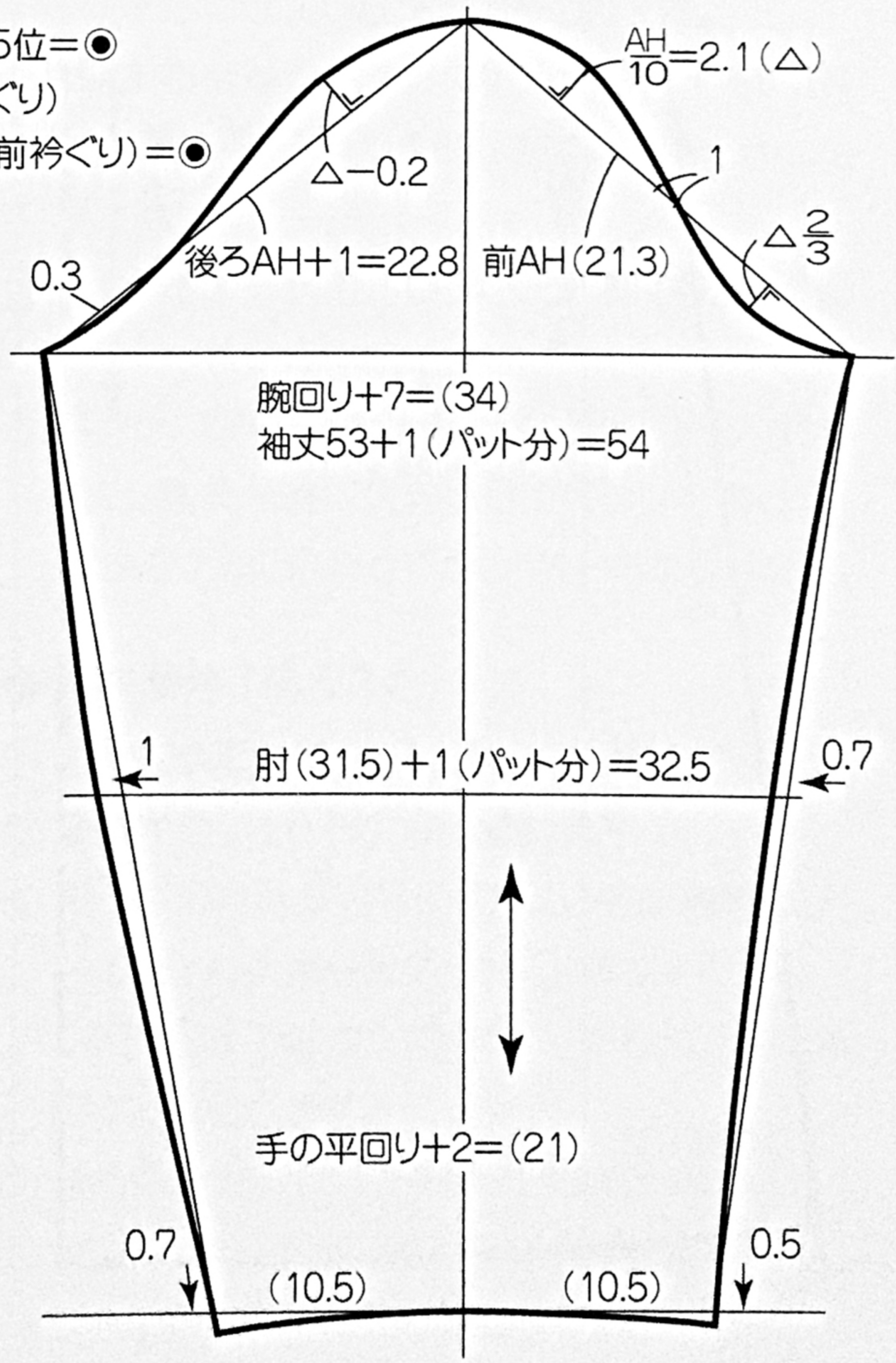
Ø
切り開き線
1.5
切り開き線
1
接着芯は見返しの1内側に身頃にはります
(B)
(A)
原型の胸囲線
ダーツ縫い止り
脇線を引き直します
たたんだ線
ハイW

(A)と(B)のダーツを縫い合わせてから、前衿まわりをきれいにそろえて下さい

(注)後ろ身頃の製図はP20を使用して下さい。

1
1.5
切り開き線
交差
合印3
3
1
0.5
丸み
1
4.5
0.5
2
4
2
AH(21.3)
(B)
(A)
切り開く
B(23.5)
縫い止り
たたむ
BP
前身頃
1.5
ハイW
2 原型WL
丈(16)
H(26)
0.5

○首回り+5位=◉
●(後ろ衿ぐり)
+Ø(前衿ぐり)=◉

$\frac{AH}{10}$=2.1(△)
△−0.2
1
$△\frac{2}{3}$
0.3
後ろAH+1=22.8
前AH(21.3)
腕回り+7=(34)
袖丈53+1(パット分)=54
1
肘(31.5)+1(パット分)=32.5
0.7
手の平回り+2=(21)
0.7
0.5
(10.5)
(10.5)

ロングスカート —— Aラインが美しい装いです

W出来上がり寸法　$68\frac{1}{4}=17$

◆用　　尺　110幅170cm/150幅90cm

◆作図寸法

W　　　68+2(いせ分)$=70\frac{1}{4}=17.5$
ミドルH　90+2(ゆとり分)$=92\frac{1}{4}=23$
H　　　94+4(ゆとり分)$=98\frac{1}{4}=24.5$
スカート丈　75

◆製図順序(前スカート)

① スカート丈(75)を製図用紙の端から測り引きます。
② H、ミドルH寸法を、矢印で案内線を印します。
③ 裾幅(32)を印し、H或いはミドルHと交わる点を結んで、WLの上まで引きます。
④ 裾線、WLともに$\frac{1}{3}$に直角をとり、きれいに引き直します。
⑤ W前中心から$\frac{W}{4}$(17.5)を印し、脇直角線より1〜1.5位入り、残りをダーツにします。
(△)3.5まではダーツ1本に、それ以上は2本のダーツにします。
⑥ 前中心から$\frac{W}{10}$+2(9)を印します。
⑦ ダーツを印し、長さ12をカーブ尺でお腹の丸みを出すように引きます。
⑧ ファスナー左脇に20.5のあき止りの合印をします。

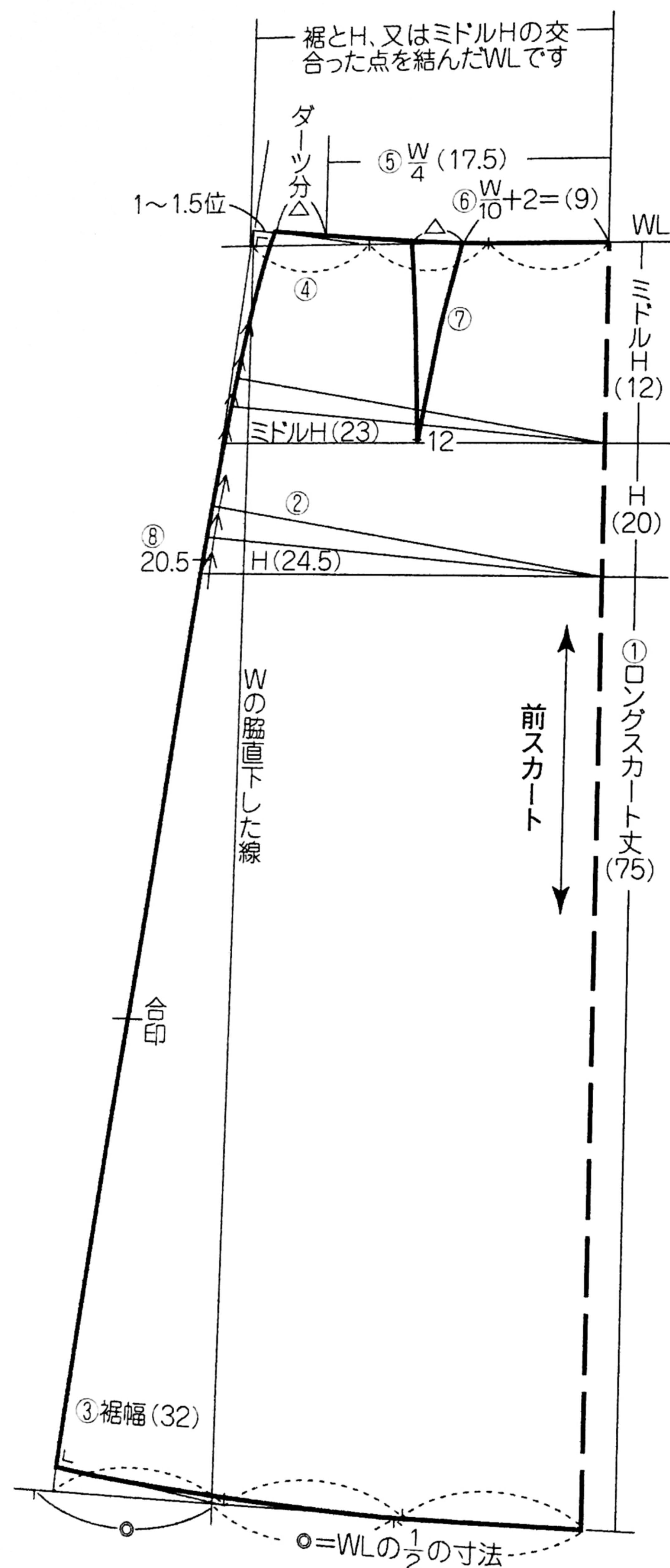
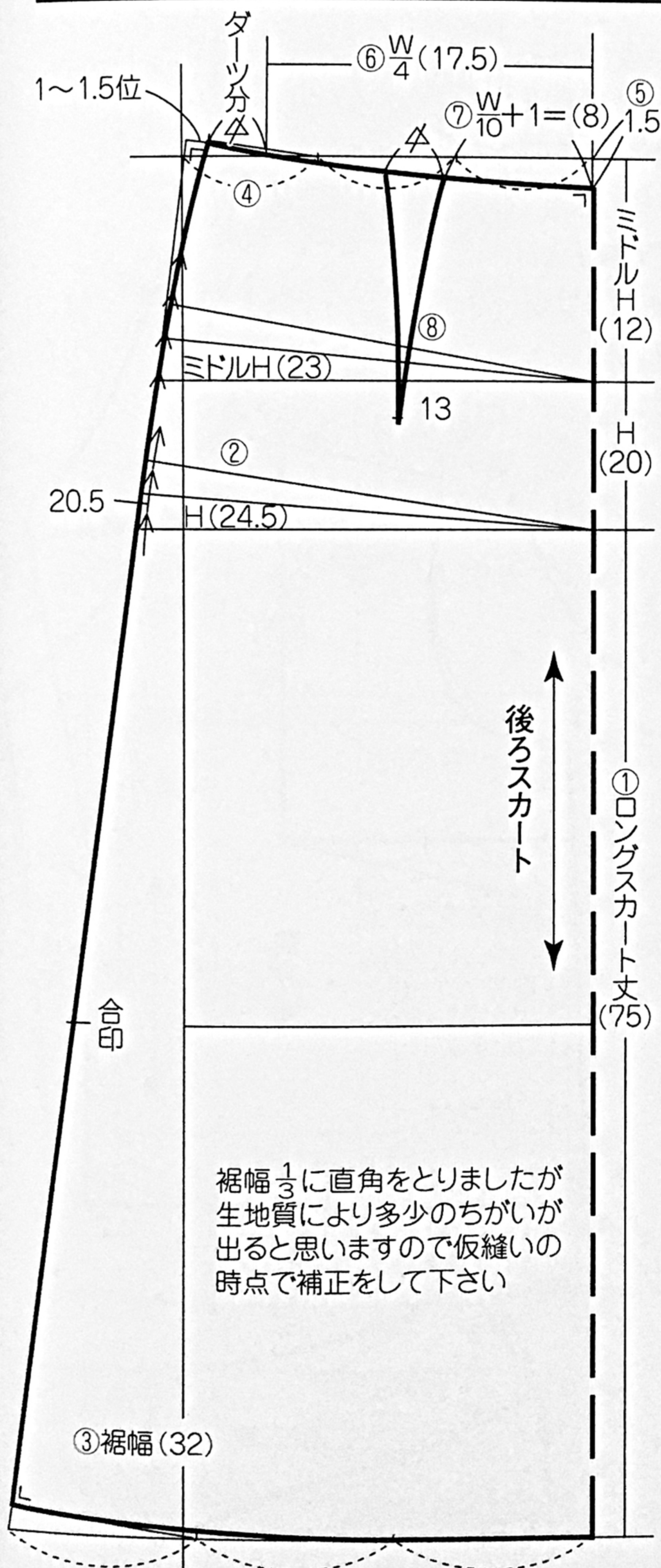
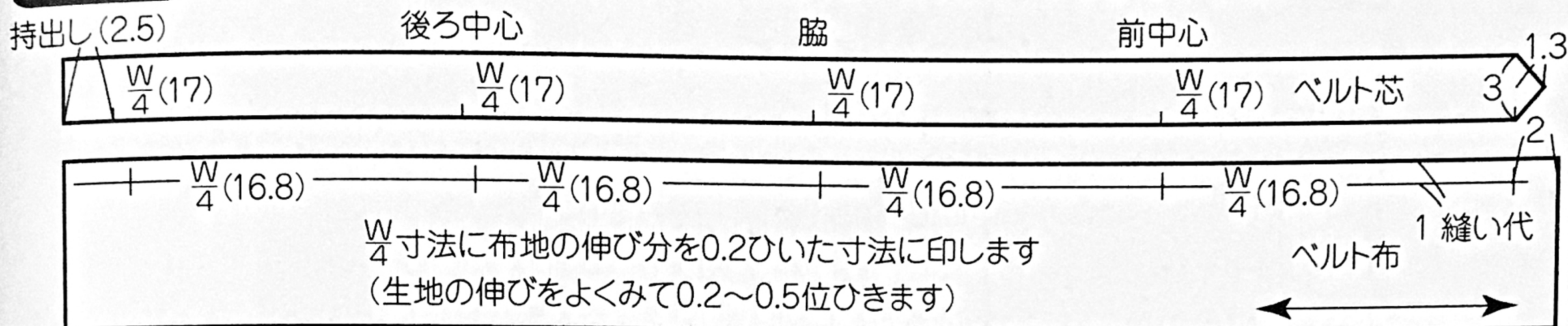
◎この寸法は一人一人違いますのでW寸法の$\frac{1}{2}$以内ではW、裾ともに$\frac{1}{3}$に直角をとります(後ろも同じです)。

◎$\frac{1}{2}$で直角を決める寸法
W寸法の$\frac{1}{2}$以上裾幅が出る場合はW、裾ともに$\frac{1}{2}$に直角をとります(後ろも同じです)。

部分縫い Wベルト布、芯のとりかた、印のつけかた（ウール、チリメンなど伸びる布）

持出し（2.5） 後ろ中心 脇 前中心
$\frac{W}{4}$(17) $\frac{W}{4}$(17) $\frac{W}{4}$(17) $\frac{W}{4}$(17) ベルト芯 3 1.3

2
$\frac{W}{4}$(16.8) $\frac{W}{4}$(16.8) $\frac{W}{4}$(16.8) $\frac{W}{4}$(16.8) 1 縫い代
$\frac{W}{4}$寸法に布地の伸び分を0.2ひいた寸法に印します
（生地の伸びをよくみて0.2〜0.5位ひきます）
ベルト布

ダーツ分 ⑥$\frac{W}{4}$(17.5)
1〜1.5位 ⑦$\frac{W}{10}$+1=(8) ⑤1.5
④
ミドルH(12)
⑧
ミドルH(23)
13
H(20)
②
20.5
H(24.5)
後ろスカート
①ロングスカート丈(75)
合印
裾幅$\frac{1}{3}$に直角をとりましたが
生地質により多少のちがいが
出ると思いますので仮縫いの
時点で補正をして下さい
③裾幅(32)

ベルト芯　幅3
長　さ　W寸法(68)+5=73
ベルト布　幅8（ほつれやすい布＋1=9）
長　さ　W寸法+5（布地の伸びにより異なります）

◆Wベルト、ベルト芯の印のつけかた
（ウール、チリメンなど少し伸びる布用）

① ベルト芯に霧を吹きアイロンをします。
② Wポイントを1.3位に作り、右端から$\frac{W}{4}$(17)を印して、持出し2.5をつけて切ります。
③ ベルト芯にはエンピツで印をつけます。
④ ベルト布は端から2印し、生地の伸び分を0.2ひいた寸法$\frac{W}{4}$(16.8)を印します。正確に印して下さい。
⑤ ベルト布のチャコが見えにくい、消えるようでしたら切り躾にします。
⑥ パンツ、スカート、キュロットなどベルトをつける前に、裏表一緒に大きい目でミシンを掛け、$\frac{1}{4}$ずつの寸法に合わせてからベルト布をつけます。

◆製図順序（後ろスカート）

① ①〜④まで前スカートと同じに引きます。
⑤ 後ろ中心で1.5下げ、引き直します。
⑥ 後ろ中心から$\frac{W}{4}$(17.5)を印し、脇直角線より1〜1.5位入り、残りをダーツにします。
（△）3.5まではダーツ1本に、それ以上は2本のダーツにします。
⑦ 後ろ中心から$\frac{W}{10}$(7)＋1=(8)を印します。
⑧ ダーツ（△）を印し、長さを13引きます。
ファスナー20.5の合印をします。

長袖のブラウス ── ペプラムのついたスリーピース

◆用　　尺　110幅170cm/150幅130cm

◆作図寸法　B　　84+14(ゆとり分)=98 $\frac{1}{4}$=(24.5)

W　　68+10(ゆとり分)=78 $\frac{1}{4}$=(19.5)

ミドルH　90+4(ゆとり分)=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

◆製図順序(後ろから)

1　B(24.5)直下し、脇裾線1出し結びます。

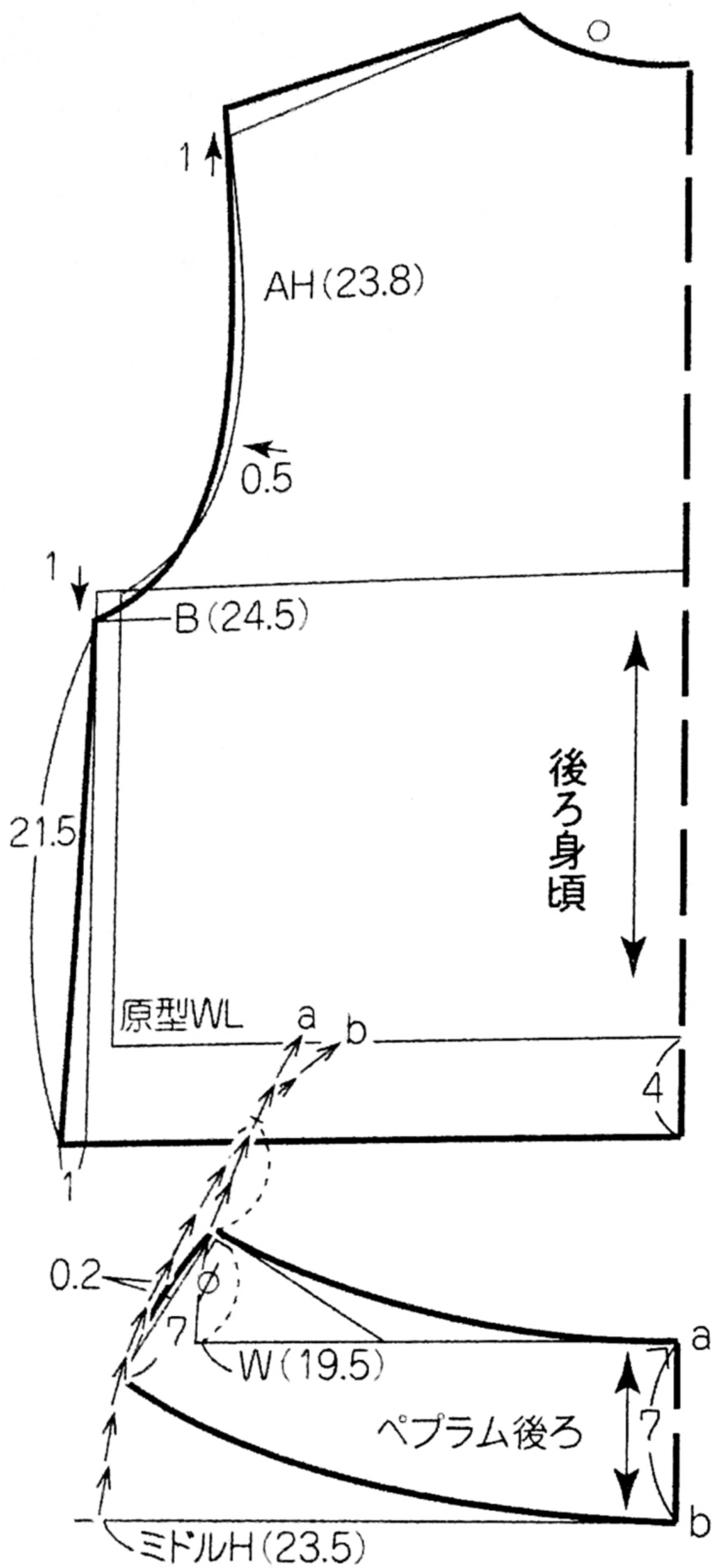
◆ペプラムの引きかた(前も同じように引きます)

1 幅7引きa点からW(19.5)を印します(矢印)。

2 ミドルH(23.5)b点から印します(矢印)。

3 a点とb点の交わる点でaの線を $\frac{1}{2}$ にします(ø)。

4 $\frac{1}{2}$ の点でb線(矢印)に7求めて結びます。

5 脇0.2出し、腰の丸みをつけます。

◆製図順序(前身頃)

① 前中心線を引き、持出し1.8を引きます。

② B(24.5)を直下し、脇線1出し結びます。

③ 前後脇丈の差をBPと結びます。

④ ネックポイントから衿腰2印し、胸囲線6.5下り、衿折り返し線を引きます。

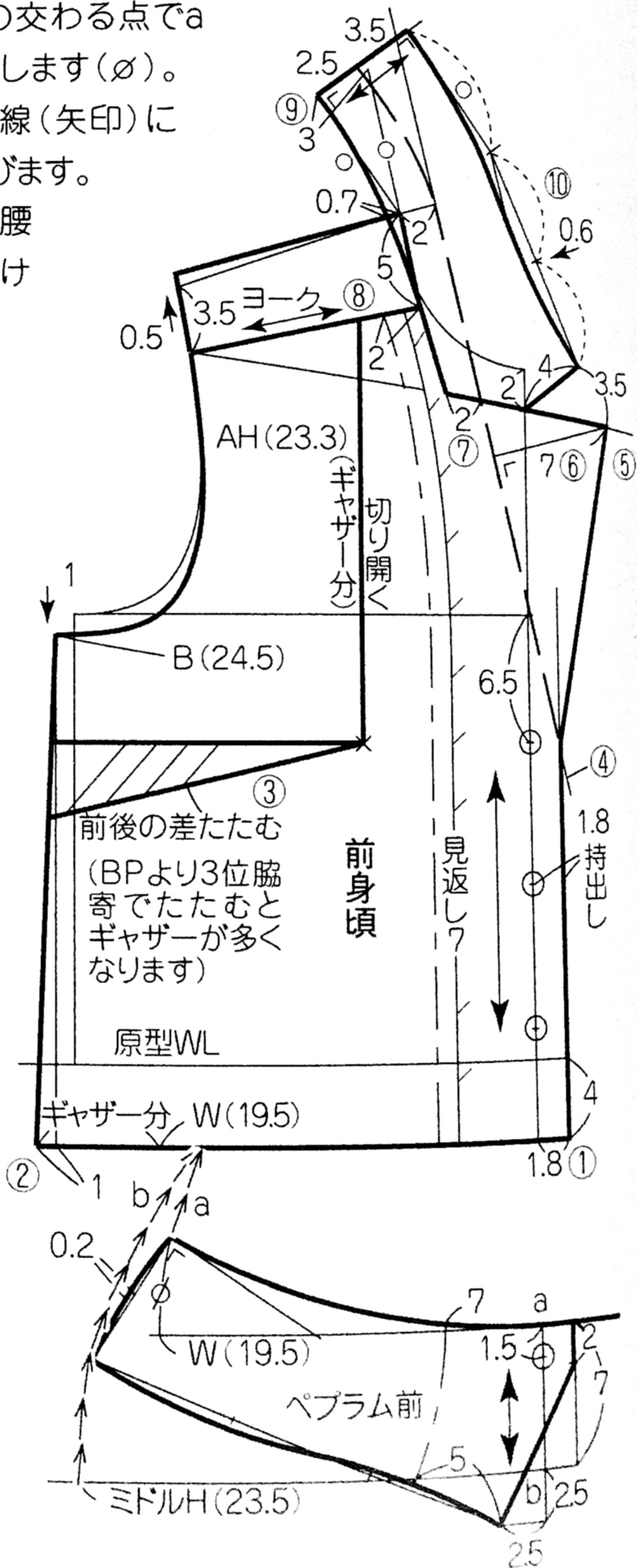
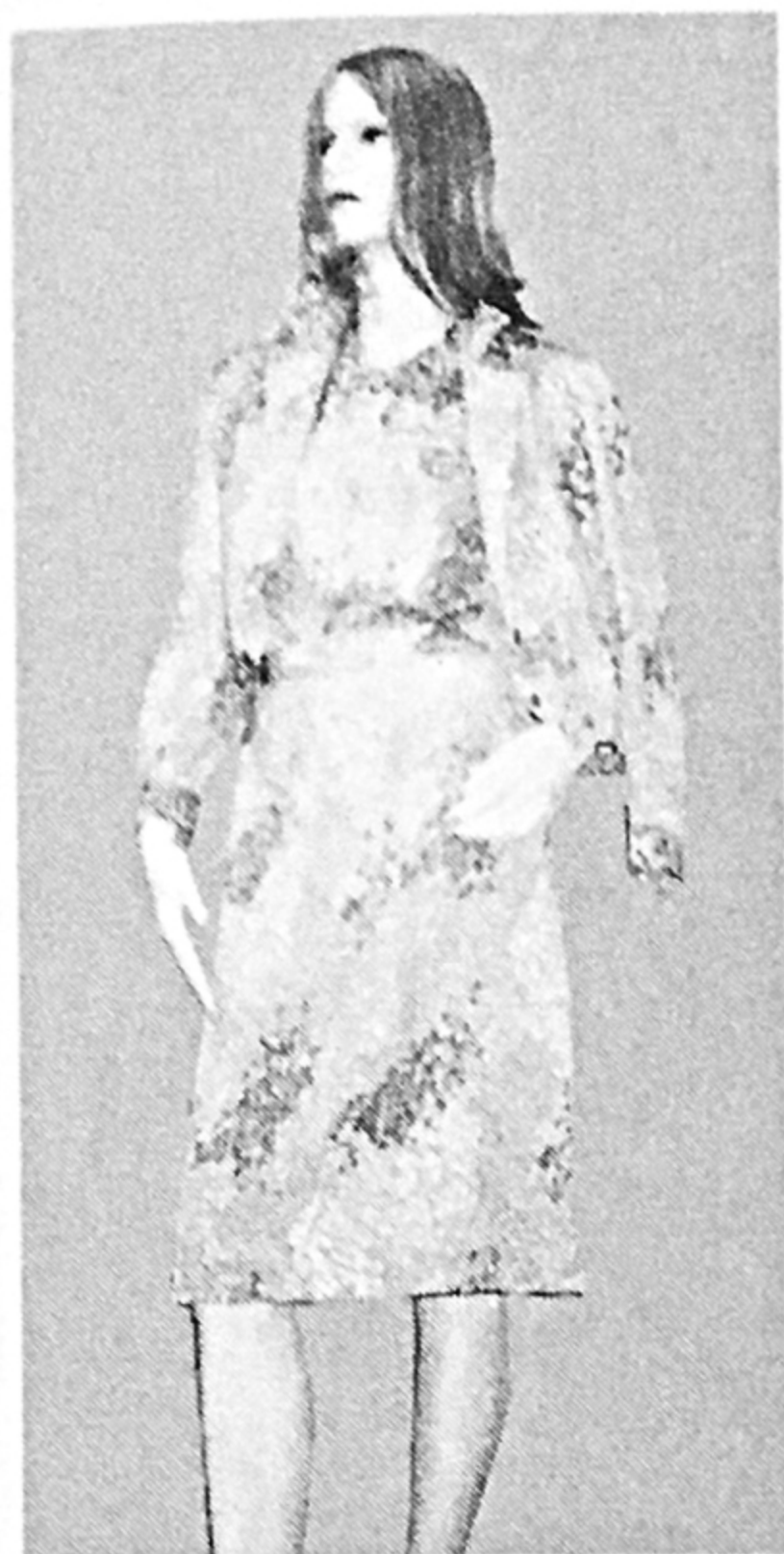
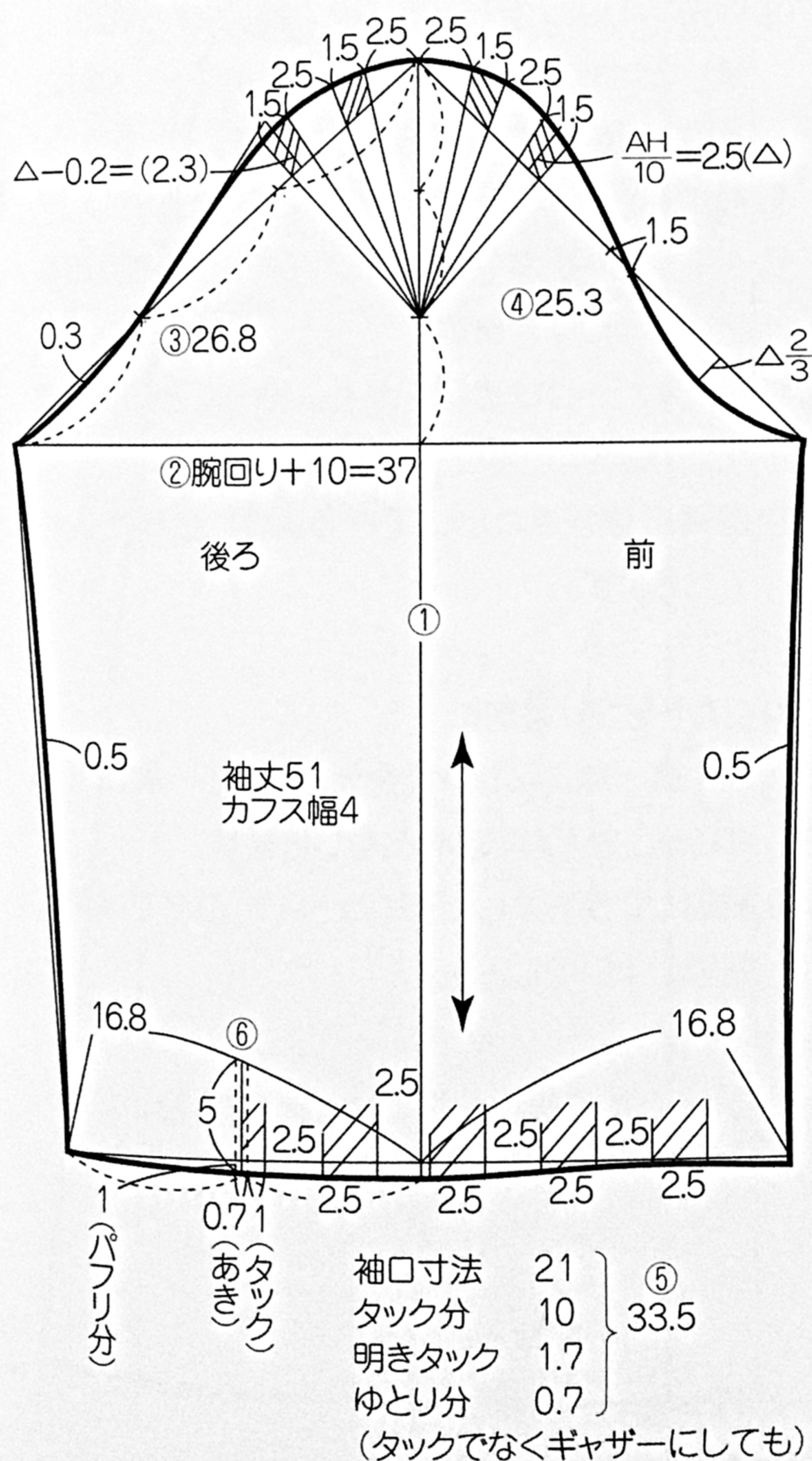
⑤ 原型肩先3.5下り、前衿ぐり2下り返り線を引きます。

⑥ 折り返り線に直角7印し、ラペルを引きます。

⑦ 折り返り線内側に2印し、ネックポイントと結びます。

⑧ ネックポイントから5下り肩3.5と結び、ヨークを引きます。

⑨ 衿腰2の平行線を引き、3ねかします。

⑩ 直角に衿腰、表衿幅をとり、外衿まわり線をDカーブルーラーで図のように引きます。

◆袖製図寸法

①袖丈＋1（パット分）＋1（パフリ分）＝55
55−4（カフス分）＝51

②腕回り＋10（ゆとり分）＝37

③前AH（23.3）＋2（タック分）＝25.3

④後ろAH（23.8）＋1＋2（タック分）＝26.8

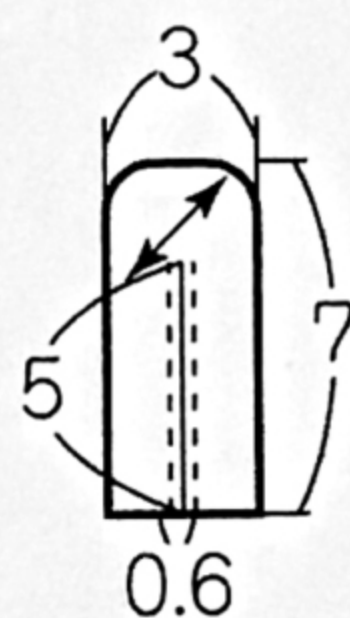
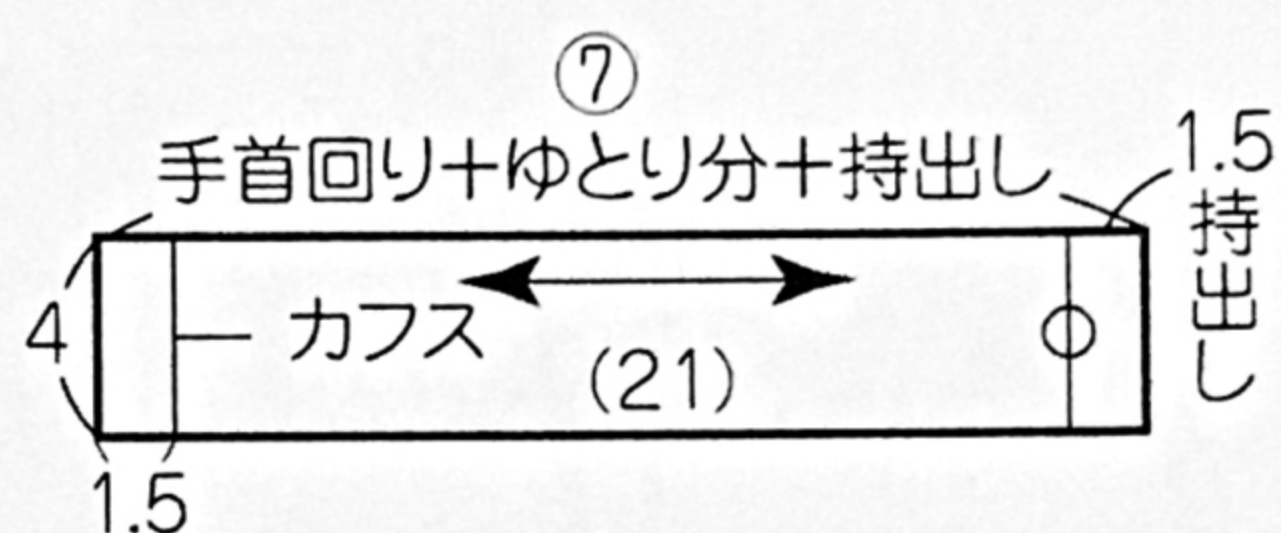
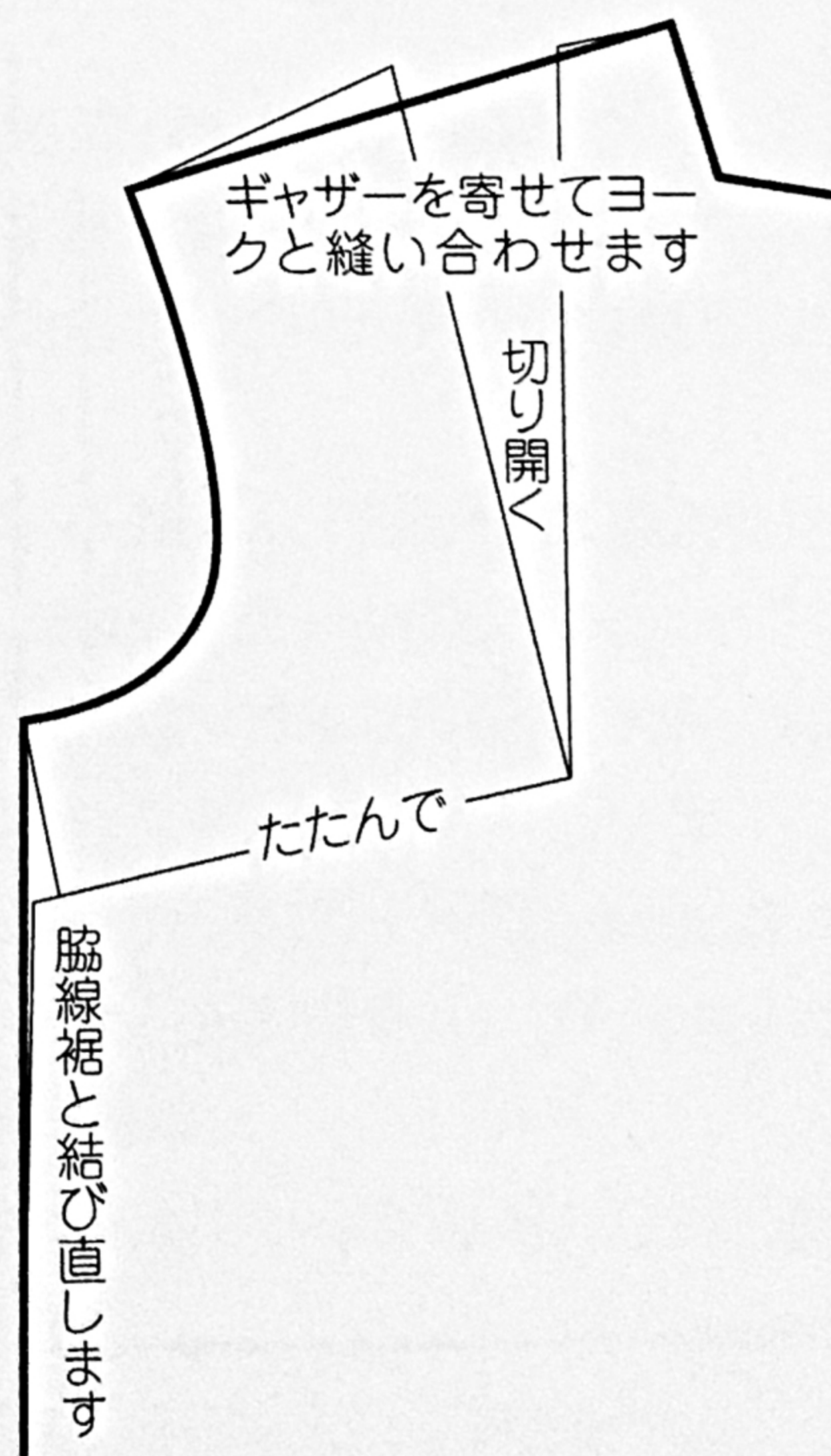
⑤袖口33.5（前後とも$\frac{1}{2}$ずつ引きます）

⑥後ろ袖口$\frac{1}{2}$にあきを作ります。

⑦カフス幅4、付寸法21
手首回り　16
16＋2（ゆとり分）＋3（持出し）＝21

○袖山のタックは図のように配分します。

袖口寸法	21	⑤ 33.5
タック分	10	
明きタック	1.7	
ゆとり分	0.7	

（タックでなくギャザーにしても）

袖口あきの見返し布（バイヤス）
幅0.3（0.6）に少し細かい目でミシンを掛け、ホヅレ留めにノリを付け、切り込みを入れ、見返しと縫い代に押さえミシンを掛けます。

スカート —— シルエットが美しいAライン

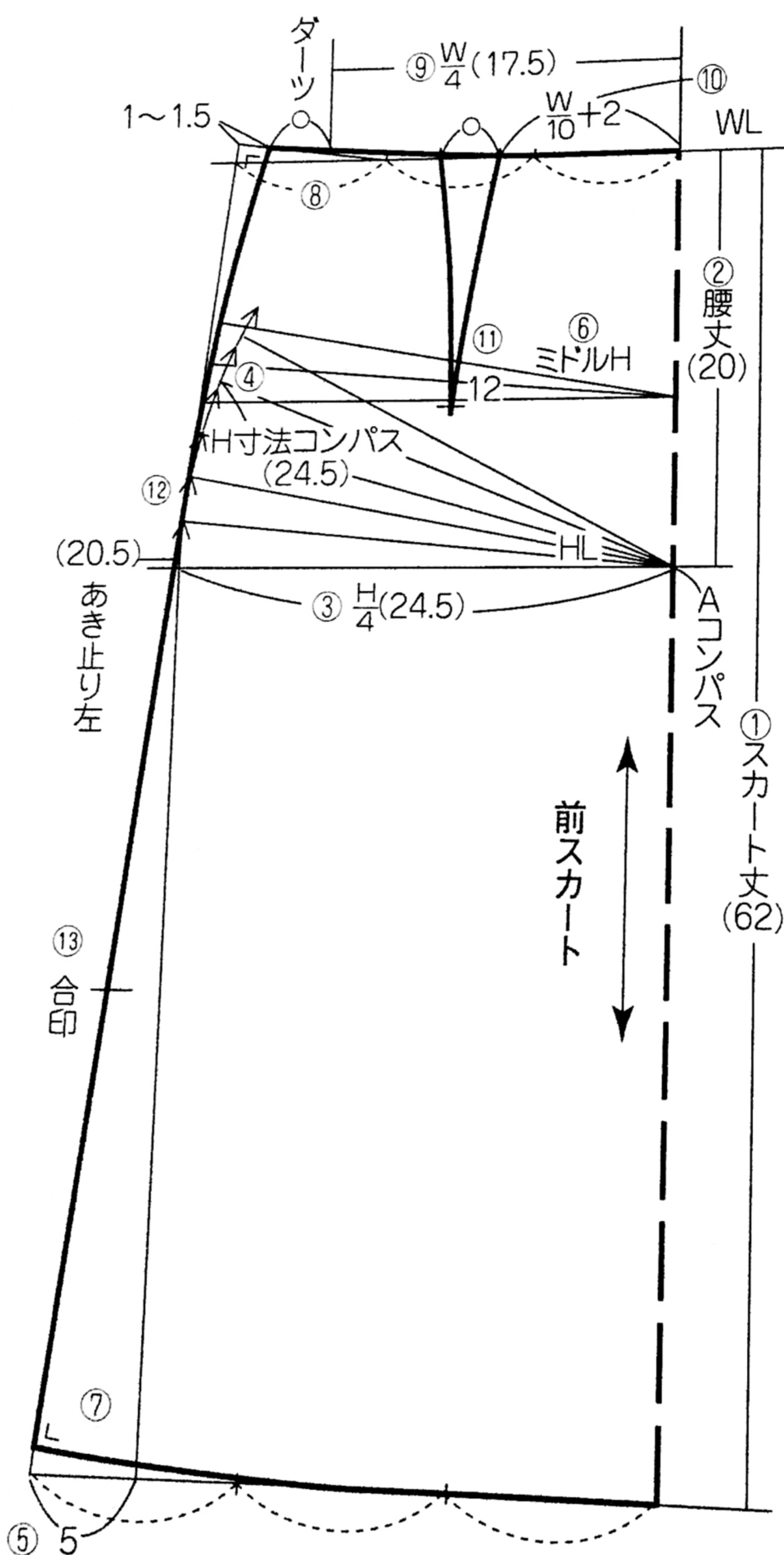
W出来上がり寸法　$68\frac{1}{4}=17$

◆用　　尺　110幅150cm/150幅80cm

◆作図寸法

W　68+2(いせ分)$=70\frac{1}{4}=(17.5)$

ミドルH　90+2(ゆとり分)$=92\frac{1}{4}=(23)$

H　94+4(ゆとり分)$=98\frac{1}{4}=(24.5)$

◆製図順序(前スカートから)

①スカート丈(62)がWLになります。製図用紙の端からはかり引きます。

②HLを引きます。

③ $\frac{H}{4}$(24.5)を裾線まで直下します。

④H(24.5)を案内線として、ミドルH位まで矢印をします(ノートではコンパスを使用する)。

⑤裾幅を(5)出し、H案内線(24.5)の交わりを結んでWLの上まで引きます(脇線になります)。

⑥ミドルHの寸法を確かめます(Wから12位)。

⑦裾線 $\frac{1}{3}$に直角にし、引き直します。

⑧脇線WL $\frac{1}{3}$に直角にし、引き直します。

⑨W前中心より $\frac{W}{4}$(17.5)印し、脇より1.5位印し、残りを(○)ダーツに、(○)3.5迄はダーツ1本に、それ以上は2本のダーツにします。

⑩前中心から $\frac{W}{10}$(7)+2=(9)を印します。

⑪ダーツ(○)長さ12をカーブ尺で、お腹の丸みを出すように引きます。

⑫ファスナー付け止り左Wより20.5に合印をします。

⑬脇縫の線がきれいにできるように合印を入れておきます。

○ベルトをつける前に
表と裏一緒にミシン目を大きくして一周し、「いせこみ」を入れベルト布をつけます。

○裾幅(5)出しましたが(2)〜(7)位までは同じ製図でよいでしょう。

(注)P5の布の扱いかた(地伸し、裁断、縫いかた)を参考にして下さい。

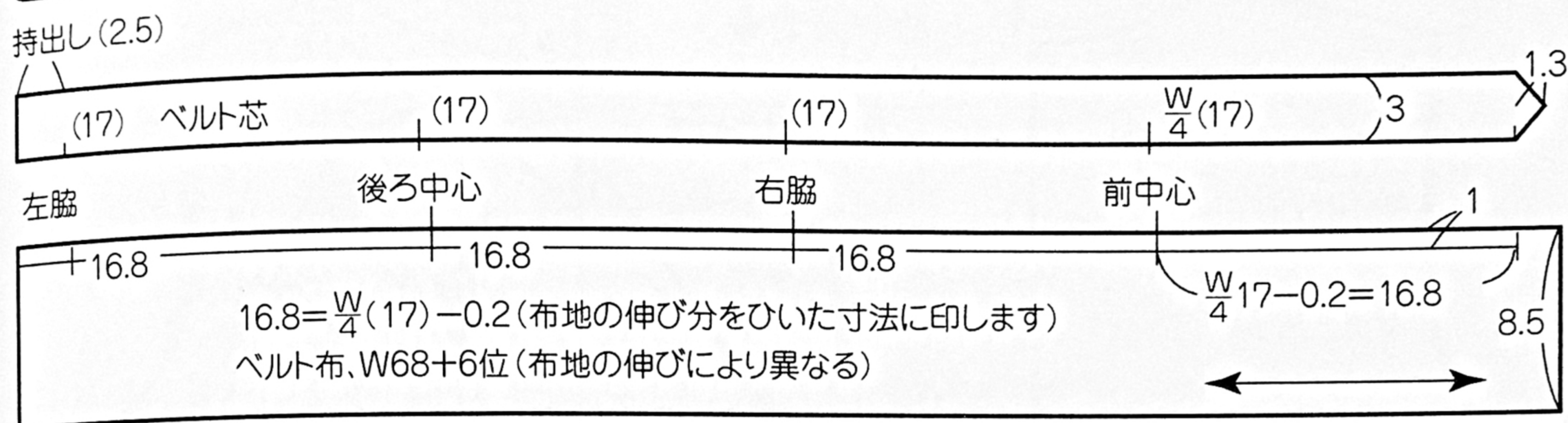
部分縫い Wベルト布、芯のとりかた、印のつけかた（ウール、チリメンなど伸びる布）

持出し(2.5)　(17)　ベルト芯　(17)　(17)　$\frac{W}{4}$(17)　3　1.3

左脇　後ろ中心　右脇　前中心　1

16.8　16.8　16.8　$\frac{W}{4}$17−0.2=16.8　8.5

16.8=$\frac{W}{4}$(17)−0.2（布地の伸び分をひいた寸法に印します）

ベルト布、W68+6位（布地の伸びにより異なる）

W出来上り寸法(68)$\frac{1}{4}$=(17)を印します

○ 布地の伸びをみて下さい。
ウール地のつけかた（いくぶん伸びます）。

○ ベルト芯

1 ベルト芯に霧を吹きアイロンをします。

2 Wポイントを1.3位に作り、図のように右端から$\frac{W}{4}$(17)を印して、持出し2.5をつけて切ります。

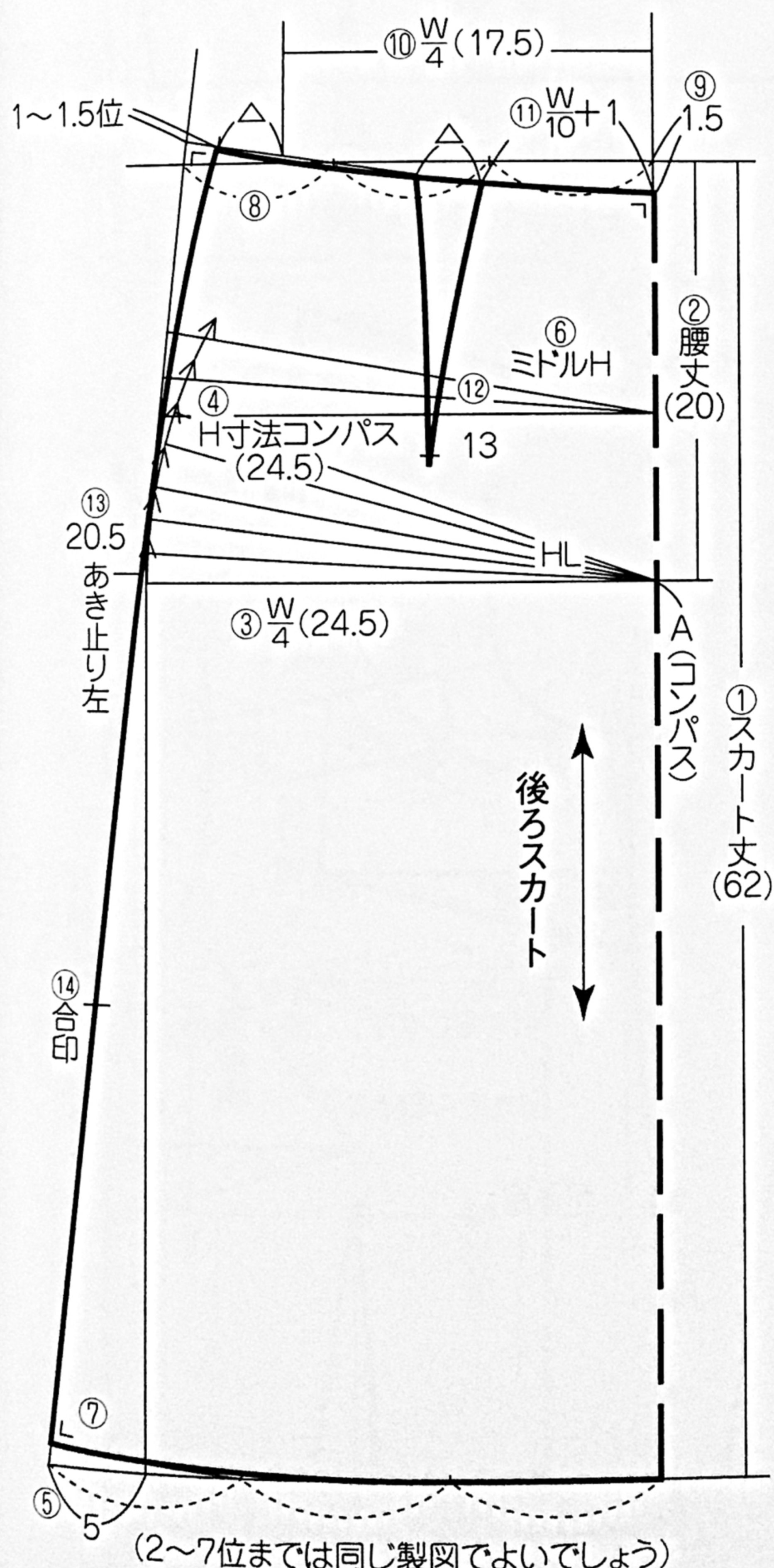
○ ベルト布

ベルト布長さW(68)+5=73

ベルト布幅6+2.5（縫い代）=8.5

印はチャコ又は切り躾にします。

⑩$\frac{W}{4}$(17.5)　1〜1.5位　⑪$\frac{W}{10}$+1　⑨1.5　⑧　⑥ミドルH　⑫　②腰丈(20)　④H寸法コンパス(24.5)　13　⑬20.5　あき止り左　HL　③$\frac{W}{4}$(24.5)　A（コンパス）　①スカート丈(62)　後ろスカート　⑭合印　⑦　⑤　5

（2〜7位までは同じ製図でよいでしょう）

◆製図順序（後ろスカート）

① ①〜⑧までは前スカートと同じです。

⑨ 後ろ中心で1.5下げ、きれいな後ろWLを引きます。

⑩ 後ろ中心より$\frac{W}{10}$(17.5)印し、脇より1〜1.5位印し、残り(△)ダーツにします。
◎WとHの差の多い方は2本のダーツになると思います。

⑪ 後ろ中心から$\frac{W}{10}$(7)+1=(8)を印します。

⑫ ダーツ(△)長さ13をカーブ尺で丸みを出すように引きます。

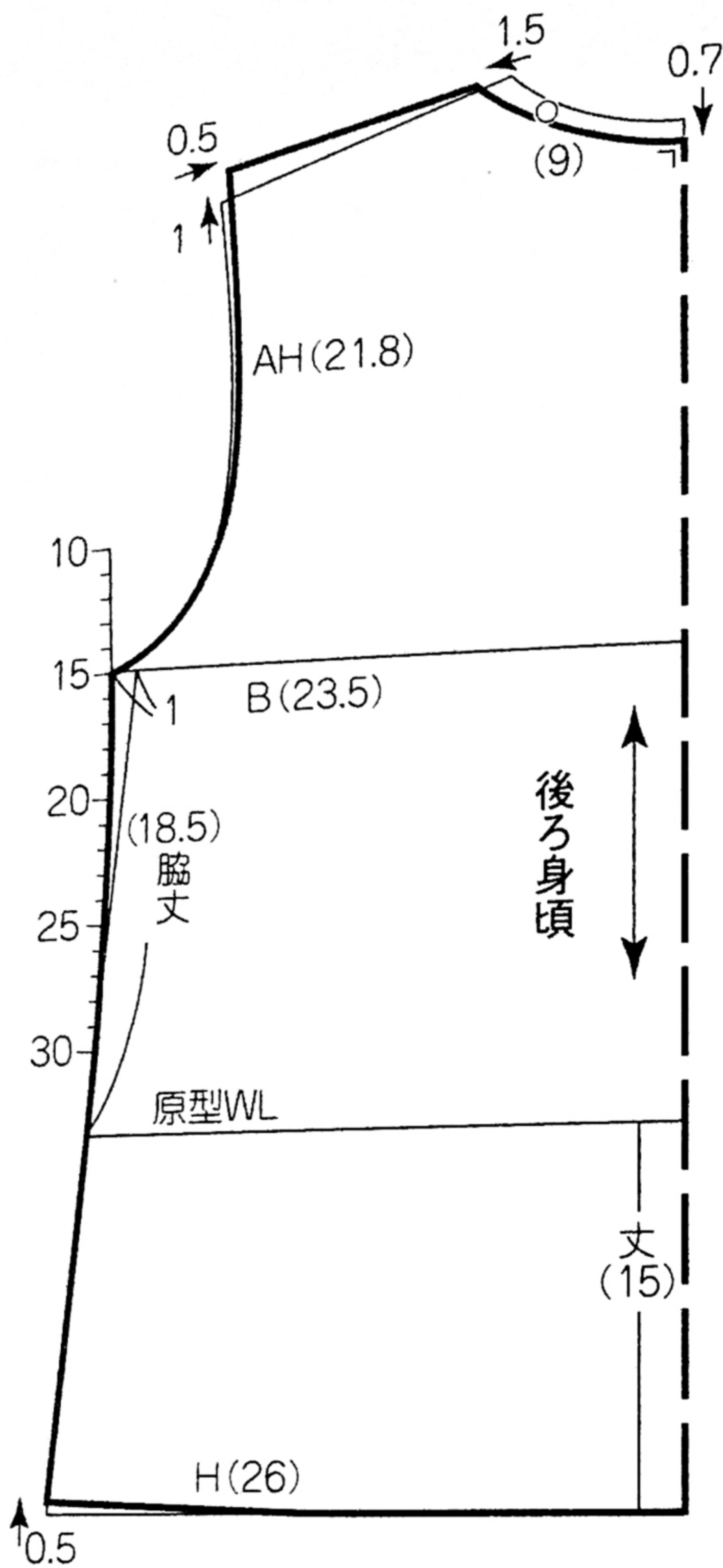
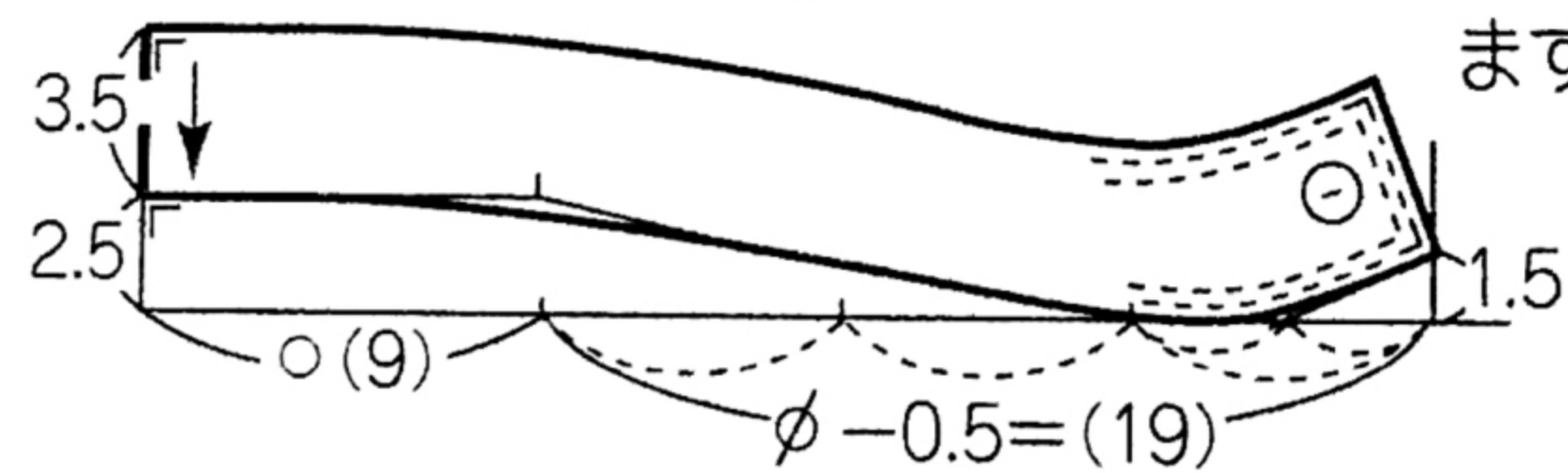
⑬ ファスナー付け止り左Wより20.5に合印をします。

⑭ 脇縫線に合印を入れておきます。

半袖のブラウス――マオカラーが素敵なスーツ

◆用　尺　110幅150cm/150幅110cm

◆作図寸法　B　84+10=94 $\frac{1}{4}$ =(23.5)

H　94+10=104 $\frac{1}{4}$ =(26)

◆製図順序（後ろから）

1 B(23.5)の1内側とH(26)を案内線として結び、カーブ尺でBと結び直します。

2 脇丈、AH、首回りをはかり印します。

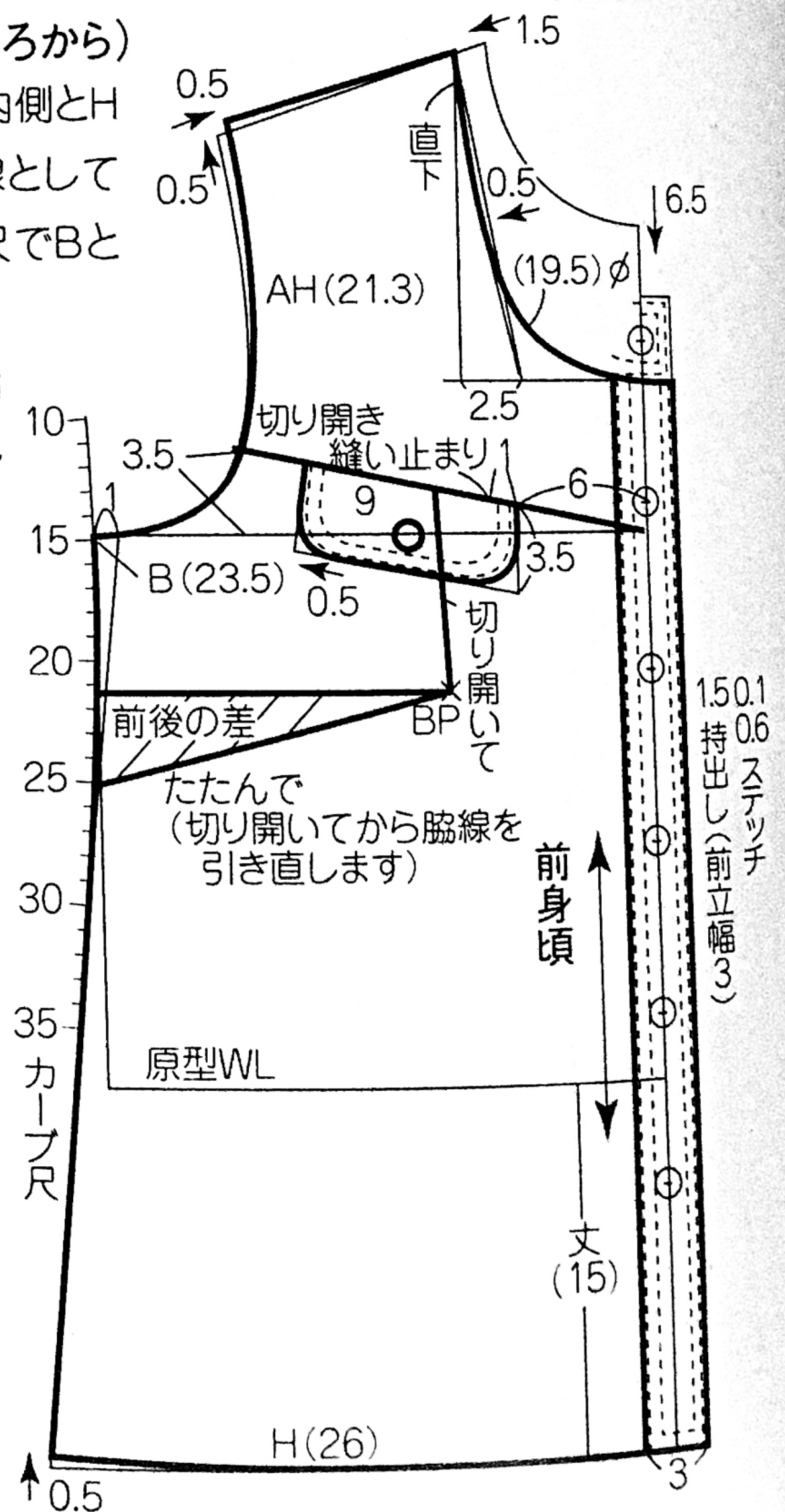
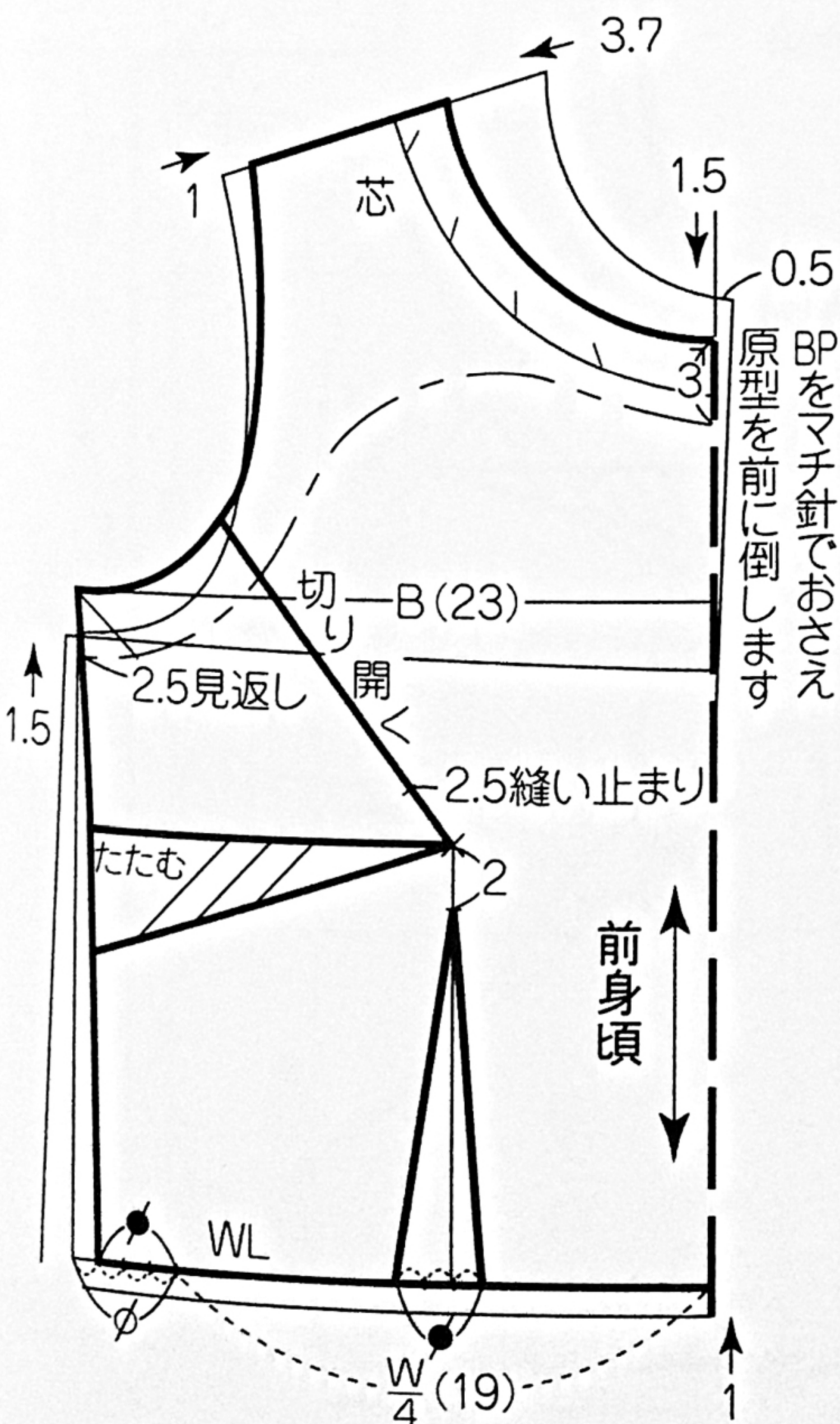
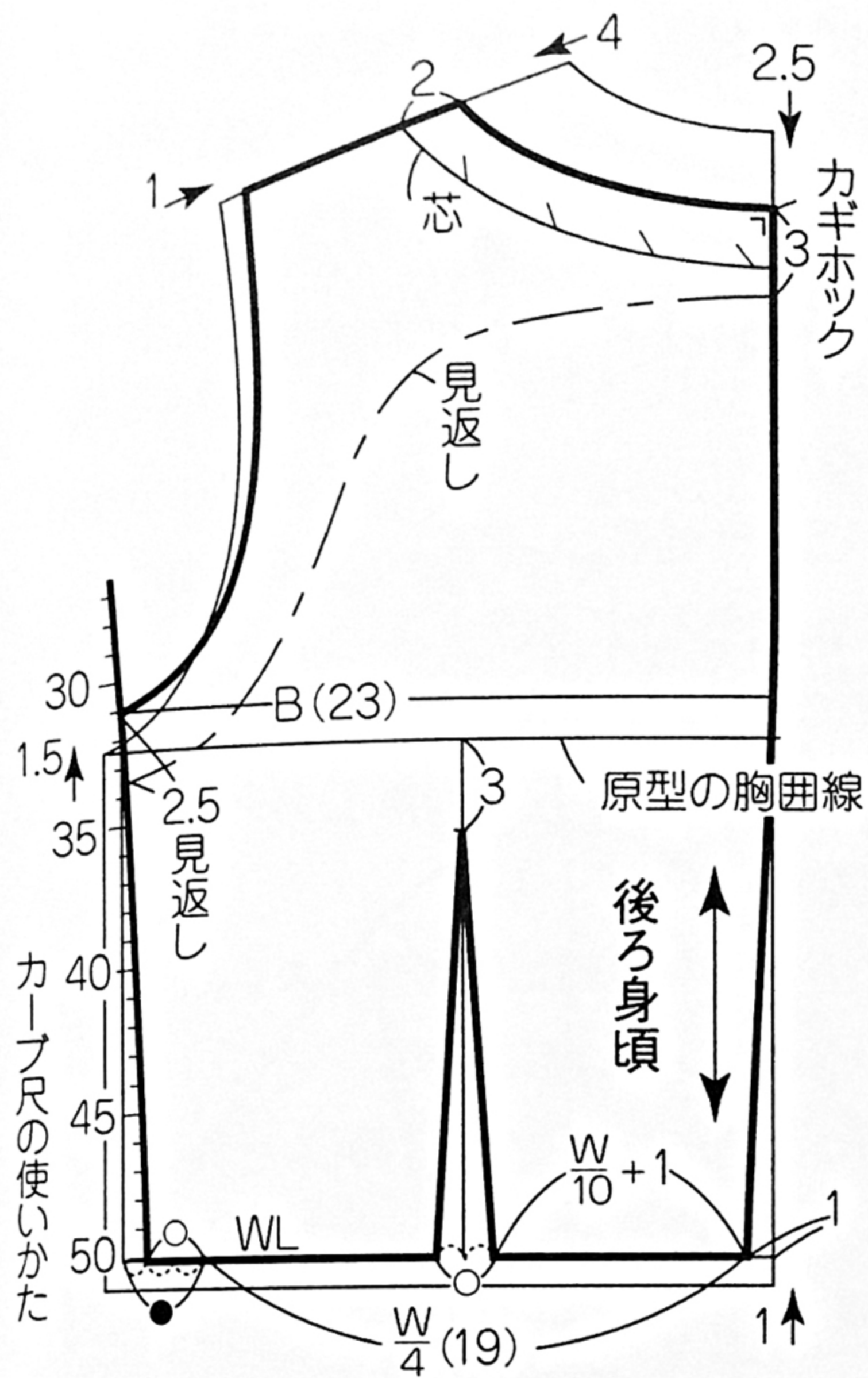
◆製図順序（前身頃）

1 B(23.5)の1内側とH(26)を案内線として結び、Bと結び直します。

2 前後脇丈の差をBPと結びます。

3 前中心線とAHの3.5を結び、BPと切り開き線を引きます。

4 前中心から6印し、9のポケットをとります。飾りフラップポケットの下から、ギャザーが出ます。
衿ネックポイントで1.5印し直下し、前6.5下げます。

5 衿は必ず仮縫いをしてから本縫いになります。

ワンピース ―― ゆったり過ごす時間の装いに（ノースリーブ）

◆**用　　尺**　110幅230cm/150幅150cm

◆**作図寸法**

B　84+8（ゆとり分）=92$\frac{1}{4}$=（23）

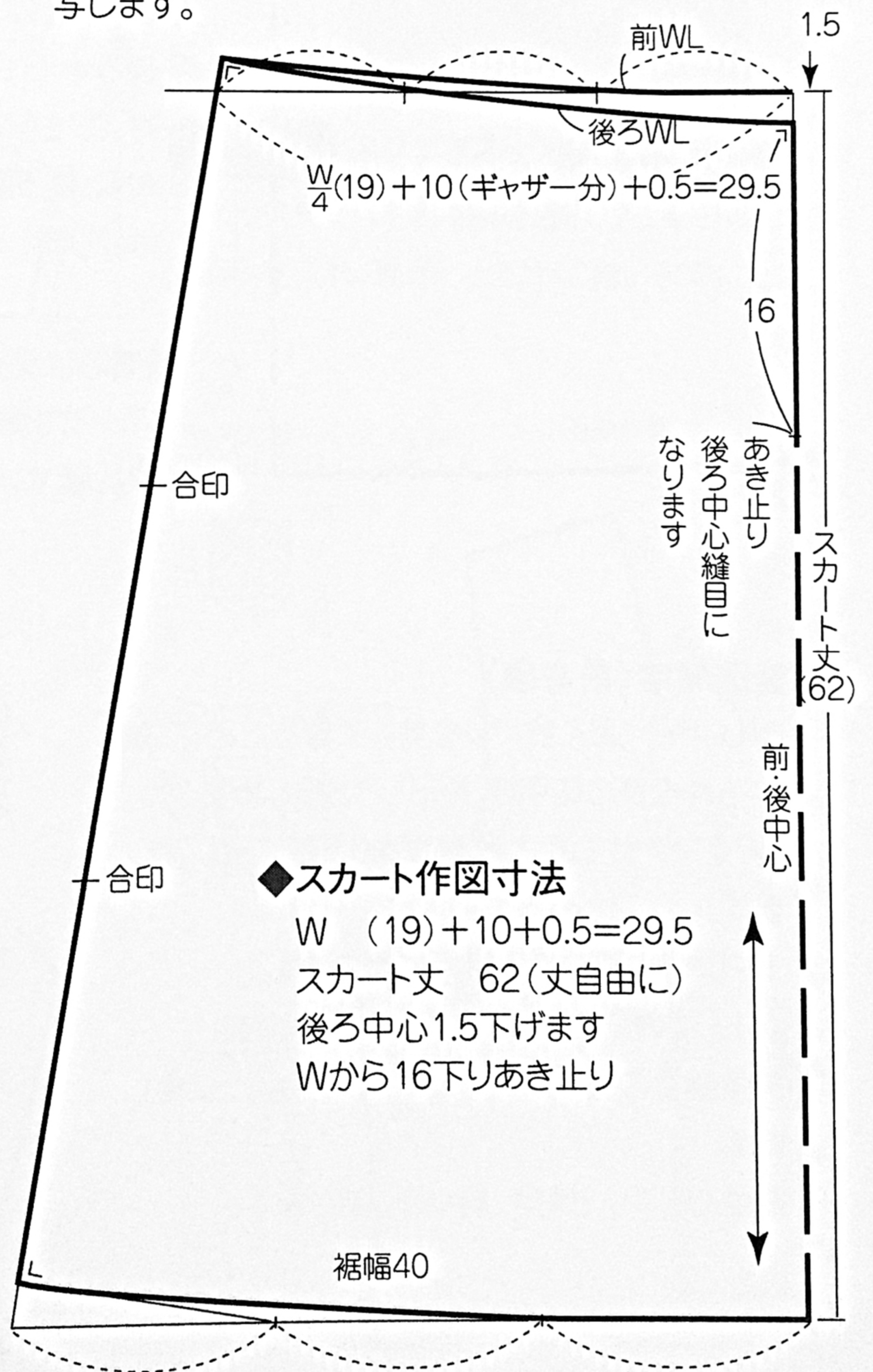
W　68+8（ゆとり分）=76$\frac{1}{4}$=（19）$\frac{W}{10}$=7.6

◆**製図順序（後ろから）**

1 ワンピースの背丈は1短くし、WLとします。

2 B（23）をWLまで直下し、ダーツをとります。

◆**製図順序（前身頃）**

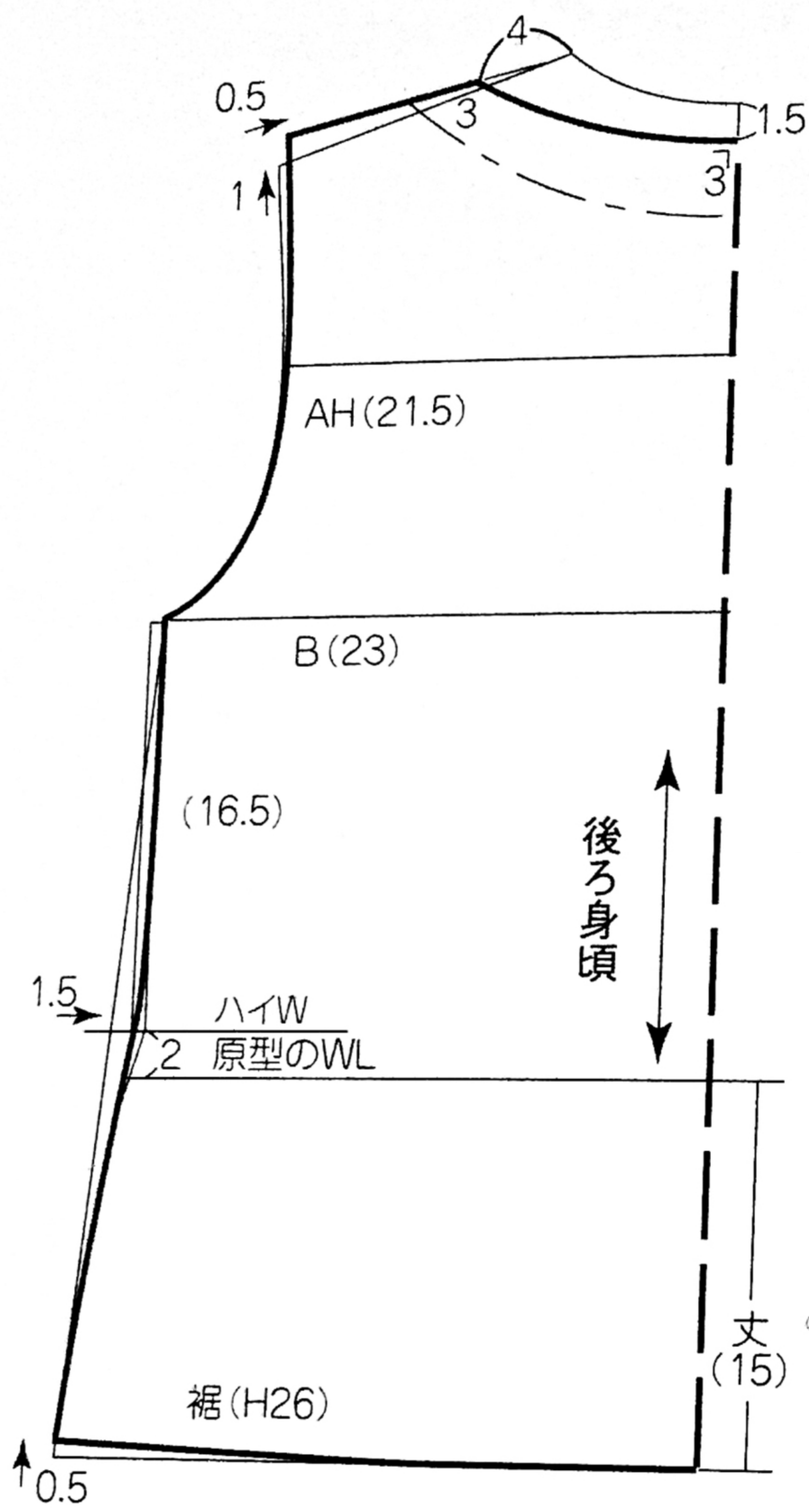
1 少し大きくあく衿ぐりを美しく着るために、前中心線、WLを引き、BPをマチ針でおさえ、原型を0.5前に倒し写します。

◆**スカート作図寸法**

W　（19）＋10+0.5=29.5

スカート丈　62（丈自由に）

後ろ中心1.5下げます

Wから16下りあき止り

半袖のブラウス — スクエアネックのソフトスーツ（ギャザーが入ったチューリップスリーブ）

◆用　　尺　110幅150cm/150幅110cm

◆作図寸法

B　84+8=92$\frac{1}{4}$(23)　　着丈　WLから16

H　94+10=104$\frac{1}{4}$(26)　　薄手の接着芯

◆製図順序（後ろから）

1 原型WLから丈15引き裾線とします。

2 ハイW、原型のWLから2上に引きます。

3 原型の胸囲線で(23)印し、裾線H(26)と結びます。

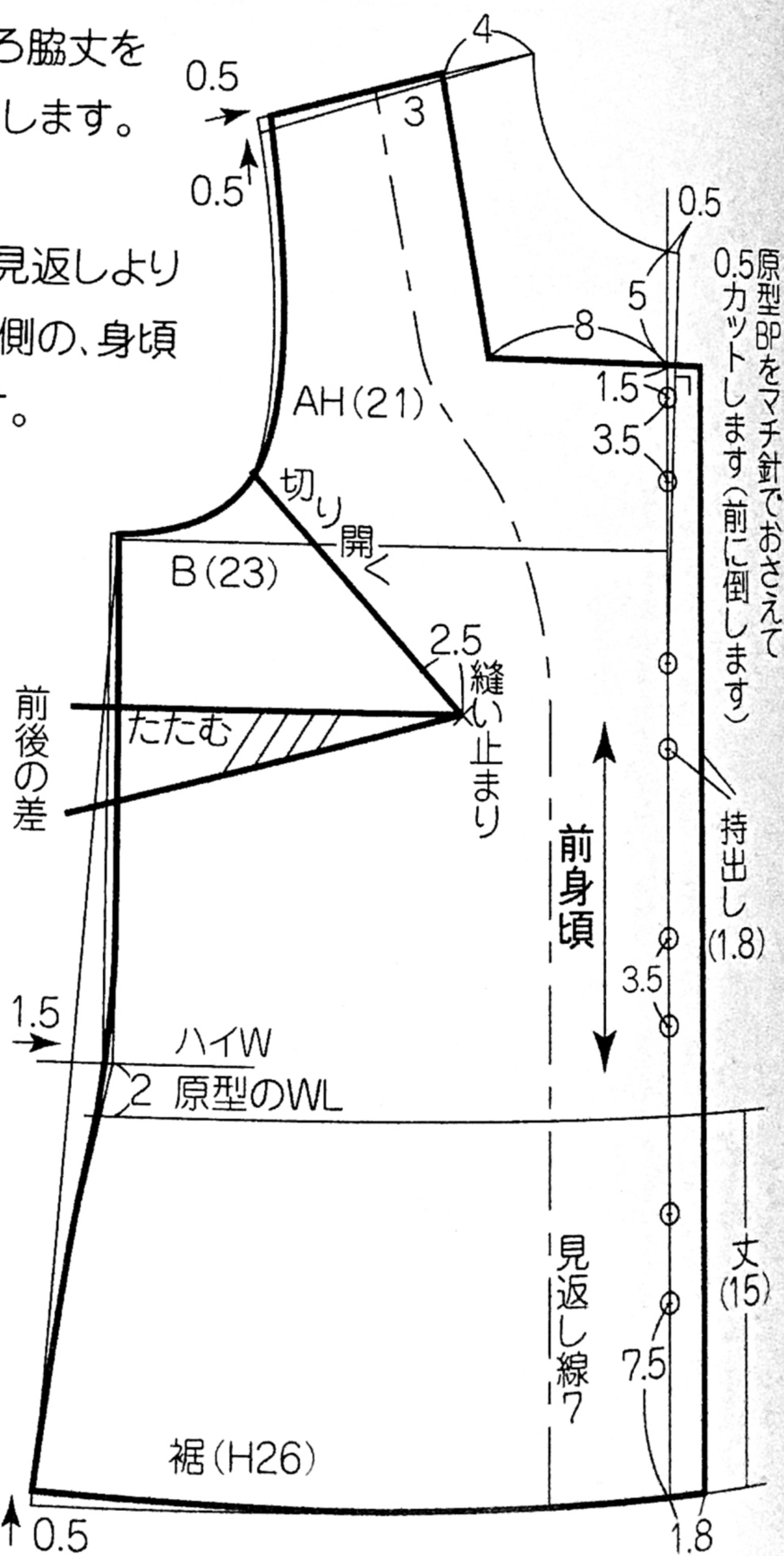
4 脇線ハイWで1.5入りカーブ尺で引き、Dカーブルーラーで角をきれいになくします。

5 脇線裾0.5上げ、きれいな裾線に引き直します。

6 肩先1上げ、ネックポイントと結びます。

7 後ろ中心1.5下げ、ネックポイント4と結び、きれいな後ろ衿ぐりを引きます。

8 AHと後ろ脇丈をはかり印します。

○接着芯は見返しより0.7〜1内側の、身頃にはります。

◆製図順序（前身頃）

少し大きくあく衿ぐりを美しく着るために、前中心線を長めに引き、持出し1.8出します。BPをマチ針でおさえ、原型を0.5前に倒し写します。

1　1〜5まで後ろと同じように引きます。

6　AH$\frac{1}{3}$位の所とBPを結び、切り開きます。

7　前後脇丈の差をたたみ、次ページのように直します。

8　前中心5下り、8引き、肩4印し結びます。

ギャザーが入ったチューリップスリーブ

◆作図寸法

腕回り　27+7（ゆとり分）=34

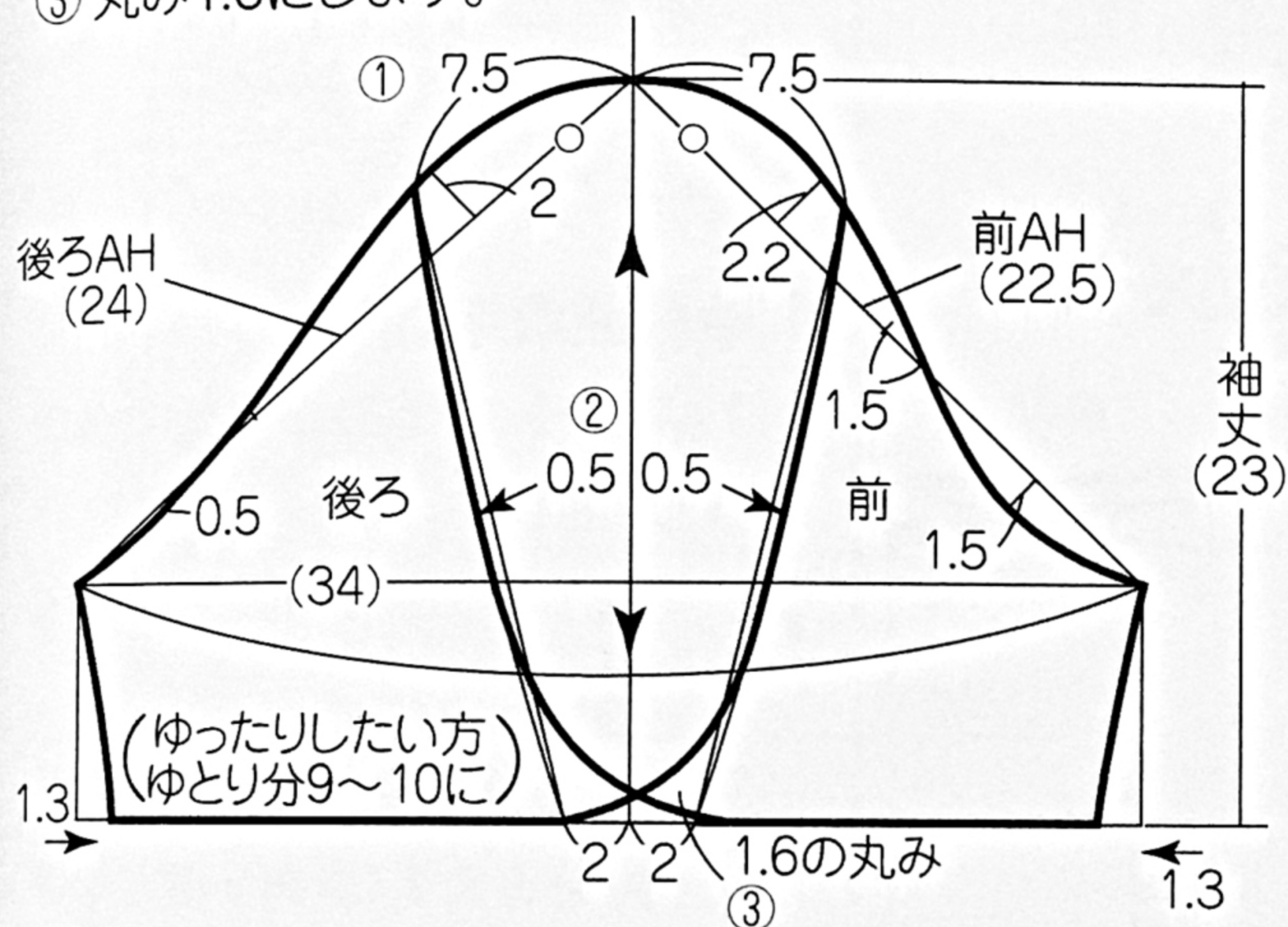
前ＡＨ　（21）+1.5（ギャザー分）=22.5

後ろAH　（21.5）+1（ゆとり分）+1.5（ギャザー分）=24

① 前AH（22.5）$\frac{1}{3}$=（7.5）を袖山から前袖、後ろ袖に印し、袖口中心から2と結びます。

② 0.5印しDカーブルーラーで丸みを出します。

③ 丸み1.6にします。

① 7.5 7.5 2 2.2 後ろAH（24） 前AH（22.5） 袖丈（23） 1.5 ② 0.5 0.5 後ろ 前 0.5 1.5 （34） （ゆったりしたい方 ゆとり分9〜10に） 1.3 2 2 1.6の丸み ③ 1.3

部分縫い スクエアネックの角の始末のしかた

バイヤス布で1ミリ内側を縫い、ノリをつけて切り込みを入れ、見返しとともに縫います。

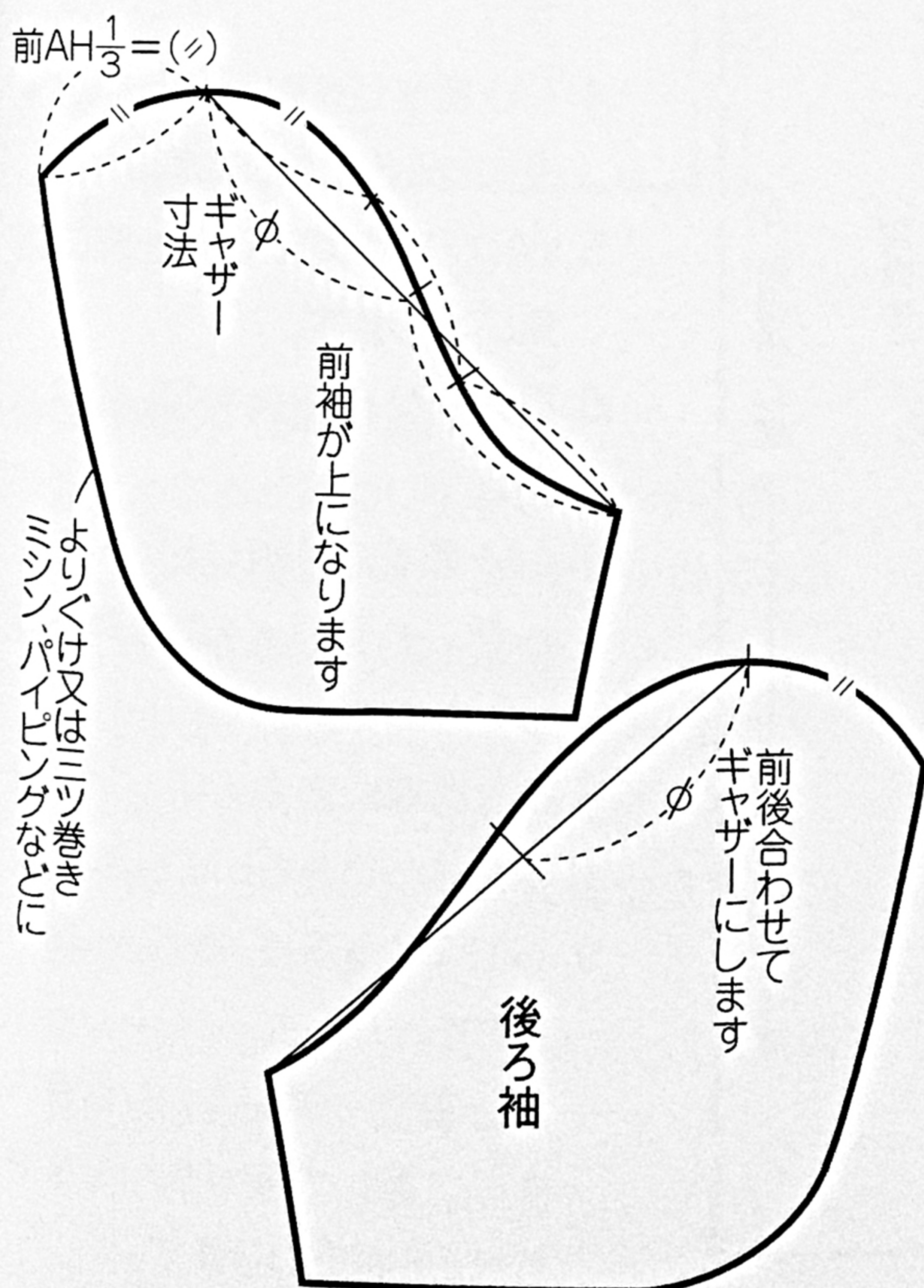
前AH$\frac{1}{3}$=（〃）

ギャザー寸法

前袖が上になります

よりぐけ又は三ツ巻きミシン、パイピングなどに

前後合わせてギャザーにします

後ろ袖

バイヤスに裁ちミシンを掛け のりをつけて切り込みを入れる

3 3 バイヤス布

×このままやぶれます

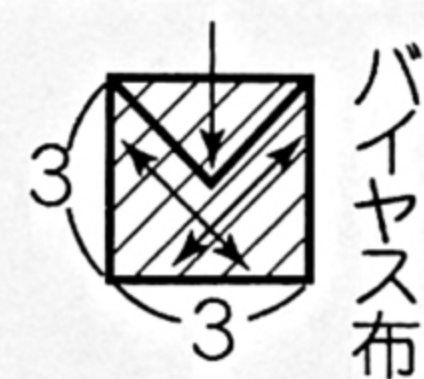
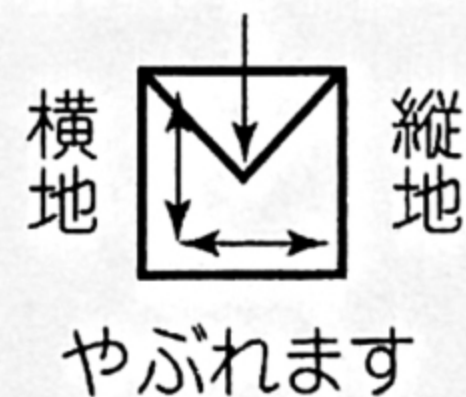
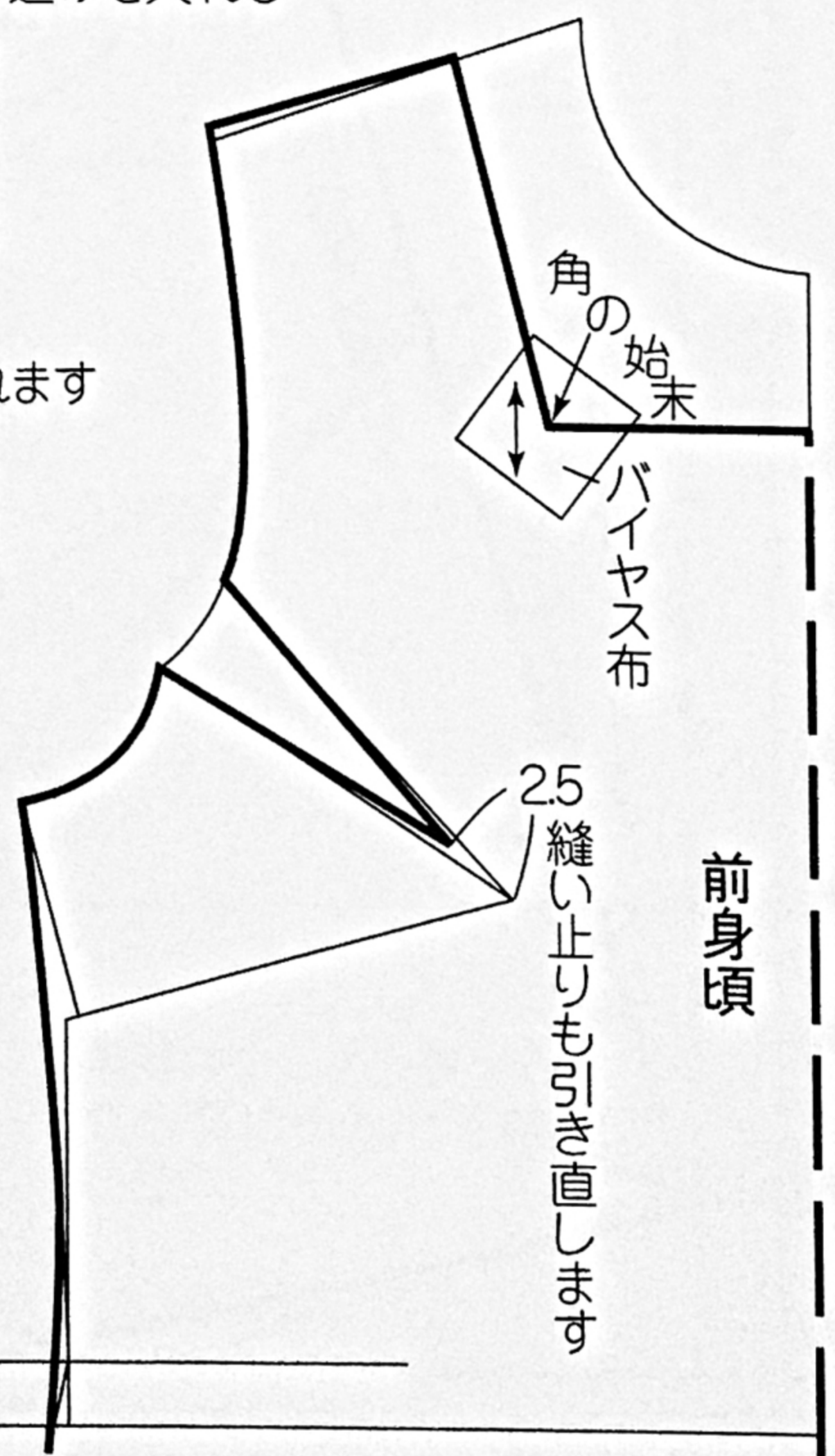
横地 縦地

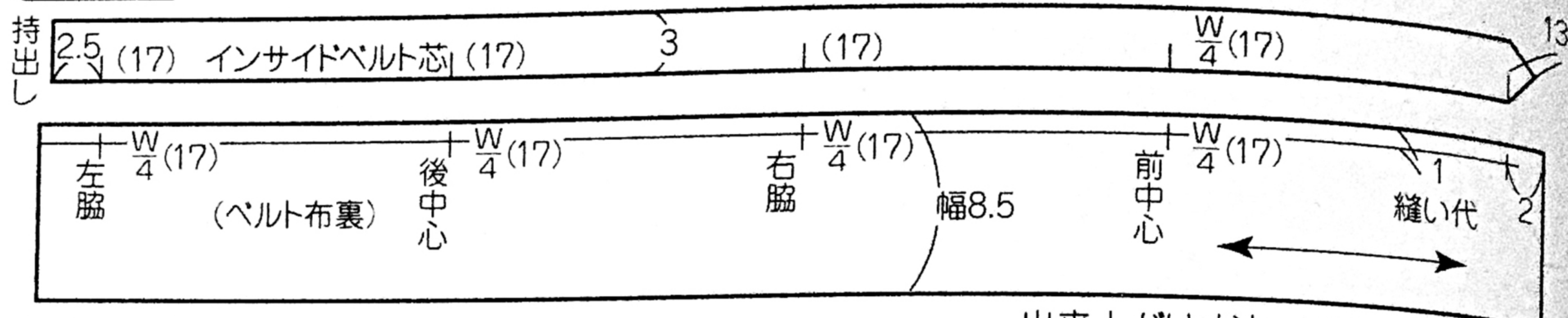
やぶれます

角の始末

バイヤス布

2.5 縫い止りも引き直します

前身頃

前後脇丈の差をたたんで角ばらないようにカーブ尺やDカーブルーラなどできれいに引き直します

ギャザーフレアースカート ―― 型紙をたたみながら製図をします

部分縫い Wベルト布、芯のとりかた、印のつけかた(絹、麻、綿繊維など伸びない布)

◆用　尺 110幅150cm/150幅150cm

1 インサイドベルト芯に霧をよく吹きアイロンをします。

2 Wポイントを1.3位に作り、右端から W/4(17) を印し、持出し2.5をつけて切ります。

3 ベルト布長さW(68)+5=73、ベルト幅8.5

(注)印がチャコで消えるようでしたら、切り躾にします。

◆作図寸法

W/4(17)+10(ギャザー分)=27

裾　線 90 1/2=45

スカート丈 62

◆製図順序(前から)

1 スカート丈(62)の型紙の端から引きます。

2 裾幅(45)印し、W(27)を印し結びます。

3 前中心(ハ)からWLにそって5切り込みます(直角を確かめます)。

4 (A)線を(B)線に合わせ、ピッタリと半分に折ります。

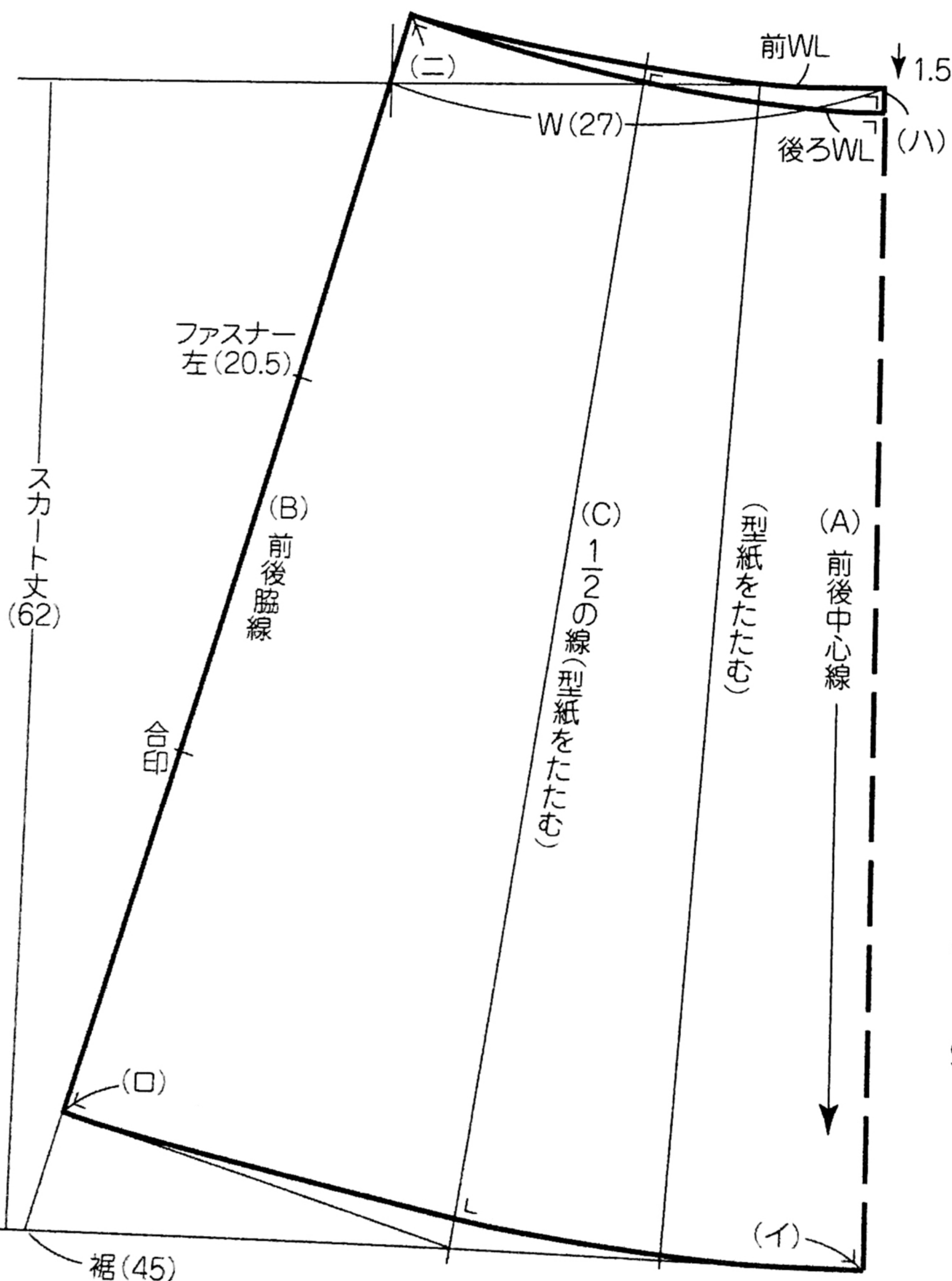
5 WL(ハ)の切り込みを脇に直角に写します。

6 裾線(イ)の直角を写し引きます。

7 (A)線を(C)線にピタリと合わせ、(ハ)と(イ)の直角を写し引きます。

8 Wと裾線に直角を印した案内線を結んで、きれいに引きます。

9 (ハ)で1.5下げ、後ろWLを引きます。

○ WL、裏表一緒にミシン目を大きく二周してギャザーをよせてベルト布をつけます。

ノースリーブのブラウス——スクエアネックです お好きな衿あきを楽しんで下さい

接着芯薄地
芯は身頃にはります。

◆用　　尺　110幅130cm/150幅70cm

◆作図寸法

B　84+6(ゆとり分)=90$\frac{1}{4}$=(22.5)

H　94+8(ゆとり分)=102$\frac{1}{4}$=(25.5)

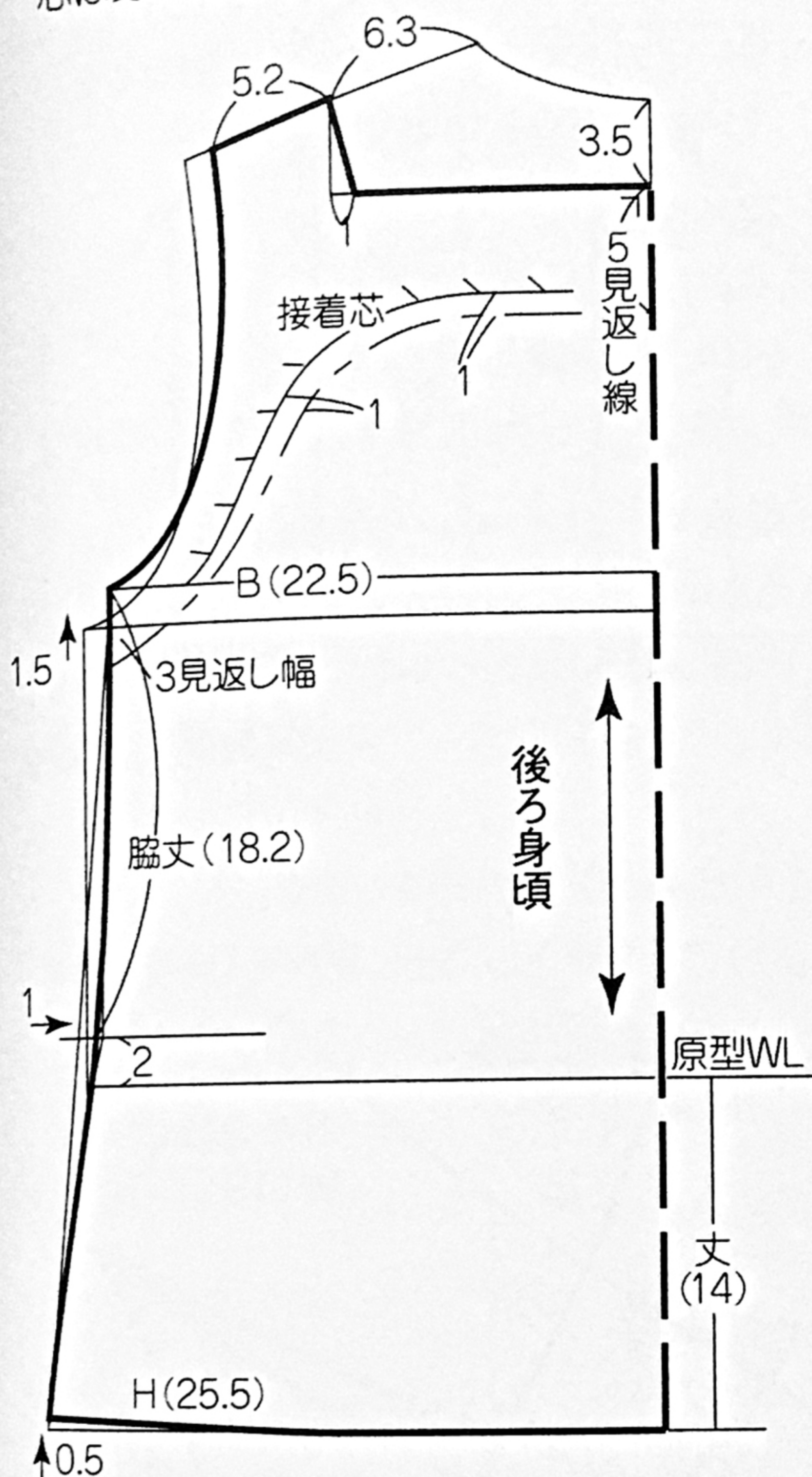
◆製図順序(後ろから)

1 原型WLから(14)引き、裾線とします。

2 胸囲線から上に1.5印し、B(22.5)とH(25.5)を結びます(スリーブレスなので袖ぐり線を上げます)。

3 ネックポイントから6.3印し、直下して1内側と結びます。

○バイヤス布裏地又は薄手の接着芯で角の始末をします。

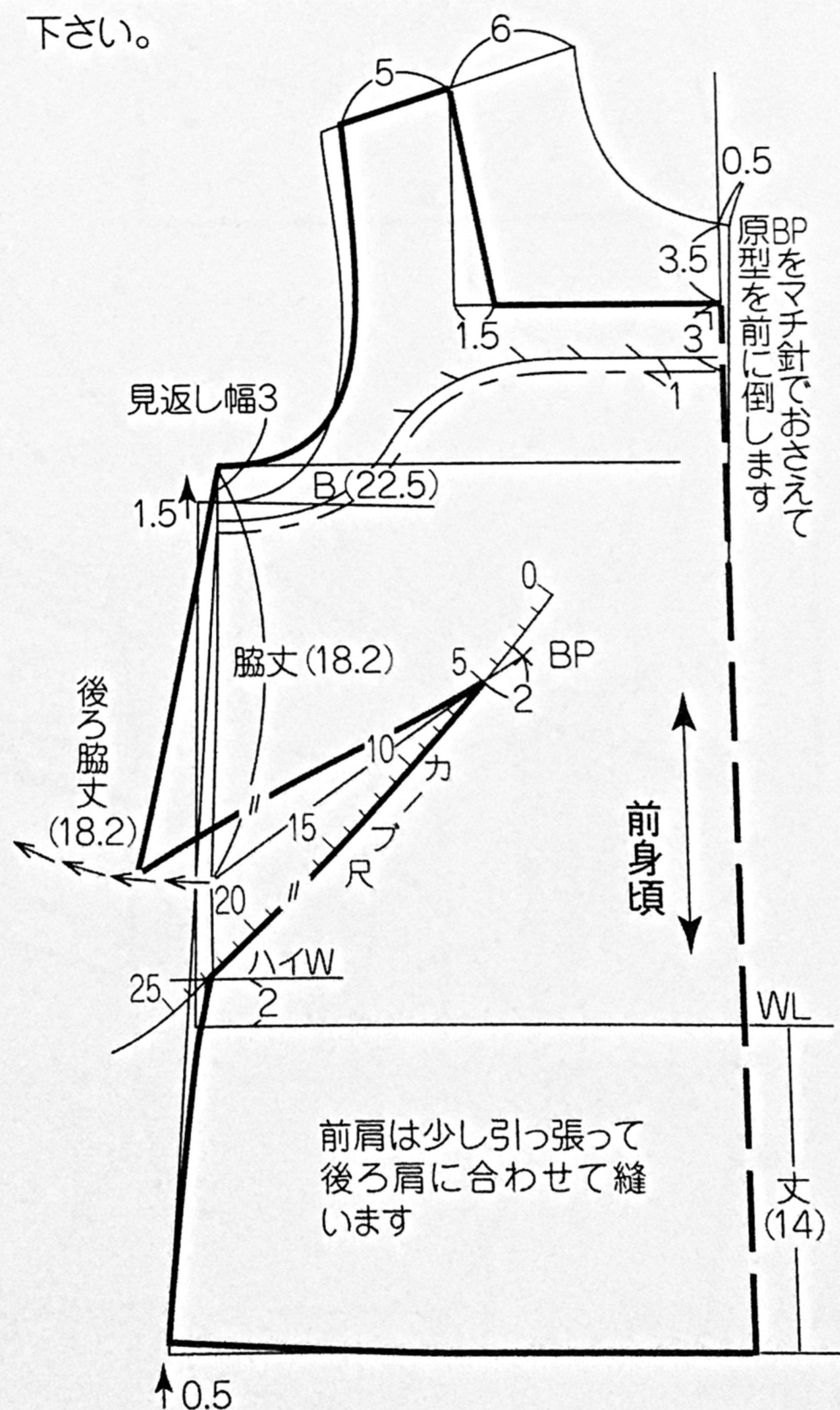
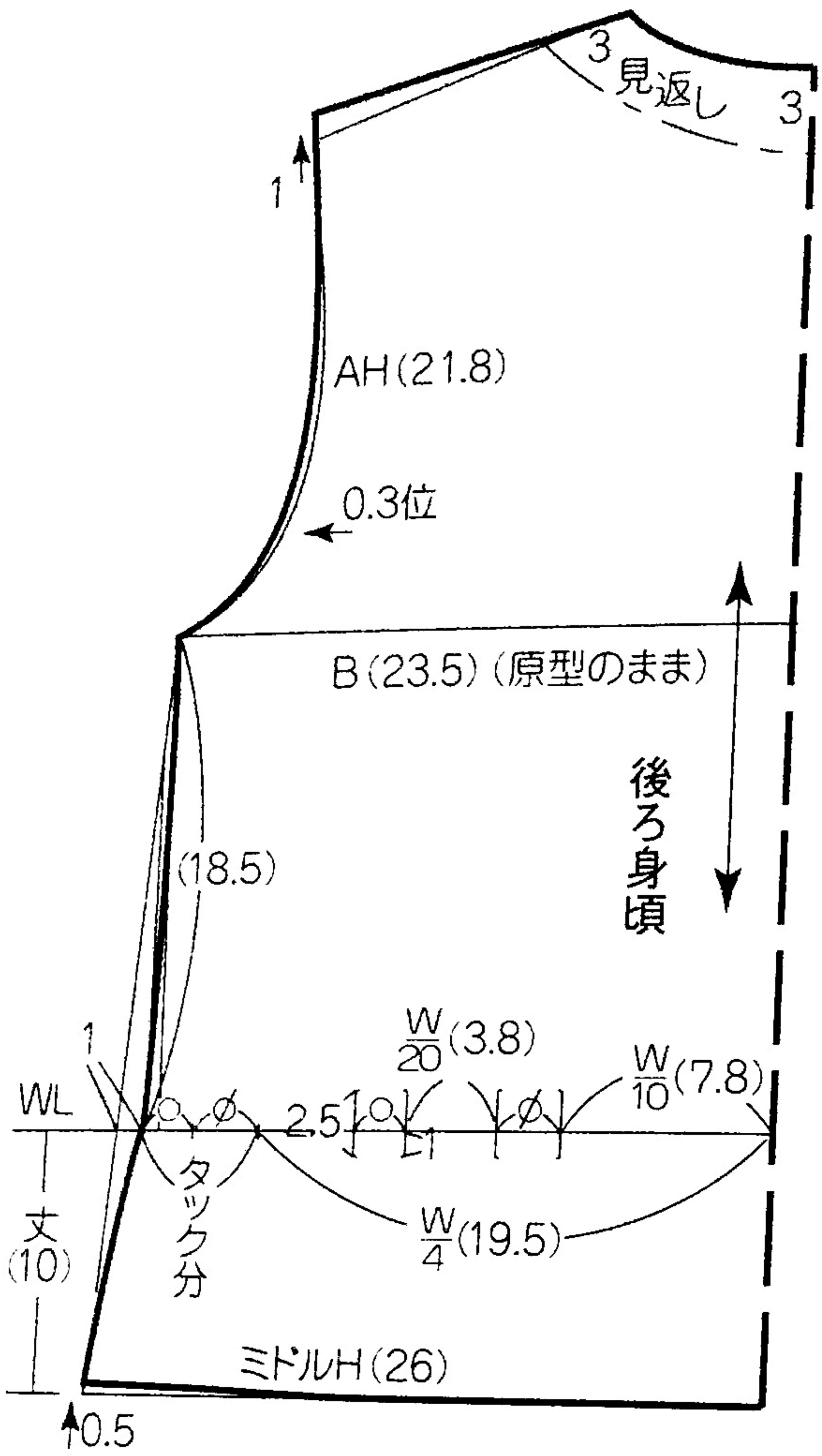
(注)P31の角の始末の布のとりかたを参考にして下さい。

◆製図順序(前身頃)

1 大きめにあく衿ぐりを美しく着るために、WLと前中心線を引き、BPをマチ針でおさえて原型を0.5倒し写します。

2 1〜2を後ろ身頃と同じように引きます。

3 後ろ脇丈寸法をBPと結び矢印にします。

4 ハイWLとBPの2下と結び、同寸法を矢印線に求め引きます。

5 ネックポイントから6印し、直下して1.5内側と結びます。

半袖のブラウス ——ドレープを寄せた優雅な装いです（フレアースリーブ）

◆用　　尺　110幅200cm／150幅170cm

◆作図寸法　B　84＋10＝94 $\frac{1}{4}$＝(23.5)

W　68＋10＝78 $\frac{1}{4}$＝(19.5)

ミドルH　90＋14＝104 $\frac{1}{4}$＝(26)

◆製図順序（後ろから）

1 原型WLから丈10引き、裾線とします。

2 裾線H(26)を印し、胸囲線と結びます。

3 $\frac{W}{4}$(19.5)印し、残りをタックにします。

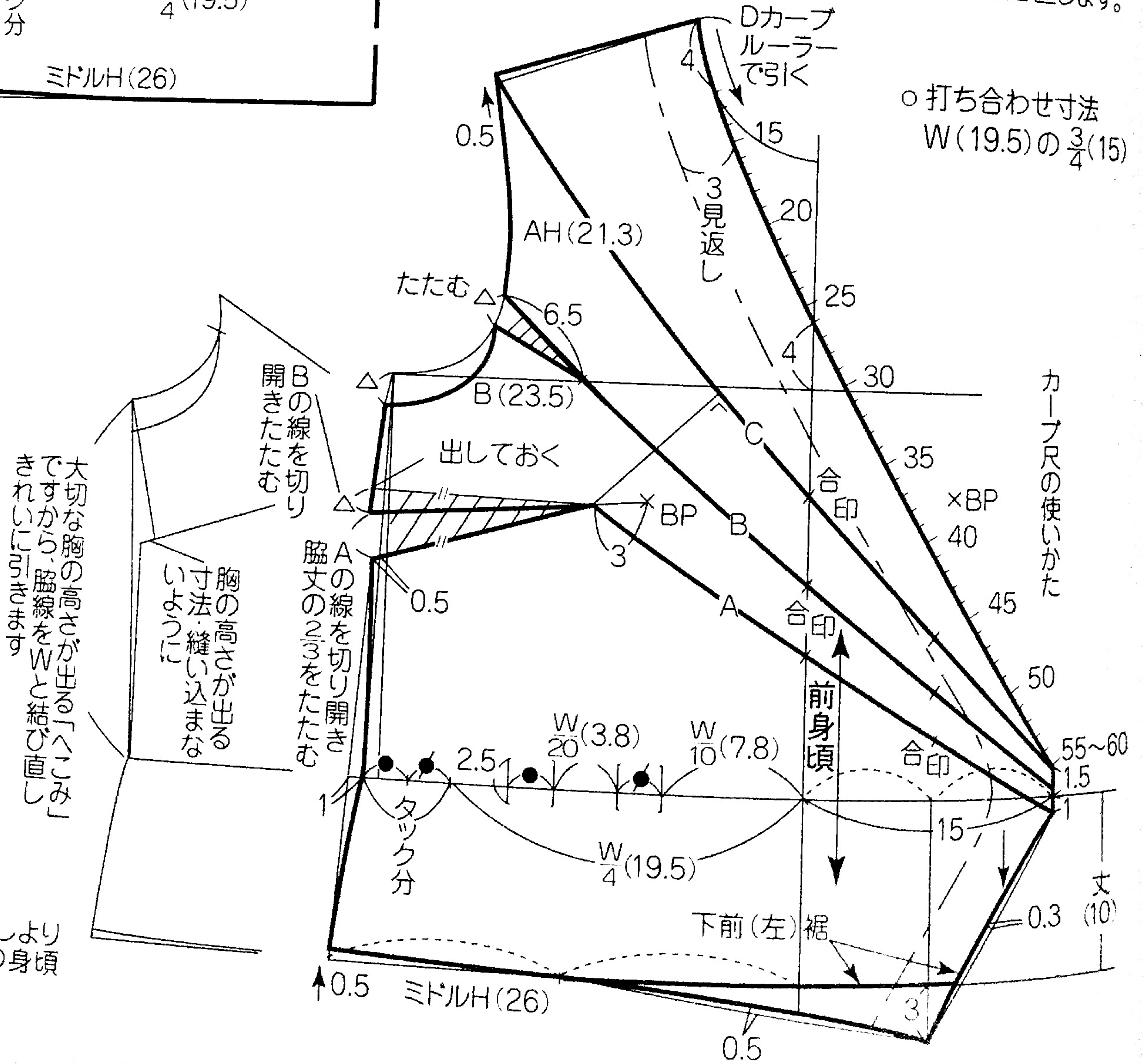
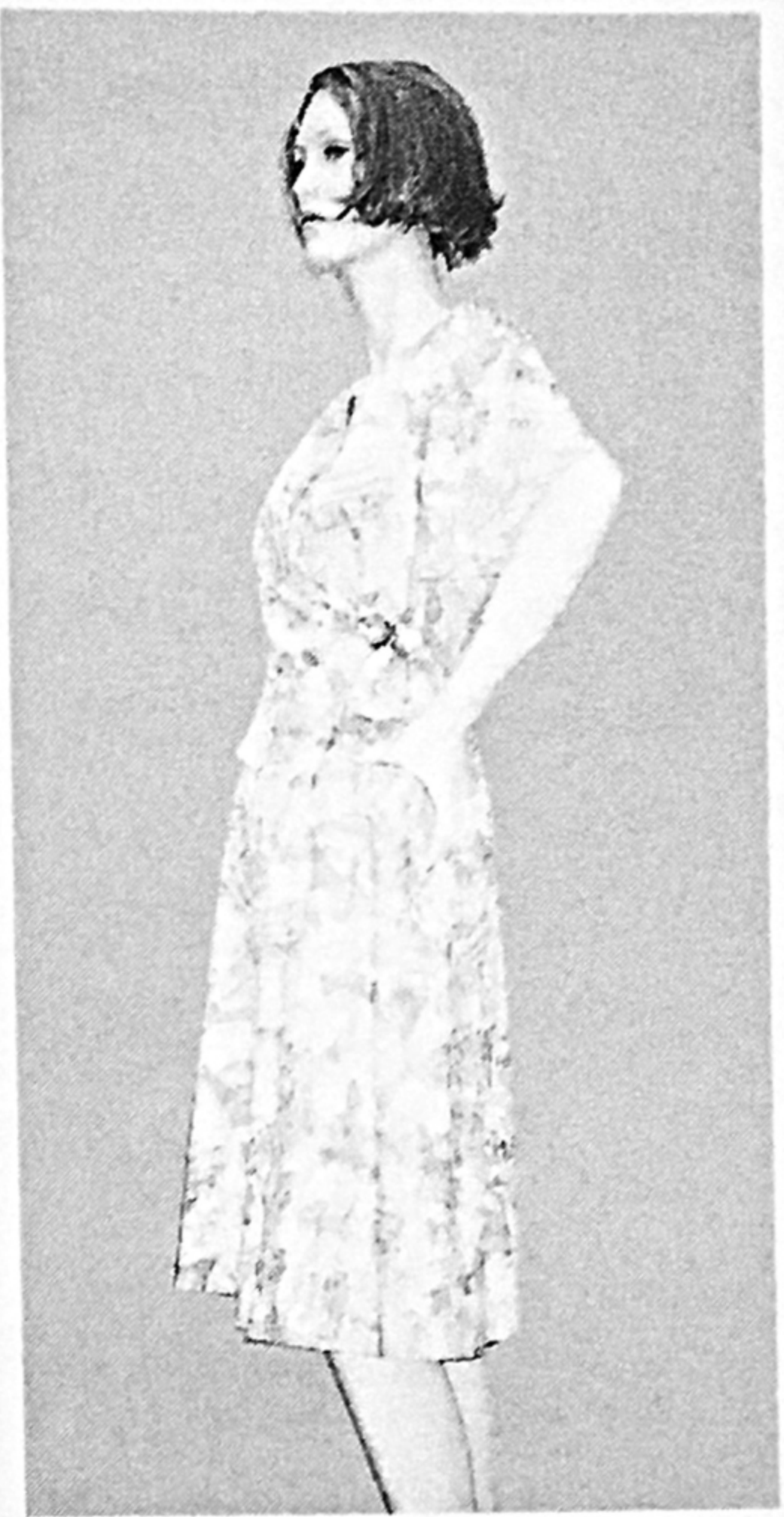
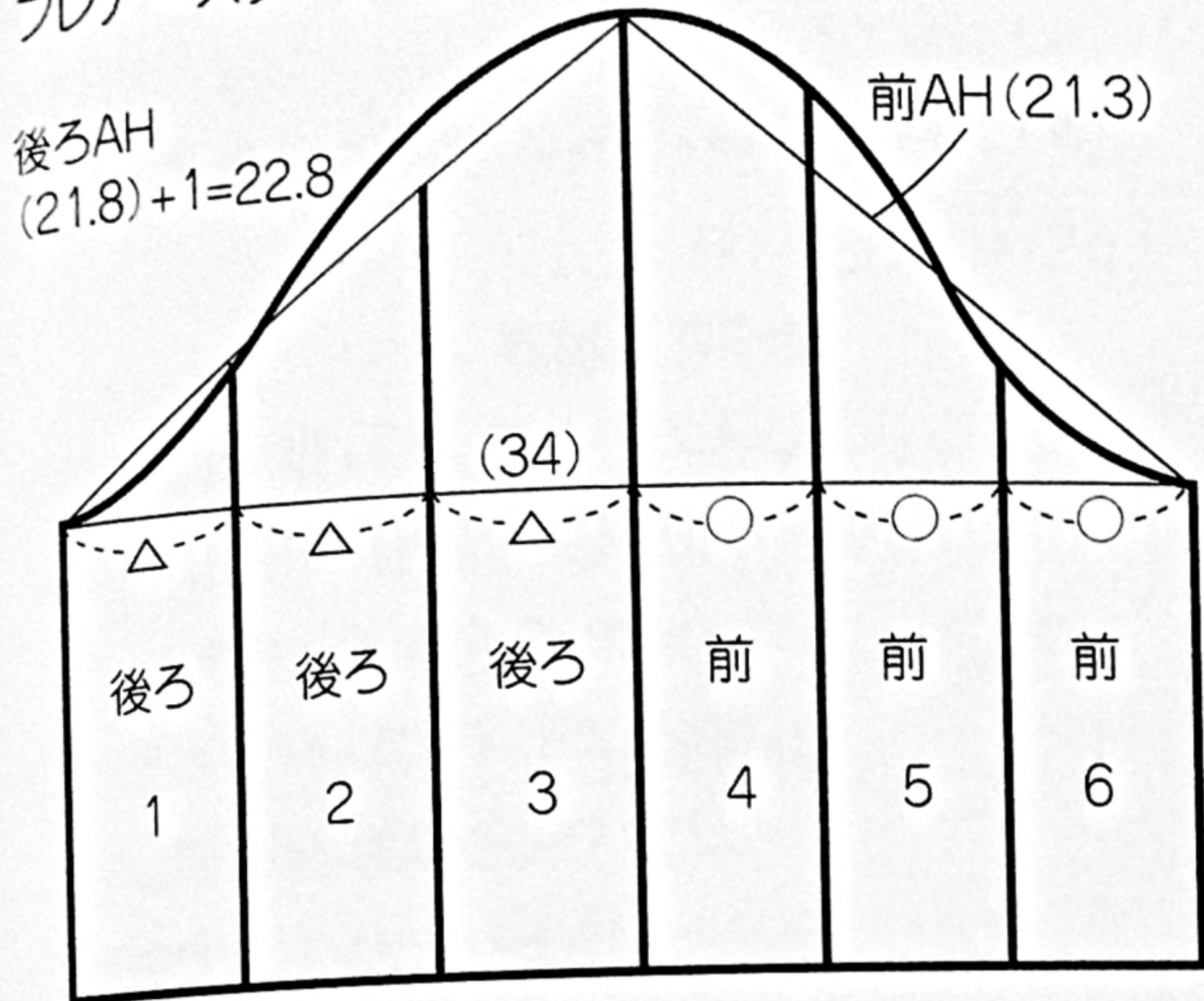
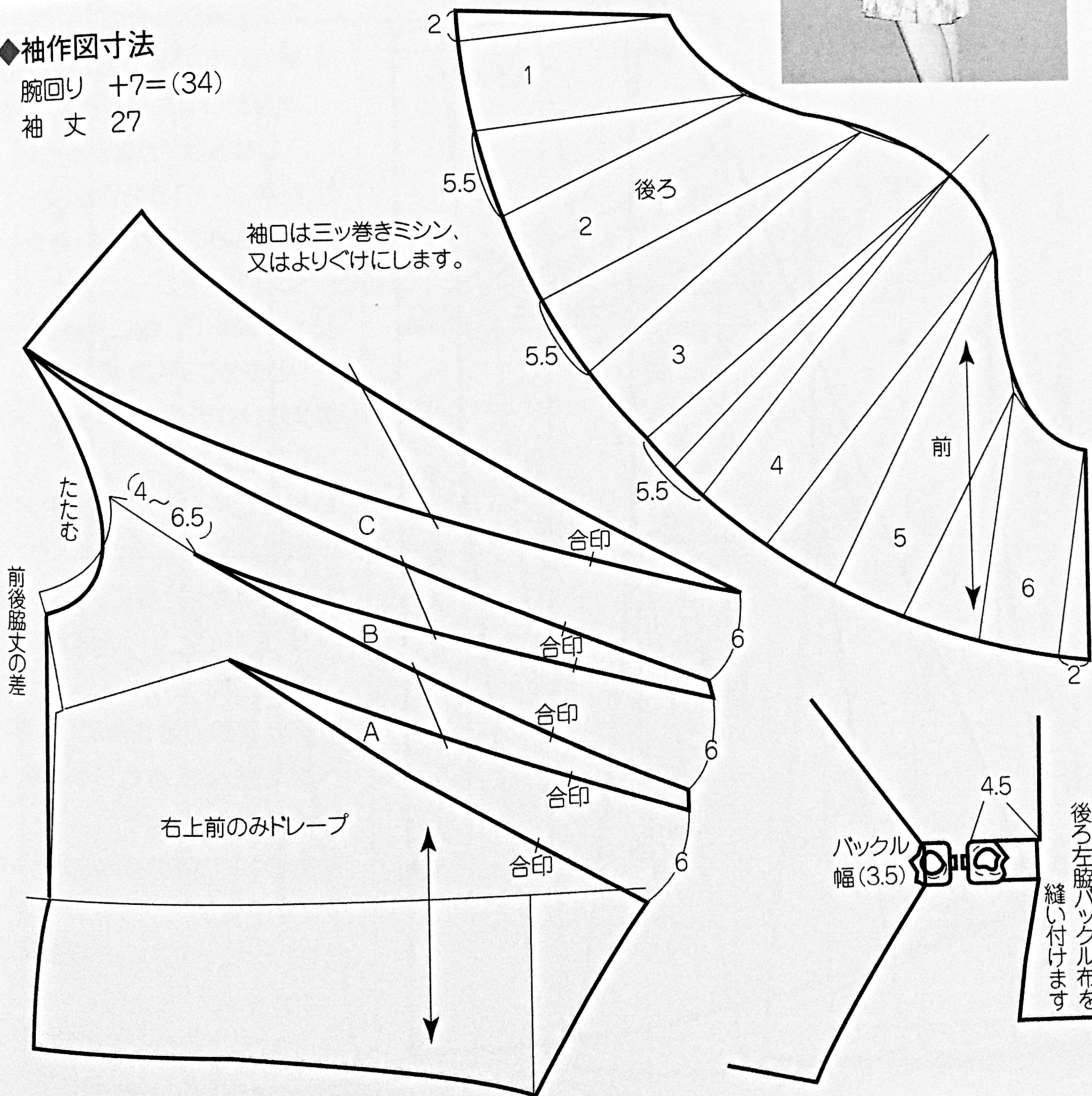
◆製図順序（前身頃）上前のみドレープを寄せます

1 1〜3まで後ろ身頃と同じに引きます。

4 打ち合わせ15出し、2.5のバックルをつける幅をとります。

5 ネックポイントから4位下と、カーブ尺55〜60位で結びます。

6 切り開き線をA、B、Cと引き、合印をします。

7 打ち合わせ(15)の $\frac{1}{2}$ を直下し、3出し裾線を引き直します。

接着芯は見返しより0.7〜1内側の身頃にはります

フレアースカート ―― 型紙をたたんで製図をします

◆用　尺　110幅160cm/150幅160cm

◆作図寸法

W　(68)+2(いせ分)=70 $\frac{1}{4}$=(17.5)
+1(腰の丸み分)=18.5

H　(94)+4(ゆとり分)=98 $\frac{1}{4}$(24.5)

スカート丈　67(ロング丈にしても素敵です)

(注)ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23の少し伸びる布(ウール、チリメンなど)、P32の伸びない布(絹、綿など)を読んで参考にして下さい。

◦フレアースカートは布地により脇が下がりますので、WLで脇丈を2〜3センチ多めに裁断して下さい。

④
⑪
(ニ)
前WL
⑤
(ハ)
1.5
③(18.5)
後ろWL
⑫
ファスナー
左
(20.5)
Hライン
①スカート丈(67)
(B)
前後脇線
⑨
(C)
$\frac{1}{2}$の(型紙をたたむ)
(型紙をたたむ)
⑥
(A)
前後中心線
⑧
(ロ)
⑩
(イ)
②裾幅(45)

◆製図順序

① スカート丈(67)型紙の端から引きます。前後の中心、裾線は型紙の端、角を使います。

② 裾幅(45)を印し、H(24.5)をコンパスで矢印の案内線を印します。

③ WL(18.5)をコンパスで矢印の案内線を印します。

④ 裾幅(45)とW(18.5)の交わる点を結びます(H寸法がマイナスにならないか確かめます)。

⑤ 前中心(ハ)からWLにそって3切り込みを入れます(直角を引くため)。

⑥ (A)線を(B)線に合わせピッタリと半分に折ります。

⑦ WL(ハ)の切り込みを脇に直角に写します。

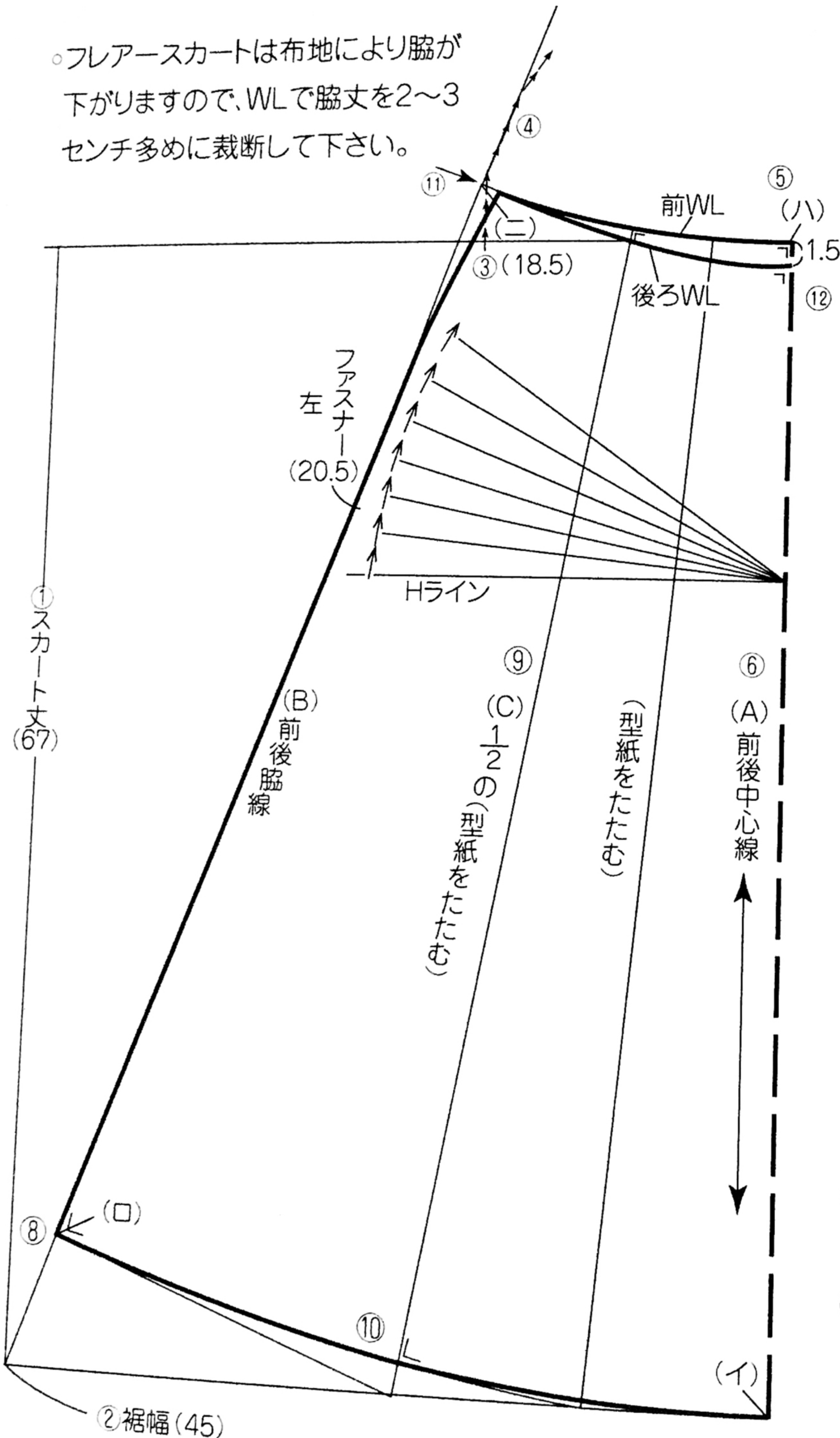
⑧ 脇線に(イ)の直角を写し引きます。

⑨ (A)線を(C)線にピッタリと合わせ、(ハ)と(イ)の直角を写し引きます。

⑩ Wと裾線に直角を印した案内線を結んで、きれいなW線、裾線に引き直します。

⑪ 脇線1入り腰の丸みをカーブ尺で引きます。

⑫ WL(ハ)で1.5下げ、後ろWLを引きます。

・型紙を $\frac{1}{2}$ にたたんで直角を印して製図をして下さい。

8枚はぎフレアースカート —— 動くほどに美しいスカートです

◆用　　尺　110幅170cm/150幅170cm

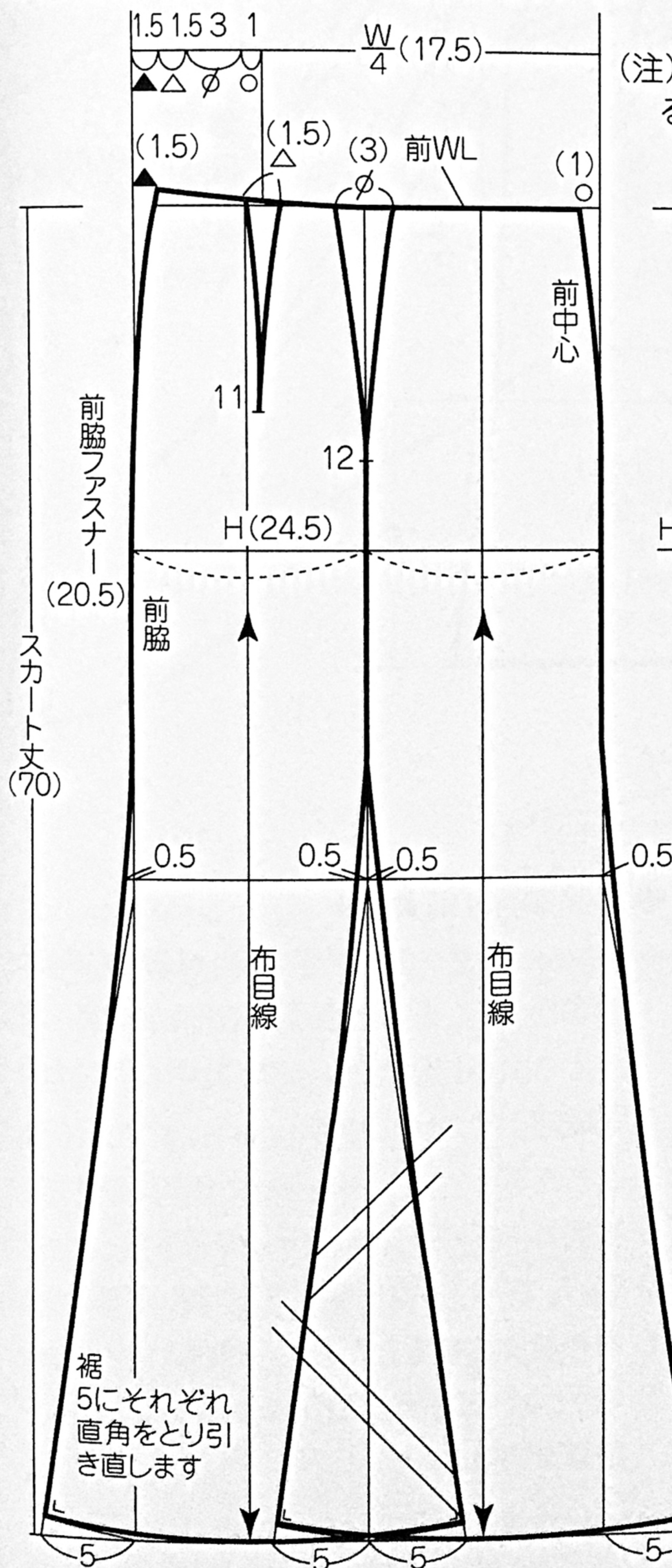
◆作図寸法

W　68+2(いせ分)=70 $\frac{1}{4}$=(17.5)

H　94+4(ゆとり分)=98 $\frac{1}{4}$=(24.5)

スカート丈　70

$\frac{W}{4}$(17.5)
$\frac{H}{4}$(24.5) 〉差7 (前後中心1　脇1.5 / 中央3　ダーツ1.5)

差が5.5以内の場合はダーツなしになります。

◆製図順序(前から。スカート、パンツは前から)

1 スカート丈(70)がWL、HL(18)を引きます。

2 $\frac{H}{4}$(24.5)を裾まで、(24.5)を二等分にし、それぞれ直下します。

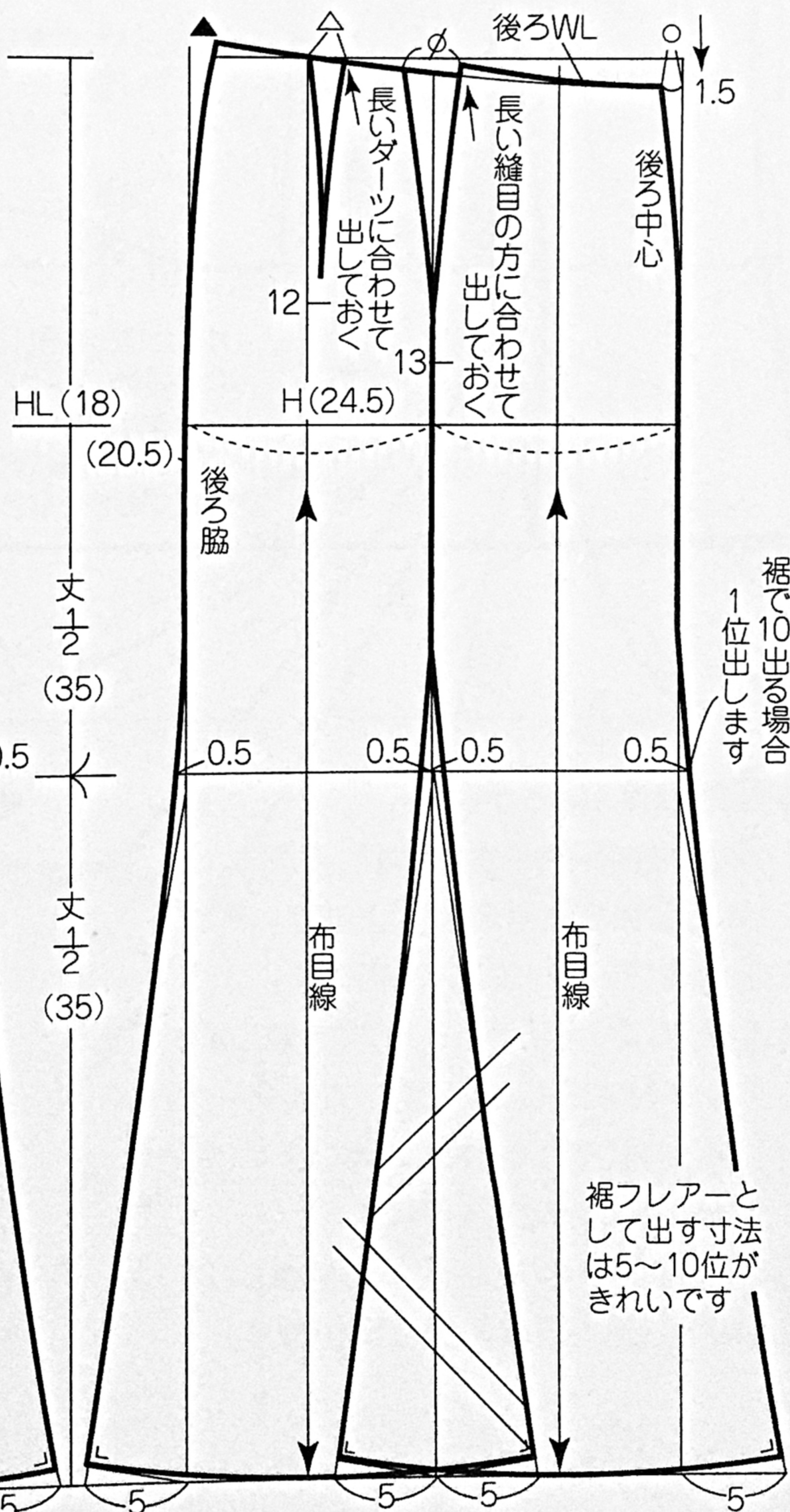
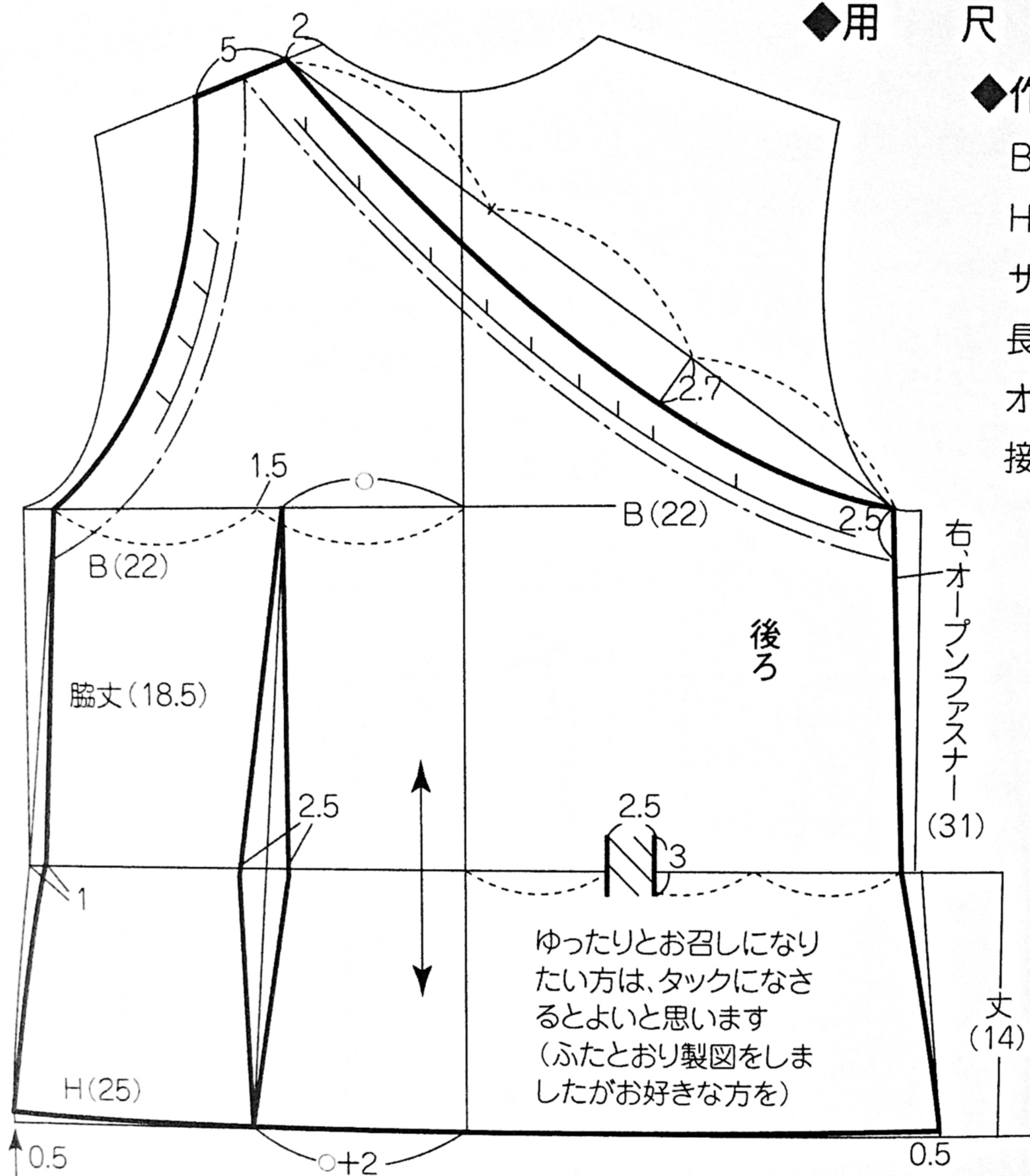
3 裾で5ずつ出し、直角をとり裾線を引き直します。

4 $\frac{1}{2}$丈(35)で0.5ずつ出し、角のないようにカーブ尺で引き直します(後ろ中心のみ1.5下げる)。

・お腹が出ている方は前WLより1～1.5位上げると良いと思いますが、加減して下さい。

(注)ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23の少し伸びる布や、P32の伸びない布を読んで参考にして下さい。

1.5 1.5 3 1
$\frac{W}{4}$(17.5)
(1.5) (1.5) (3) 前WL (1)
前中心
11
12
前脇ファスナー(20.5)
H(24.5)
前脇
スカート丈(70)
0.5 0.5 0.5 0.5
布目線
布目線
裾 5にそれぞれ直角をとり引き直します
5 5 5 5

後ろWL
1.5
長いダーツに合わせて出しておく
長い縫目の方に合わせて出しておく
後ろ中心
12
13
HL(18)
(20.5)
H(24.5)
後ろ脇
丈$\frac{1}{2}$(35)
丈$\frac{1}{2}$(35)
裾で10出る場合1位出します
0.5 0.5 0.5 0.5
布目線
布目線
裾フレアーとして出す寸法は5～10位がきれいです
5 5 5 5

ワンショルダーブラウス —— 小粋なトップとして、インナーとして

◆用　　尺　110幅140cm/150幅80cm

◆作図寸法

B+4(ゆとり分)=88 $\frac{1}{4}$=(22)

H+6(ゆとり分)=100 $\frac{1}{4}$=(25)

サッシュ　幅8

長　さ　W(68)+70(140)

オープンファスナー　31(右)

接着芯少々

5　2　2.7　1.5　○　B(22)　2.5　B(22)　右、オープンファスナー(31)　後ろ　脇丈(18.5)　2.5　2.5　3　1　丈(14)　H(25)　0.5　○+2　0.5

○見返し幅　2.5
接着芯　1.8
(芯は身頃にはります)

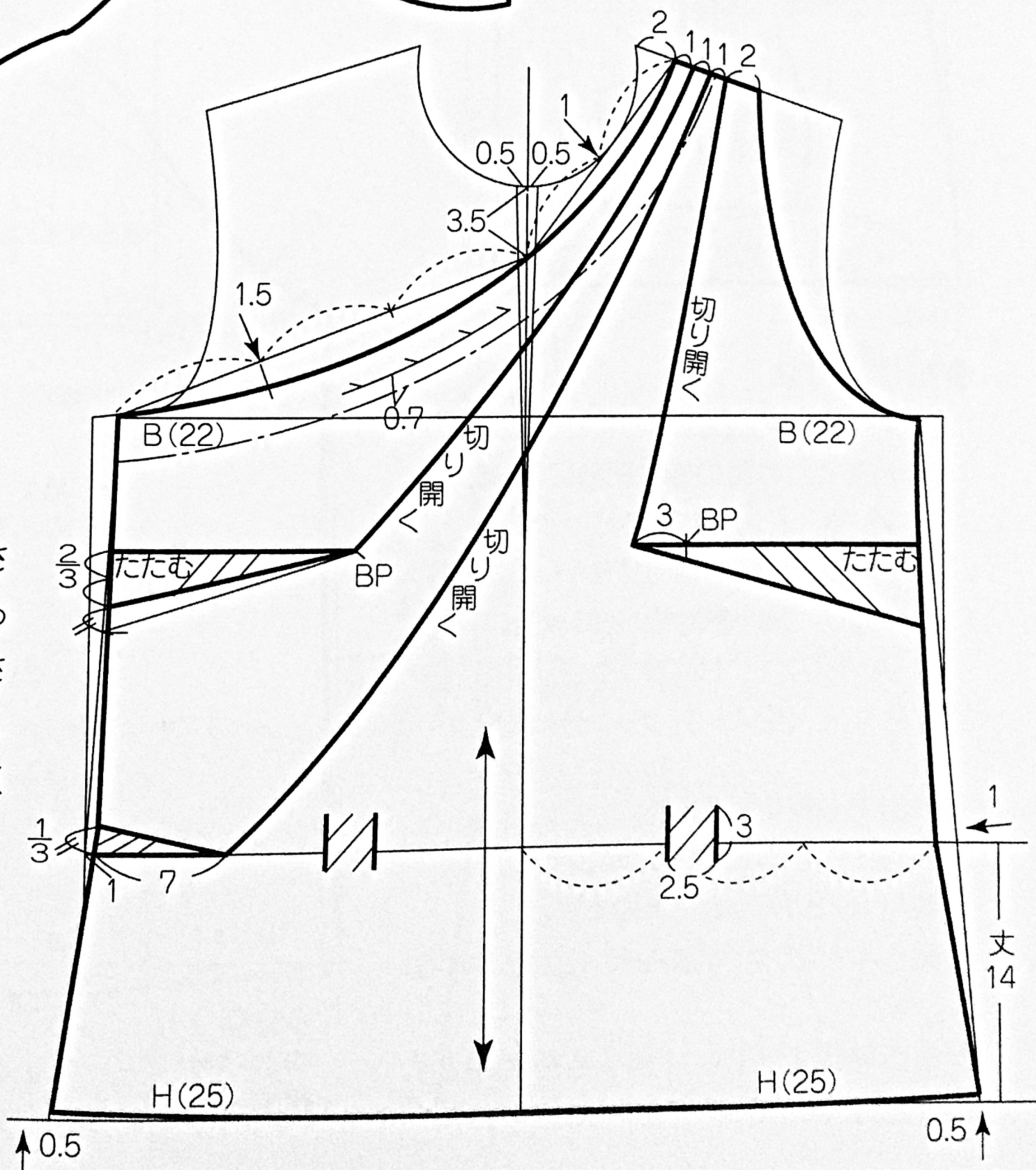
ゆったりとお召しになりたい方は、タックになさるとよいと思います(ふたとおり製図をしましたがお好きな方を)

◆製図順序(後ろから)

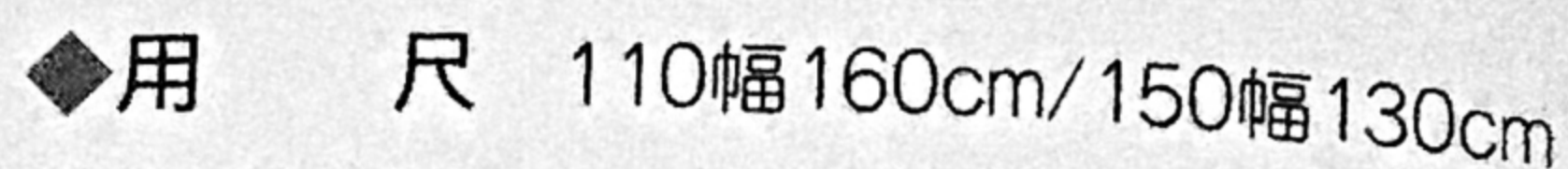
1 原型は図のように左右を写します。
2 WLから丈14を引き裾線とします。
3 胸囲線(22)とH(25)を結びます。
4 脇線WLで1入り、裾0.5上げ引き直します。
5 ゆったりとお召しになりたい方はダーツでなく、タックになさると良いと思います(両方製図をしましたがどちらかに)。
6 ネックポイントから2印し、胸囲線B(22)と結び、$\frac{1}{3}$位で2.7位入り結び直します。

◆製図順序(前身頃)

1 ワンショルダーの衿あきを美しく着るために、前中心線WLを引き、原型のBPをマチ針でおさえて中心に0.5倒します(前中心のたるみを製図上でカットします)。
2 左右を写し、丈(14)を出し引きます。
3 胸囲線(22)印し、H(25)と結びます。
4 脇WLで1入り、裾0.5上げ引き直します。
5 前後脇丈の差をたたみ切り開きます。
6 ネックポイントから2印し、前中心3.5と結び脇線まで引きます。

○サッシュベルト
W寸法＋70（結び分）＝140
幅　　わにして10
布目　バイヤスに裁ちます。
W寸法（70）からむすび寸法6ひいた寸法（64）に接着芯をはり仕上げます。

○ワンショルダーのドレープ
前後脇丈の差は、胸の高さによりドレープの深さが違ってきますが、ドレープの深さは5位にするようにたたみ、寸法を加減して下さい（短くたたむと広くあきます）。
○脇丈の差$\frac{2}{3}$BPでたたみます。
$\frac{1}{3}$WLでたたみます。

長袖のブラウス ― 変形スクエアネックのスリーピース（喪服にも良いデザインです）

◆用　　尺　110幅160cm/150幅130cm

◆作図寸法　B　84+10（ゆとり分）=$94\frac{1}{4}$=23.5

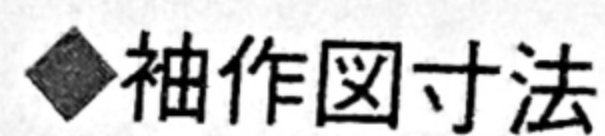
W　68+12（ゆとり分）=$80\frac{1}{4}$=20

H　94+10（ゆとり分）=$104\frac{1}{4}$=26

着丈　Wから15

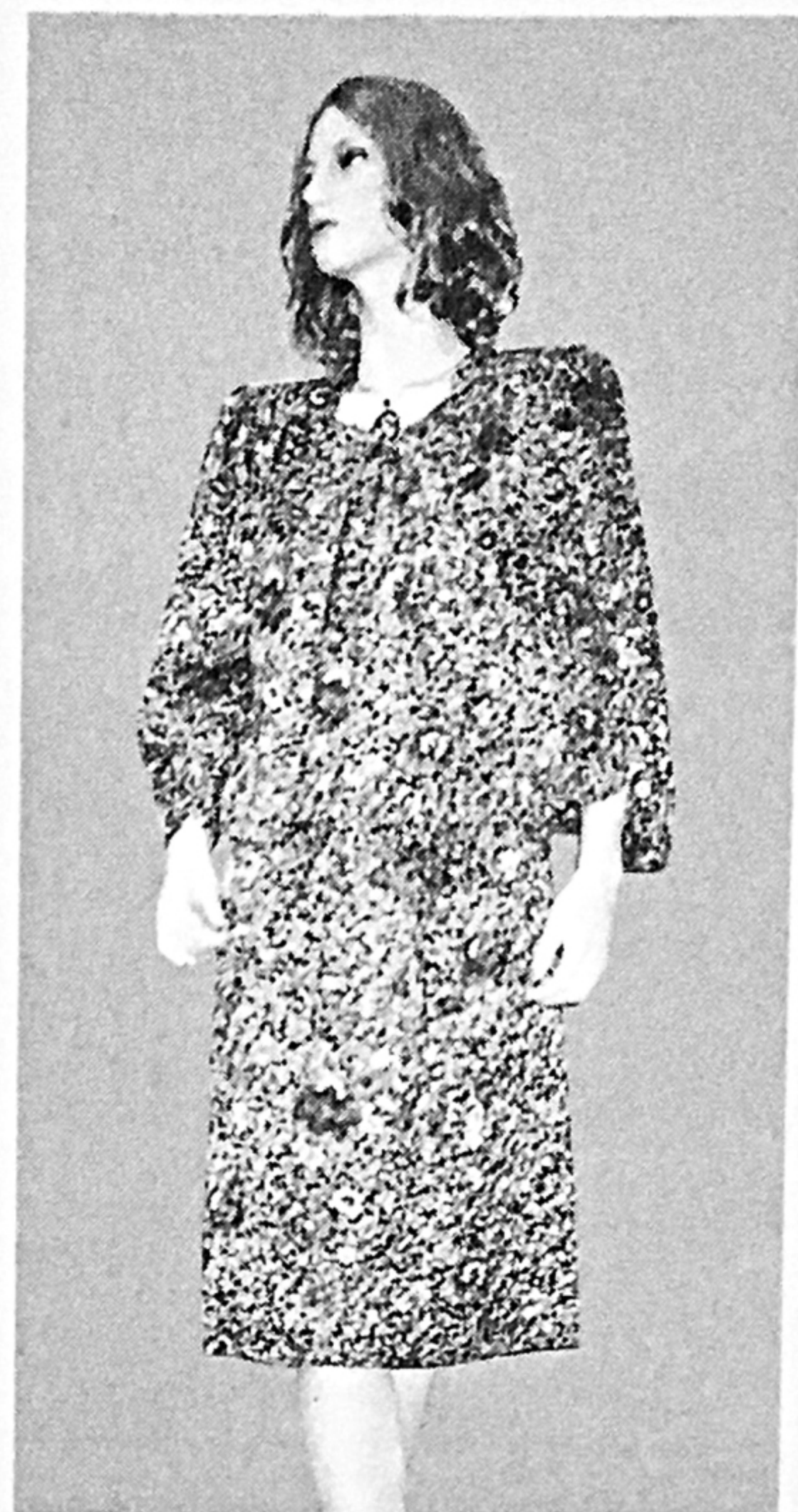
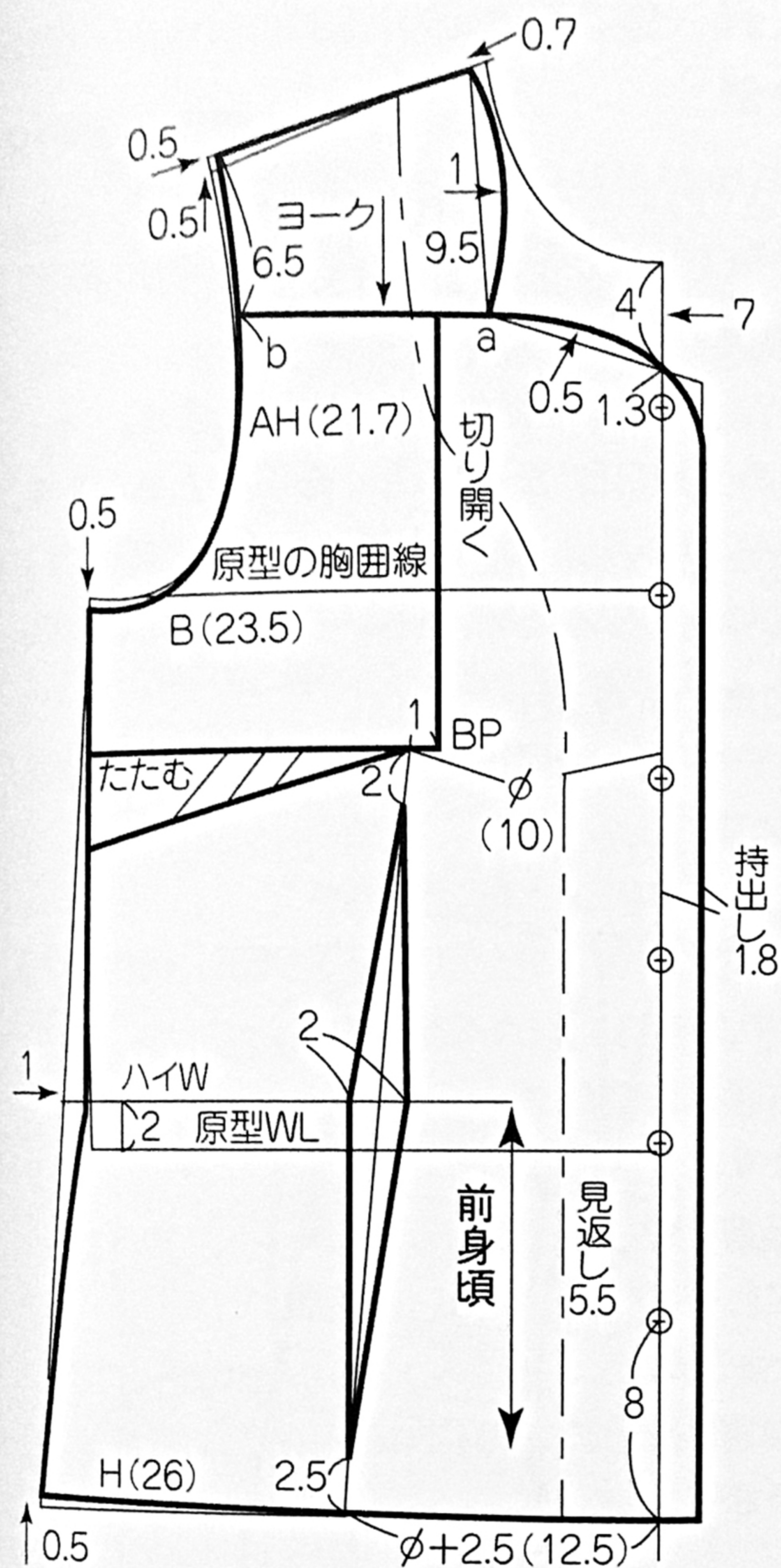
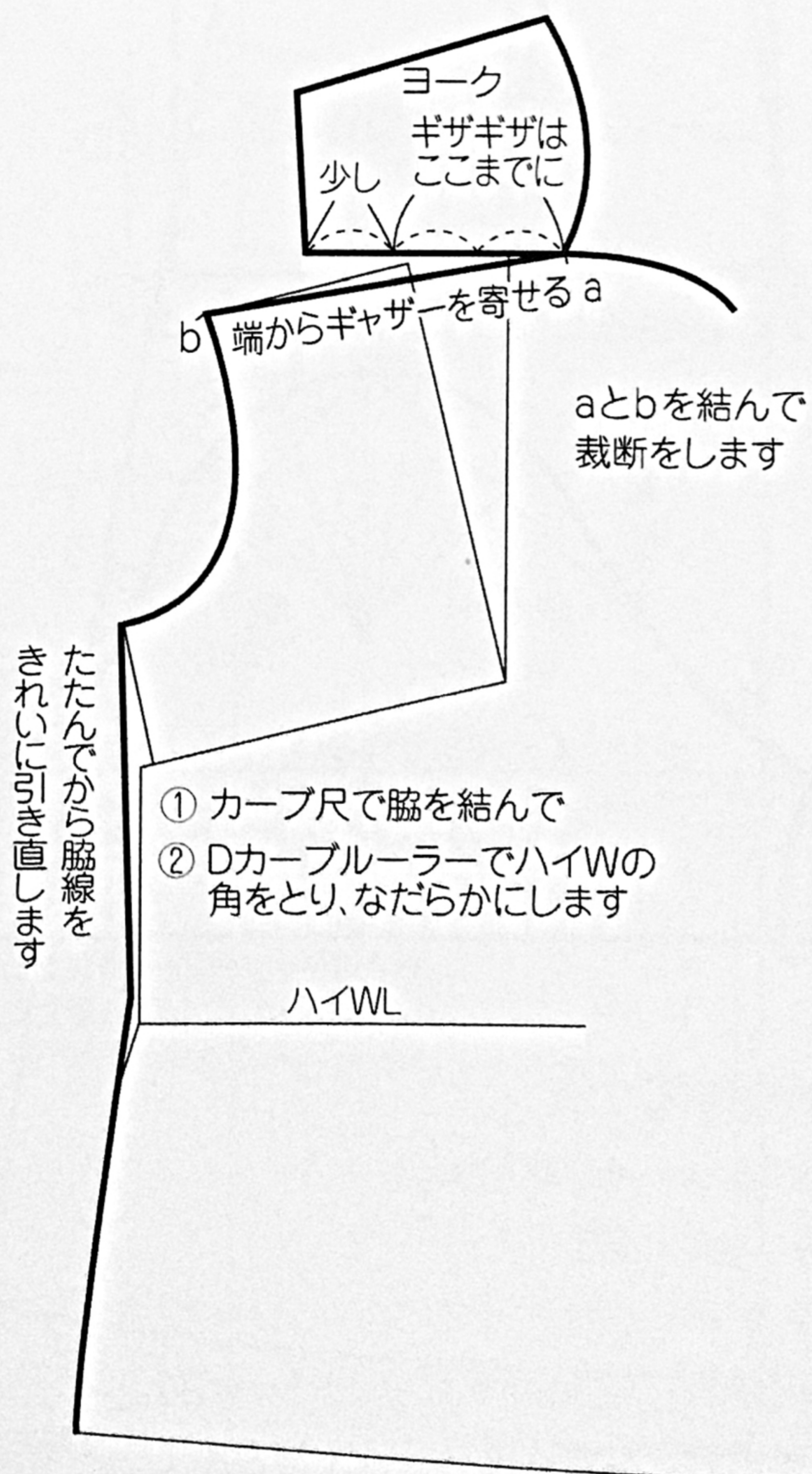
◆製図順序（後ろから）

1 原型のWLから丈15引き裾線にします。
2 原型の胸囲線を0.5下げ、H（26）と結びます。
3 脇線ハイWで1入り、裾0.5上げ、きれいに結びます。
4 肩1上げ、0.5入り、ネックポイントで0.7入り結びます。
5 胸囲線$\frac{1}{2}$に1.5中心にとり（○）とします。
6 裾で（○）+2を印し、（○）と結びダーツをとります。
7 ハイWにW寸法（20）をあててみて充分でしたら良いのですが、足りない場合はダーツを少なくして下さい。

◆袖作図寸法

（注）前AHタック分2とりましたがいせ込みが1位あるため図の様な配分になります。

腕回り　+10（ゆとり分）=37
袖　丈　+1（パット分）+1（パフリ分）=55
手首回り　16+2（ゆとり分）=18
前ＡＨ　21.7+2（タック分）=23.7
後ろＡＨ　22.4+3（タック分）=25.4

1 袖山中心線を引きます。
2 腕回り寸法（37）を$\frac{1}{2}$に印します。
3 前AH（23.7）の山を求めます。
4 後ろAH（25.4）を前AHの山から求め印します。
5 後ろ袖幅より出た寸法$\frac{1}{2}$を前袖幅からひき、3、4と引き直して下さい。

手首回り16
ゆとり分　2
持出し　　3
21

○接着芯は見返しより0.7〜1内側の身頃にはります。

◆**製図順序（前身頃）**

1 前中心で持出し1.8引き、1〜3まで後ろ身頃と同じに引きます。

4 前後脇丈の差をBPと結びます。

5 BPを1脇寄りに印し（ø）＝10、裾（ø+2.5）＝12.5印し結び、ダーツをとります。

6 ヨークをとります。ネックから9.5下げ印し、前中心7入り、4下り肩6.5下げ印し、それぞれの点を結びます。

7 BPをヨークまで直上し、結びます。

8 aとbの線を結んで裁断をします。

9 aの点は必ずつけておいて下さい。

半袖のブラウス──変形スクエアネックの優しい装いです

◆用　　尺　110幅130cm/150幅100cm

◆作図寸法

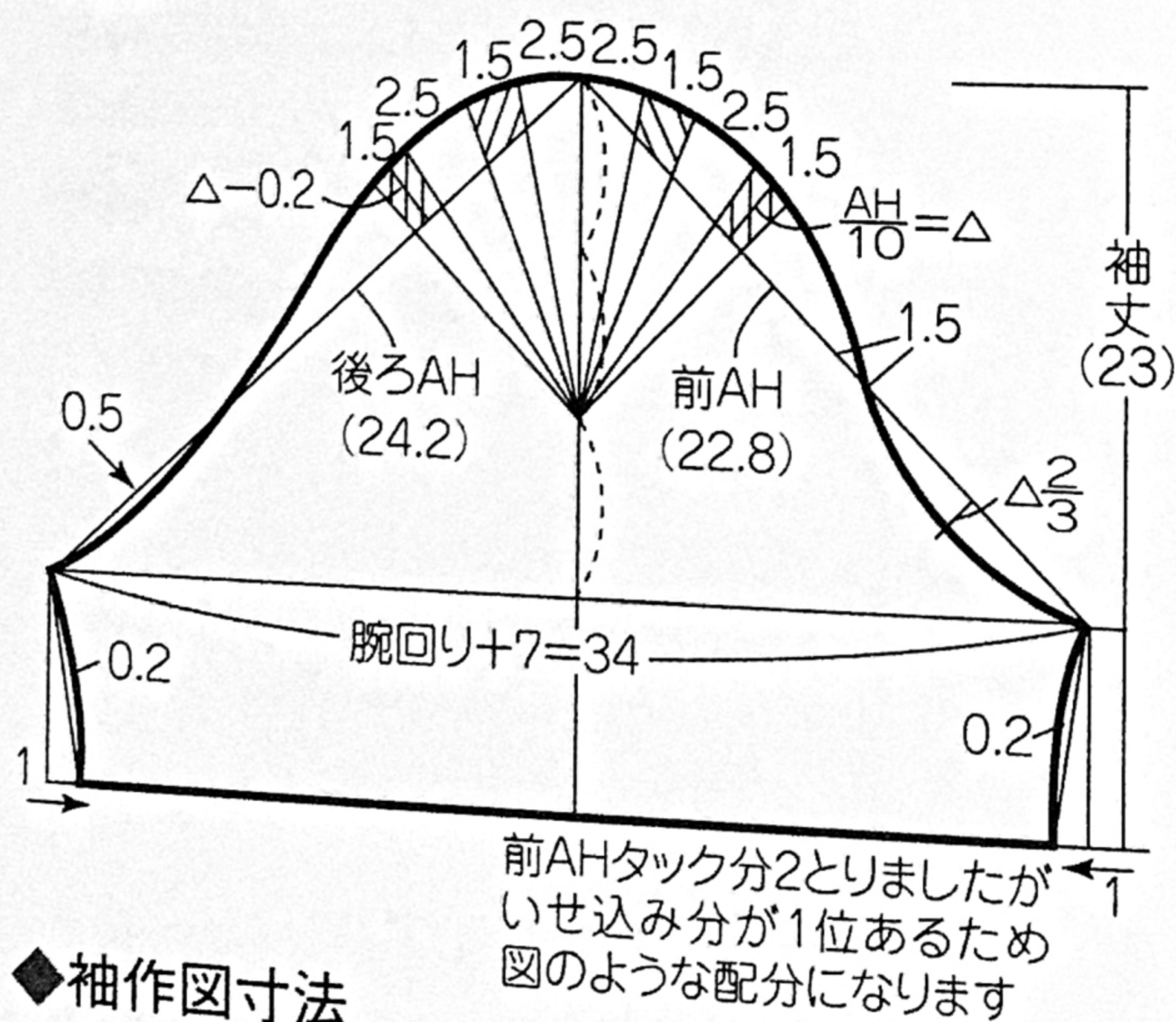
B84+8(ゆとり分)=92 $\frac{1}{4}$=(23)
ミドルH90+10(ゆとり分)=100 $\frac{1}{4}$=(25)
差2 この寸法が大切です

◆製図順序(後ろから)

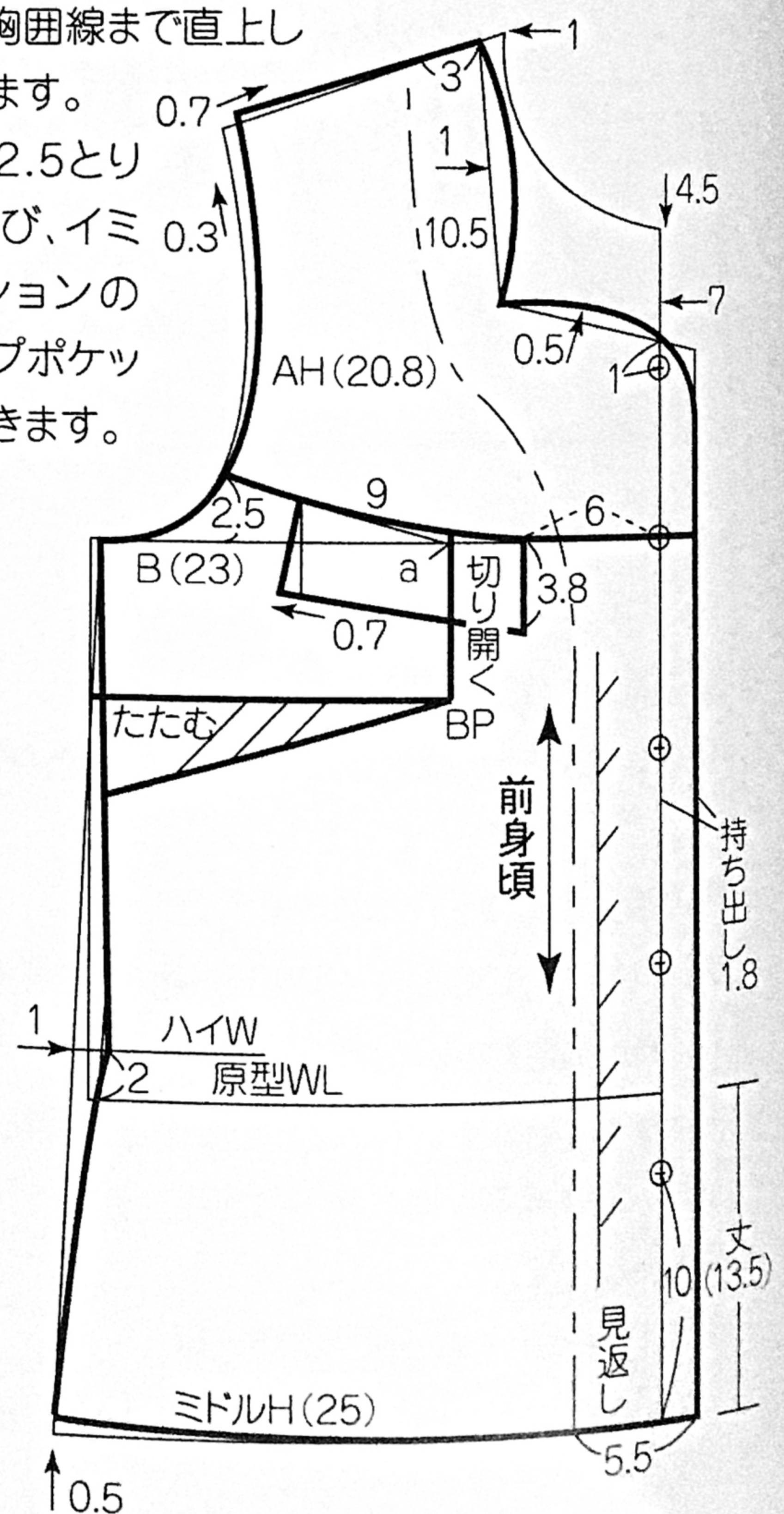
1 原型のWLから丈13.5を引き、裾線とします。
2 原型の胸囲線にB(23)を印し、裾(25)と結びます。
3 脇ハイWで1.5入り、裾0.5上げ、きれいに結びます。
4 肩0.7上げ0.7入り、ネック1入り、きれいに引きます。

◆製図順序(前身頃)

1 前中心で持出し1.8引き、1〜3まで後ろ身頃と同じに引きます。
4 前後脇丈の差をBPと結びます。
5 衿ぐり、ネックポイントから10.5下り印し、前中心7入り、4.5下り、それぞれ点を結びます。
6 BPを胸囲線まで直上しaとします。
7 AHへ2.5とりaと結び、イミテーションのフラップポケットを引きます。

前AHタック分2とりましたがいせ込み分が1位あるため図のような配分になります

◆袖作図寸法

腕回り　+7(ゆとり分)=34
袖　丈　23
前 A H　(20.8)+2(タック分)=22.8
後ろAH　(21.2)+3(タック分)=24.2

◦喪服用になさる場合は袖丈を長めにして下さい。

スカート ── 歩幅に対して程よい裾幅です

◆**用　　尺**　110幅150cm/150幅80cm

◆**作図寸法**◆

W	68+2(いせ分)=70 $\frac{1}{4}$=(17.5) $\frac{W}{10}$(7)
ミドルH	90+2(いせ分)=92 $\frac{1}{4}$=(23)
H	94+4(ゆとり分)=98 $\frac{1}{4}$=(24.5)
裾　幅	32　　スカート丈　62

(注)ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23の少し伸びる布(ウール、チリメンなど)や、P32の伸びない布(絹、綿など)を読んで参考にして下さい。

◆**製図順序(前スカートから)**

1 スカート丈(62)を引き、ミドルH、Hを矢印の案内線で印します。

2 裾幅(32)とミドルH、Hの交わった点を結びます(ミドルH、Hなど寸法を確かめます)。

3 W、裾ともに$\frac{1}{2}$に直角をとり引き直します。

4 後ろスカートの製図は前と同じですが、後ろ中心Wで1.5下げ、結び直して下さい。

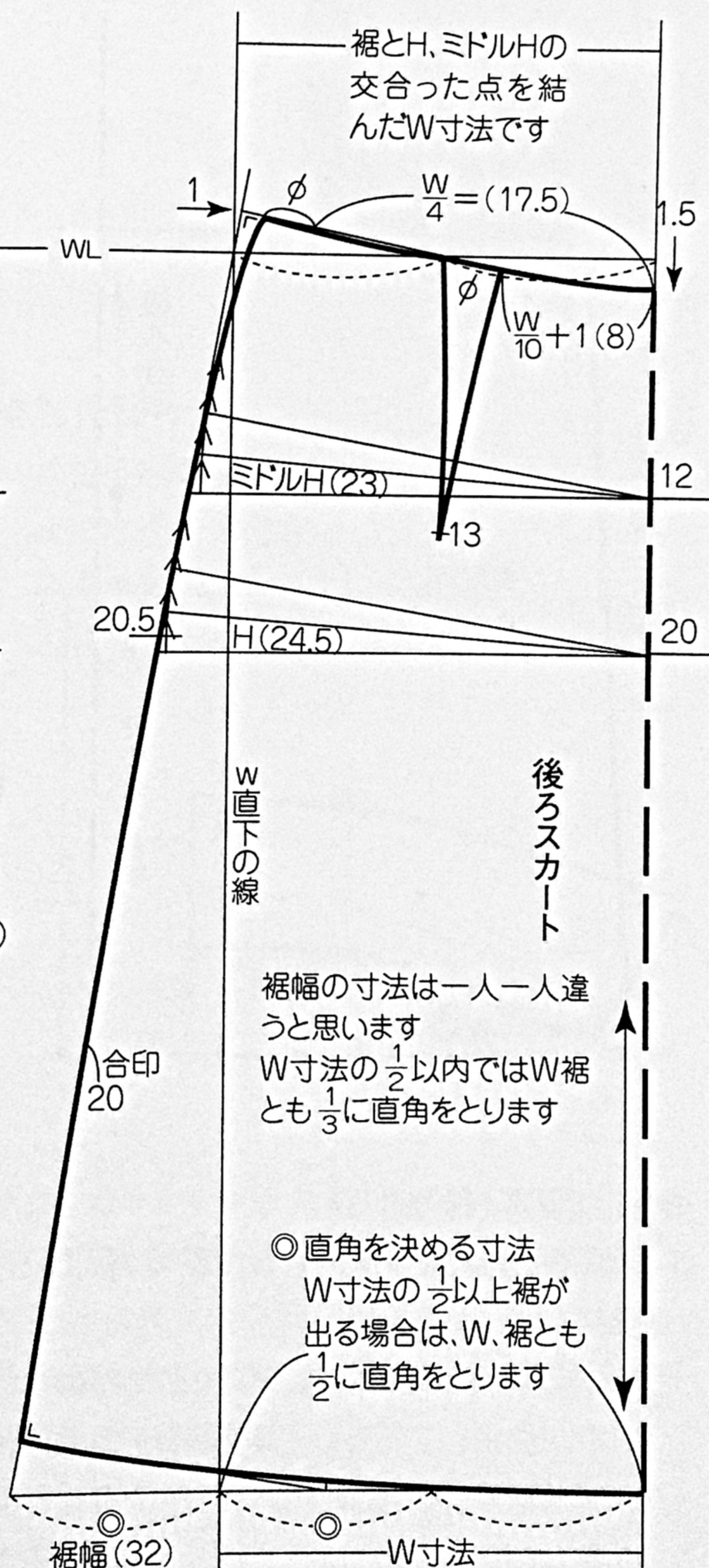
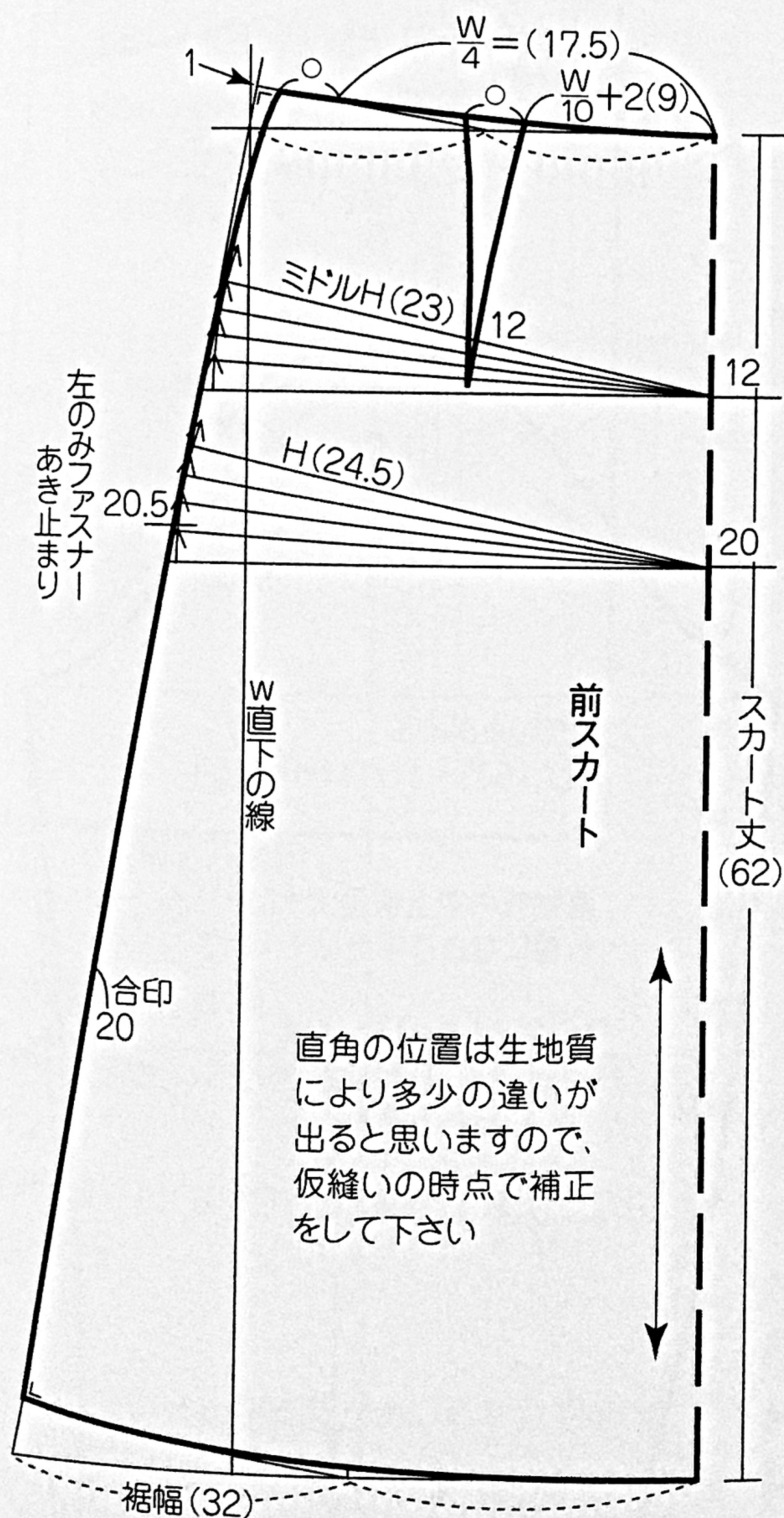
前スカート

直角の位置は生地質により多少の違いが出ると思いますので、仮縫いの時点で補正をして下さい

後ろスカート

裾とH、ミドルHの交合った点を結んだW寸法です

裾幅の寸法は一人一人違うと思います
W寸法の$\frac{1}{2}$以内ではW裾とも$\frac{1}{3}$に直角をとります

◎直角を決める寸法
W寸法の$\frac{1}{2}$以上裾が出る場合は、W、裾とも$\frac{1}{2}$に直角をとります

ブラウスジャケット ── 表生地により多彩な着回しを楽しんで下さい

◆用　　尺　110幅220cm/150幅140cm

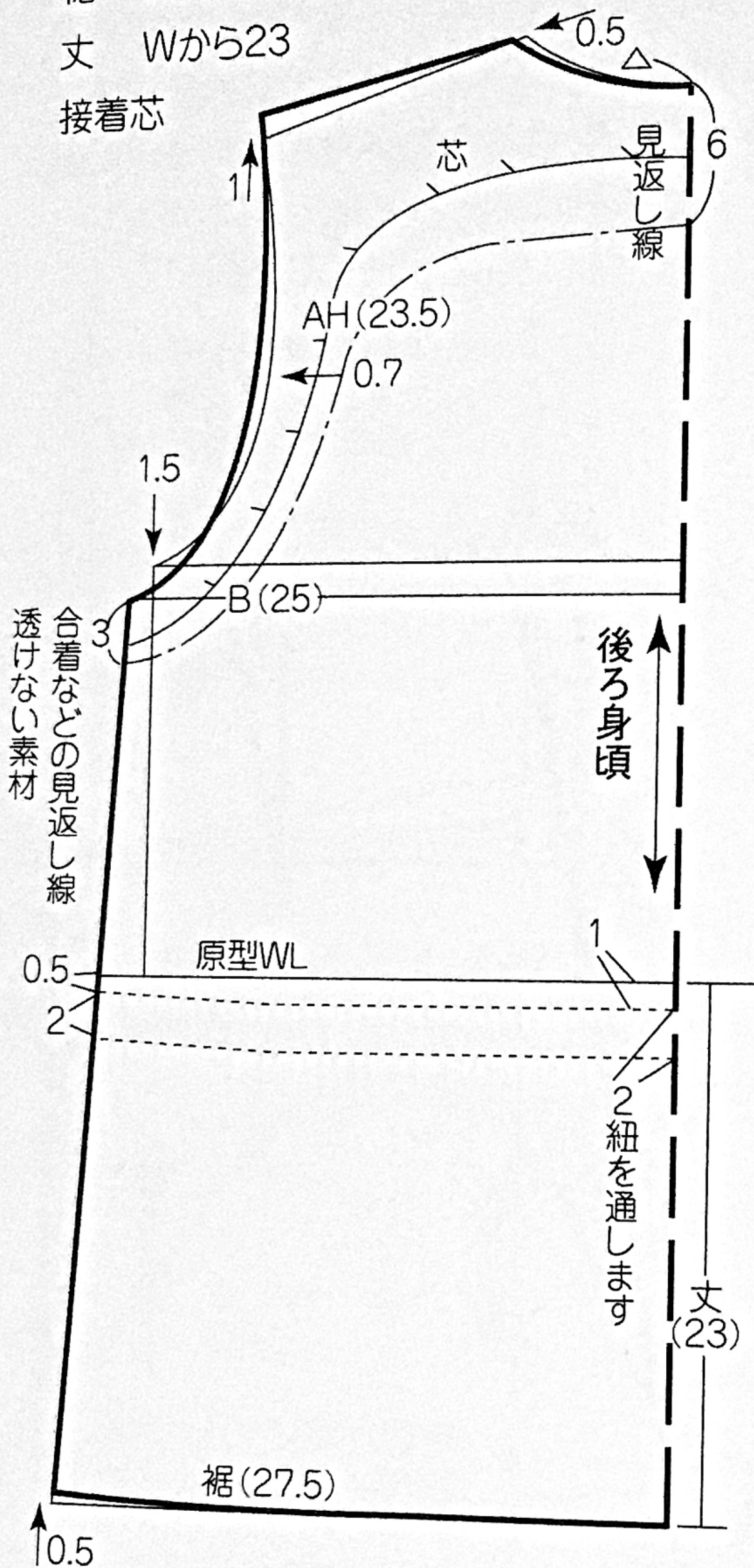
◆作図寸法

B　84+16(ゆとり分)=100 $\frac{1}{4}$=(25)

裾　(H)94+16(ゆとり分)=110 $\frac{1}{4}$=(27.5)

丈　Wから23

接着芯

芯
見返し線
AH(23.5)
0.7
0.5
6
1
1.5
3
B(25)
合着などの透けない素材の見返し線
後ろ身頃
原型WL
0.5
2
1
2 紐を通します
丈(23)
裾(27.5)
0.5

○ベストとして着る場合
AH全体を1〜1.5広くします。

○合着など透けない素材で作る場合
見返し、接着芯など、衿、肩、AHなど型くずれしないように仕立てます。

○レースなど透ける素材の場合
後ろ身頃には見返し、芯など使わない場合が多いのですが、用途により充分に注意して、加減して下さい。

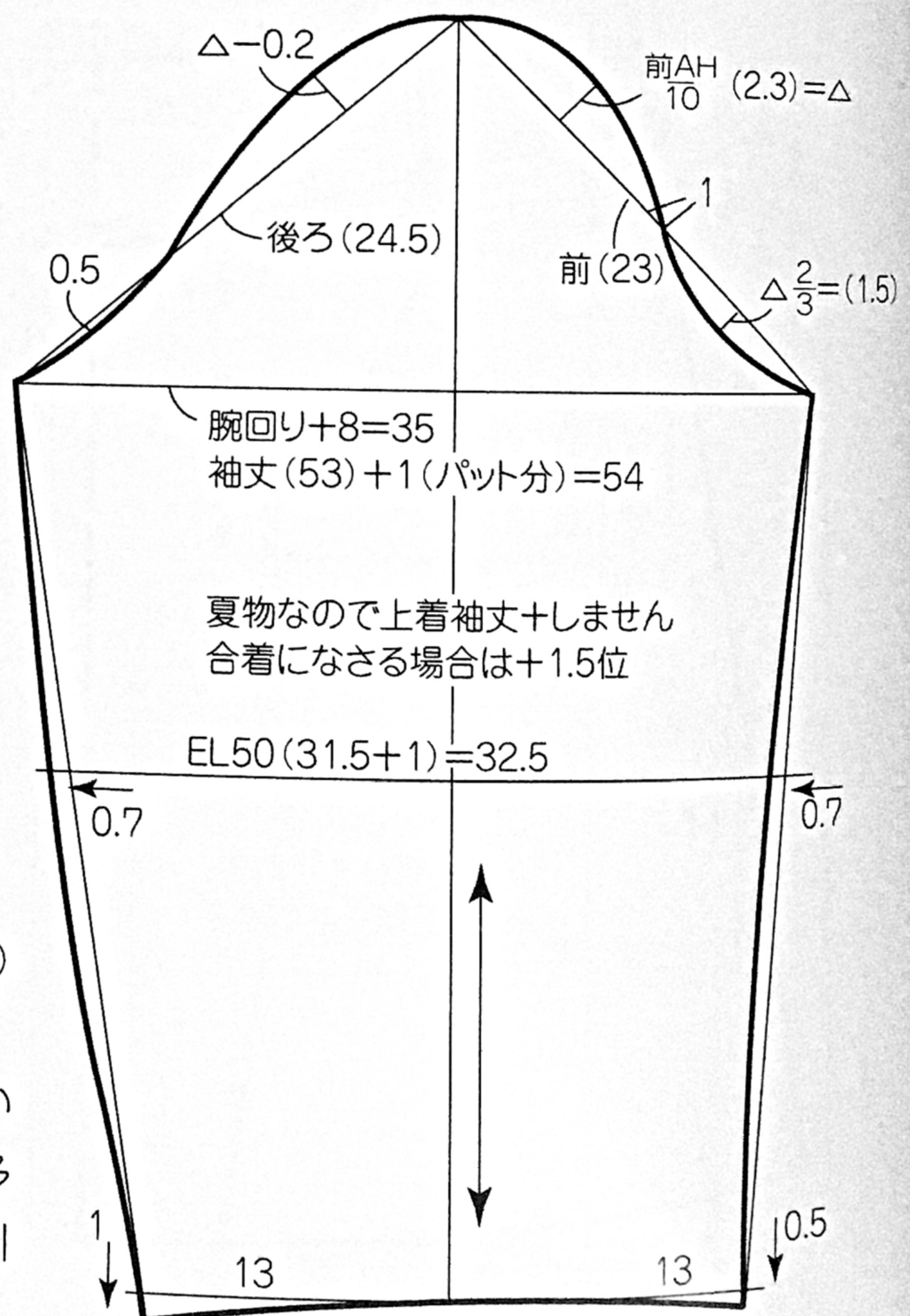
◆袖作図寸法

腕回り　+8=35

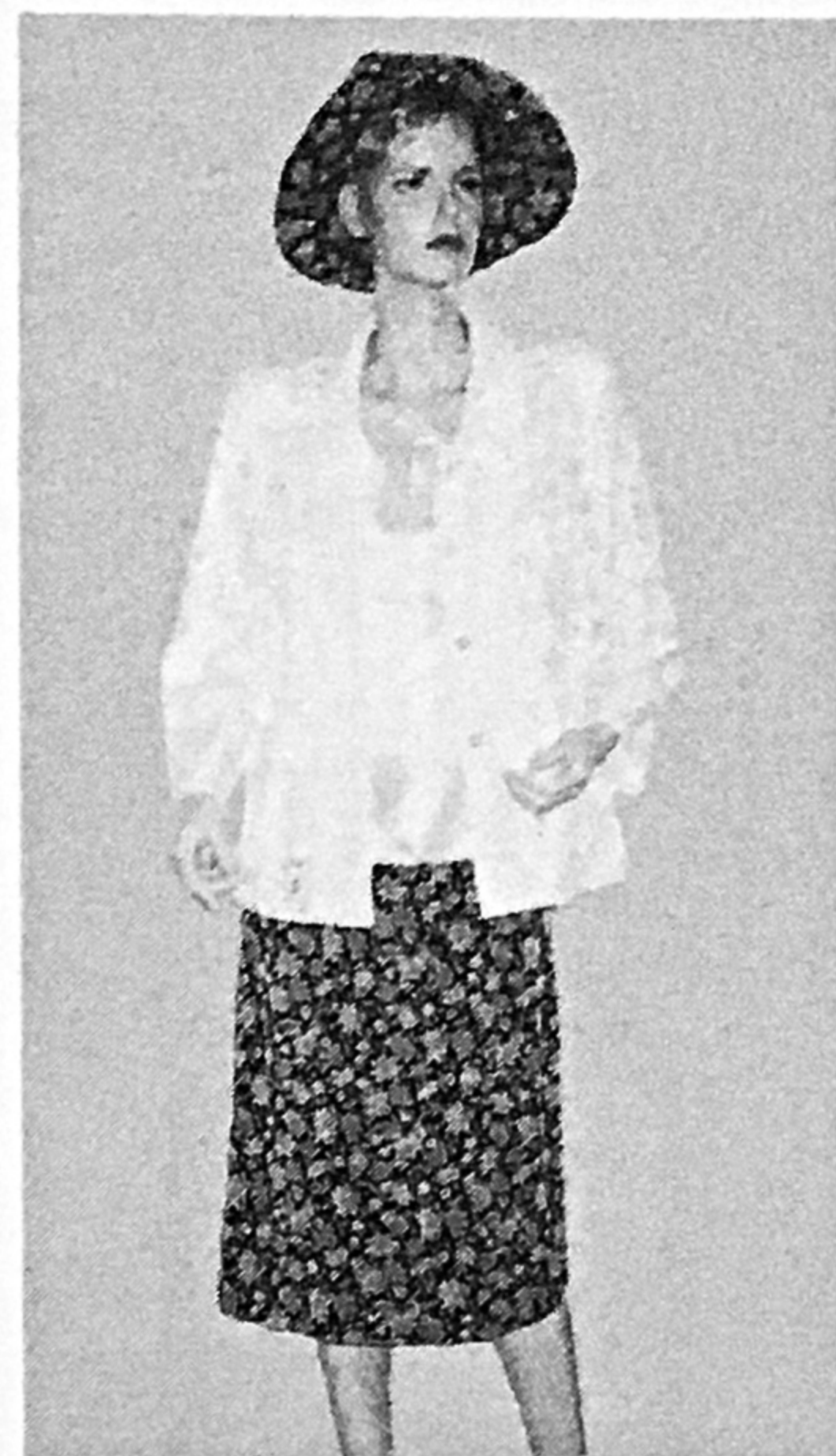
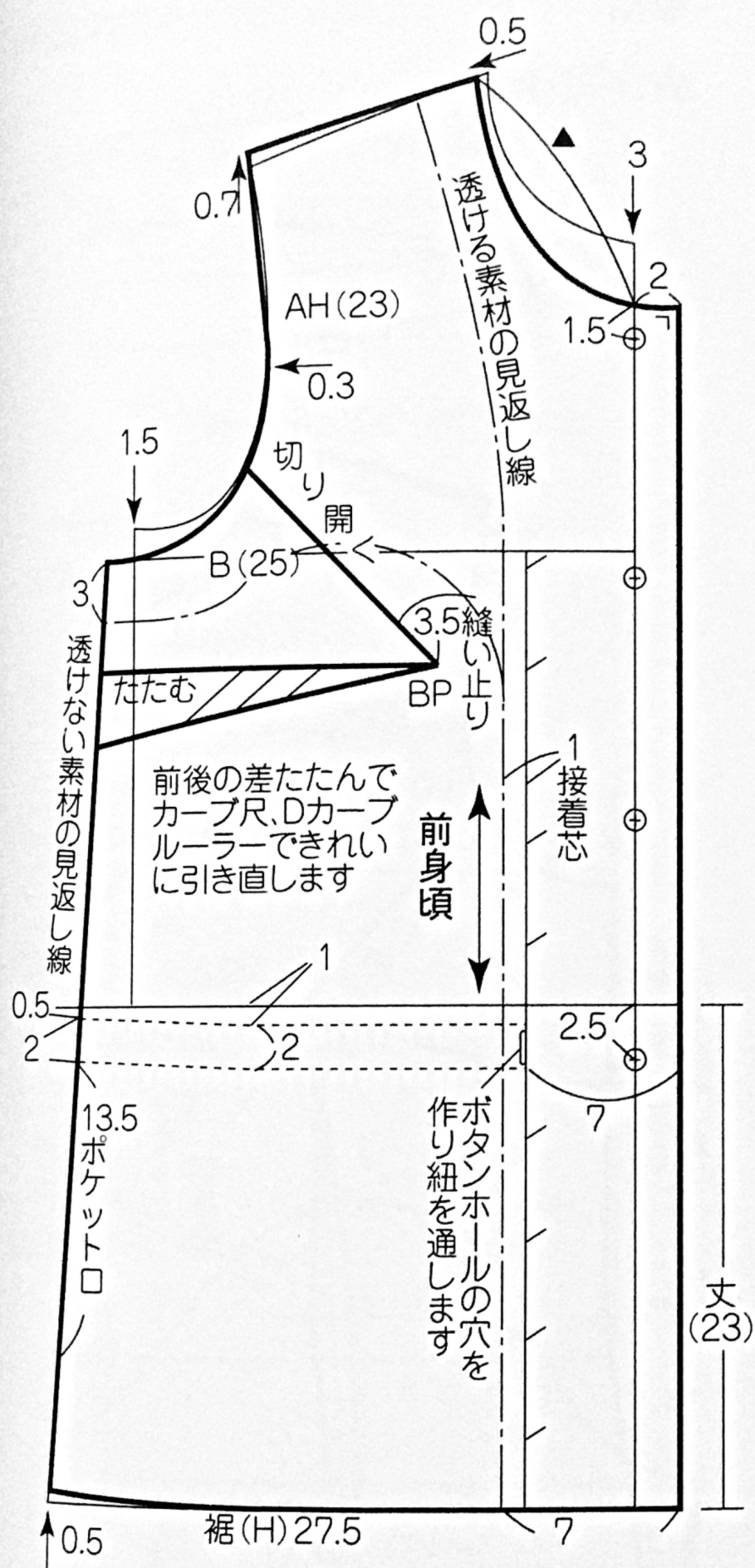
袖　　丈　(53)+1(パット分)=54

前ＡＨ　(23)

後ろAH　(23.5)+1=24.5

△−0.2
前AH/10 (2.3)=△
後ろ(24.5)
1
前(23)
0.5
△$\frac{2}{3}$=(1.5)
腕回り+8=35
袖丈(53)+1(パット分)=54
夏物なので上着袖丈+しません
合着になさる場合は+1.5位
EL50(31.5+1)=32.5
0.7
0.7
1
0.5
13
13

◆製図順序(後ろから)

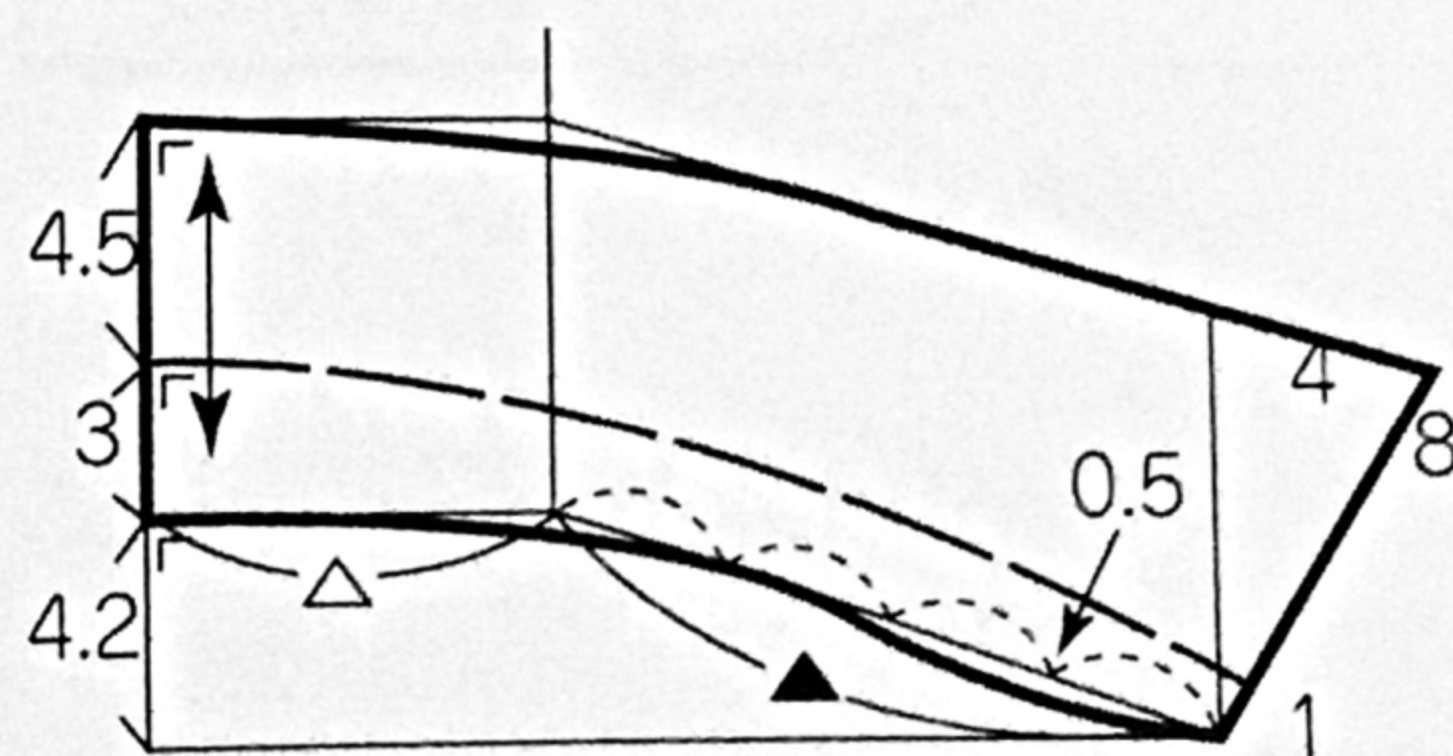
1 原型の胸囲線を1.5下げ、B(25)を裾(27.5)と結びます。

·BとHとの差がない方は、裾に広がりが欲しいので、2位出して下さい。又、BとHとの差が多い方は裾線 $\frac{1}{4}$ に脇線を直角にとり、裾線を引き直します。

◆衿作図寸法

△後ろ衿ぐり（7.7）

▲前衿ぐり（13.6）

△＋▲＝21.3 $\frac{1}{10}$＝2.1

2.1×2＝4.2（衿立ち上がり寸法）

◆製図順序（前身頃）

1 前中心で持出し2引き、丈23出し、原型を写します。

2 脇胸囲線で1.5下げB（25）を印し、裾（H27.5）と結びます。

(注) P43にスカートの製図がありますので参考にして下さい。
P77にフードの製図があります。表生地により多彩な着回しを楽しんで下さい。

◦ボタンホールを作り、共布で紐を作りますが、レースなど難しい場合は打紐などを使用します。

◦ポケットは表生地などによりつけましょう。

◦透ける素材、レース、コードレス、ビーズなどは充分注意をして裁断して下さい。

◦裏衿は後ろ中心をバイヤスに裁ち接着芯をはります。

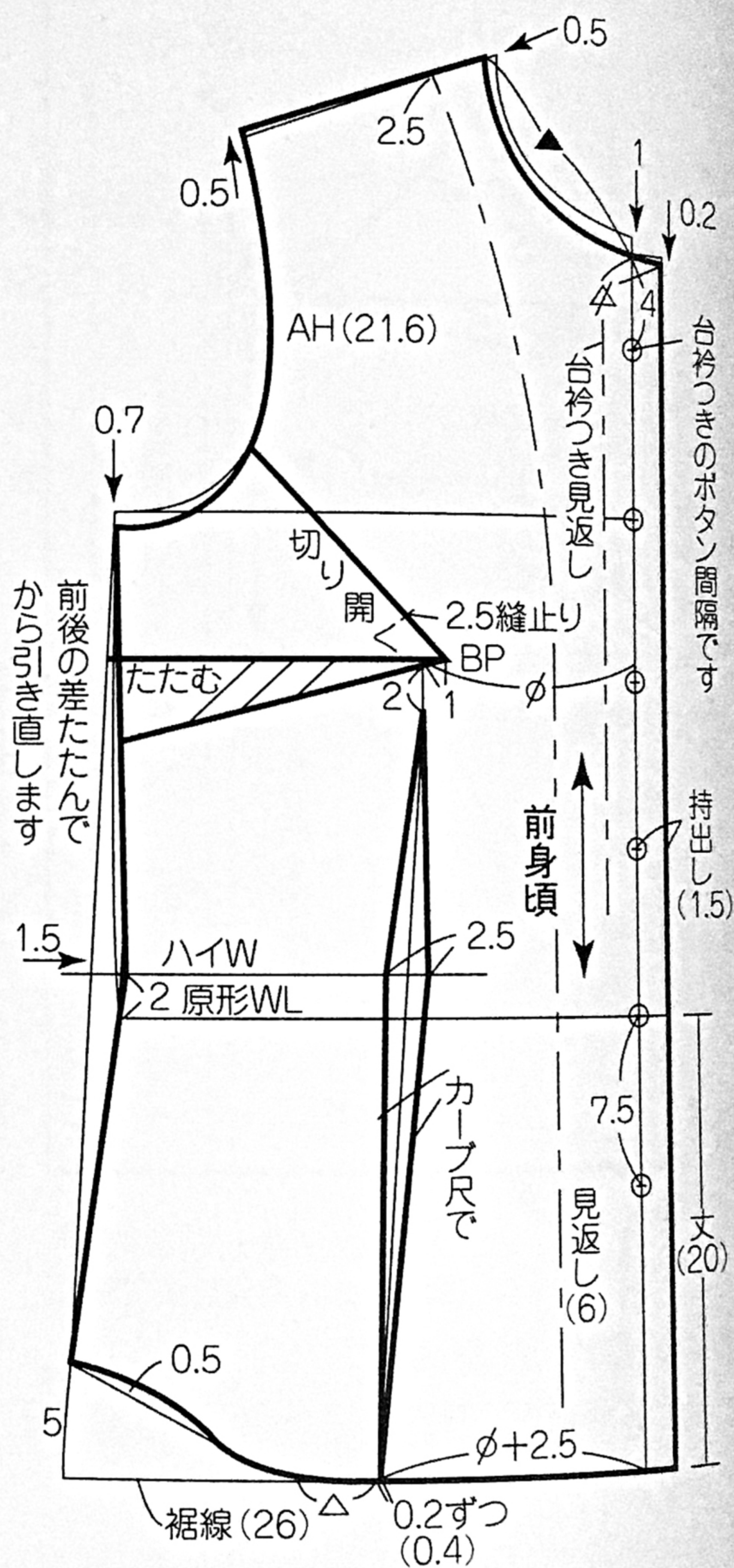
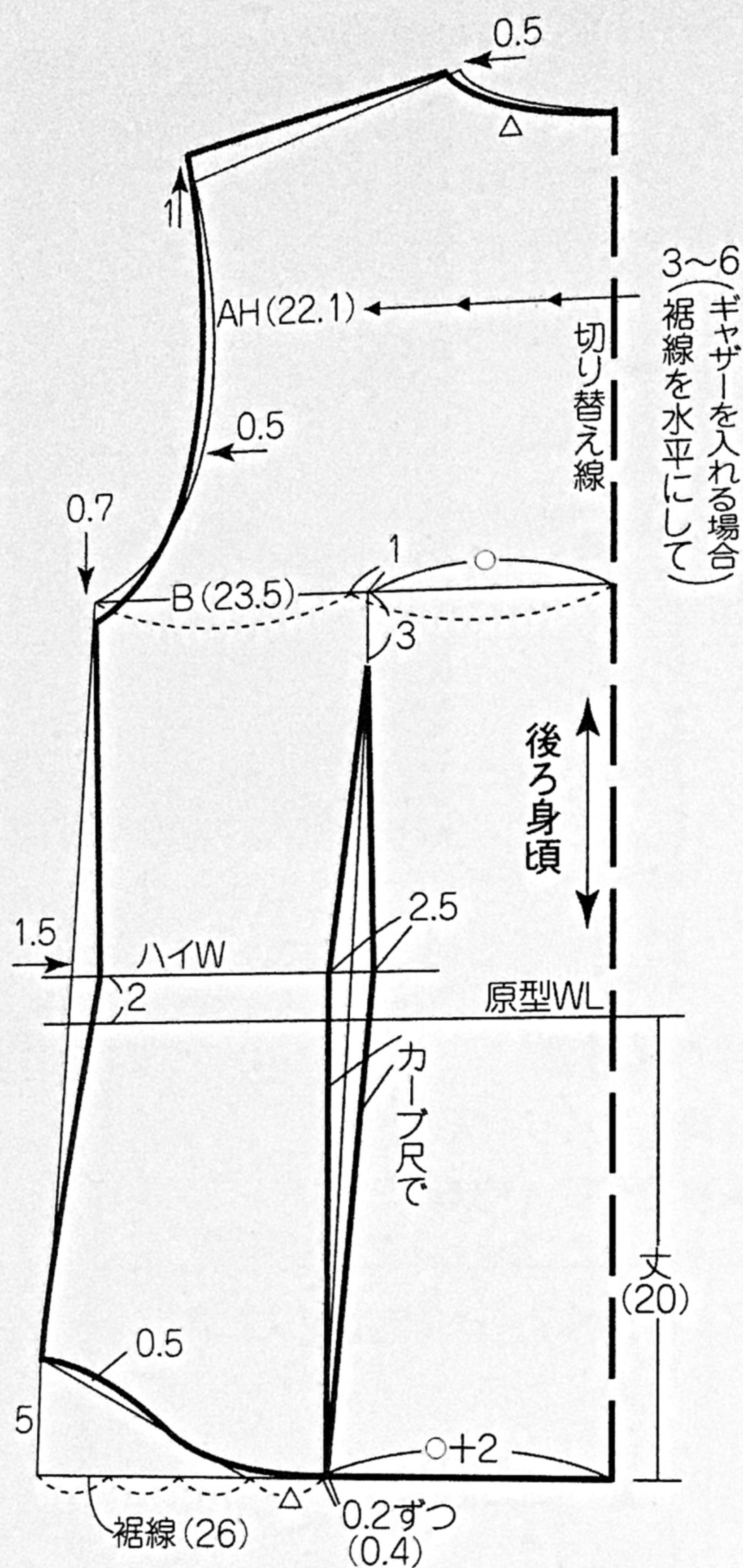
長袖のブラウス ── 衿、袖ともに2点ずつ製図をしました 何通りにもどうぞ

◆用　　尺　110幅160cm/150幅130cm

◆作図寸法

B　84+10(ゆとり分)=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

H　94+10(ゆとり分)=104 $\frac{1}{4}$(26)

丈　Wから20

◆製図順序(後ろから)

1 原型WLから丈20を引き、裾線とします。

2 原型胸囲線から0.7下げ、裾26と結びます。

3 ハイWで1.5入り脇線を結び直します。

4 裾線ダーツから$\frac{1}{4}$を5と結び、カーブをつけます。

○ダーツは好みで良いです。

○薄地、透ける生地の場合は優雅に、背に切り替え線を入れ、ギャザーを多くしてダーツをなくし、着丈を長くします。

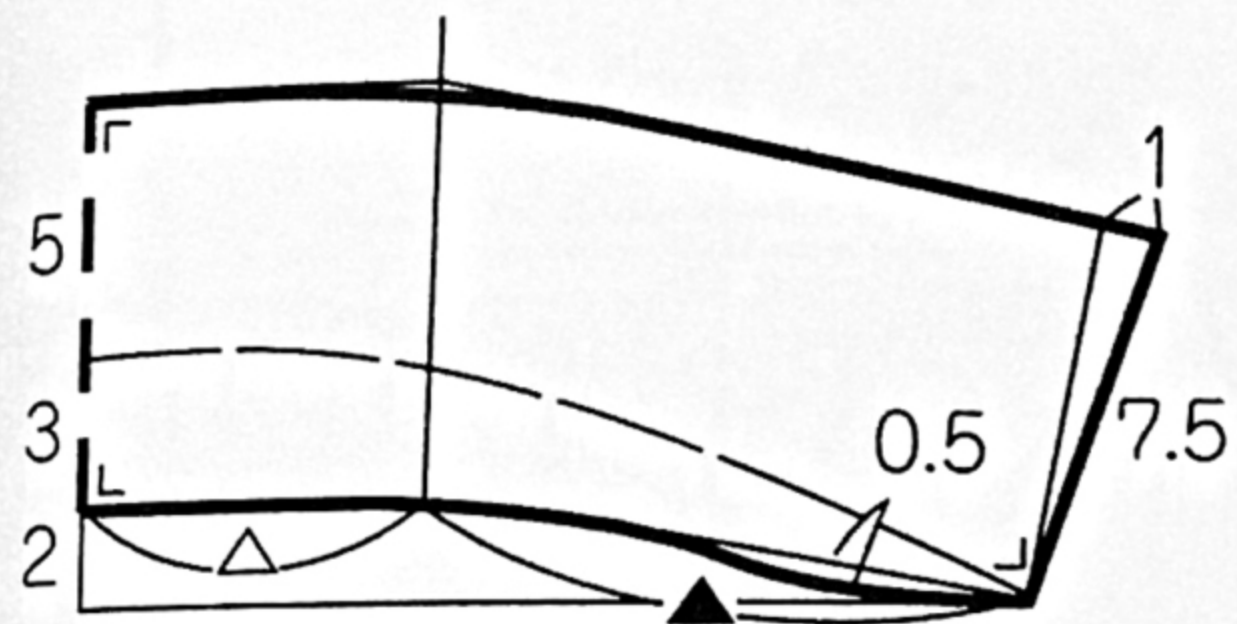
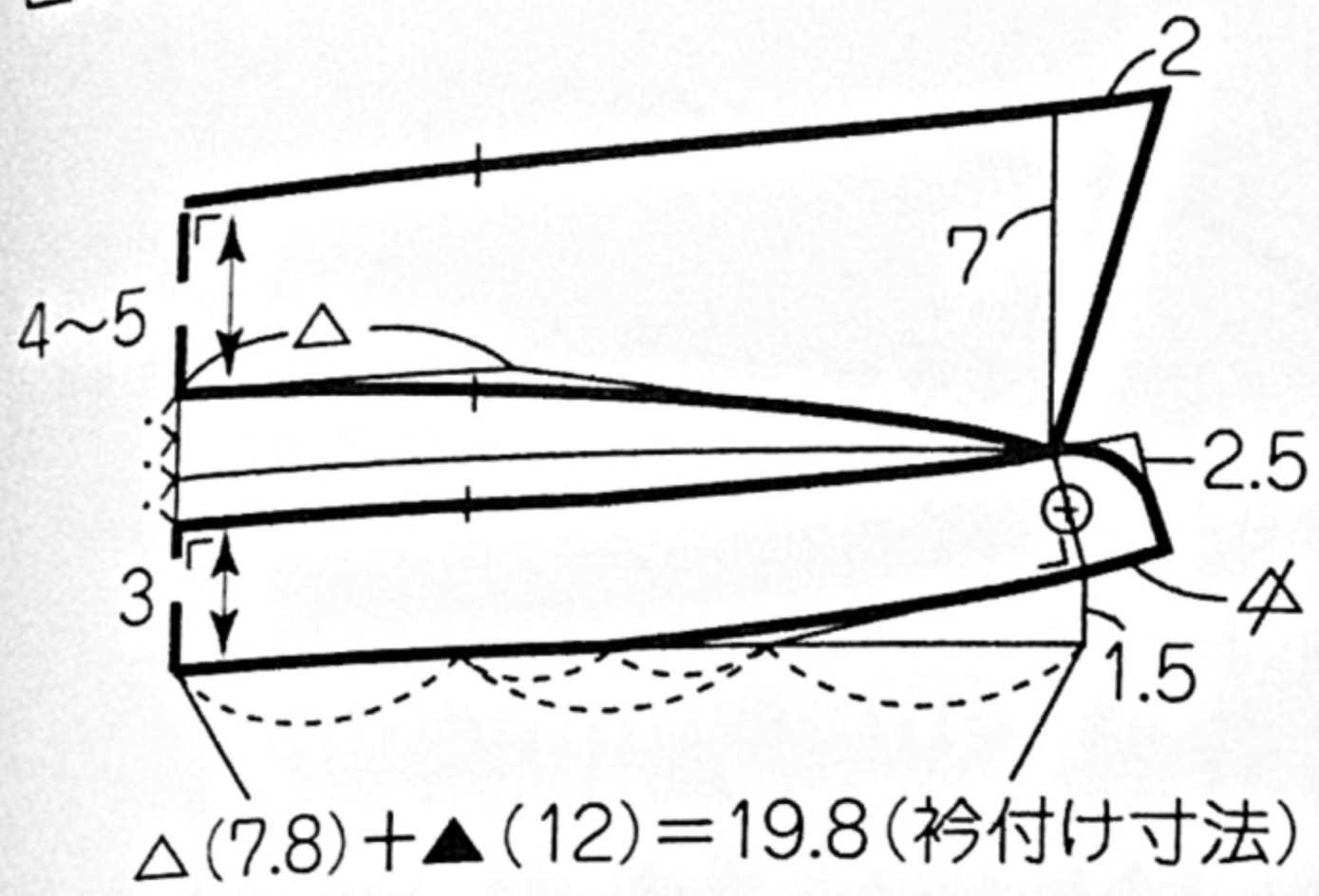
◆製図順序(前身頃)

1 前中心で持出し1.5出し、後ろ身頃と同じに引きます。

台衿つきシャツカラー

4~5
△
7
2
2.5
3
1.5

△(7.8)+▲(12)=19.8(衿付け寸法)

5
3
2
1
0.5
7.5
△
▲

△(7.8)+▲(12)=19.8(衿付け寸法)

19.8 $\frac{1}{10}$=(2)シャツ衿の立ち上がり寸法

パフスリーブ

後ろAH (22.1)+1=(23.1)
0.5
前AH (21.6)
1.9
2.1
(23.1)
(21.6)
1
0.3
1.4

腕回り+8=35

袖丈53+1(パット)=54

カフス幅	− 5
袖　丈	49

0.5
5
2.5
3
3
2.5
(14.3)
0.7
1
1パフリ分
(14.3)

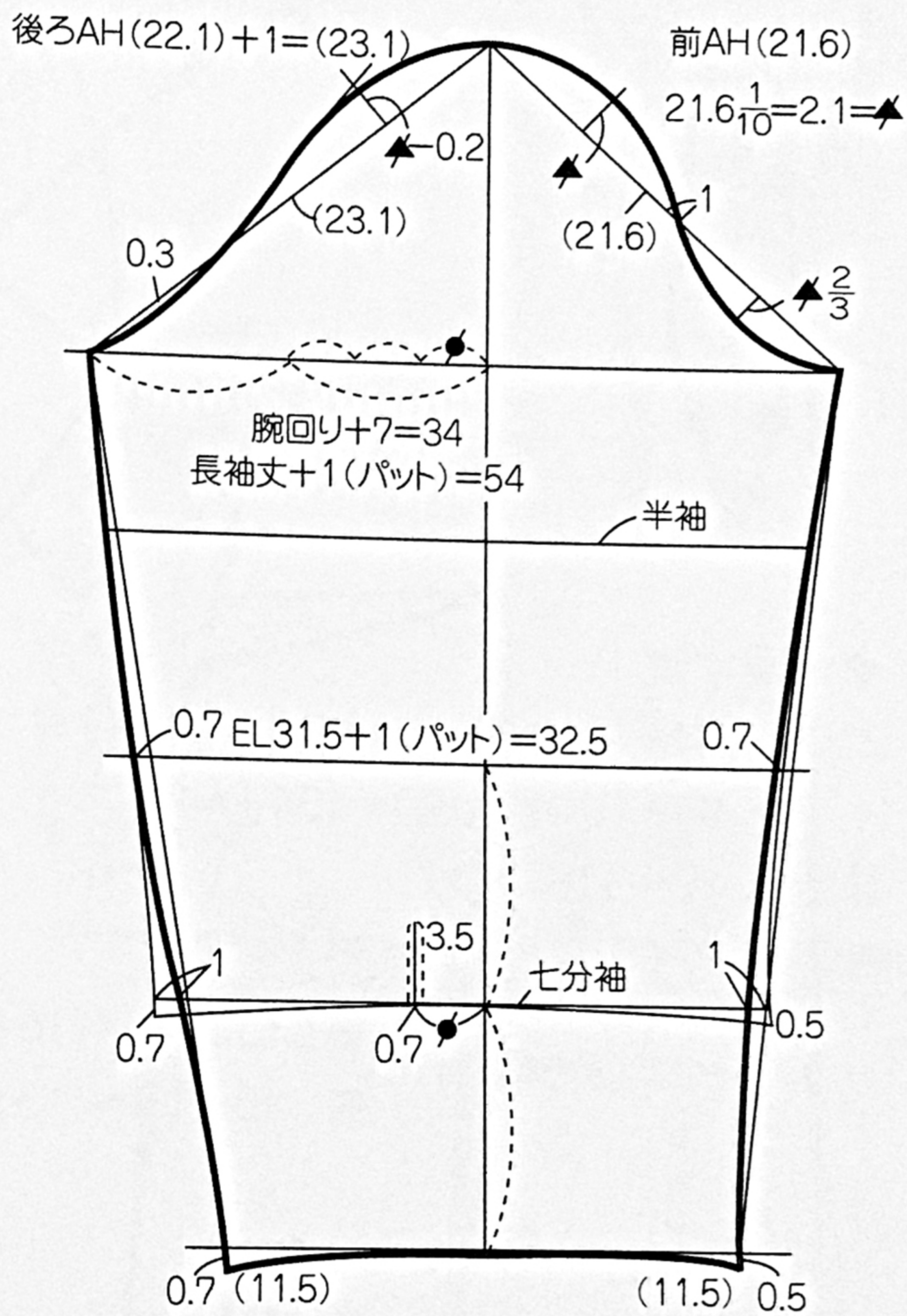
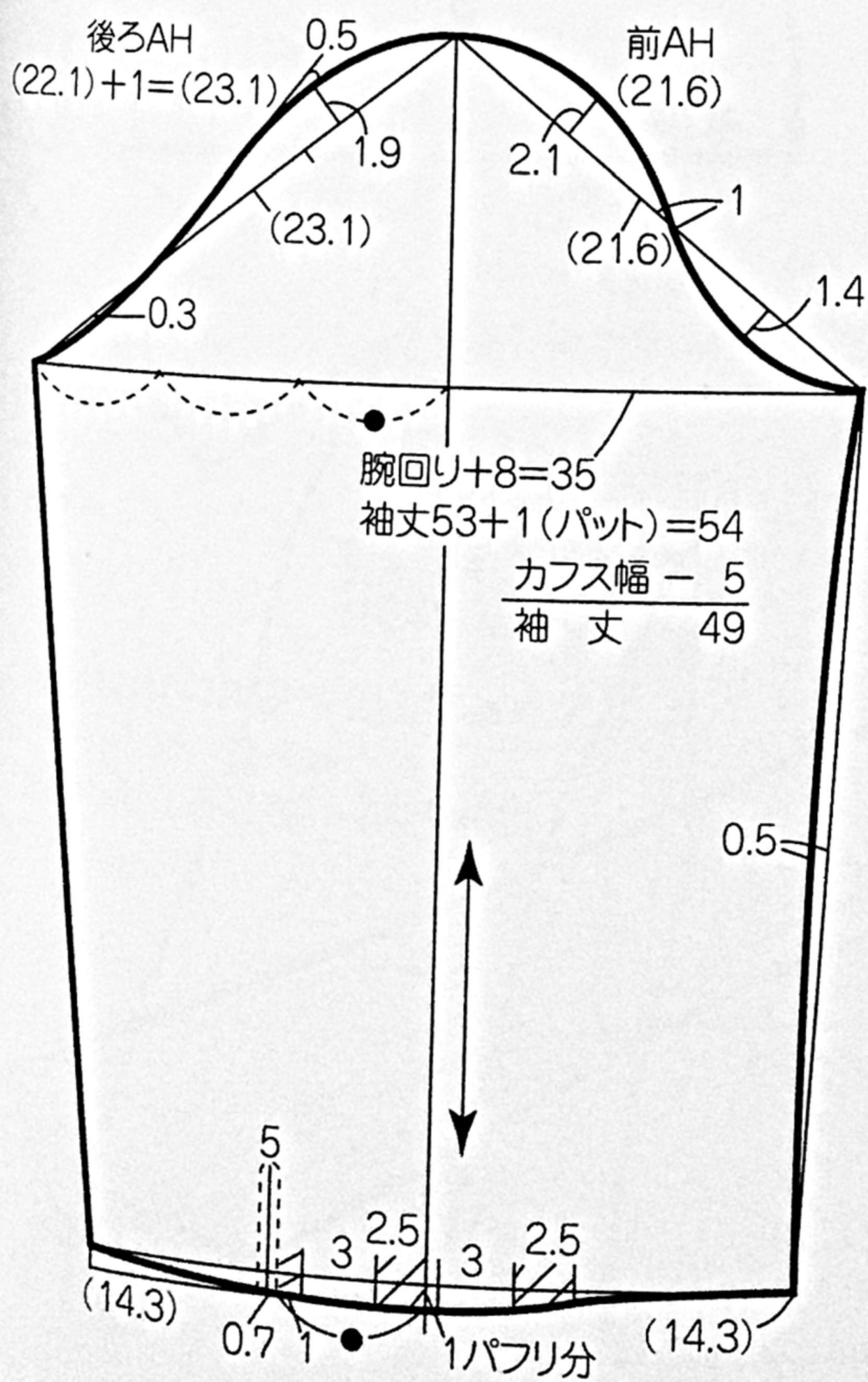
スリムスリーブ

後ろAH(22.1)+1=(23.1)
前AH(21.6)
21.6 $\frac{1}{10}$=2.1=▲
▲0.2
(23.1)
(21.6)
1
0.3
▲$\frac{2}{3}$

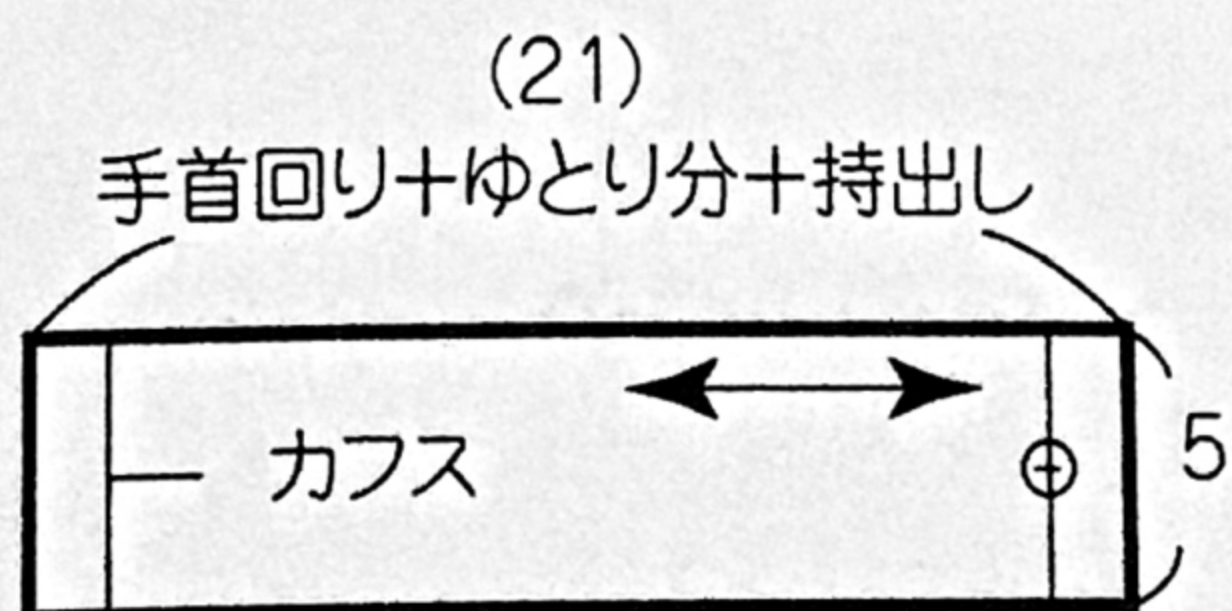
腕回り+7=34

長袖丈+1(パット)=54

半袖

0.7 EL31.5+1(パット)=32.5
0.7
3.5
1
七分袖
1
0.7
0.7
0.5
0.7 (11.5)
(11.5) 0.5

○手の平回り(19)+4(ゆとり)=23=$\frac{1}{2}$(11.5)

○袖口寸法	28.7 $\frac{1}{2}$=14.3
タック分	5+1=6
あき縫目用	0.7
袖口ゆとり	1
カフス寸法	21

○カフス寸法	21
手首回り	16
ゆとり分	2
持出し	3

(21)
手首回り+ゆとり分+持出し
カフス
5

半袖のブラウス——キモノスリーブ。マチが入りますのでほつれやすい布は避けましょう

◆用　尺　110幅140cm/150幅120cm

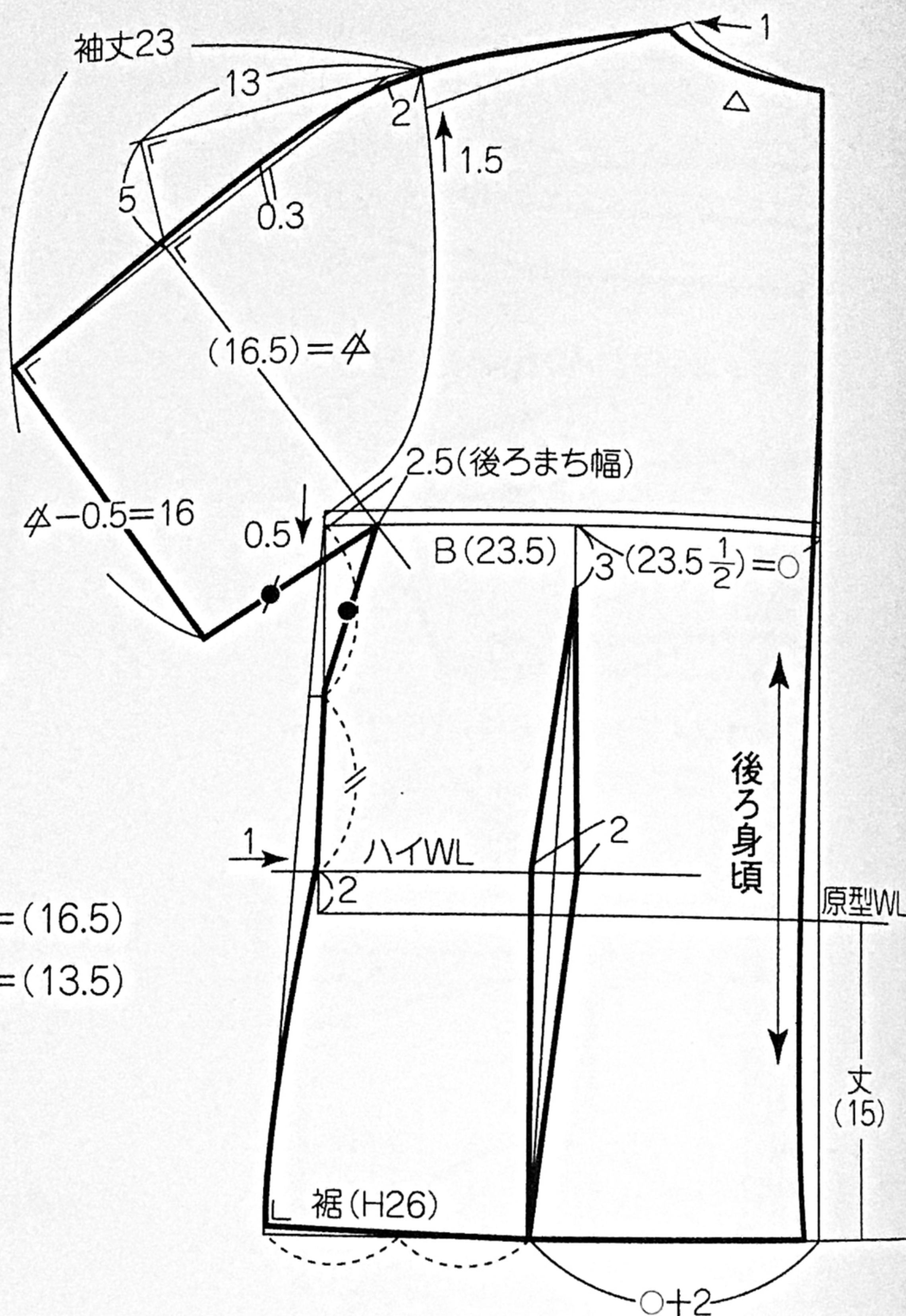
◆作図寸法

B　84+10(ゆとり分)=94 $\frac{1}{4}$=23.5

H　94+10(ゆとり分)=104 $\frac{1}{4}$=26

着丈　Wから15

腕回り　27+8(ゆとり分)=35 $\frac{1}{2}$=17.5

17.5−2.5(まち幅)=15　後ろ15+1.5=(16.5)
　　　　　　　　　　　前　15−1.5=(13.5)

◆製図順序(後ろから)

1 原型のWLから丈15引き裾線とします。

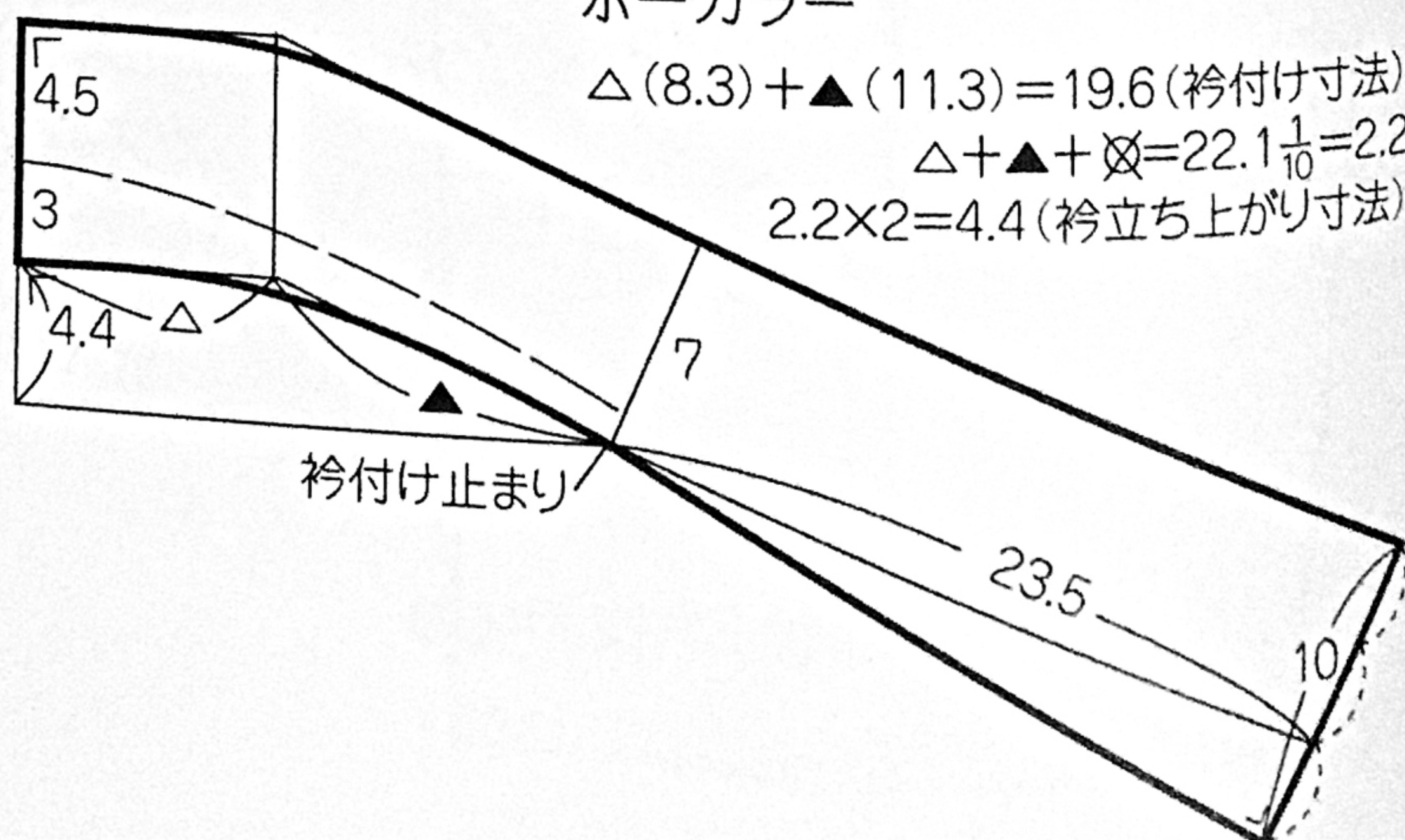
2 胸囲線から0.5下げB(23.5)を印し、裾(26)と結びます。

3 ハイWで1入り結び直します。

4 胸囲線に2.5のまち幅を印し、脇 $\frac{1}{2}$と結び直します。

5 肩先から13出し直角をとり、袖丈を引きます。

6 2.5のまち幅に対し袖幅線(16.5)を求めます。

○背丈、B、腕回り寸法により違いが出ると思いますが、まち幅の位置は原型の胸囲線から0.5〜1.5位下げてもよいでしょう。

ボーカラー

△(8.3)+▲(11.3)=19.6(衿付け寸法)

△+▲+⊗=22.1 $\frac{1}{10}$=2.2

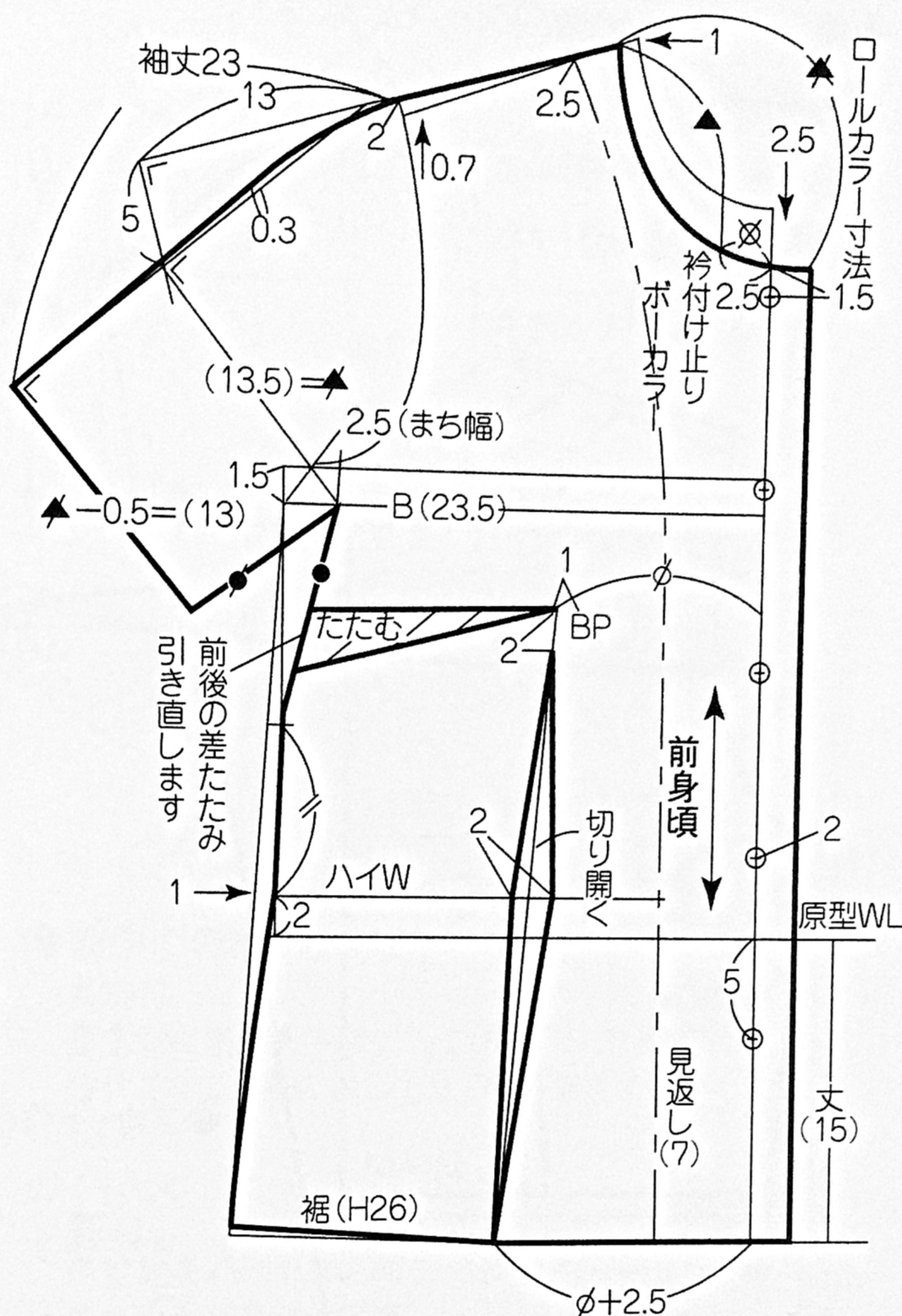
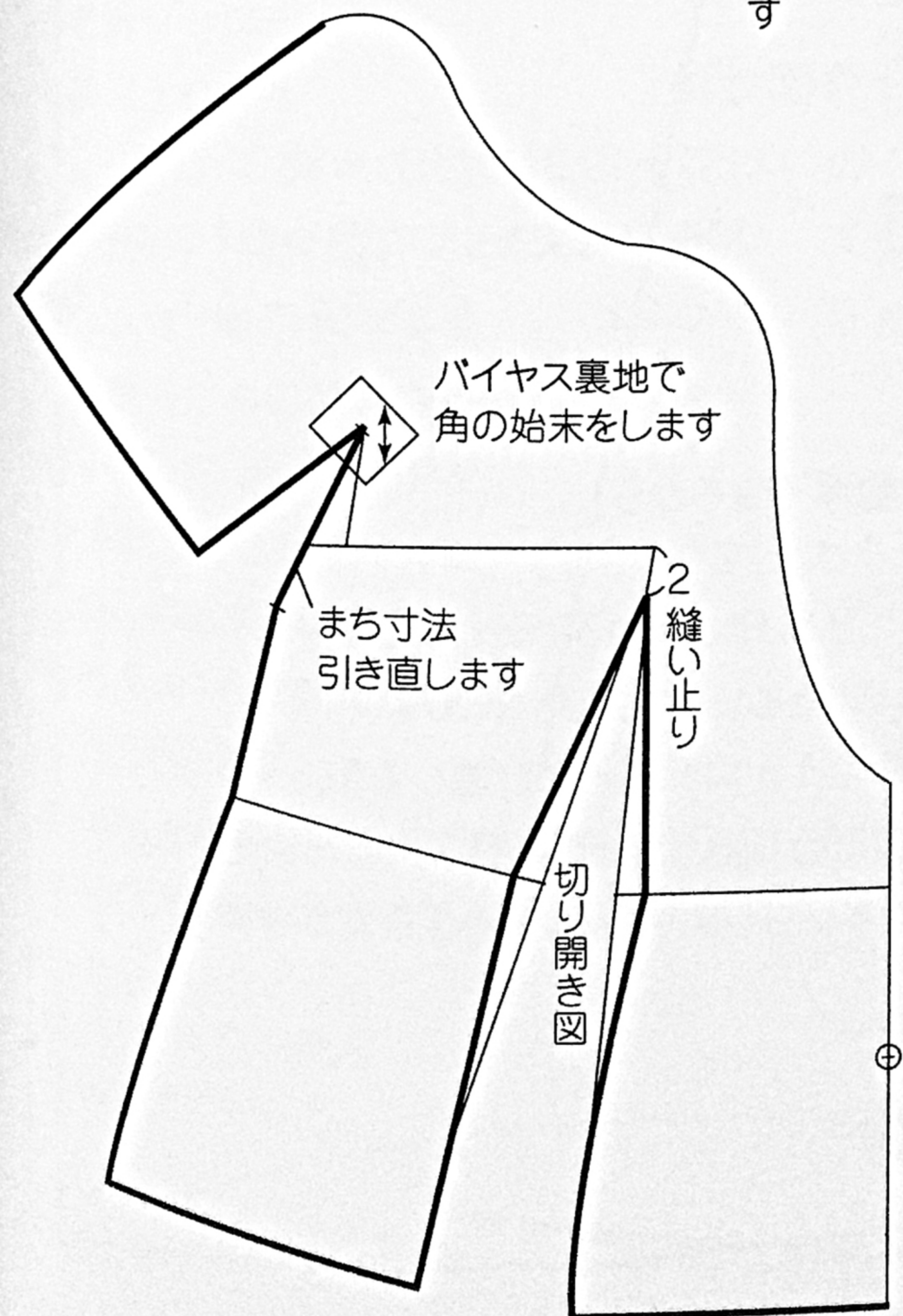
2.2×2=4.4(衿立ち上がり寸法)

(注)P31の角の始末を読んで参考にして下さい。

o衿の製図を2点引きました。好みをご使用下さい。

ロールカラー

△(8.3)+✖(15.5)=23.8(衿付け寸法)
23.8 $\frac{4}{10}$=9.5(衿立ち上がり寸法)

◆製図順序(前身頃)

1 前中心で持出し2引き、丈15出し、原型を写します。
2 胸囲線1.5下げ、B(23.5)を印し、裾(26)と結び後ろ裾丈寸法に合わせます。
3 ハイWで後ろ脇丈 $\frac{1}{2}$(〃)をとり、まち幅と結び、前後の差をとります。
4 肩先から13出し、直角をとり、袖丈を引きます。
5 2.5のまち幅に対し袖幅線(13.5)を求めます。

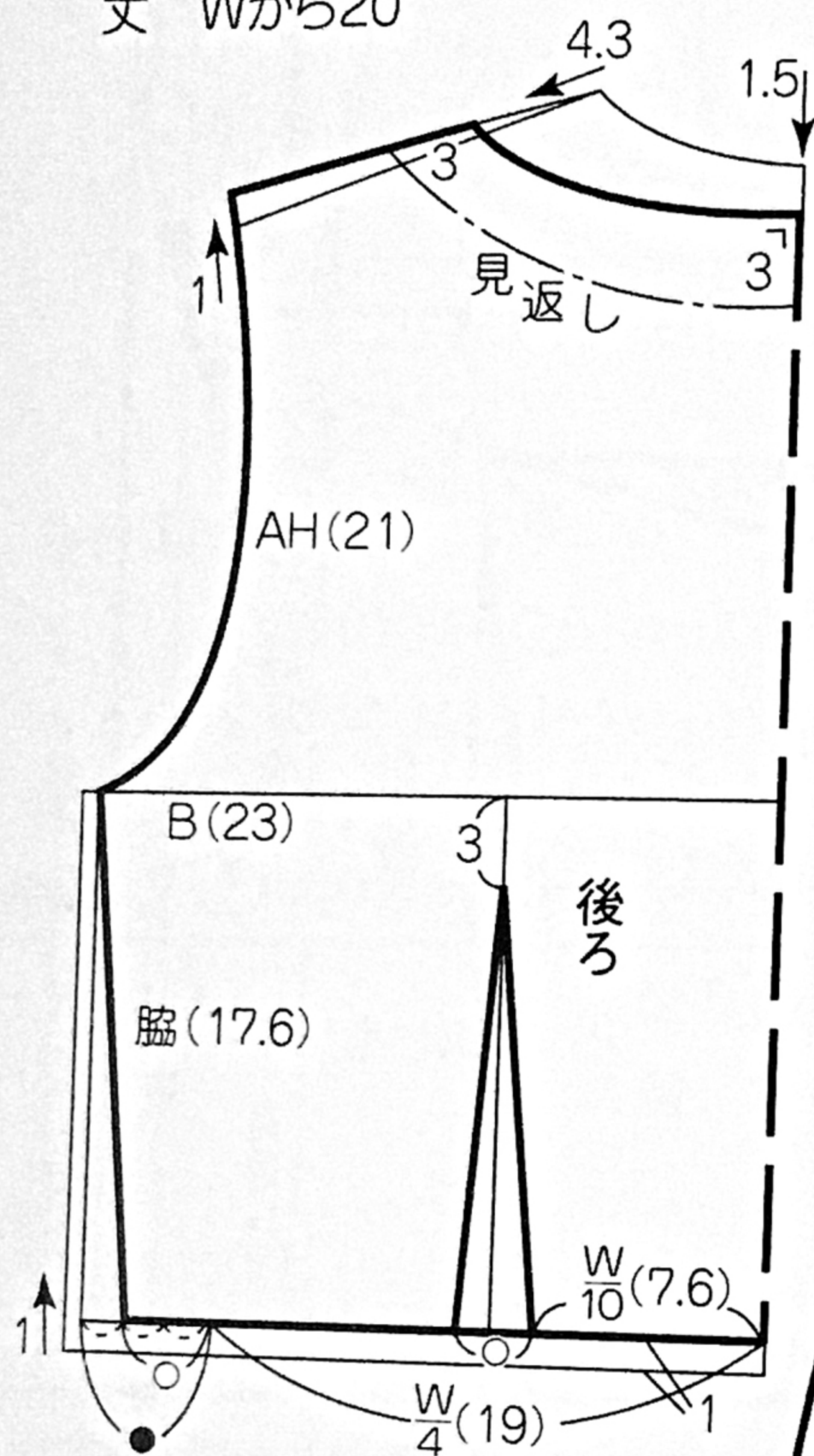
半袖のワンピース ── 何着も欲しいワンピースです（スリーシーズン用に）

◆用　　尺　110幅270cm/150幅220cm

◆作図寸法

B　+8（ゆとり分）$=92\frac{1}{4}=$（23）

W　+8（ゆとり分）$=76\frac{1}{4}=$（19）

丈　Wから20

●$\frac{2}{3}$○後ろダーツ

●$\frac{1}{3}$脇で入ります

○接着芯薄地
見返し線よりも0.7～1内側の身頃に張ります。

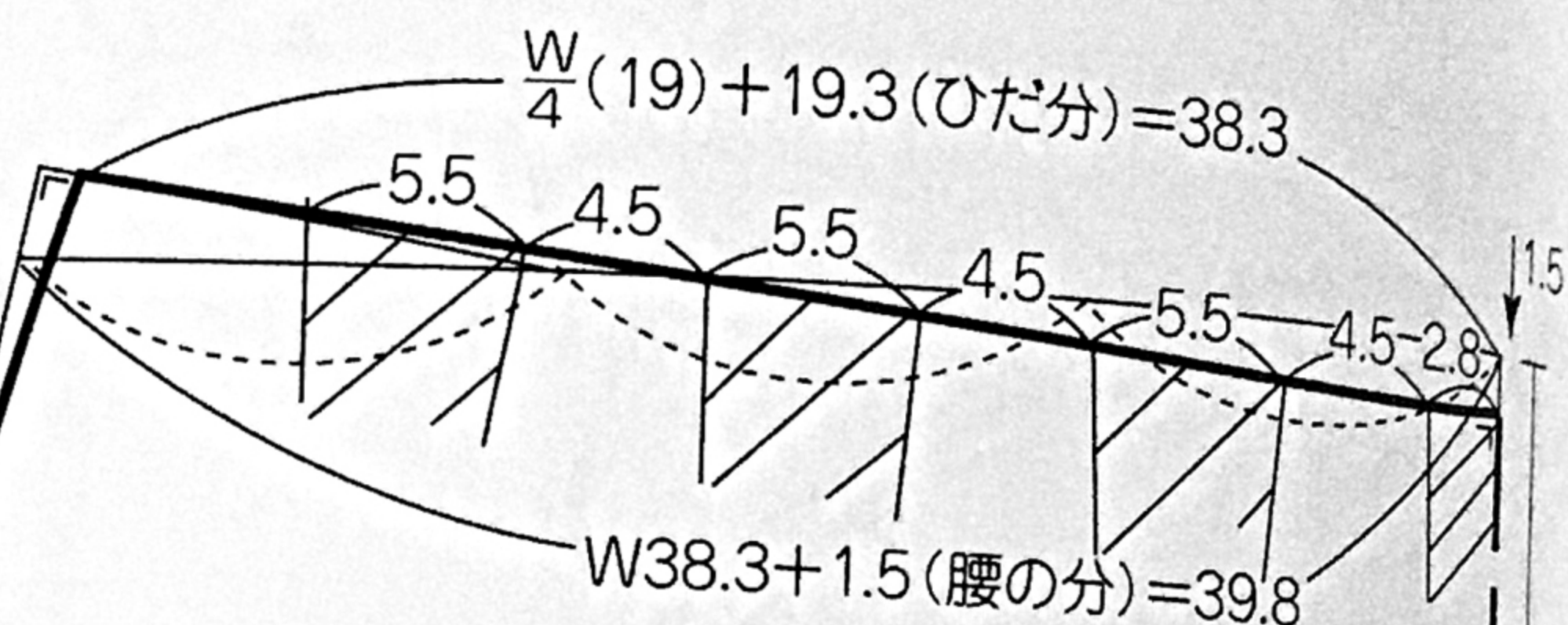
○背丈を1上げること
WLを1上にしないと、ベルトなどをした時に、ワンピースの縫目がWLから見えてしまいます。それを防ぐため1上にします。

◆製図順序（後ろから）

1 ワンピースの背丈は1短くし、WLとします。

2 B（23）をWLまで直下します。

3 $\frac{W}{4}$（19）を印し、B（23）との差を脇とダーツでとります。

4 肩先1上げネックポイント4.3印し、後ろ中心1.5下げ、それぞれを結びます。

◆スカート作図寸法

スカートW	（19）＋19.3（ひだ分）＝38.3	
スカート丈	70＋1（背丈を引いた分）＝71	
ひ　だ	中心 2.8	5.5を3本＝19.3

◆製図順序（後ろから）

1 スカート丈71を引きます。

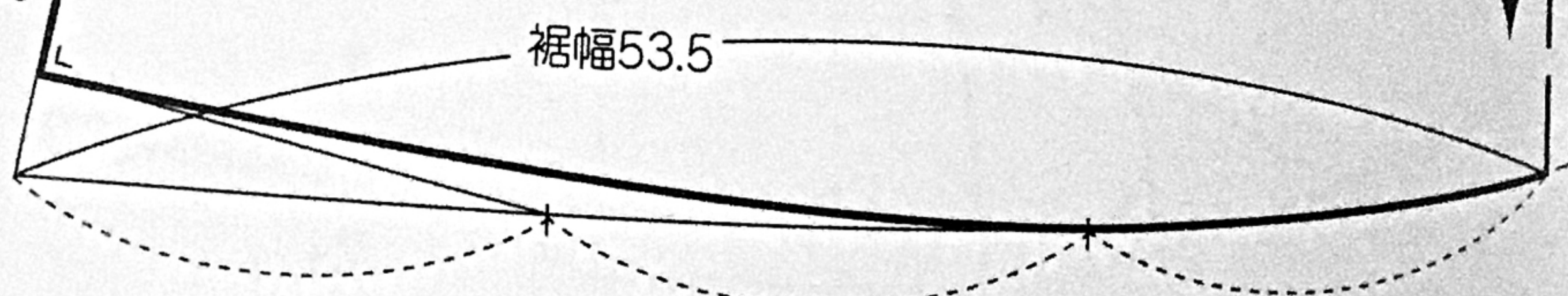
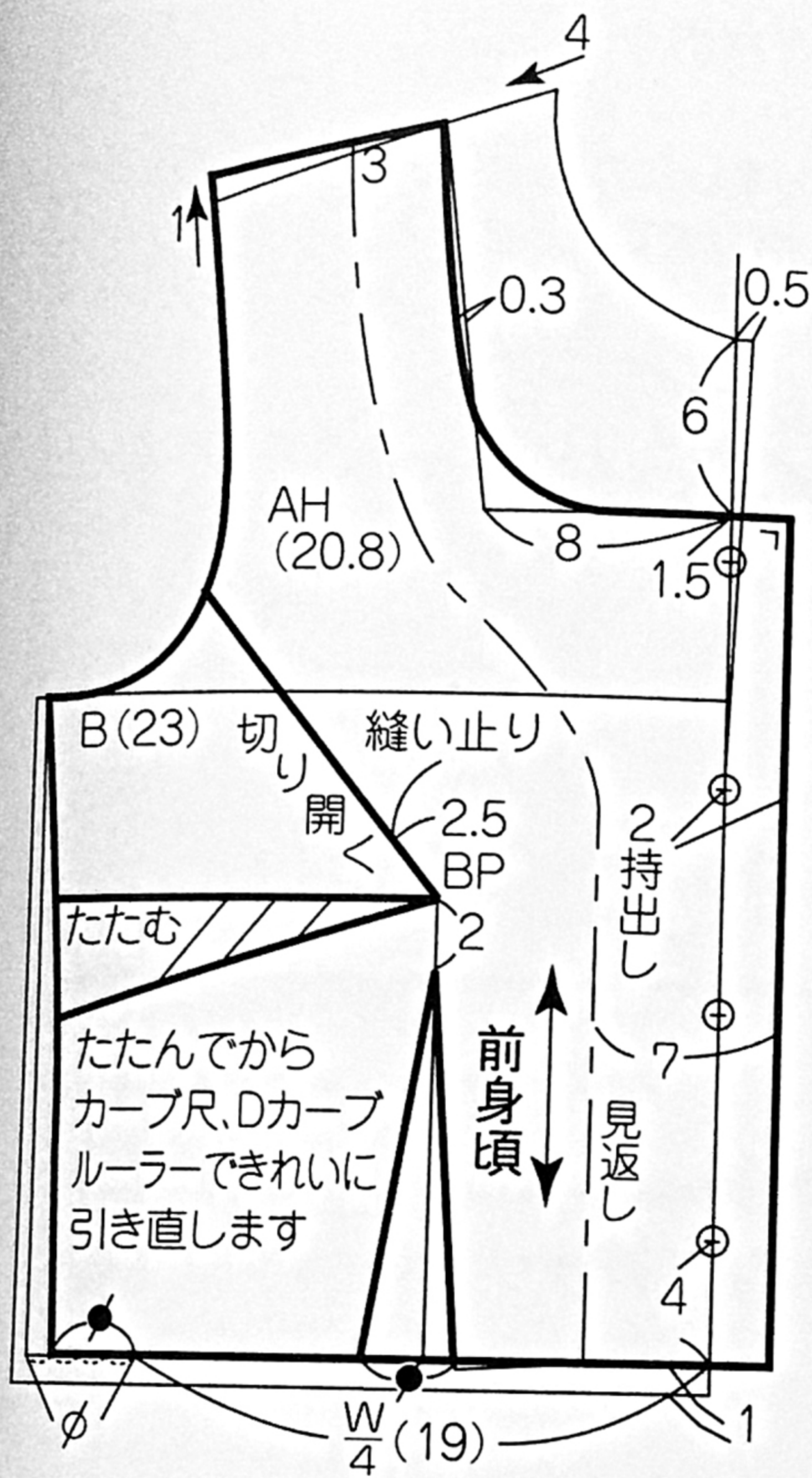
2 裾幅（53.5）印し、W（39.8）と結びます。

3 裾線、WLともに$\frac{1}{3}$に直角をとります。

4 後ろ中心1.5下げ、脇と結び直します。

5 $\frac{W}{4}$とひだ分（38.3）を印し、腰の丸みを引きます。

6 ひだ7本になりますので、中心にひだがきます。

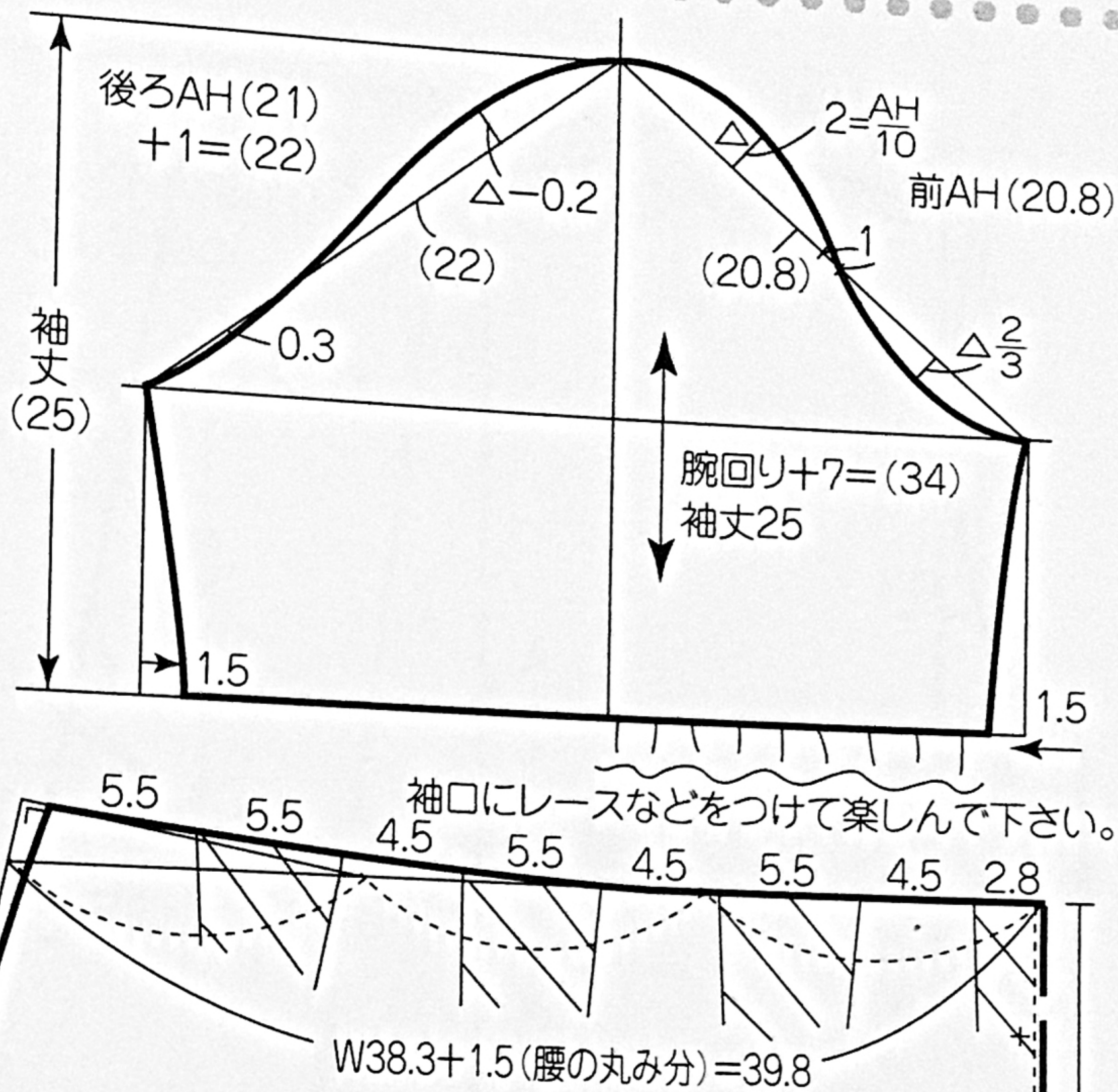
B(23)　切り開く　縫い止り　2.5　BP　2　たたむ
たたんでから
カーブ尺、Dカーブ
ルーラーできれいに
引き直します
AH(20.8)　8　1.5　6　0.5　0.3　3　1　4
BPをマチ針でおさえて倒します
2持出し　7　見返し　4　1
前身頃
$\frac{W}{4}$(19)

ø$\frac{3}{4}$●前ダーツ
ø$\frac{1}{4}$脇で入れます

◆製図順序（前身頃）

1 少し大きくあく衿ぐりを美しく着るために前中心線WLを引き、原型のBPをマチ針でおさえて0.5前に倒し原型を写します。
2 後ろ身頃1〜3までと同じように引きます。
4 前後脇丈の差、AH$\frac{1}{3}$位の所へ切り開き線を引きます。

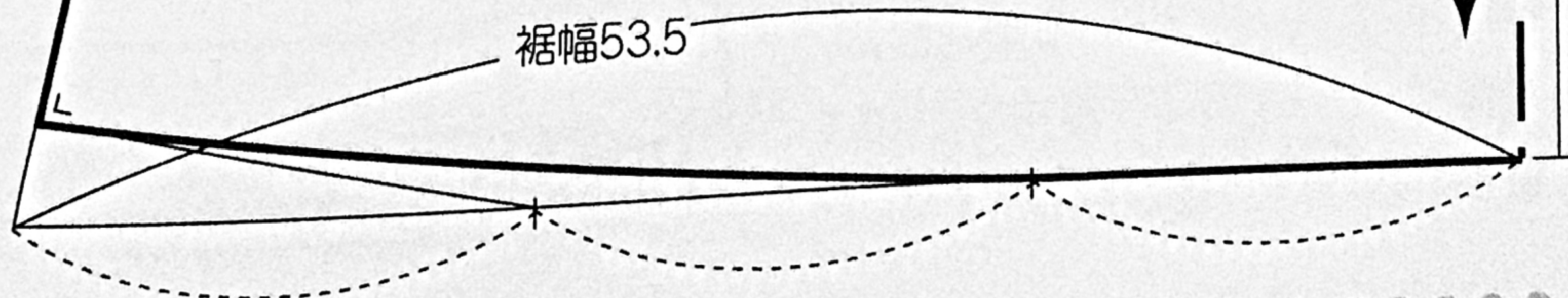
○衿あきを少なくする場合は、原型を倒さないで下さい。

後ろAH(21)＋1＝(22)　2＝$\frac{AH}{10}$　前AH(20.8)
△−0.2　(22)　(20.8)　1　0.3　△$\frac{2}{3}$
袖丈(25)
腕回り＋7＝(34)
袖丈25
1.5　1.5
袖口にレースなどをつけて楽しんで下さい。

5.5　5.5　4.5　5.5　4.5　5.5　4.5　2.8
W38.3＋1.5（腰の丸み分）＝39.8
20あき止り
スカート丈(70)＋(1)背丈からひいた分＝(71)
裾幅53.5

◆前中心のあきの作り方

○裏地付
表生地と裏地を中表にして0.4ずつ(0.8)の縫代で縫い、表に返して0.2の押さえミシンをします。

○裏なし
表生地をバイヤスに裁ち、出来上がり幅3.5長さ25を表生地と中表にして0.4ずつ(0.8)の縫代で縫い、表に返して0.2の押さえミシンをします。
出来上がり端にスナップをつけます。

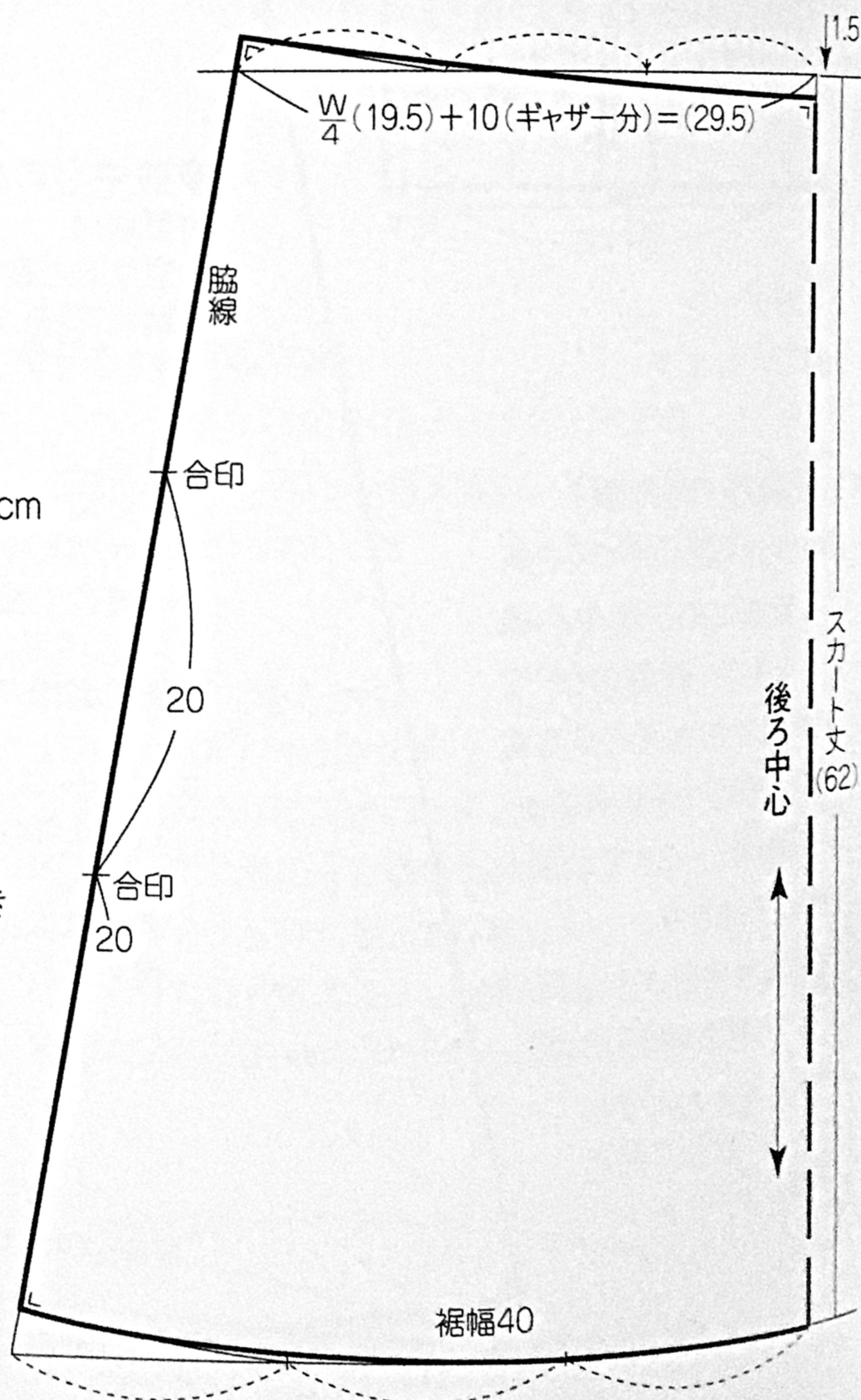
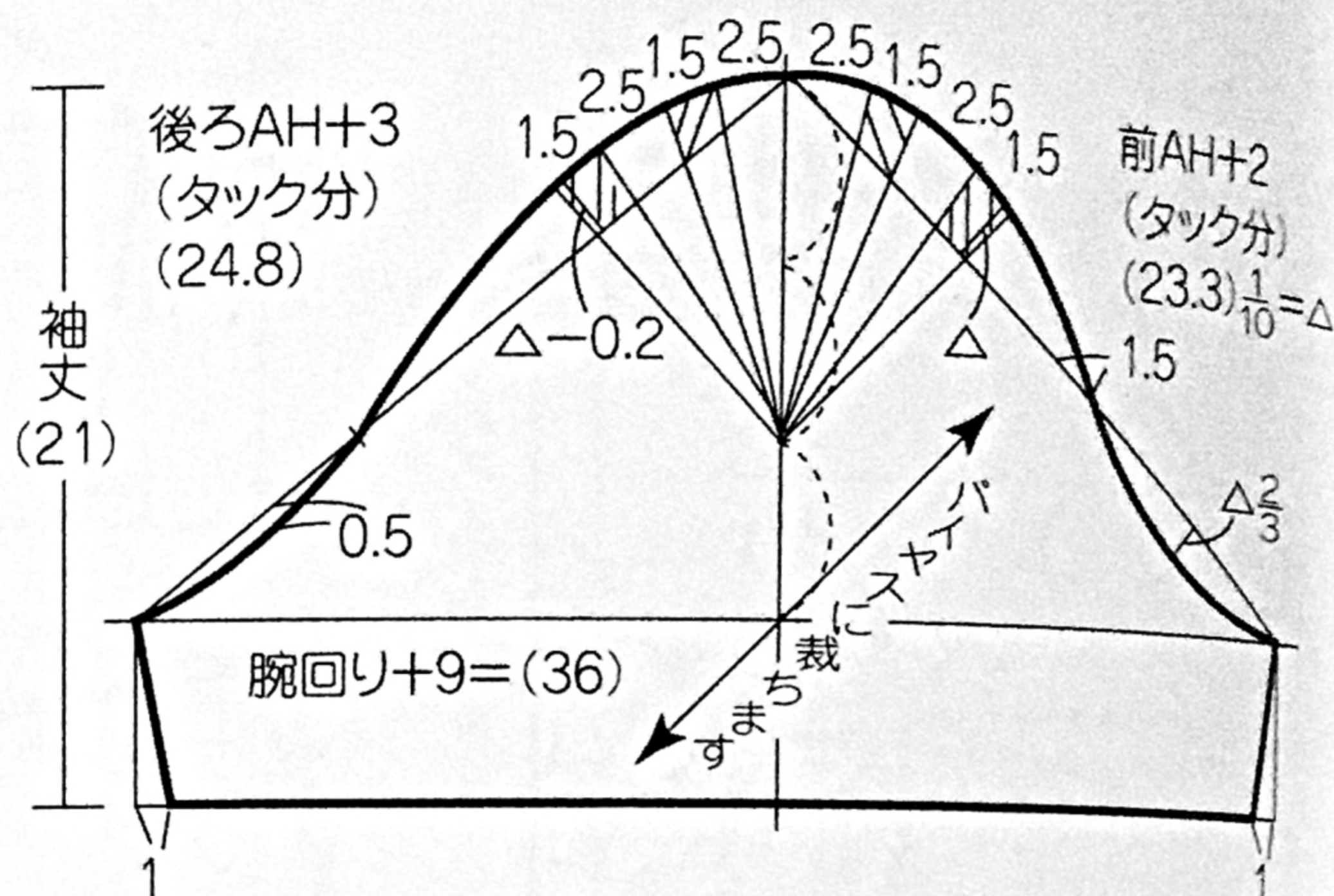
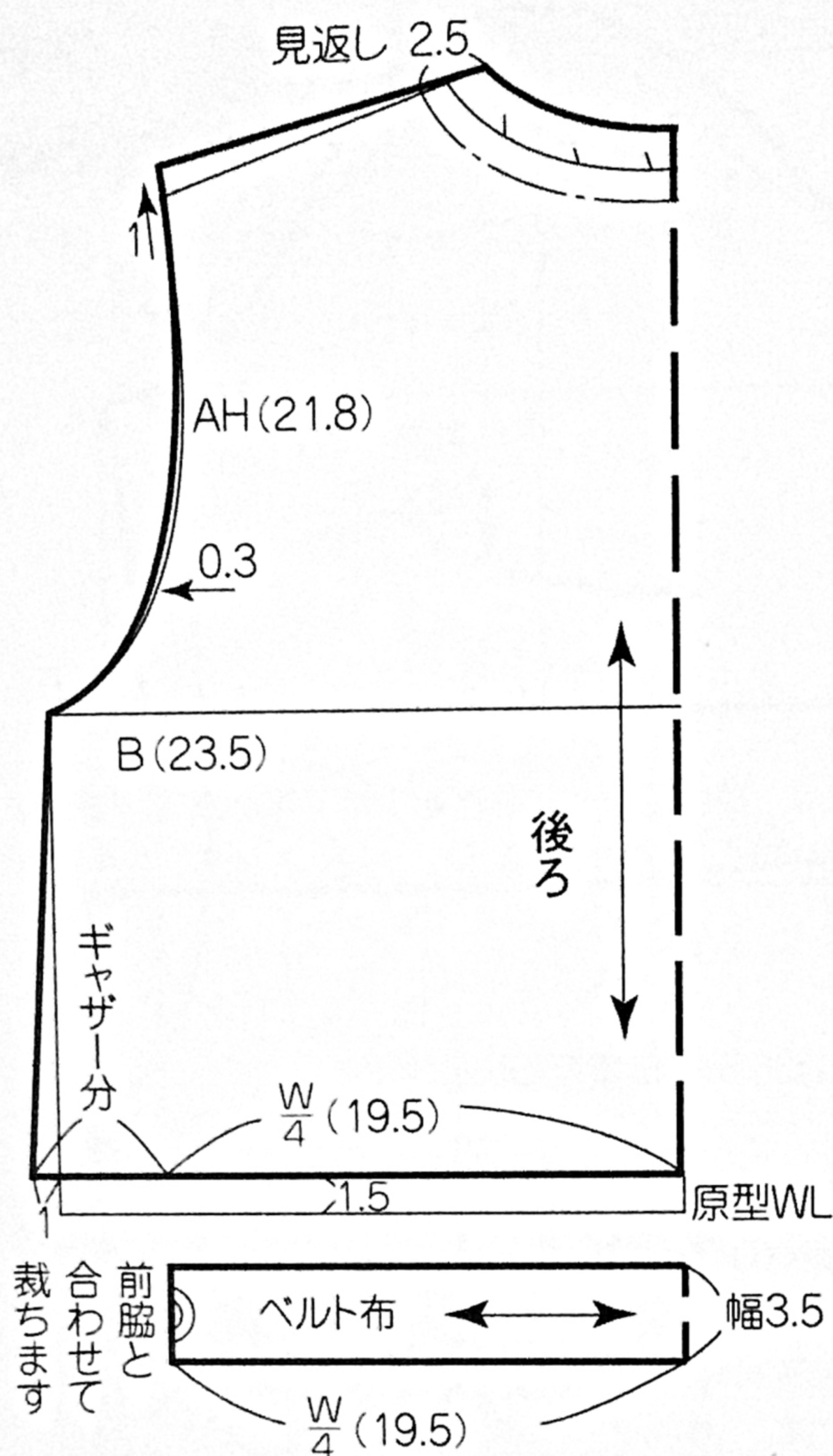
○ワンピースの楽しみかた
・このまま衿、袖口にレースを使用してゴージャスに。
・表生地により、スカート丈を長く、短く。
・旅行などに持って行き楽しんで下さい。

半袖のワンピース――Wにベルトを縫い込んだカシュクール風の装いです

見返し 2.5
1
AH（21.8）
0.3
B（23.5）
後ろ
ギャザー分
$\frac{W}{4}$（19.5）
1
1.5
原型WL
前脇と合わせて裁ちます
ベルト布
幅3.5
$\frac{W}{4}$（19.5）

バイヤス生地がやわらかさのタックドスリーブ

(注)前AH2タック分をとりましたが、いせ込み分が1位あるため図のような配分になります。

後ろAH+3
（タック分）
（24.8）
袖丈
（21）
1.5 2.5 1.5 2.5 2.5 1.5 2.5 1.5
前AH+2
（タック分）
（23.3）$\frac{1}{10}$=△
△−0.2
△
1.5
0.5
△$\frac{2}{3}$
腕回り+9=（36）
バイヤスに裁ちます
1
1

1.5
$\frac{W}{4}$（19.5）+10（ギャザー分）=（29.5）
脇線
合印
20
合印
20
スカート丈（62）
後ろ中心
裾幅40

◆用　　尺　110幅270cm/150幅210cm

◆作図寸法

B　84+10（ゆとり分）=94 $\frac{1}{4}$=23.5

W　68+10（ゆとり分）=78 $\frac{1}{4}$=19.5

◆製図順序（後ろ身頃から）

1 原型WLから$\frac{ベルト幅}{2}$1.5（背丈から）引きます。

2 脇Wで1出し胸囲線と結びます。

◆スカート製図順序（後ろ）

1 スカート丈（62）引きます。

2 裾幅（40）印しW（29.5）と結びます。

3 裾幅、W、それぞれ$\frac{1}{3}$に直角をとります。

4 後ろ中心1.5下げ結び直します。

◆スカート製図順序（前）

1 スカート丈（62）引きます。

2 裾幅（40）印しW（29.5）と結びます。

3 裾幅、W、それぞれ$\frac{1}{3}$に直角をとります。

○ロングスカートがよい方は
このまま丈を出して下さい。

$\frac{W}{4}$(19.5)＋10（ギャザー分）＝(29.5)

ボタン 1.5 10 1.5

合印 20 合印 20

左右の前端

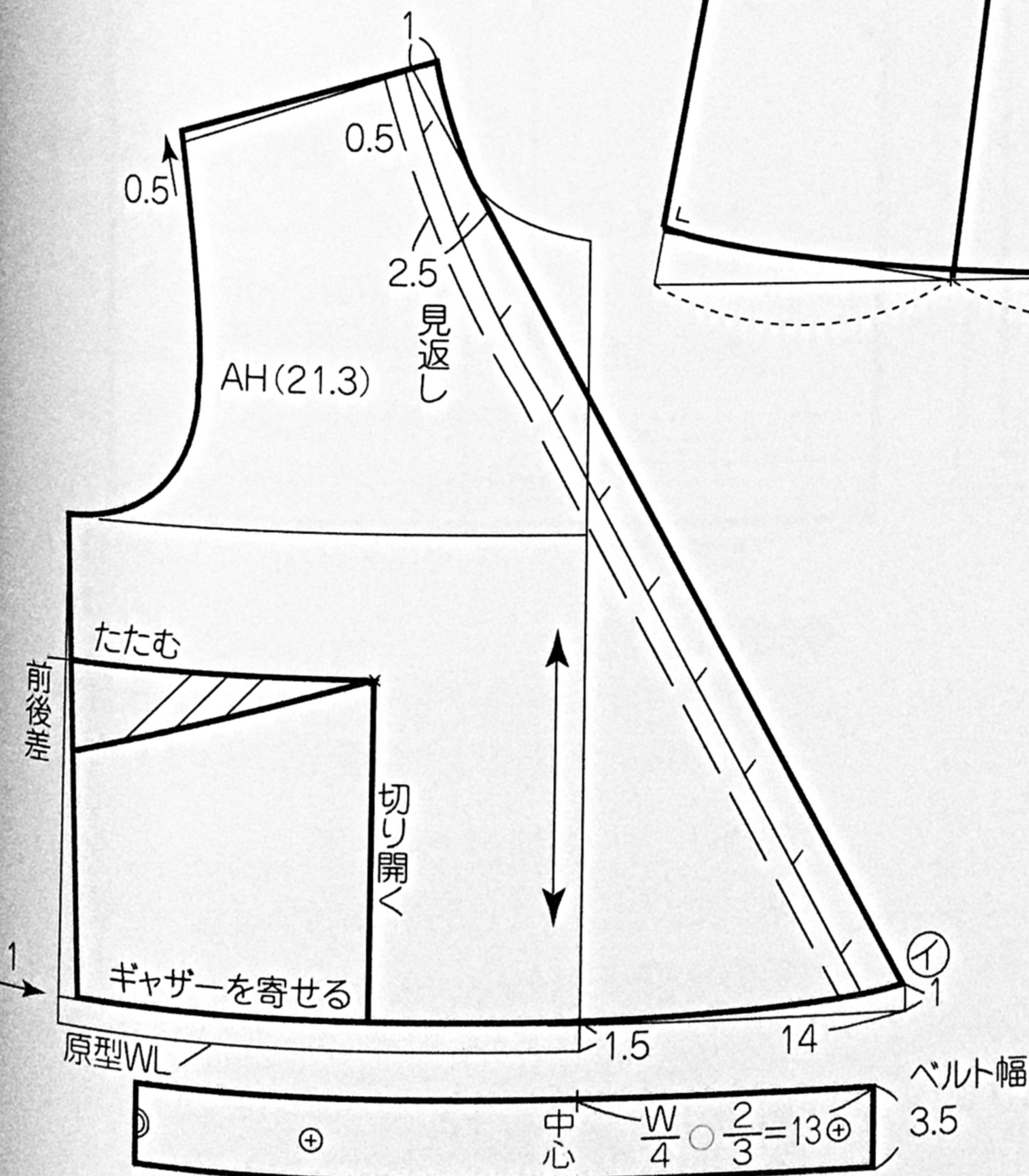
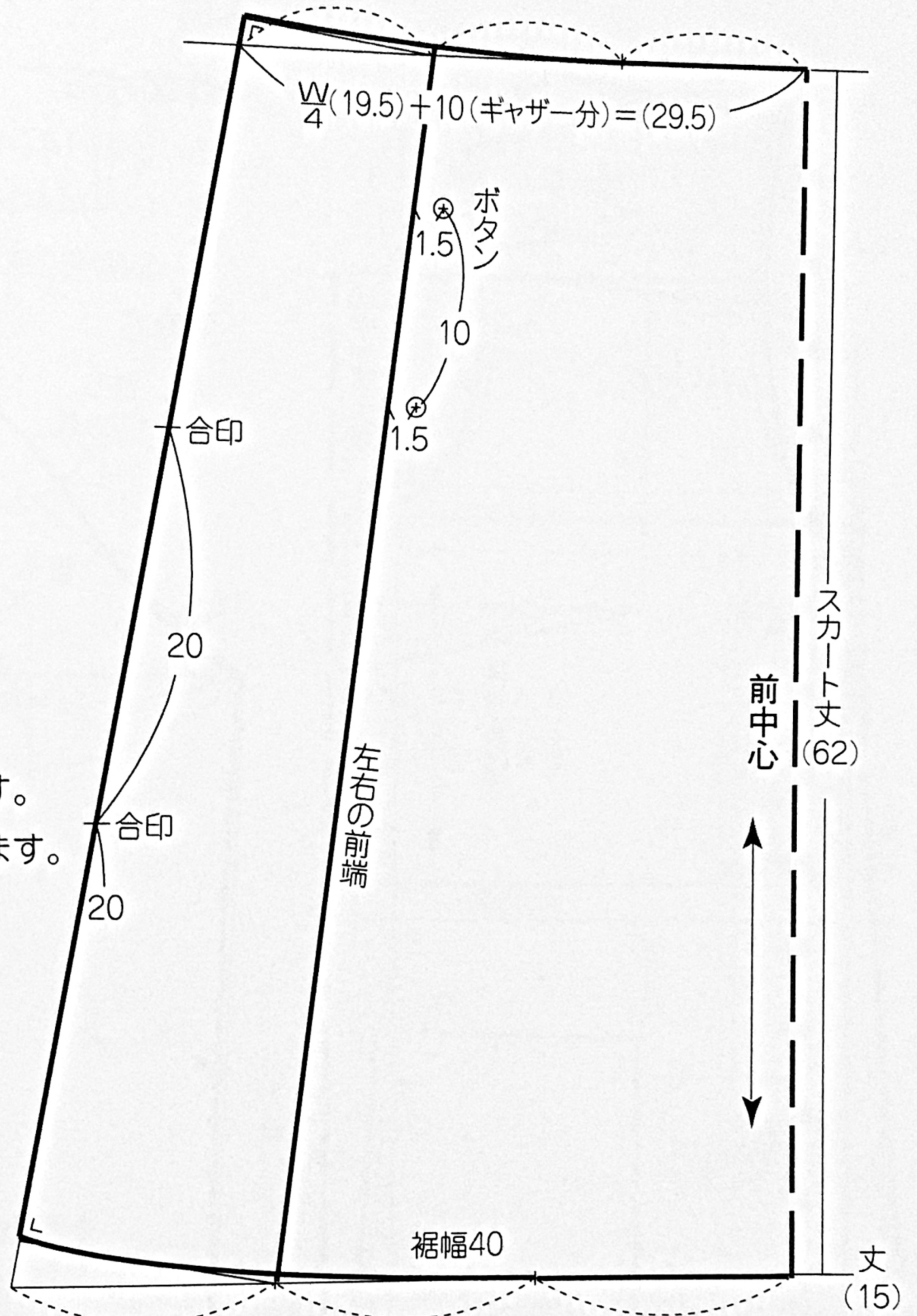
前中心

スカート丈（62）

裾幅40

丈（15）

1 0.5 0.5 2.5 見返し AH(21.3) たたむ 前後差 切り開く ギャザーを寄せる 原型WL 1.5 14 1 ㋑

ベルト幅 3.5 中心 $\frac{W}{4}$ ○ $\frac{2}{3}$=13

◆製図順序（前身頃）

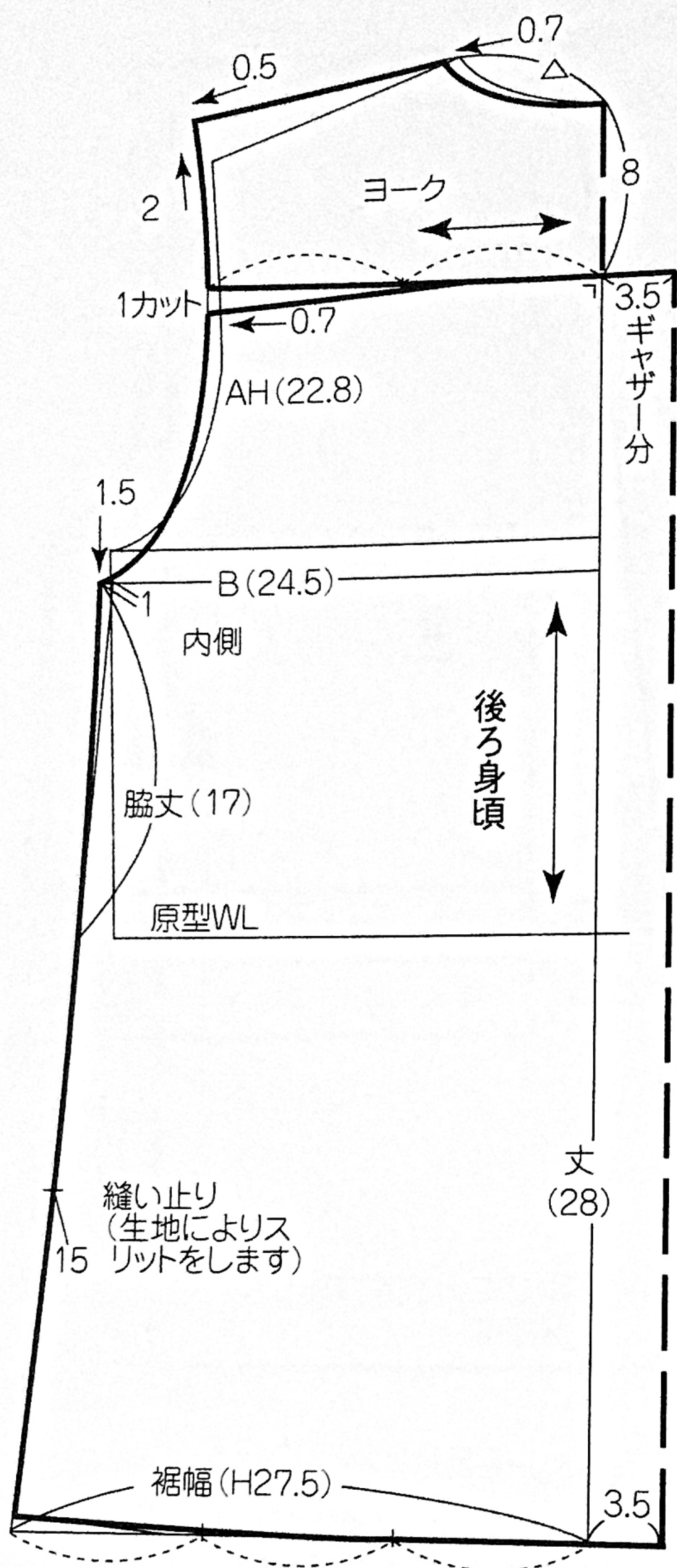
1 原型を写し、カシュクールなので重なり分14出し1上にあげ印します。

2 ネックポイントで1入り ㋑と結び、元のネックポイントとDカーブルーラーで結び直します。

3 前後脇丈の差をBPと結び、BPを直下しギャザーにします。

○ベルト布は前後合わせ、重なり分とで（104）の長さになります。

○接着芯は身頃にはります。

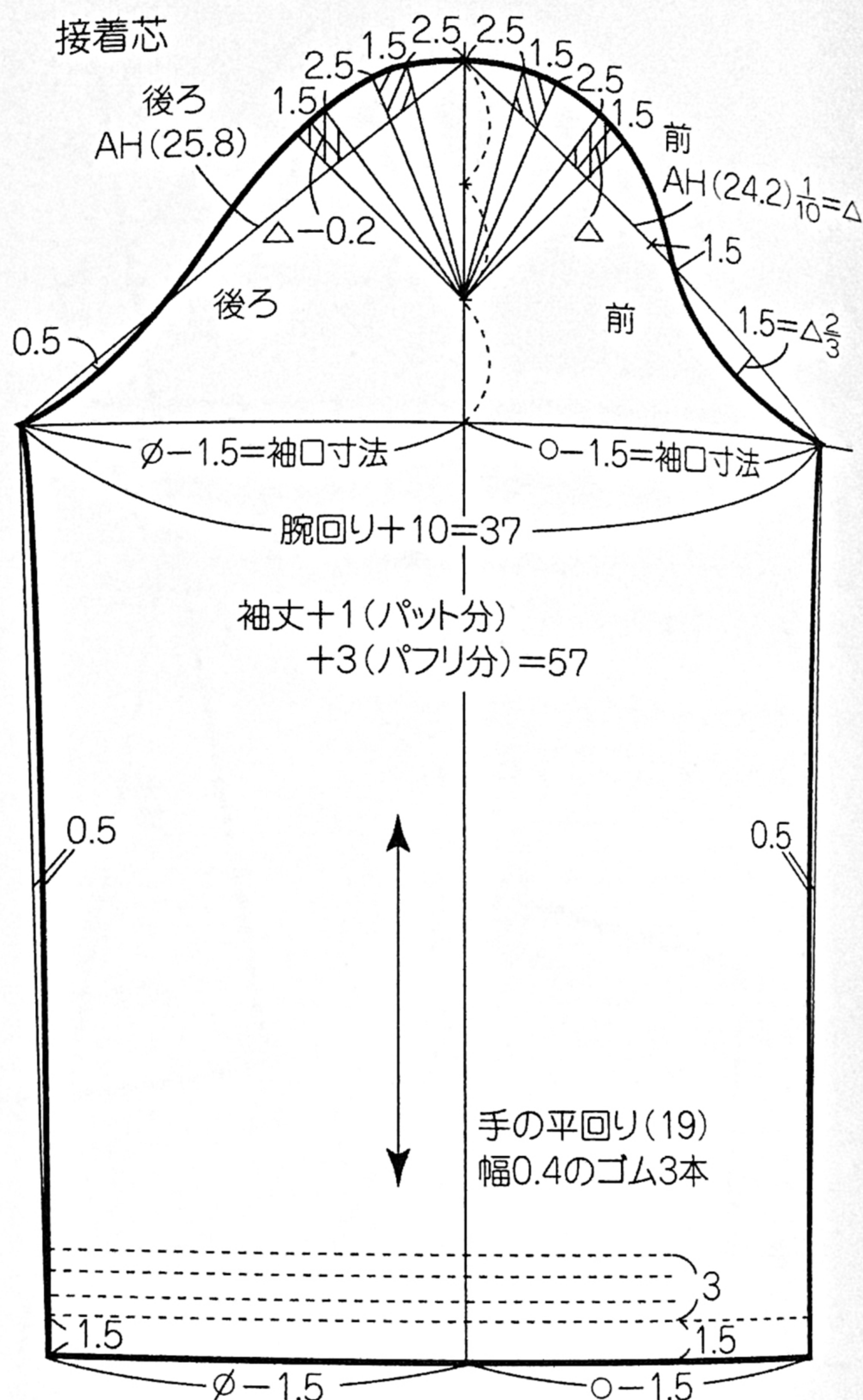
スモックジャケット ―― 衿を2点製図しました 好みでどうぞ

◆用　　尺　110幅230cm/150幅160cm

◆作図寸法

B　84＋14（ゆとり分）＝98 $\frac{1}{4}$＝（24.5）

裾　（H）94＋16（ゆとり分）＝110 $\frac{1}{4}$＝（27.5）

丈　Wから28

接着芯

◆製図順序（後ろから）

1 原型のWLから丈28引き裾線とします。

2 原型の胸囲線を1.5下げ、B（24.5）を印します。

3 B1内側案内線と裾（27.5）を結び、カーブ尺でBと結び直します。

4 後ろ中心8下がり、ギャザー分3.5出します。

5 8下げヨークを引き、AHで1下げ、身頃とカーブ尺で結びます。1カットします（背の丸みができます）。

◆袖作図寸法

（注）前AH2タック分をとりましたがいせ込み分が1位あるため図のような配分になります。

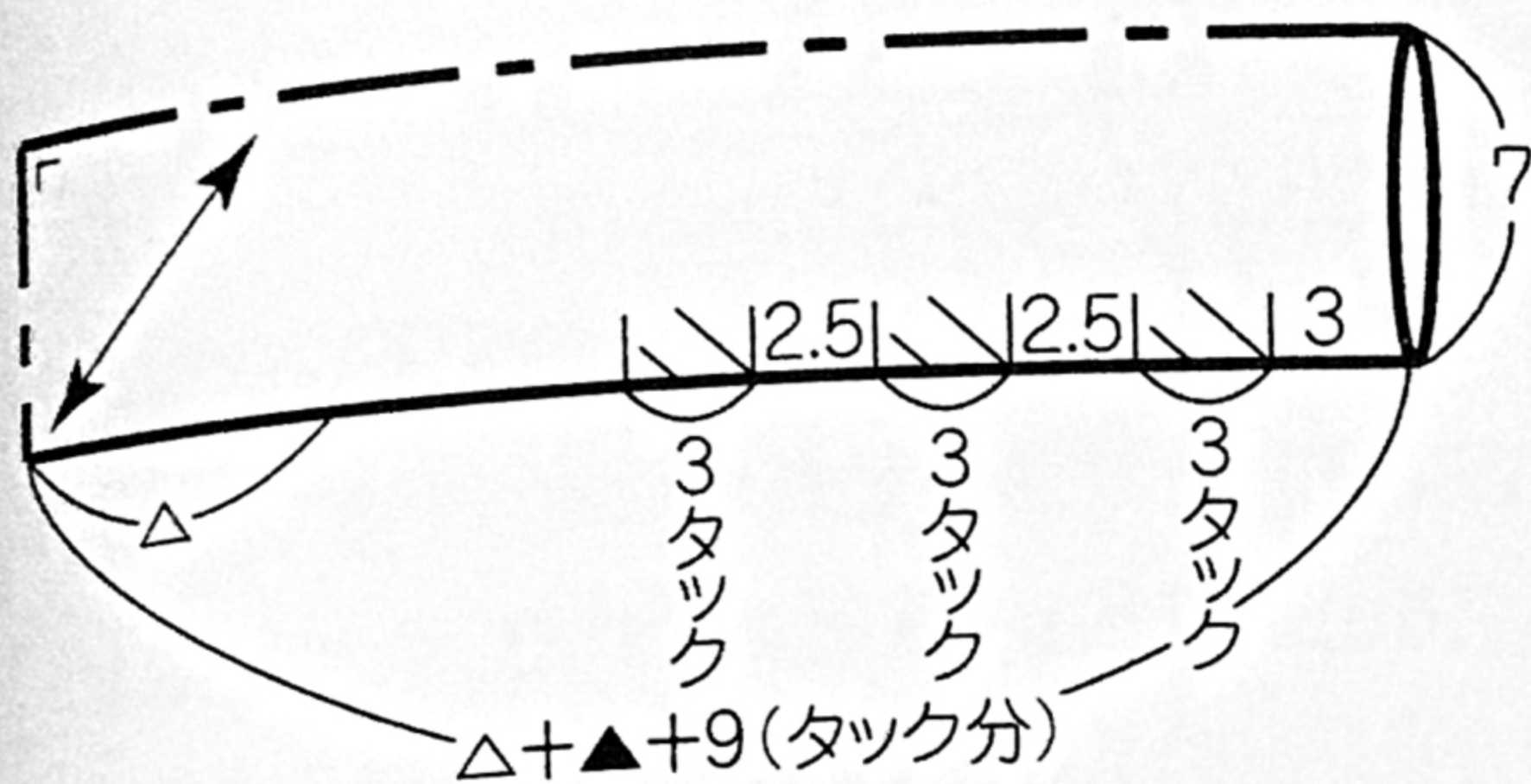
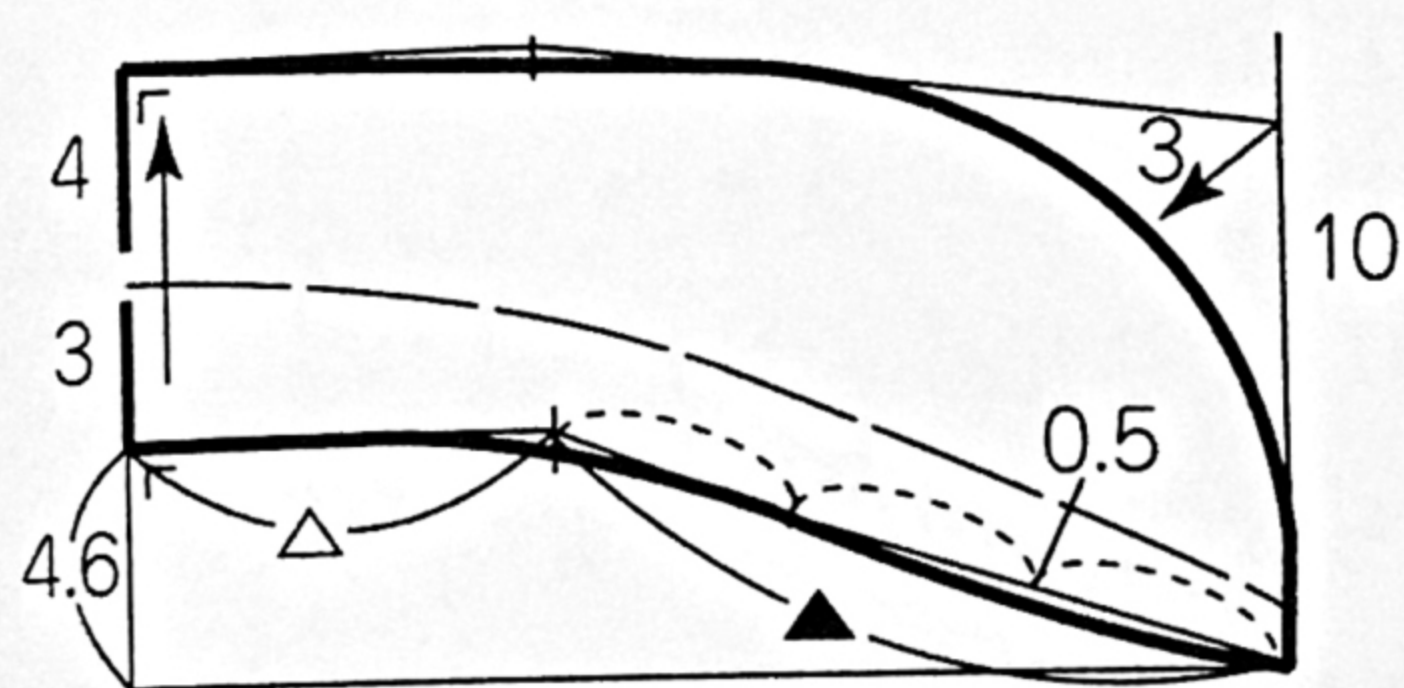
腕回り　＋10（ゆとり分）＝37

袖　丈　（53）＋1（パット分）＋3（パフリ分）＝57

手の平回り　（19）

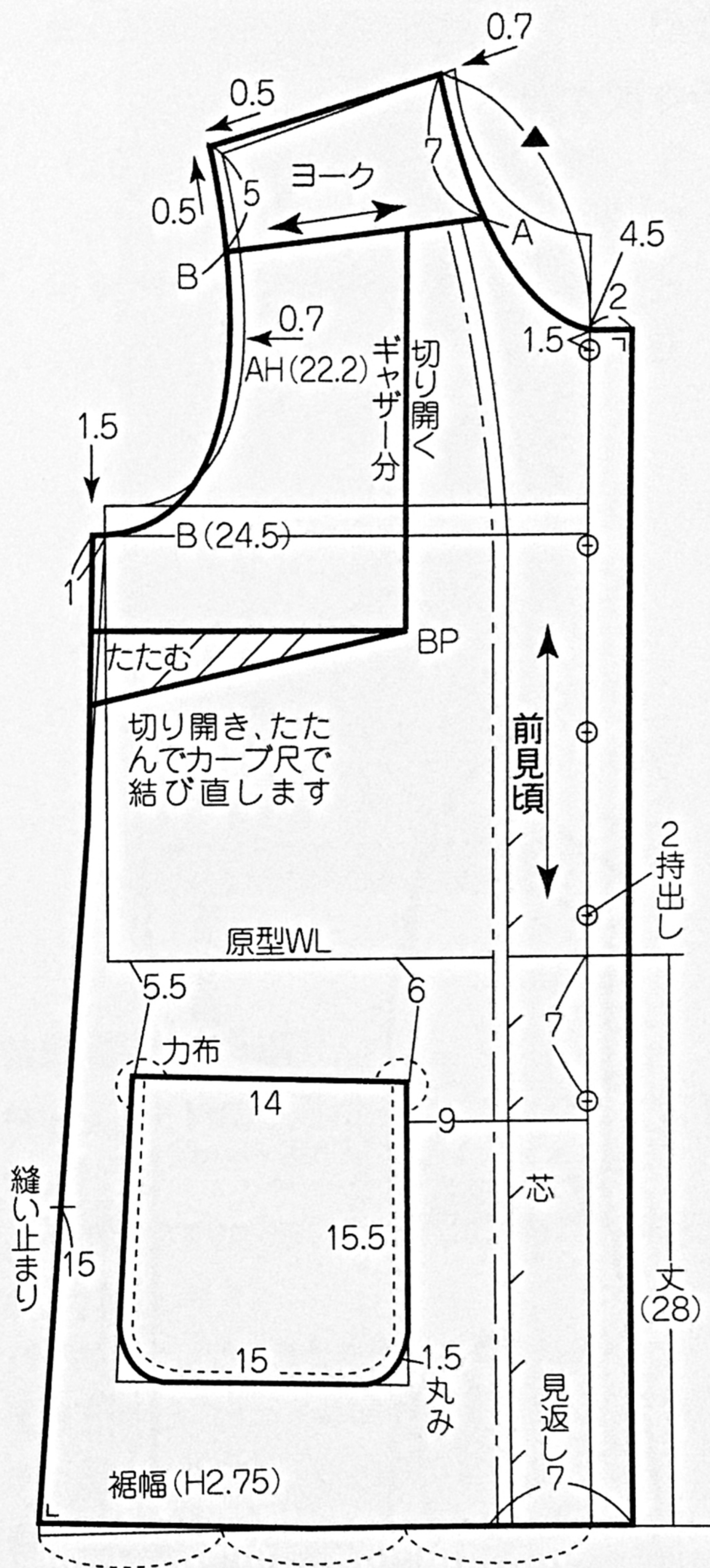
前ＡＨ　（22.2）＋2（タック分）＝24.2

後ろAH　（22.8）＋3（タック分）＝25.8

タック衿（ギョザ衿）

ショールカラー

△(8.2)＋▲(14.8)＝23$\frac{1}{10}$＝2.3
2.3×2＝4.6　衿立ち上り寸法
裏衿は後ろ中心バイヤス

◆製図順序（前身頃）

1 前中心持出し2引き丈（28）出し、原型を写します。
2 脇胸囲線で1.5下げB（24.5）を印し、1内側と裾（27.5）を結びます（案内線）。
3 B（24.5）とカーブ尺で結び直します。
4 前中心から平行に9引き、ポケットを引きます。
5 切り開きたたんで、身頃AとBを直線で結びます。

○BとHの差がない方は、裾に広がりが欲しいので、2位裾幅を出して下さい。
○脇15であき止りにしましたが、生地により楽しんで下さい。

○ポケット口、力布
表布3.5を円形に切り、接着芯2.5（10円玉大）をはり、周りをぐし縫いして縮め、ポケットの位置、身頃の裏側からまつりつける。
○ポケットの位置
前中心線から$\frac{H}{10}$(9.4)位が理想的ですが、デザインにより異なります。

長袖のスーツ── マオカラーのエレガントな装いです

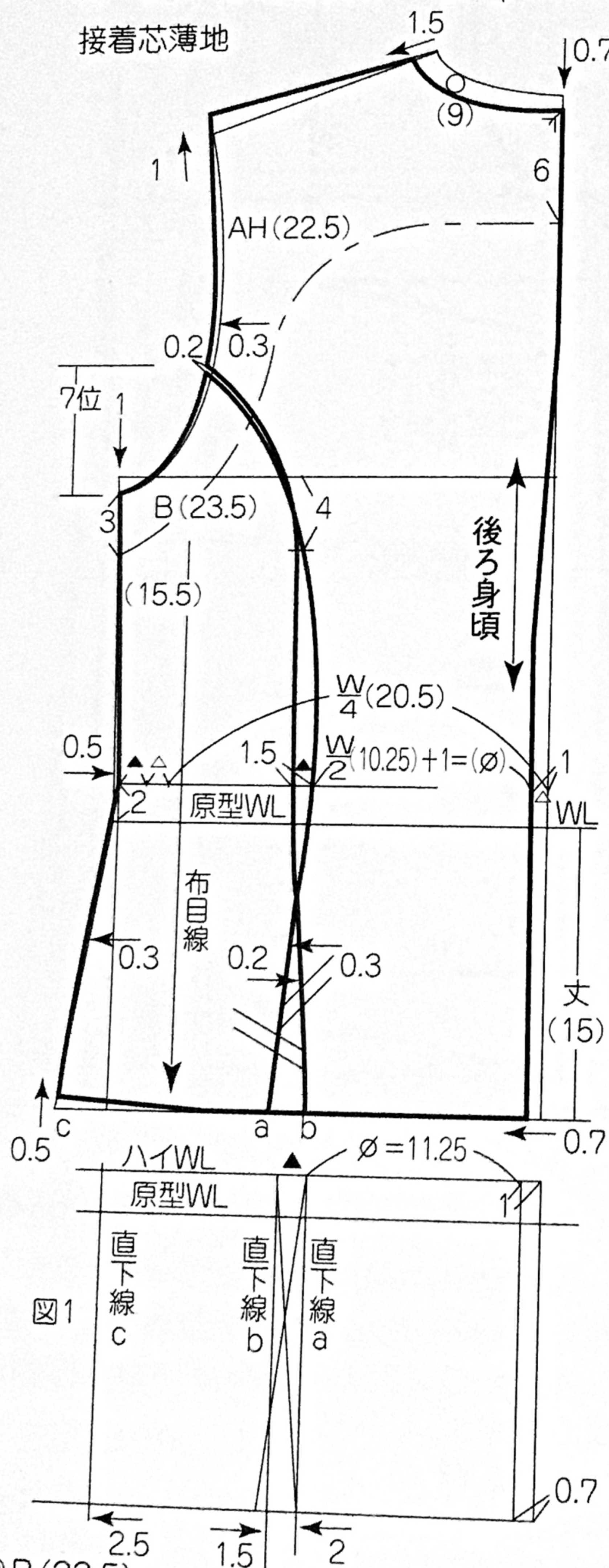
◆用　尺　110幅180cm/150幅150cm

◆作図寸法

B　84+10(ゆとり分)=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

W　68+14(ゆとり分)=82 $\frac{1}{4}$=(20.5)

H　94+12(ゆとり分)=106 $\frac{1}{4}$=(26.5)

接着芯薄地

◆製図順序(後ろから)

1 原型WLから15引き、B(23.5)をハイWまで直下します。B(23.5)−W(20.5)=3(差)

2 ◎ハイWで後ろ中心1パネル線1.5脇0.5を印します。

3 ハイWで印した寸法をそれぞれ裾まで直下します。

4 ◉H寸法a2、b1.5、c2.5、それぞれ出し引き直します。

5 脇線から7上のAHに美しいパネル線を引きます。

○布目線、脇寸法、AH、首回りをはかり印します。

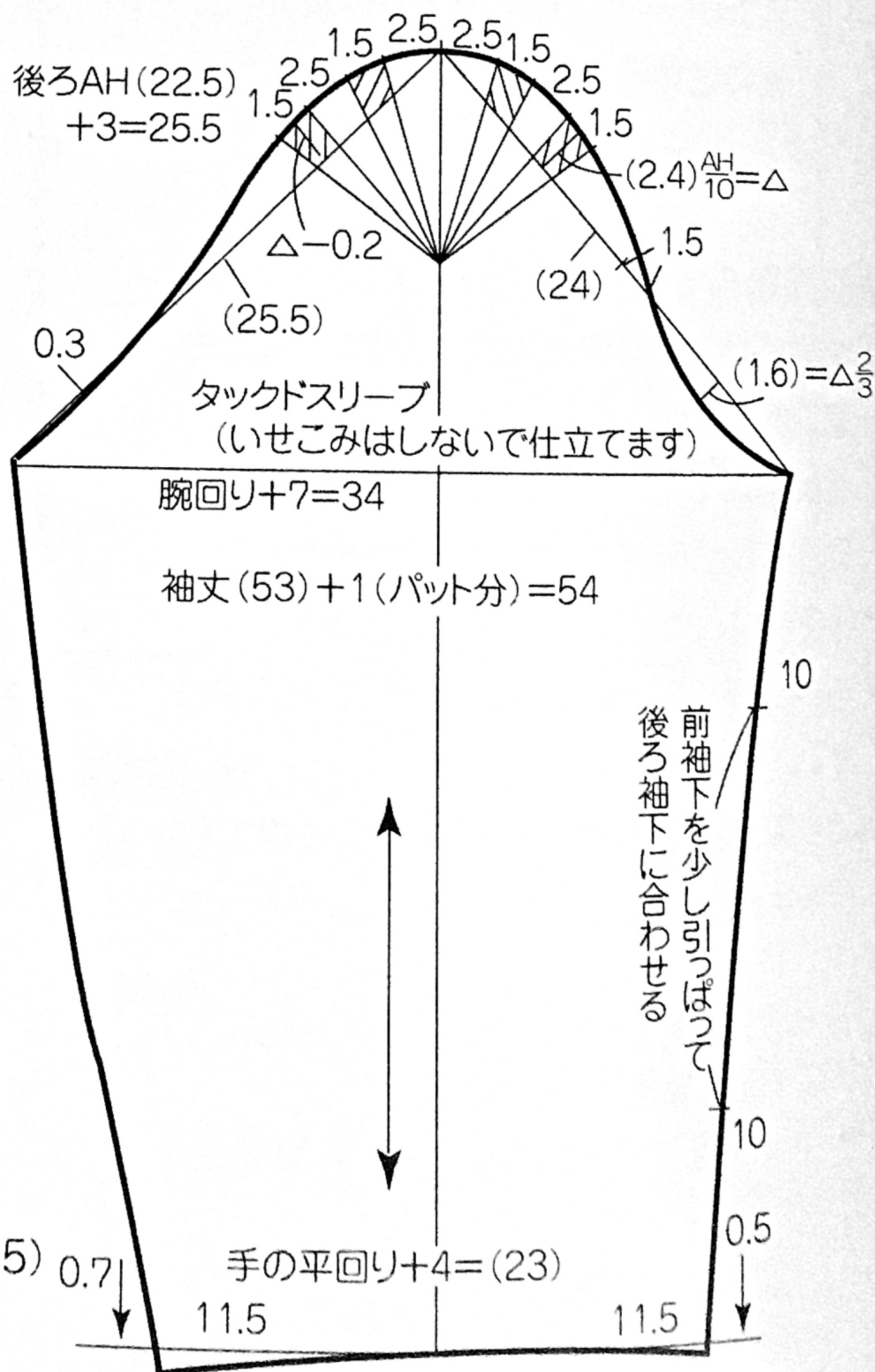
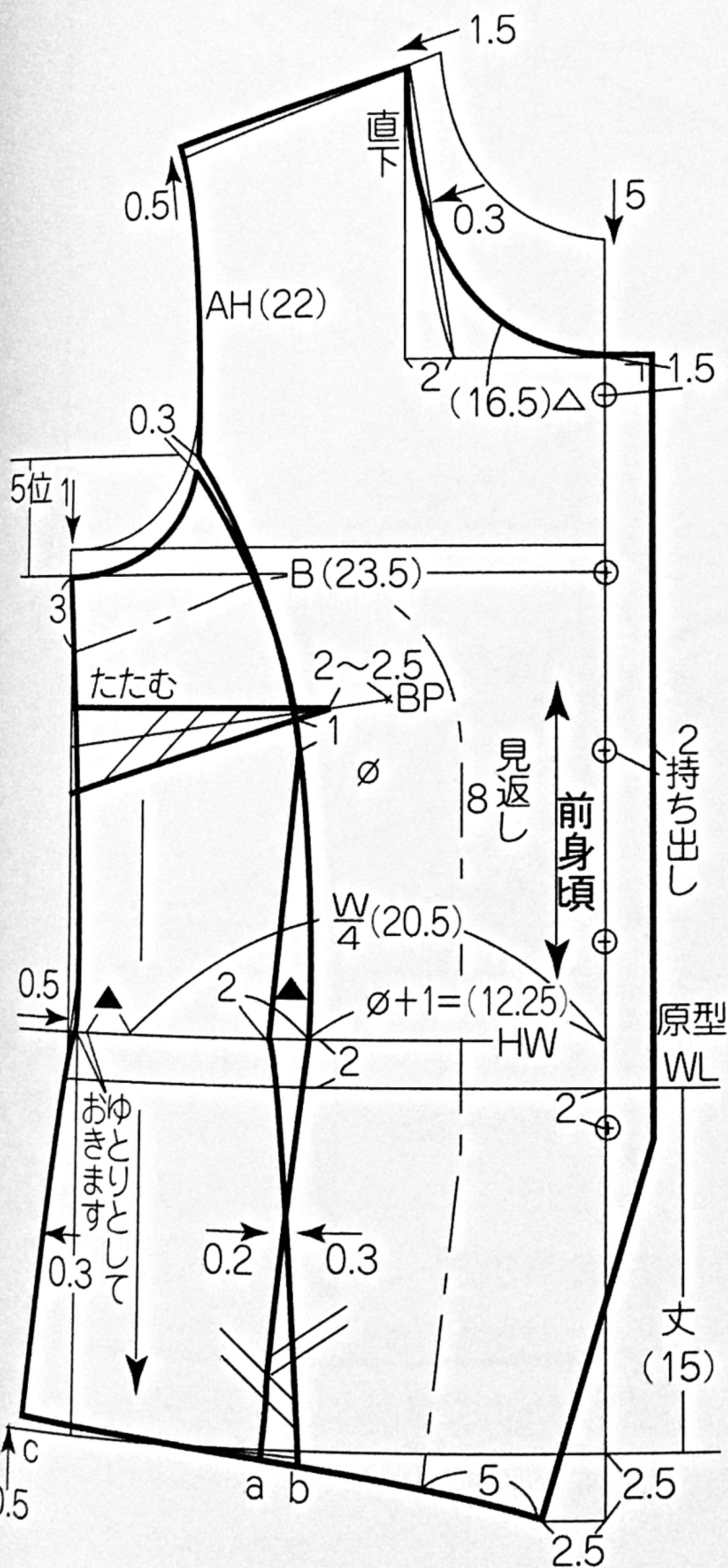
◆袖作図寸法

(注)前AH2タック分をとりますがいせ込み分が1位あるため図のような配分になります。

腕回り　+7=34　　袖丈　+1(パット分)=54

手の平回り　+4=23　　前AH　(22)+2=24

後ろAH　(22.5)+3=25.5

◆製図順序（前身頃）

1 持出し2、丈15出し、B（23.5）をハイWLまで直下します。

2 ハイWで前中心から（12.25）印し、◎パネル線2、脇0.5を印します。

3 ハイWで印した寸法をそれぞれ直下します。

4 裾線で◉a2、b1.5、c2.5、それぞれ出し引き直します（図1を参考にして下さい）。

5 脇線から5上のAHに美しいパネル線を引きます。

6 衿ネックポイントで1.5印し、直下し、前5下げ直角をとり、結びます。

7 前後の差をたたんでから脇線を結び直します。

○接着芯は見返しより0.7〜1内側の身頃にはります。
○衿は必ず仮縫いをしてから本縫いになります。

（注）P43にスカートの製図があります。参考にして下さい。

長袖のソフトスーツ —— ニット、ジャージーなどの伸縮素材で（ドルマンスリーブ）

◆用　　尺　110幅240cm/150幅150cm

◆作図寸法

B　(84)＋6＝90 $\frac{1}{4}$＝(22.5)

H　(94)＋10＝104 $\frac{1}{4}$＝(26)

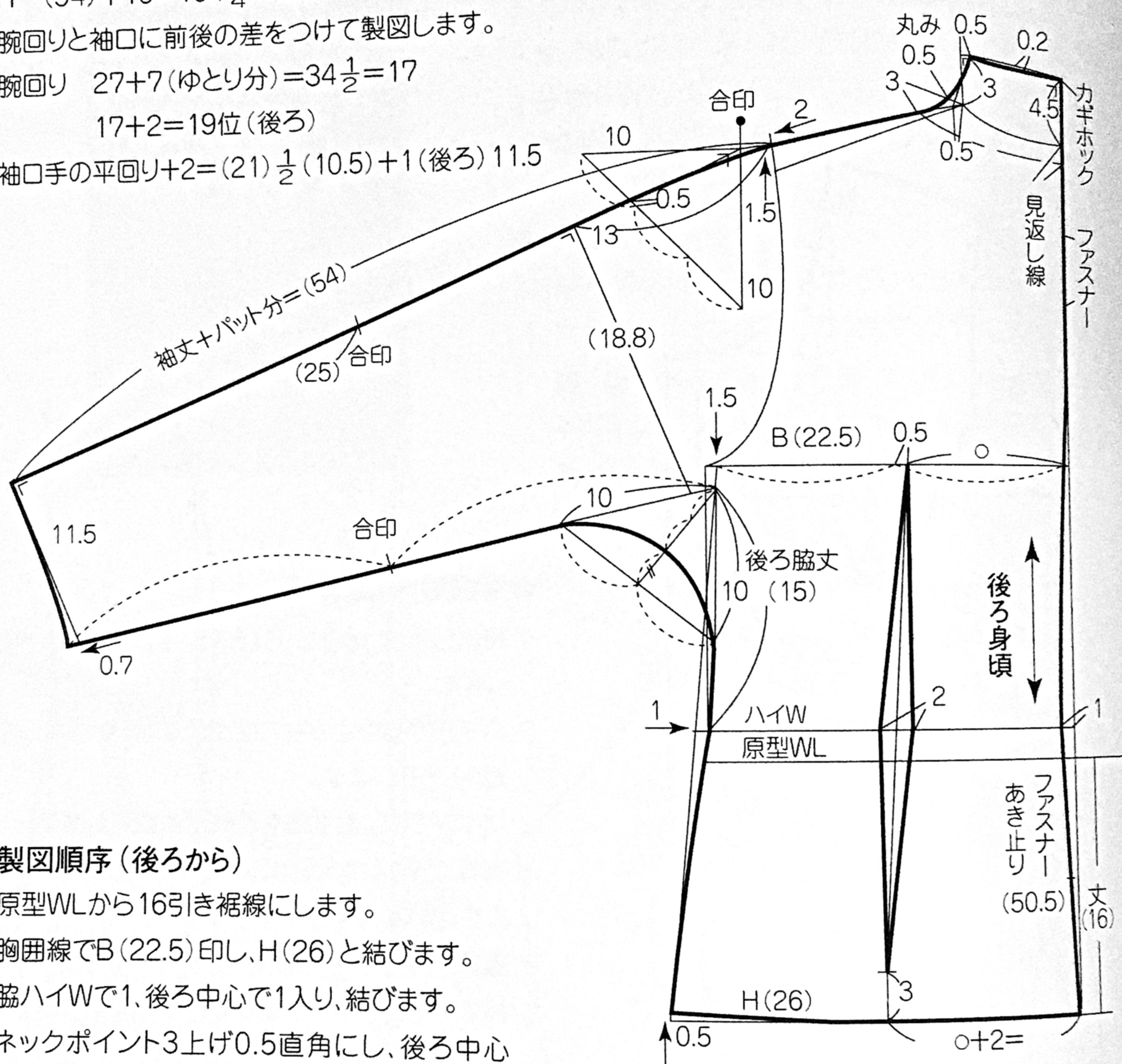
腕回りと袖口に前後の差をつけて製図します。

腕回り　27＋7（ゆとり分）＝34 $\frac{1}{2}$＝17

　　　　17＋2＝19位（後ろ）

袖口手の平回り＋2＝(21) $\frac{1}{2}$ (10.5)＋1（後ろ）11.5

丸み 0.5 0.2 0.5 3 3 カギホック 4.5 0.5 合印 2 10 見返し線 ファスナー 0.5 1.5 13 10 袖丈＋パット分＝(54) (25) 合印 (18.8) 1.5 B(22.5) 0.5 ○ 10 11.5 合印 後ろ脇丈 10 (15) 後ろ身頃 0.7 2 1 ハイW 1 原型WL ファスナーあき止り (50.5) 丈 (16) H(26) 3 0.5 ○＋2＝

◆製図順序（後ろから）

1 原型WLから16引き裾線にします。

2 胸囲線でB(22.5)印し、H(26)と結びます。

3 脇ハイWで1、後ろ中心で1入り、結びます。

4 ネックポイント3上げ0.5直角にし、後ろ中心4.5上げ結び、0.2カットします。

5 肩先1.5上げ肩2出し、10の直角をとり、$\frac{1}{3}$の0.5上った所と直角を結び、袖丈を引きます。

6 袖口（11.5）を直角に引き、B（22.5）の胸囲線1.5下った所と結び、袖下0.7出しカーブ尺で袖口を引きます。

7 胸囲線から脇、袖へと10とり結び、$\frac{1}{2}$に$\frac{1}{3}$を印し、控えめな丸みを引きます。

○WLにダーツなしに、ゆったり着たい場合は、ファスナー20、あき止り21にします。

○袖丈は八分、九分丈にしても良いです。

○控えめな丸み（袖下）

ソフトスーツなので、上にコートなどを着た時に、ドルマンの丸みが邪魔にならないように。

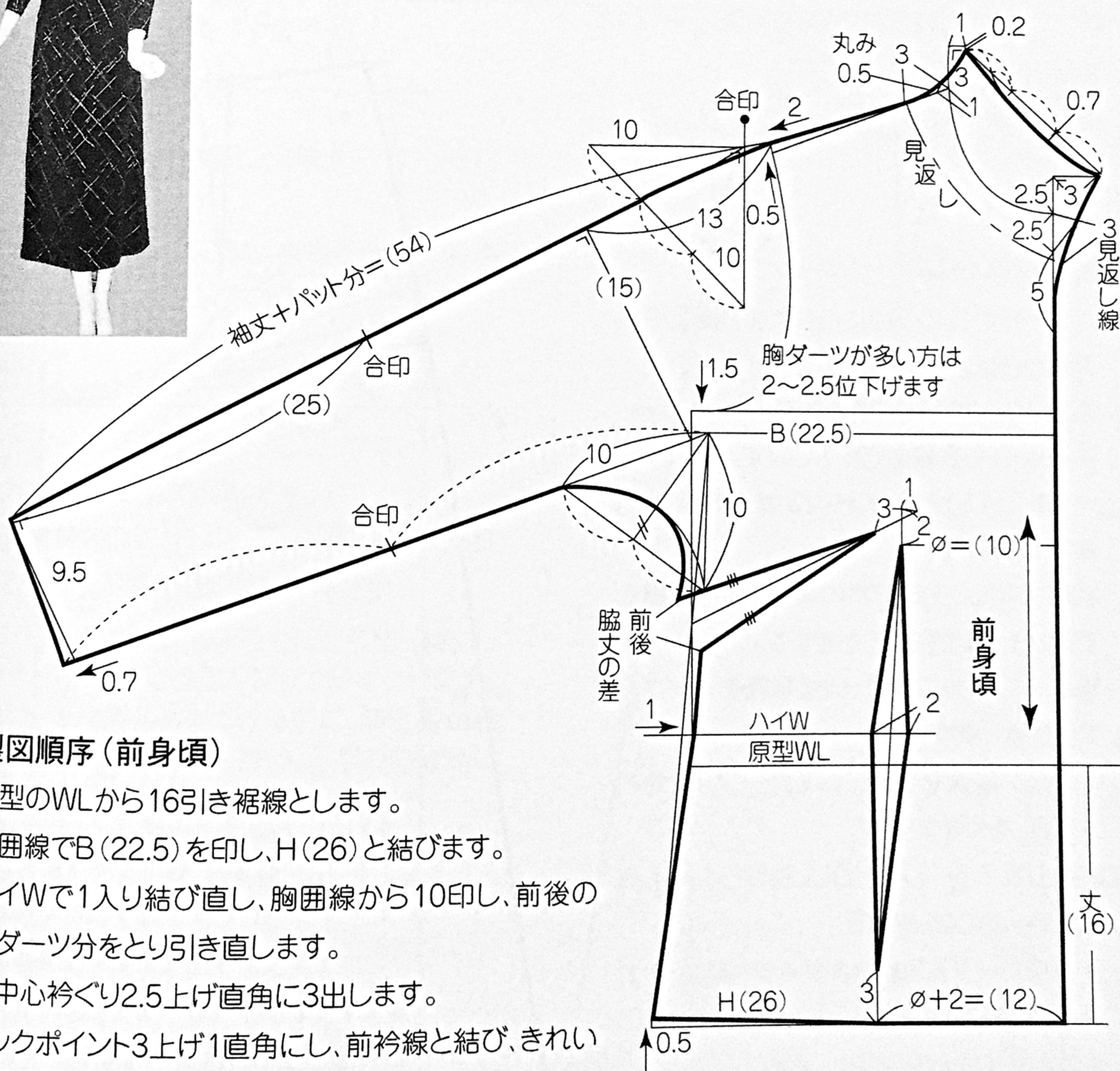
◆作図寸法

腕回り　+ゆとり分=(34)$\frac{1}{2}$=17

17−2(前後差)=15(前)

袖口手の平回り　+2=(21)$\frac{1}{2}$(10.5)−1(前)=9.5

着　丈　Wから16

◆製図順序(前身頃)

1 原型のWLから16引き裾線とします。
2 胸囲線でB(22.5)を印し、H(26)と結びます。
3 ハイWで1入り結び直し、胸囲線から10印し、前後の差ダーツ分をとり引き直します。
4 前中心衿ぐり2.5上げ直角に3出します。
5 ネックポイント3上げ1直角にし、前衿線と結び、きれいな衿ぐりを作ります。
6 肩先0.5上げ肩幅2出し、10の直角をとり$\frac{1}{3}$と結び、袖丈を引きます(腕回り15あるか調べる)。
7 袖口(9.5)直角に引き、胸囲線下B(22.5)と結び、袖口0.7出しカーブ尺で袖口を引きます。
8 脇、袖へと10とり、後ろの(⫽)同寸法をとり、控えめな丸みを引きます。

ロングスカート —— 裾幅を$\frac{1}{2}$に直角をとった製図です

◆用　　尺　110幅190cm/150幅150cm

W出来上がり寸法　68$\frac{1}{4}$＝17

◆作図寸法

W	68+2(いせ分)＝70$\frac{1}{4}$＝(17.5)
ミドルH	90+2(ゆとり分)＝92$\frac{1}{4}$＝(23)
H	94+4(ゆとり分)＝98$\frac{1}{4}$＝(24.5)
スカート丈	78
裾　幅	H寸法+10

◆製図順序(前スカートから)

① スカート丈(78)WLになります。製図用紙の端からはかり引きます。

② HL、Wから20下に引きます。

③ $\frac{H}{4}$(24.5)を裾線まで直下します。

④ H寸法(24.5)とミドルH(23)を矢印の案内線で印します。

⑤ 裾線10出し、矢印の案内線の交わりを結んでWLの上まで引いておきます。

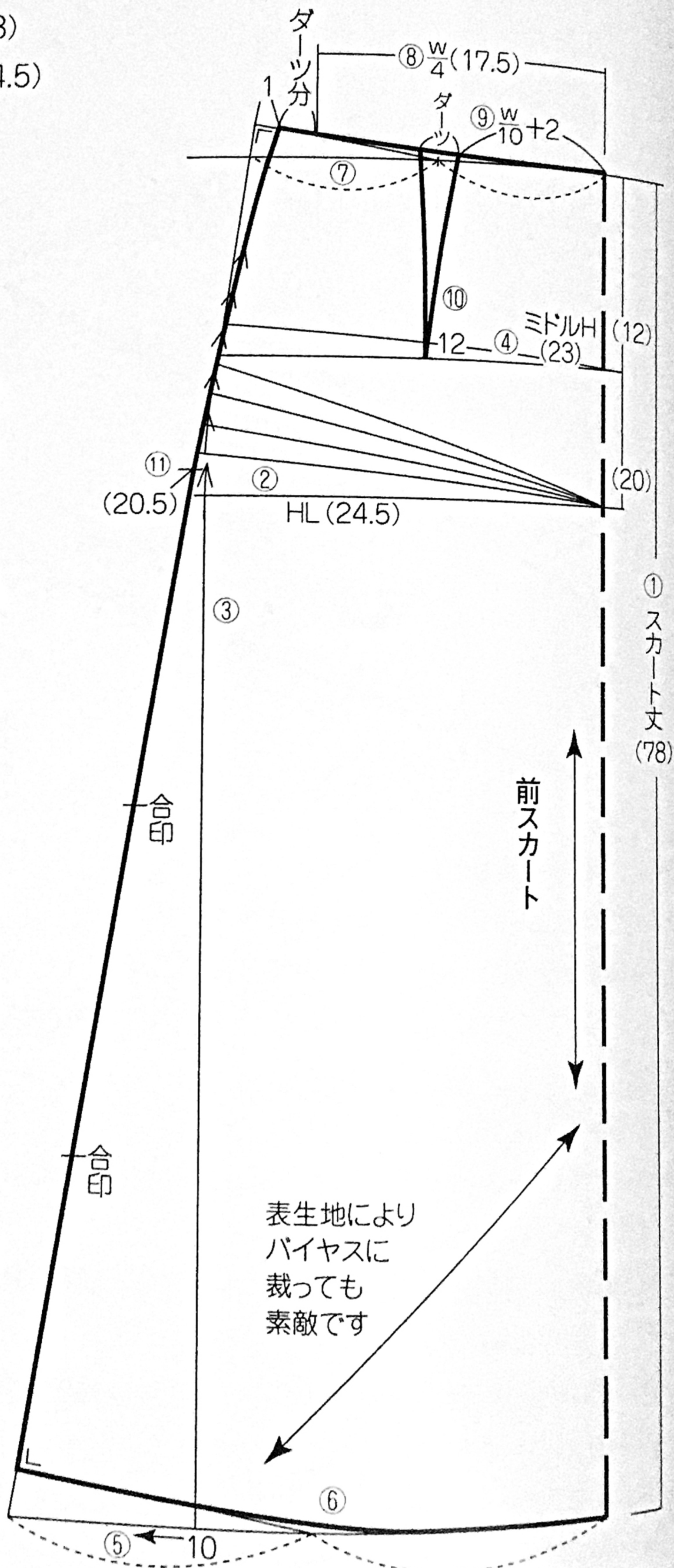
⑥ 裾線$\frac{1}{2}$に直角に、きれいな裾線をカーブ尺で引き直します。

⑦ WL$\frac{1}{2}$に、脇線を直角にしてカーブ尺できれいなWLを引きます。

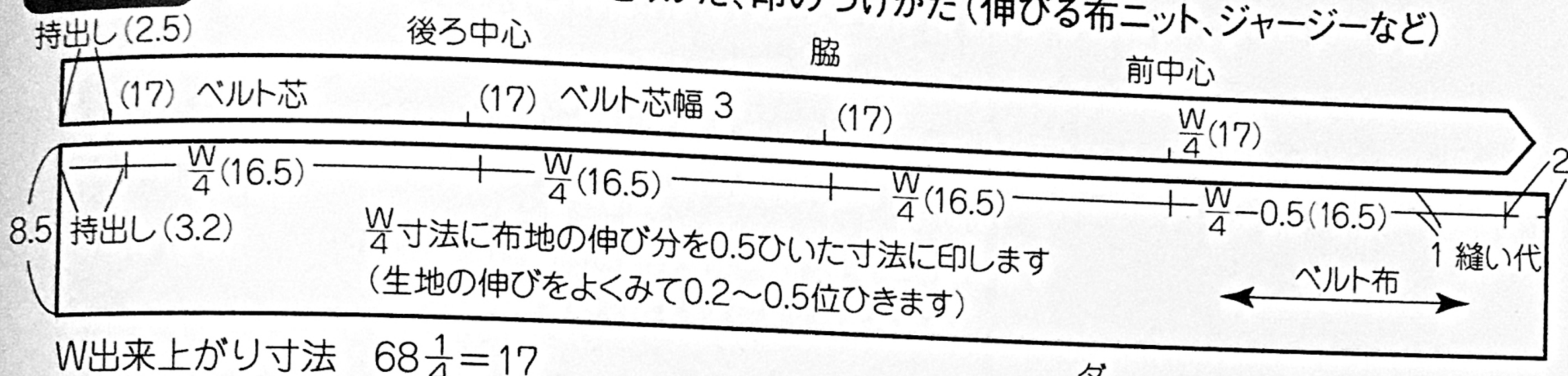
⑧ 前中心から$\frac{W}{4}$(17.5)印し、脇から1入り、残りはダーツになります。
残りのダーツ3.5まではダーツ1本に、それ以上は2本のダーツにします。

⑨ 前中心$\frac{W}{10}$+2＝(9)を印します。

⑩ ダーツを印し長さ12をカーブ尺でお腹の丸みを出すように引きます。

⑪ ファスナー付け止り20.5に合印をします。
・脇縫線が長いので合印を2ヶ所つけます。

部分縫い 伸縮素材のベルト、芯のとりかた、印のつけかた（伸びる布ニット、ジャージーなど）

持出し(2.5)　後ろ中心　脇　前中心
(17) ベルト芯　(17) ベルト芯幅 3　(17)　$\frac{W}{4}$(17)　2
$\frac{W}{4}$(16.5)　$\frac{W}{4}$(16.5)　$\frac{W}{4}$(16.5)　$\frac{W}{4}$−0.5(16.5)
8.5 持出し(3.2)　1 縫い代
$\frac{W}{4}$寸法に布地の伸び分を0.5ひいた寸法に印します
（生地の伸びをよくみて0.2〜0.5位ひきます）　ベルト布

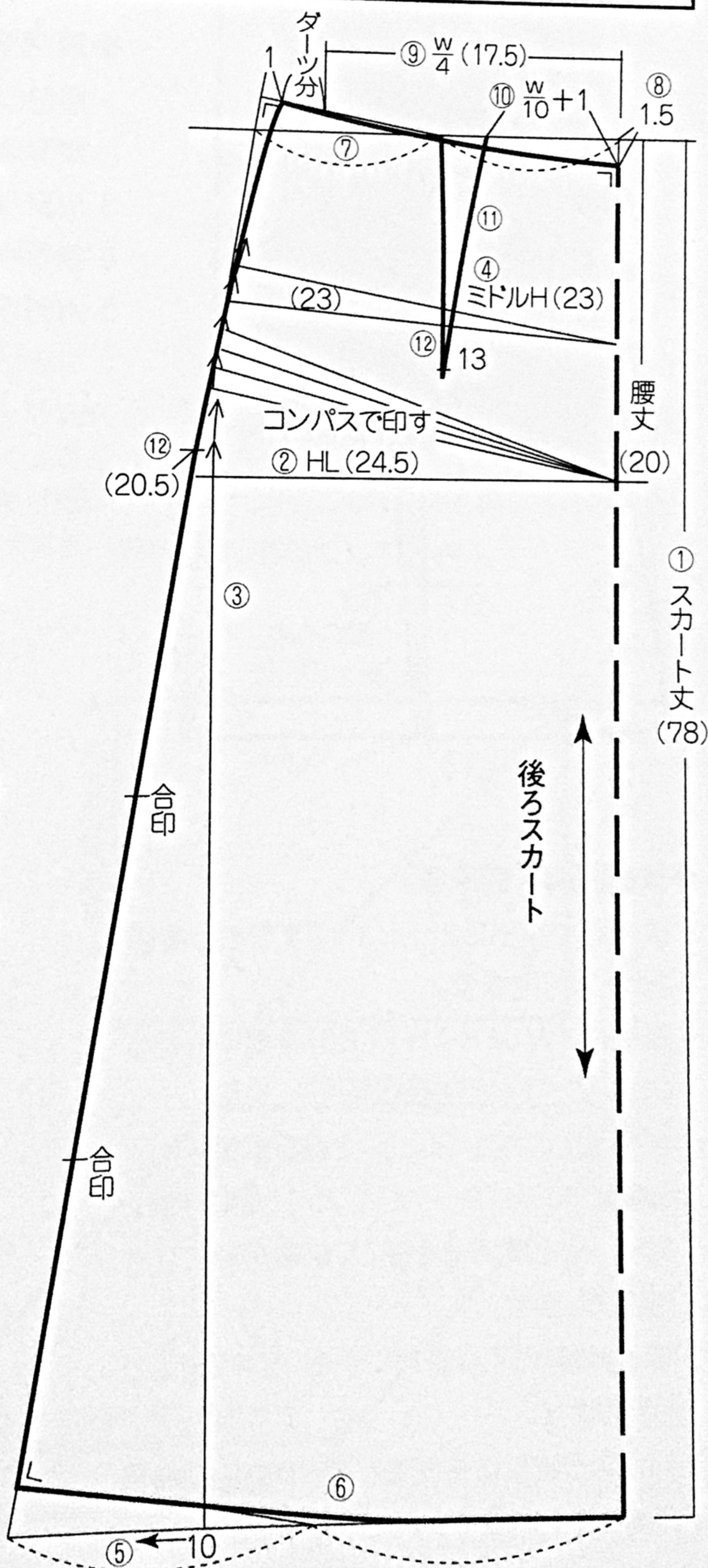
W出来上がり寸法　$68\frac{1}{4}=17$

○ベルト芯
・インサイドベルトに霧をよく吹きアイロンをします。
・Wポイントを1.5位に作り、右端から $\frac{W}{4}$(17)を印し、持出し2.5をつけて切ります。

○ベルト布
・ベルト布幅8.5
・長さW寸法（68）＋5＝73に切ります。
・生地端から縫代2を印します。
・伸縮素材なので $\frac{W}{4}$(17)−0.5（生地の伸び分）をとり（16.5）を正確に印して下さい。

○印がチャコで消えるようでしたら切り躾にします。ベルト芯にはエンピツで印をつけます。
○スカートはベルトをつける前に、表と裏一緒に大きい目でミシンを掛け、$\frac{1}{4}$ずつの寸法にしてからベルト布をつけます。
○伸縮素材の生地は、少々ひっぱりぎみにスカートのWにつけていきます。

ダーツ分　1　⑨ $\frac{W}{4}$(17.5)　⑩ $\frac{W}{10}$+1　⑧ 1.5　⑦　⑪　④ ミドルH(23)　(23)　⑫ 13　コンパスで印す　腰丈　⑫ (20.5)　② HL(24.5)　(20)　③　① スカート丈(78)　合印　後ろスカート　合印　⑥　⑤ 10

◆製図順序（後ろスカート）

① ①〜⑦までは前スカートと同じです。
⑧ 後ろ中心1.5下げきれいなWLを引きます。
⑨ 後ろ中心より$\frac{W}{10}$（17.5）印し、脇より1入り残りはダーツになります。
⑩ 後ろ中心より$\frac{W}{10}$(7)＋1＝(8)を印します。
⑪ ダーツを印し、長さ13をカーブ尺で腰の丸みを出すように引きます。
⑫ ファスナー付け止り左20.5に合印をします。
・脇線が長いので合印を2ヶ所つけます。

長袖のスーツ——ひとえ仕立てです　スカートの裏布でパイピングに仕上げます

◆用　　尺　110幅230cm/150幅150cm

◆作図寸法

B	84＋10＝94$\frac{1}{4}$＝(23.5)
W	68＋16＝84$\frac{1}{4}$＝(21)（ゆとり13〜16位）
H	94＋12＝106$\frac{1}{4}$＝(26.5)
着丈	Wから15

◆製図順序（後ろから）

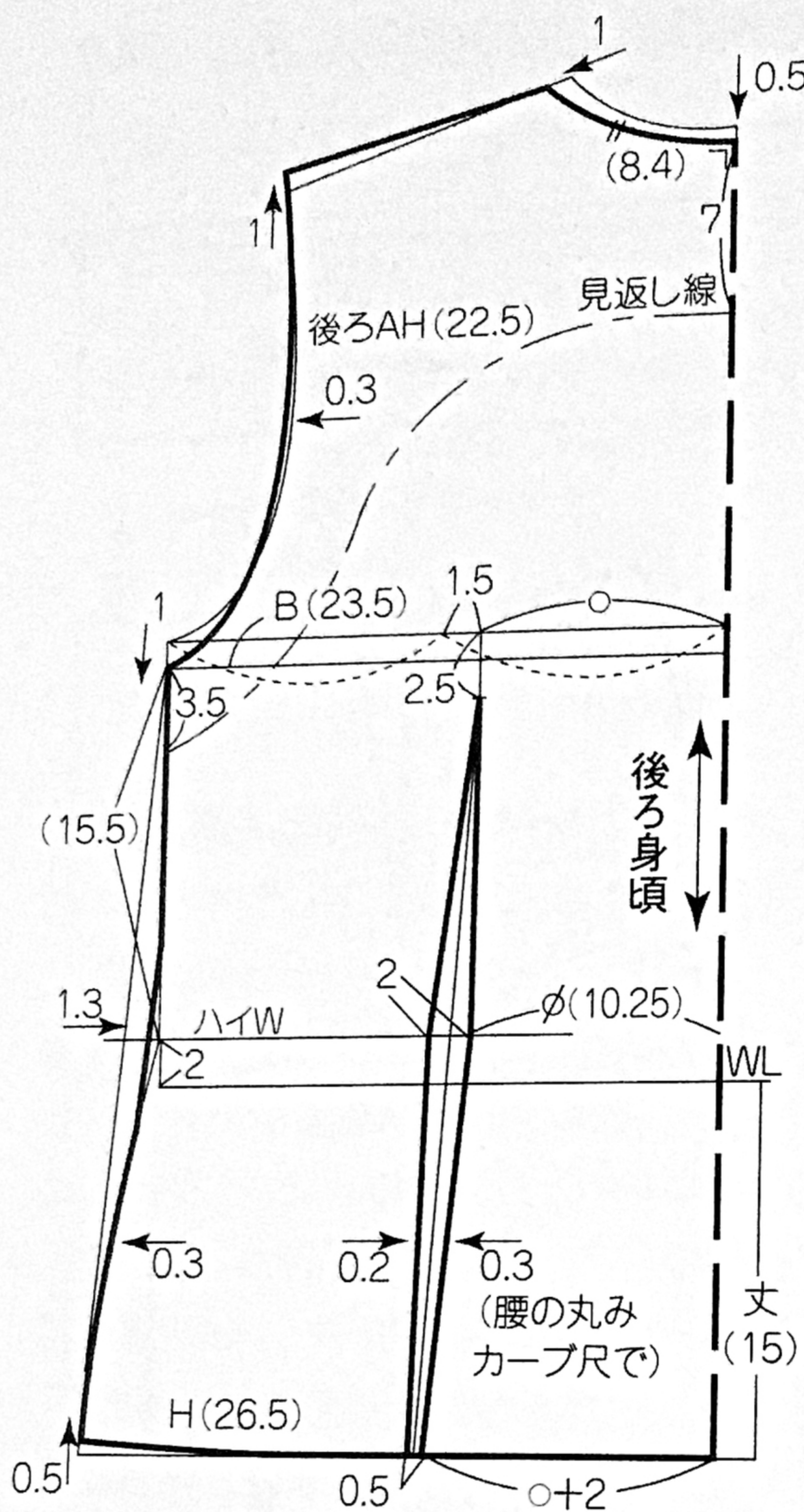
1 原型のWLから丈15を引き裾線とします。

2 原型の胸囲線を1下げ、H(26.5)と結びます。

3 脇線ハイWで1.3入り、裾0.5上げきれいに結びます。

4 後ろ衿ぐり0.5下げ、ネックポイントで1カットします。

5 胸囲線（○）を印し、裾線（○＋2）と結びWで2のダーツをとります。

○Wが$\frac{1}{4}$(21)位あるように寸法をはかり確かめておきます。

◆製図順序（前身頃）

1 前中心で持出し2とり、1〜2まで後ろ身頃と同じに引きます。

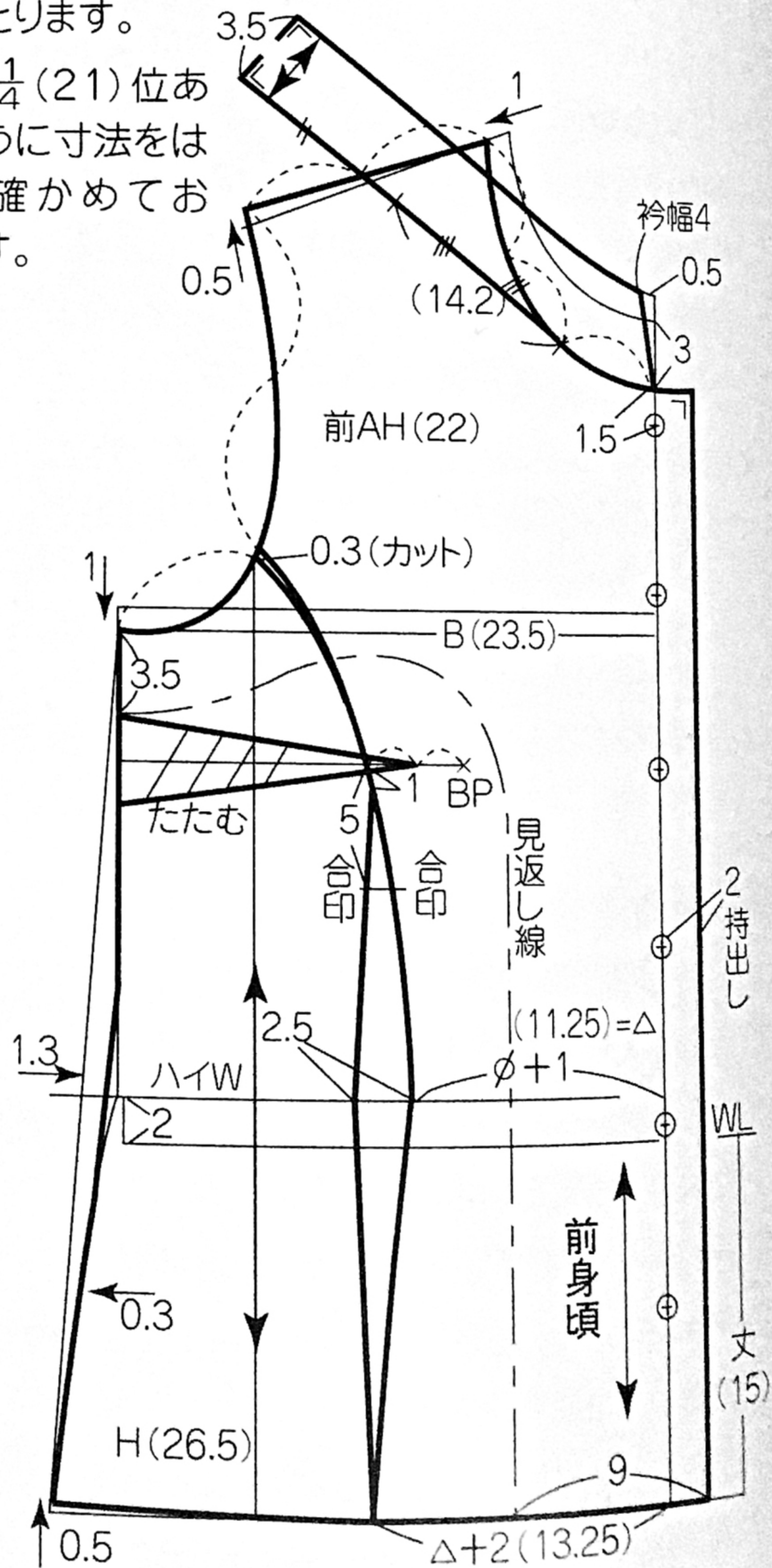
3 後ろハイW（ø＋1＝11.25）を前中心から印し、ダーツをとります。

4 前後脇丈の差を印し、BPと結びます。

5 前衿ぐり3下げネックポイント1と結びます。

6 衿ぐり$\frac{1}{3}$と肩幅$\frac{1}{2}$を結び、前後の衿ぐり寸法を印します。

7 後ろ衿幅3.5とり直角に引き、前衿幅4にとり結びます。

8 パネルラインに合印をして、中央位に布目線を上から裾まで入れておきます。

部分縫い パイピング用裏地の作りかた（長方形の布を使用）

△−0.2

2.2＝△

1

前AH
22

後ろAH
22.5＋1＝23.5

0.5

△2/3

腕回り＋7＝(34)

袖丈(53)＋1(パット分)＝54

前袖下を引っぱって後ろ袖下に合わせます

EL

13

13

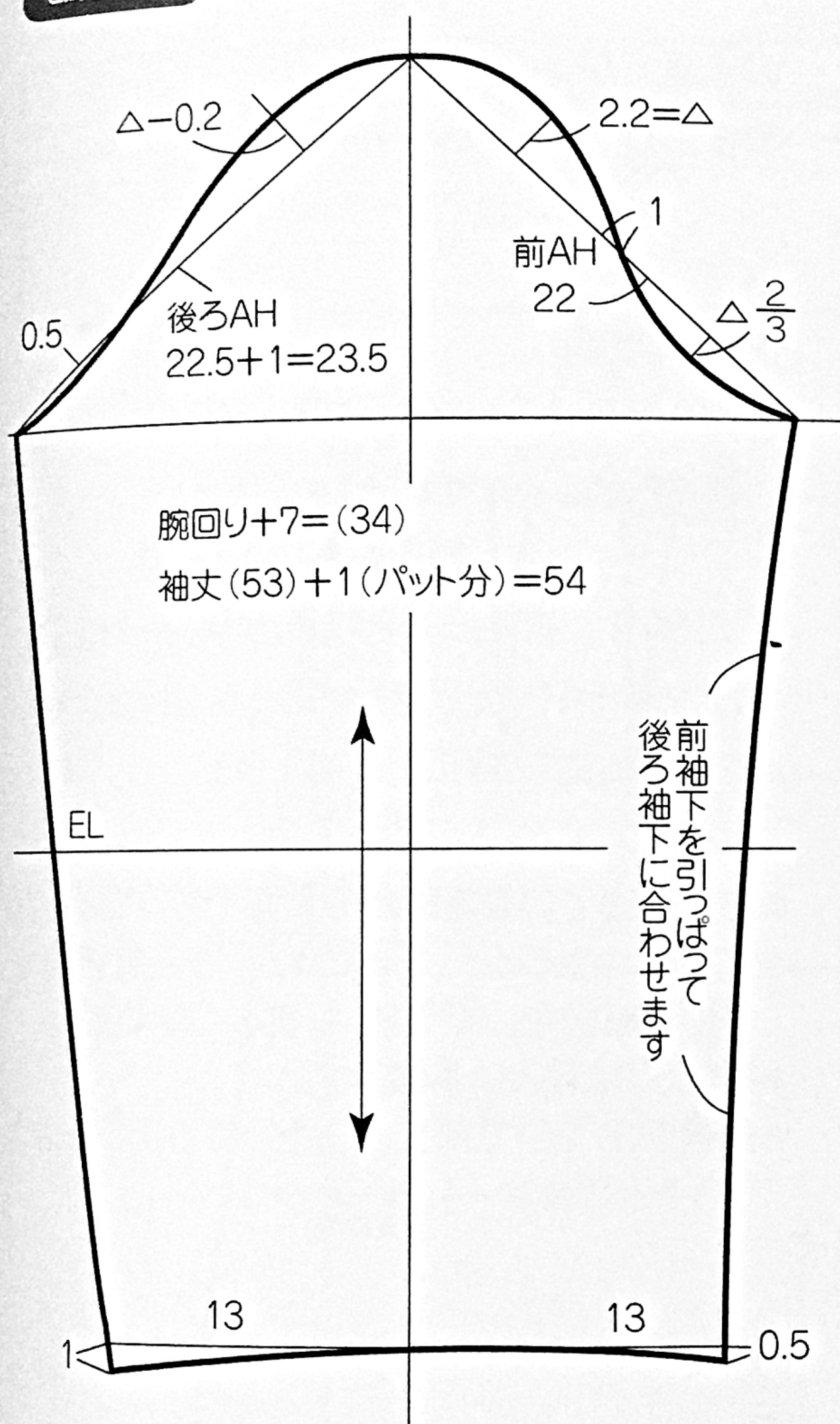
1

0.5

大切な胸の高さが出る「へこみ」ですから、脇線をWと結び直しきれいに引きます

角ばらないようにカットします

きれいな胸の線が出るように少し引っぱって前身頃に合わせて縫います

ハイW

(注)P67にスーツなど袖の丸みを補う布のとりかたがあります。参考にして下さい。

60位

35位

この面を縫い合せる

この面を縫い合せる

正バイヤスに切る

A

B

△合印　この面を縫い合わせる

合印　3

あけておく

切り初め

巾2.5

バイヤス布

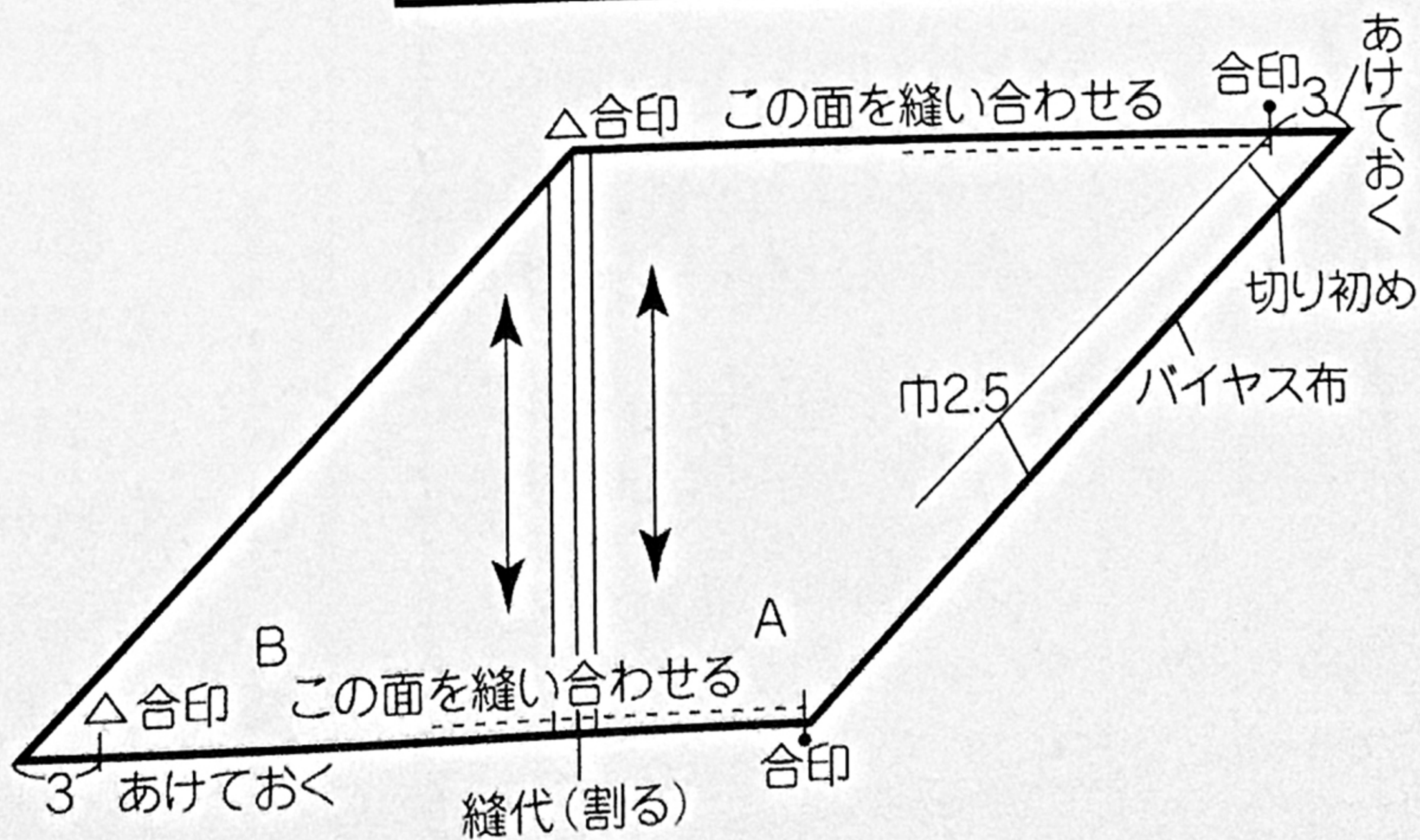
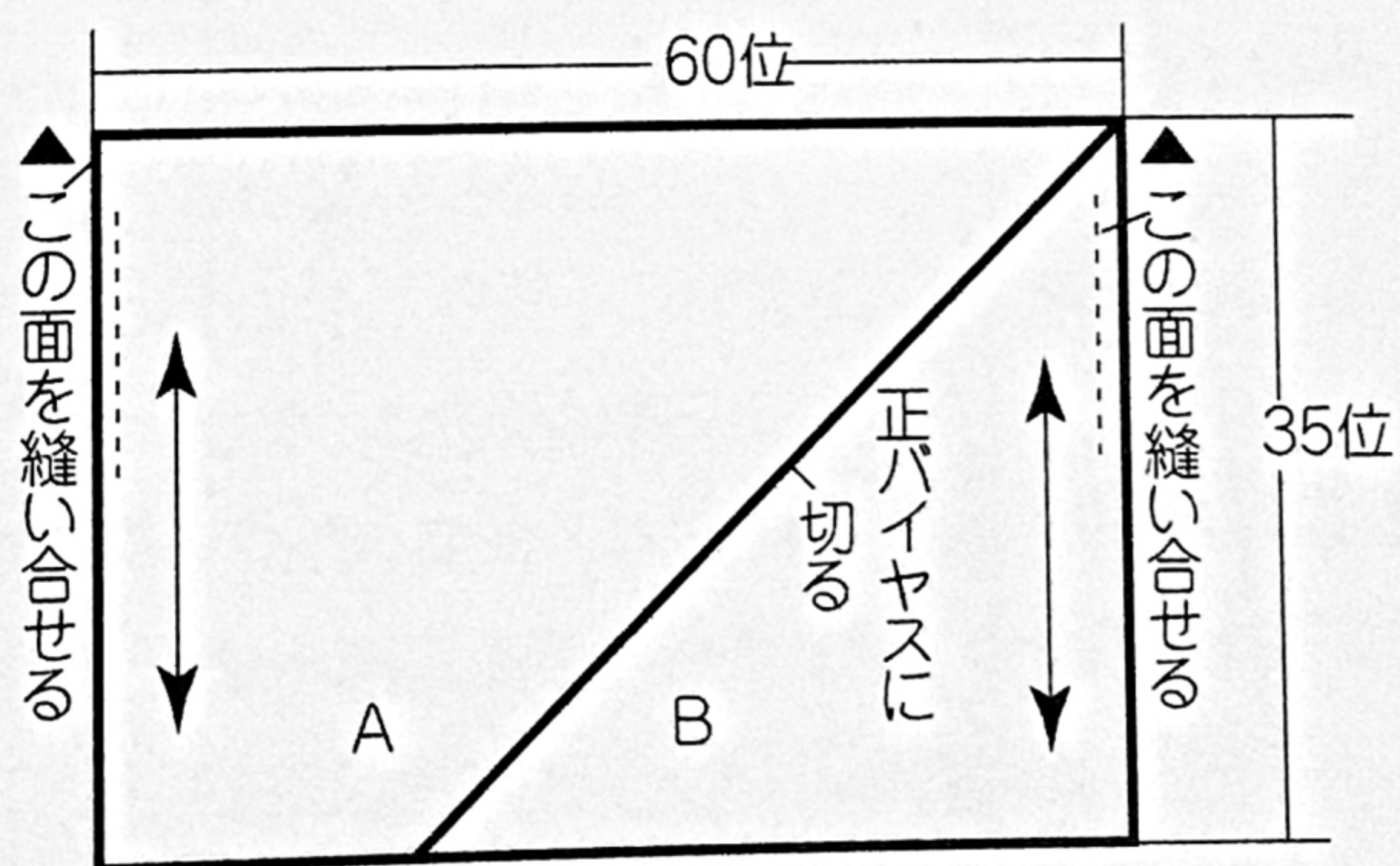
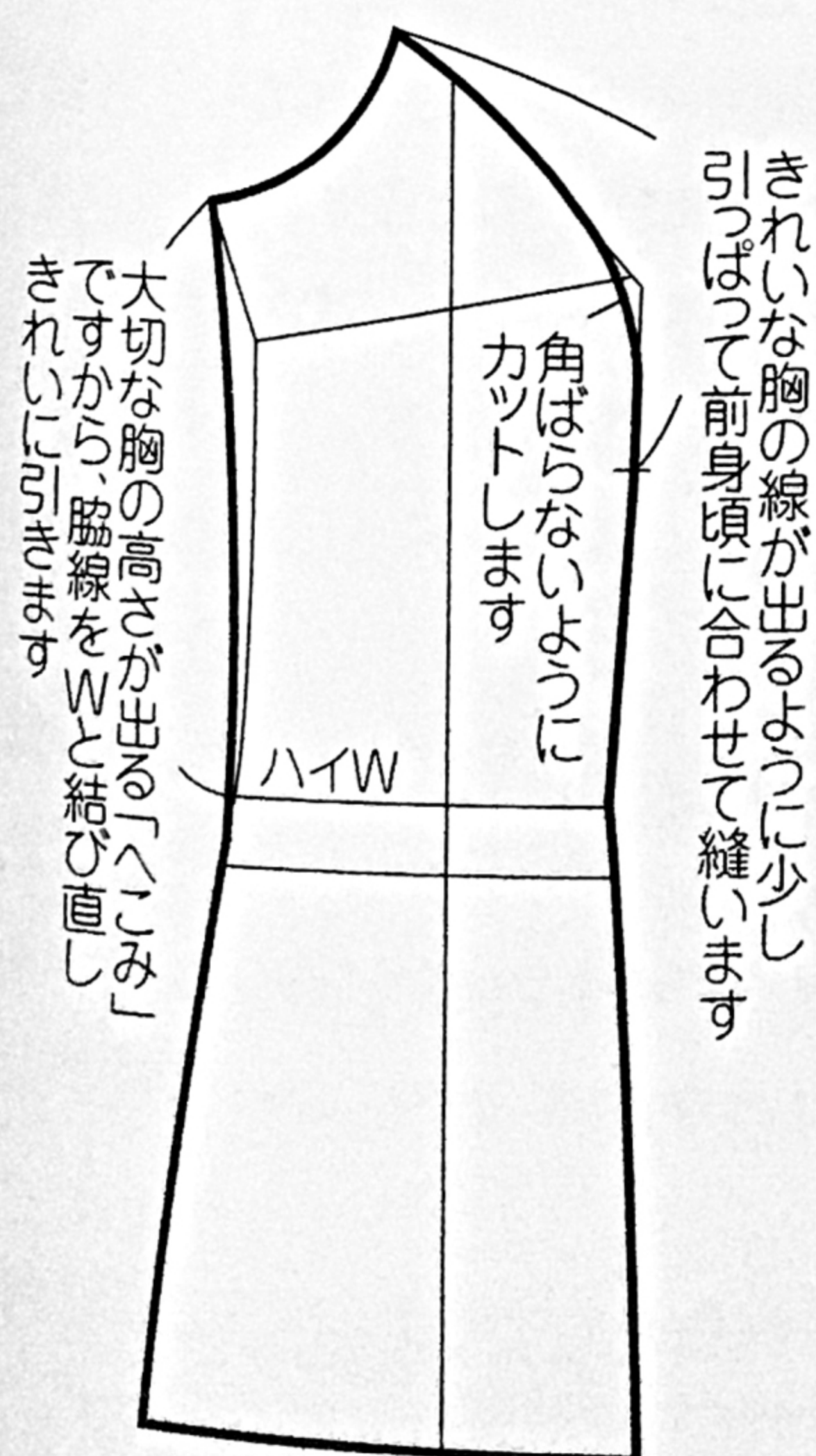
A

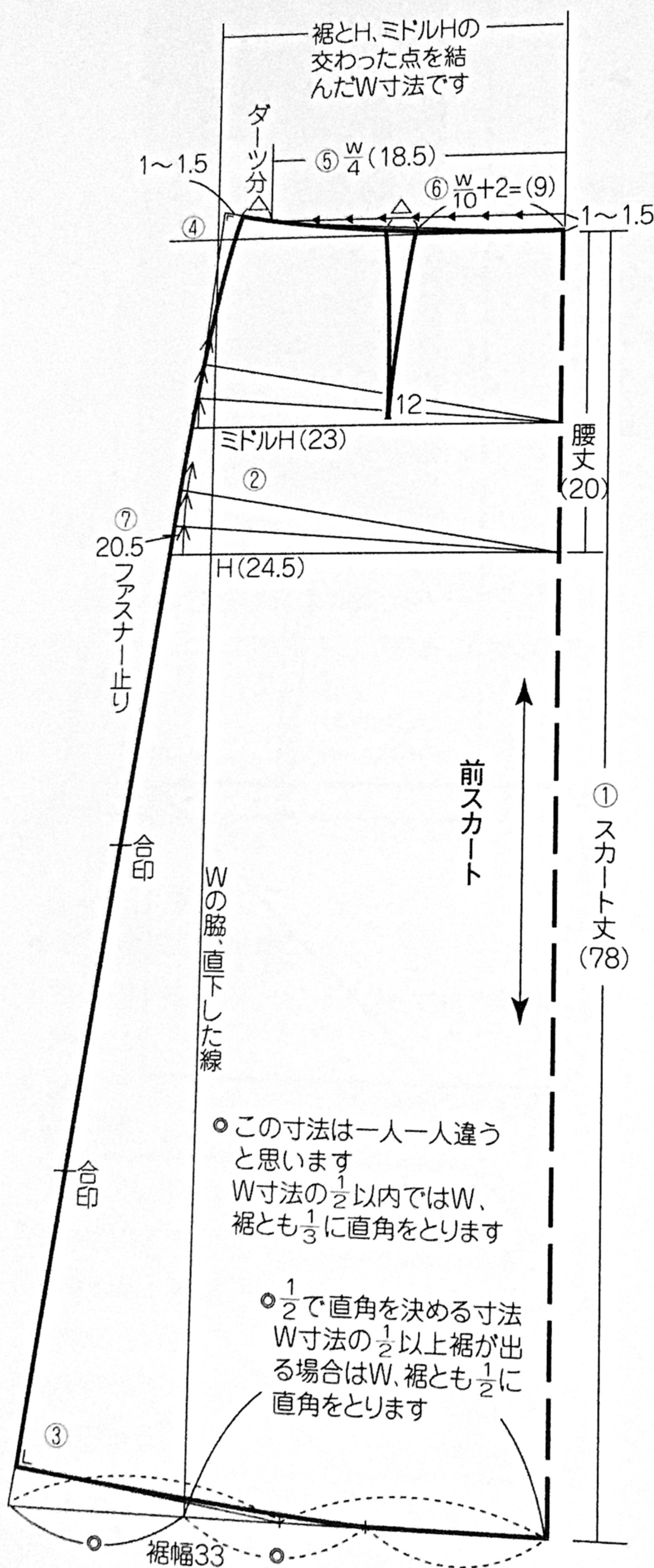
B

△合印　この面を縫い合わせる

3　あけておく

縫代(割る)

合印

ロングスカート ── 腹部の出ている方の、W計算のしかた

お腹が出ているため、Wからくるぶしまで脇線が直下するように、前後の差をつけます。W脇で前後の差は1〜1.5位に。

◆用　　尺　110幅180cm/150幅100cm

W出来上がり寸法　68$\frac{1}{4}$=17
前後の差1　　前W+1=(18)
　　　　　　　後ろW−1=(16)

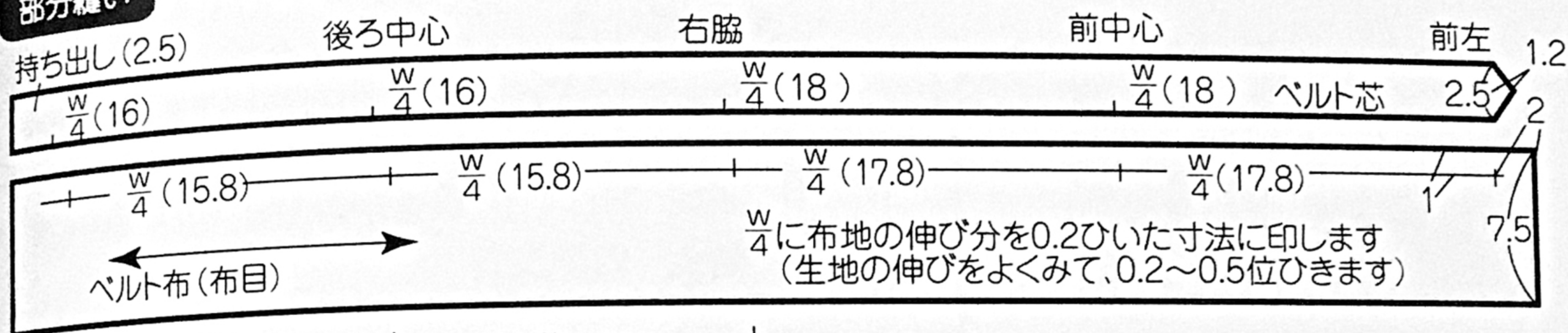
◆作図寸法

W　68+2(いせ分)=70 $\frac{1}{4}$(17.5)
前後の差1　　前W+1=(18.5)
　　　　　　　後ろW−1=(16.5)
ミドルH　90+2(ゆとり分)=92$\frac{1}{4}$=(23)
H　94+4(ゆとり分)=98 $\frac{1}{4}$=(24.5)
スカート丈　78　　裾幅　33

- お腹の出ている方はどの製図でも、パンツ、スカート、キュロット、などのW寸法に前後差をつけて製図をして下さい。美しく装えます。
- 裾幅33は程よい歩幅です。
- お腹が出ていて前丈が上がってしまう方は1〜1.5上げます →→→ (好みの線)。

◆製図順序(前スカートから)

① スカート丈製図用紙の端からはかり引きます。
② HL、ミドルHを矢印で引きます。
③ 裾幅(33)とH又はミドルHの交わった点を結び、WLの上まで引きます。
④ W、裾ともに$\frac{1}{2}$に直角をとり、きれいに引き直します。
⑤ W前中心から$\frac{W}{4}$(18.5)を印し、脇直角線より1〜1.5位印し、残り分をダーツにします。
⑥ 前中心より$\frac{W}{10}$(7)+2=9を印し、ダーツをとりお腹の丸みを出すようにカーブ尺で引きます。
⑦ ファスナー付け止り左脇Wより20.5に合印をします。

部分縫い　ベルト布とベルト芯の印のしかた（腹部の出ている方用）

ベルト芯幅2.5

長さW寸法（68）＋5＝73

ベルト布幅7.5

長さW寸法（68）＋6位

○布地の伸びをよく見て下さい。
布地の伸びにより異なります。

1 ベルト芯に霧を吹きアイロンをします。

2 Wポイントを1.2位に作り、右端から $\frac{W}{4}$（18）前後の差をつけた寸法を印して、持出し2.5をつけて切ります。

3 ベルト芯にはエンピツで印をつけます。

4 ベルト布、端から2印し生地の伸び分を0.2ひいた寸法 $\frac{W}{4}$（17.8）を印し、$\frac{W}{4}$寸法を正確に印して下さい。

5 ベルト布のチャコが見にくかったり、消えるようでしたら切り躾にします。

6 パンツ、スカートともベルトをつける前に、裏表一緒に大きい目でミシンを掛け、$\frac{1}{4}$ずつの寸法に合わせてからベルト布をつけます。

◆製図順序（後ろスカート）

①①〜④までは前スカートと同じに引きます。

⑤後ろ中心1.5下げ引き直します。

⑥後ろ中心から $\frac{W}{4}$（16.5）印し、脇1位入り残りはダーツにします。

⑦前中心より $\frac{W}{10}$（7）印し、（▲）印し $\frac{W}{20}$（3.5）印し（▲）とりカーブ尺で引きます。

⑧ファスナー止り左20.5の合印をします。

ノーカラースーツ —— パネル線の引きかた

◆用　　尺　110幅210cm/150幅160cm

◆作図寸法

B　84+12(ゆとり分)=96 $\frac{1}{4}$=(24)

W　68+14(ゆとり分)=82 $\frac{1}{4}$=(20.5)

裾幅　H(94)+16(裾のゆとり分)=110 $\frac{1}{4}$=(27.5)

着丈　Wから25

◆製図順序(後ろから)

1 原型WLから丈(25)を引き、B(24)をハイWまで直下します。

2 ◎ハイWで後ろ中心1パネル線2、脇0.5印し裾まで直下します(図1を参考にして下さい)。

3 ◉裾寸法a線2.5、b線1.5、c線3それぞれを結びカーブ尺で引き直します。

4 後ろ中心線裾0.7入りハイW1と結び、カーブ尺を使って図のように引きます。

5 脇線から8位のAHに美しいパネル線を引きます。

(注)P88にタイトスカートの製図があります。参考にして下さい。

0.5
0.5
1
AH(23)
パネル線位置8位に
0.3カット
1.5
B(24)
4
脇丈(15)
布目線
後ろ身頃
$\frac{W}{4}$(20.5)
$\frac{W}{2}$(10.25)+1=Ø
(2)(1)
0.5
1
2
原型W
25
30
25
カーブ尺の使い方
30
35
30
0.5
0.3
0.5
35
35
40
40
40
丈(25)
45
45
0.5 c
a
b
0.7

◎B(24)
W(20.5)
◉裾線(27.5)
差3.5(後ろ中心1、パネル線2、脇0.5)
差 7 (a2.5、b1.5、c3)

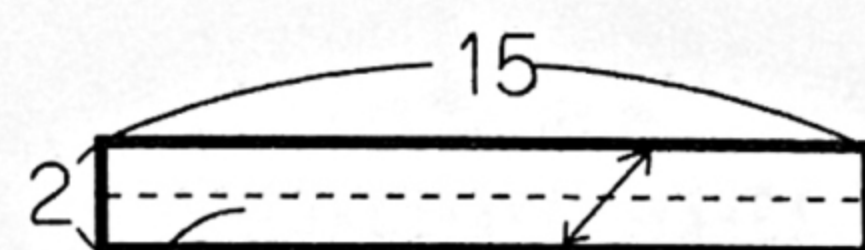
原型W
2 原型WL
直下線c
直下線b
直下線a
図1
丈(25)
3
1.5
2.5
裾線

後ろＡＨ　23
＋　1
24

前ＡＨ　22.7
+0.5
23.2

2.1
2.3
後ろAH(24)
前AH(23.2)
1.5
1.5
0.3
0.2～3カットする
1
1
腕回り+8=35
袖丈53+1+1=55
(+1パット分)
(+1上着分)
肘丈33.5
1
角をなくす
内袖
外袖
9
あき止り
⊕(1.6)
⊕
1.5
13.5
0.5

部分縫い 袖山の丸みを補う布のとりかた

- ○スーツなど袖山の丸みを補う布
  表生地、デザインにより異なりますが、毛芯又は共布を使います。
- ○身頃、袖ぐりの縫代1に切り、袖山にバイヤス布の中心を合わせ、縫代の上をもう一度縫います。

（表布又は毛芯）
まつり糸でぐし縫いをしてから使います

WL、裾線の決めかた（胸囲線を基準にします）

B=24
W=20.5
裾線=27.5

◎差3.5（パネル線2.5、脇0.5、ゆとり0.5）
◉差7（a線2.5、b線1.5、c線3）

◆製図順序（前身頃）

1 持出し2.5丈25出し、前身頃幅0.5ゆとりをとり、B（24）をWLまで直下します。

2 ◎ハイWでパネル線2.5脇0.5印し、裾まで直下します。0.5⊗はゆとりとしておきます。

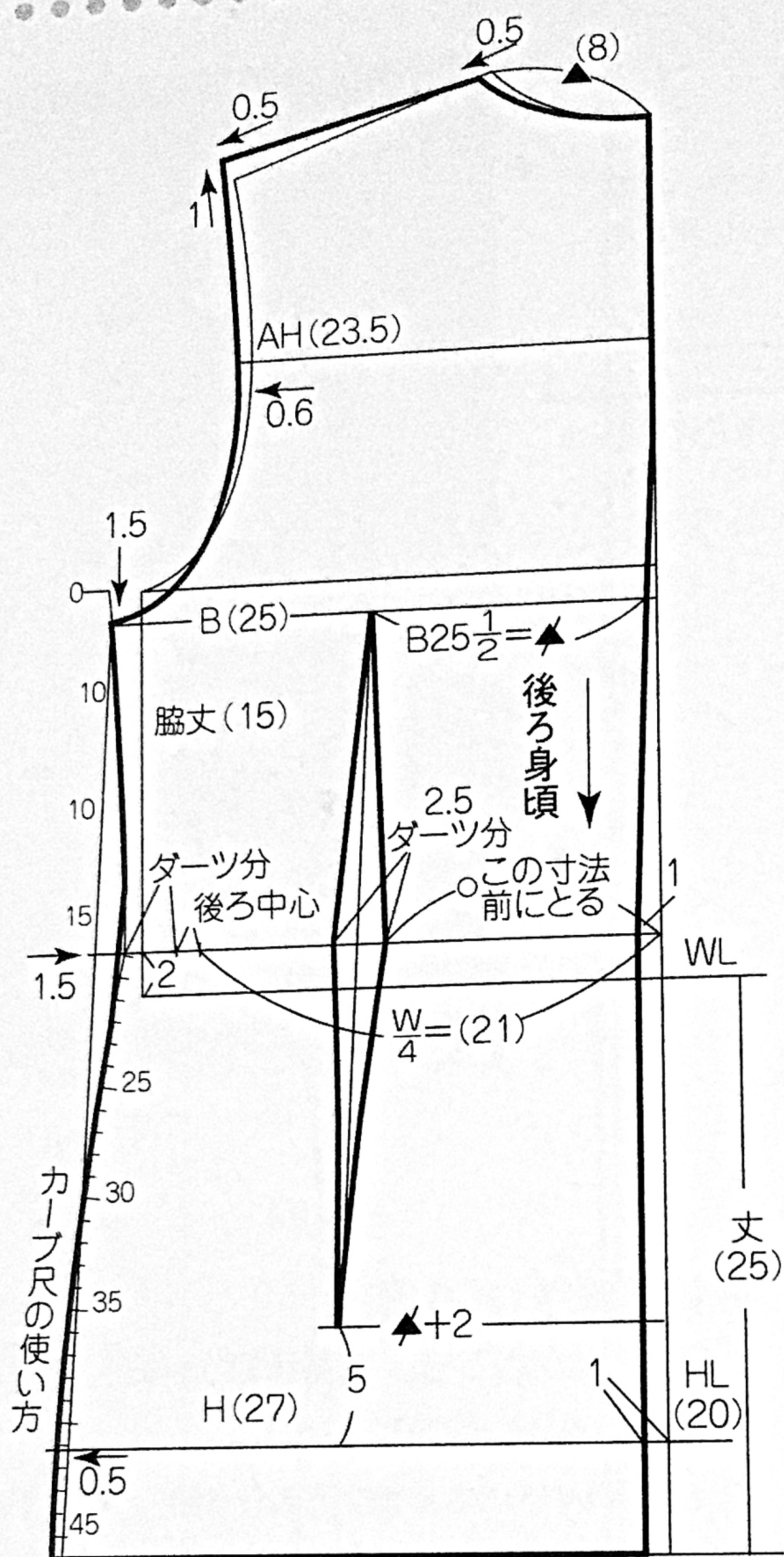
3 ◉裾寸法a線2.5、b線1.5、c線3それぞれ出し腰の丸みをつけて引き直します。

4 肩先0.5上げ0.5出しネックポイント0.5印し、結び直します。

5 胸幅線から$\frac{1}{3}$位上のAHにパネル線を引き、型紙を切り、BPの丸みを引き直します。

6 前後脇丈の差を印しダーツの中心とBPを結び、BPから$\frac{1}{2}$の所と結び直します。

○カーブ尺、Dカーブルーラーの使いかた
あくまでもB、W、H、背丈などによってカーブ尺の使用箇所が違いますが、寸法に合う箇所を求め使いかたを覚えて下さい。

テーラードジャケット —— 三ッ釦、二枚袖の引きかた

◆**用　　尺**　110幅220cm/150幅160cm

◆**作図寸法**

B　(84)＋16(ゆとり分)＝$100\frac{1}{4}$＝25

W　(68)＋16(ゆとり分)＝$84\frac{1}{4}$＝21

H　(94)＋14(ゆとり分)＝$108\frac{1}{4}$＝27

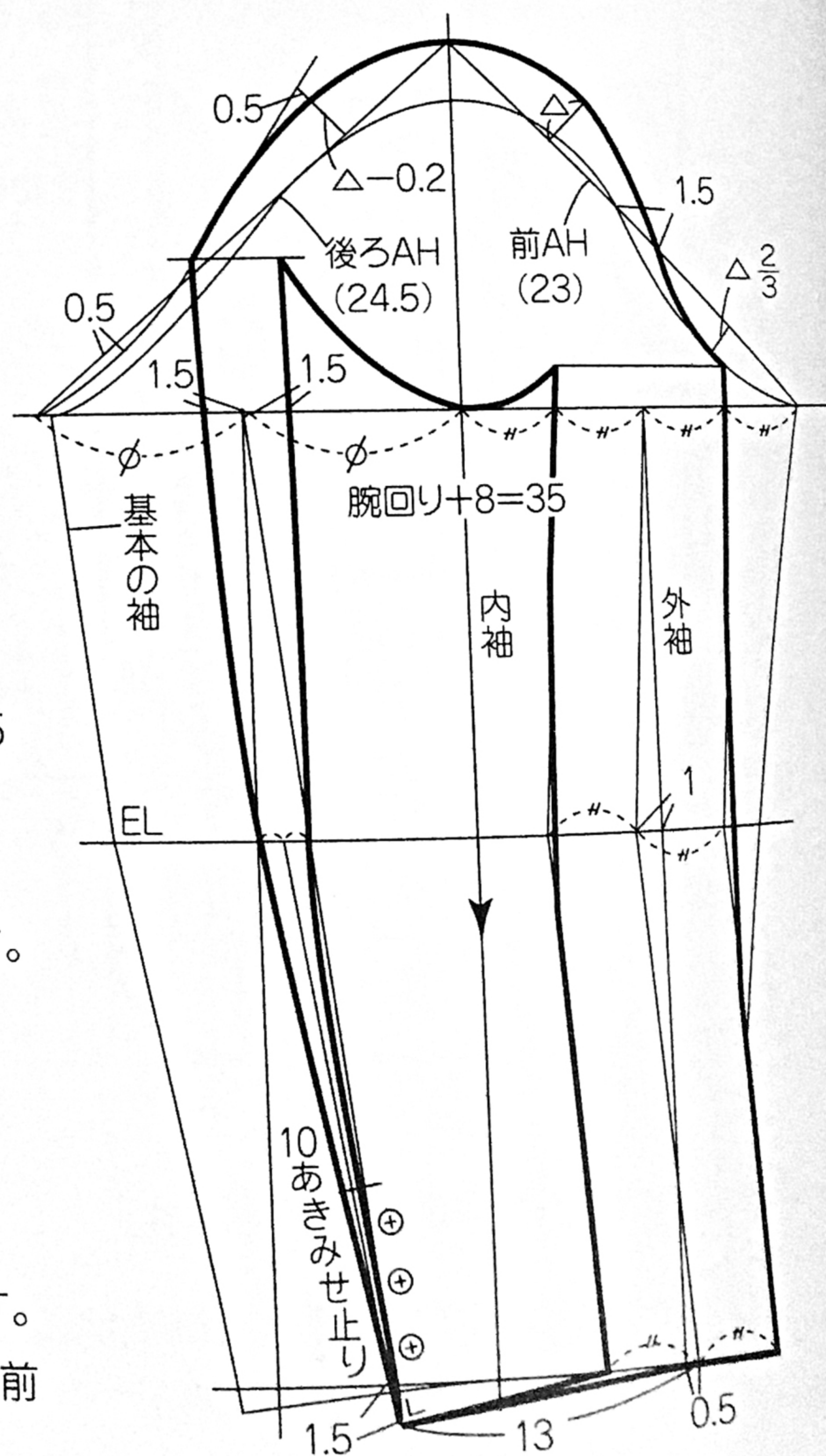
◆**製図順序(後ろ身頃)**

1 原型、WLから25引き裾線とします。

2 HL、ハイW、原型WLから2上に引きます。

3 胸囲線1.5下げB(25)を印し、HL(27)と結びます。

4 ハイWで$\frac{W}{4}$(21)印し、残りは(5＝1、1.5、2.5)に後ろ中心1脇1.5ダーツ2.5の割合で決めます。

5 後ろ中心線、肩、首に印し結びます。

◆**袖の製図**

袖丈(53)＋1(パット分)＋1.5(上着の袖)＝55.5

袖幅は腕回り＋8(ゆとり分)＝35

袖口$26\frac{1}{2}$＝13

1 基本の袖を写し、その上に二枚袖の製図をします。

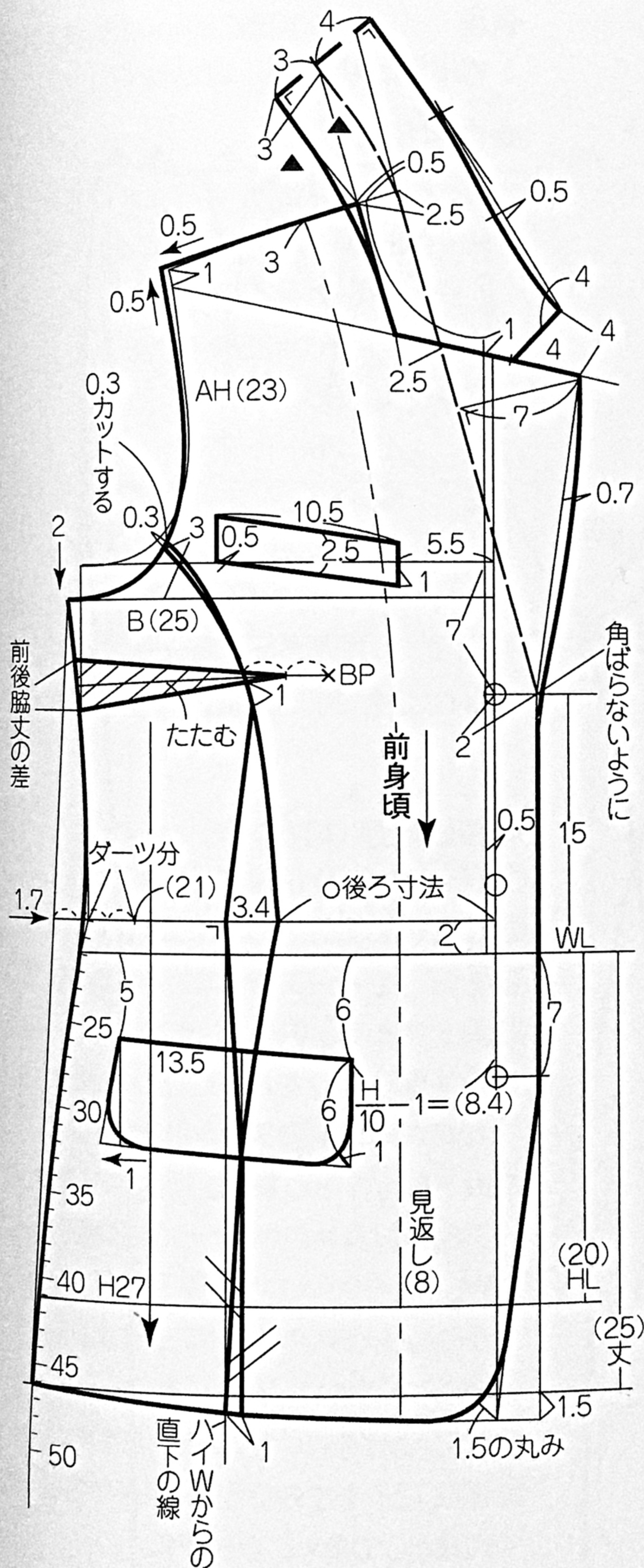
2 前AH(23)$\frac{1}{10}$＝(2.3)＝△　△$\frac{2}{3}$＝(1.5)

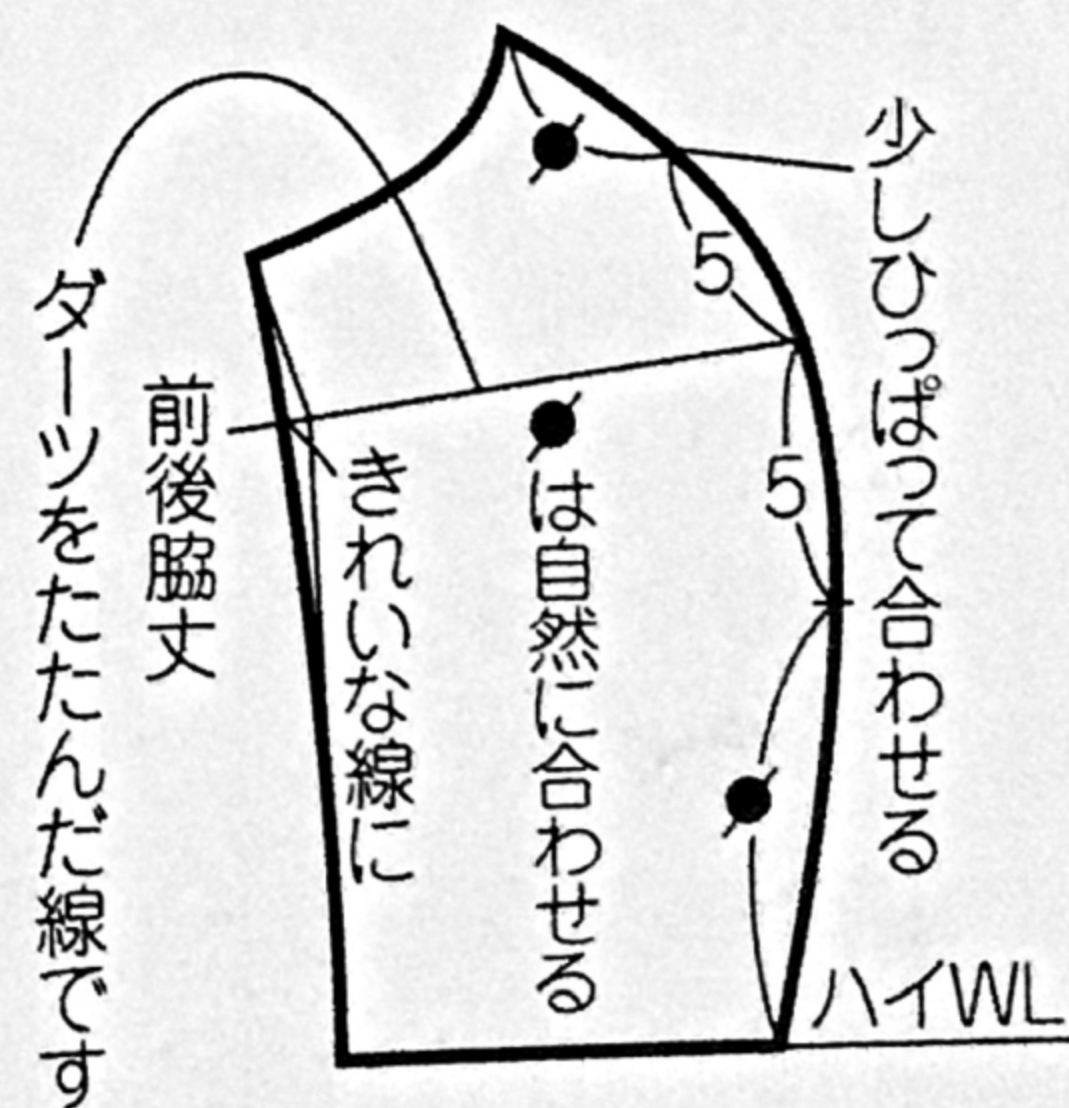
3 後ろAH(23.5)＋1＝(24.5)

4 腕回り線に$\frac{1}{2}$(17.5)を前、後ろに印します。

5 前AH(23)袖山を求め印します。

6 袖山の印から後ろAH(24.5)腕回り線に印します。

7 後ろ腕回り線から出た寸法の$\frac{1}{2}$を前幅からひき前AH(23)から引き直します。

◆製図順序（前身頃）

1 原型WLから丈25引き裾線とします。
2 前幅ゆとり分0.5、持出し2引きます。
3 HL、ハイW原型WLより2上に引きます。
4 胸囲線2下げ、B（25）を印しHL（27）と結びます。
5 ハイWで$\frac{W}{4}$(21)印し、残りは（5）脇$\frac{1}{3}$（1.7）パネル線$\frac{2}{3}$（3.4）の割合で決め引きます。
6 前中心$\frac{H}{10}$−1=（8.4）をとりポケットを引きます。
7 原型のWLより（15）上と、衿こし（2.5）を結び、衿返り線を立て、後ろ衿ぐり寸法を平行に引きます。
8 原型肩先とネックを1下げ、ラペル幅7直角にとります。
9 衿ねかし寸法3／衿こし3／表衿幅4

パネル線はとがった丸み、くの字のへこみはきれいな線に引き直します。

(注) P67の袖山の丸みを補う布を参考にして下さい。

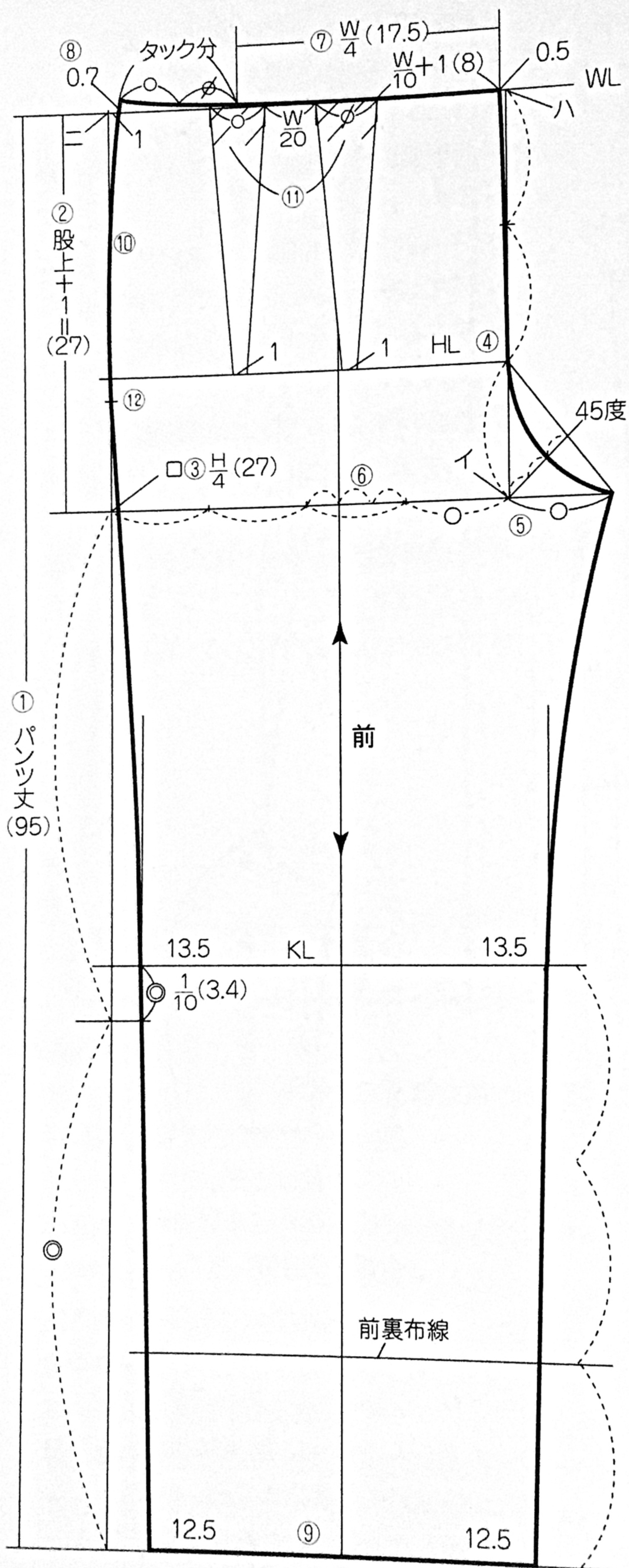
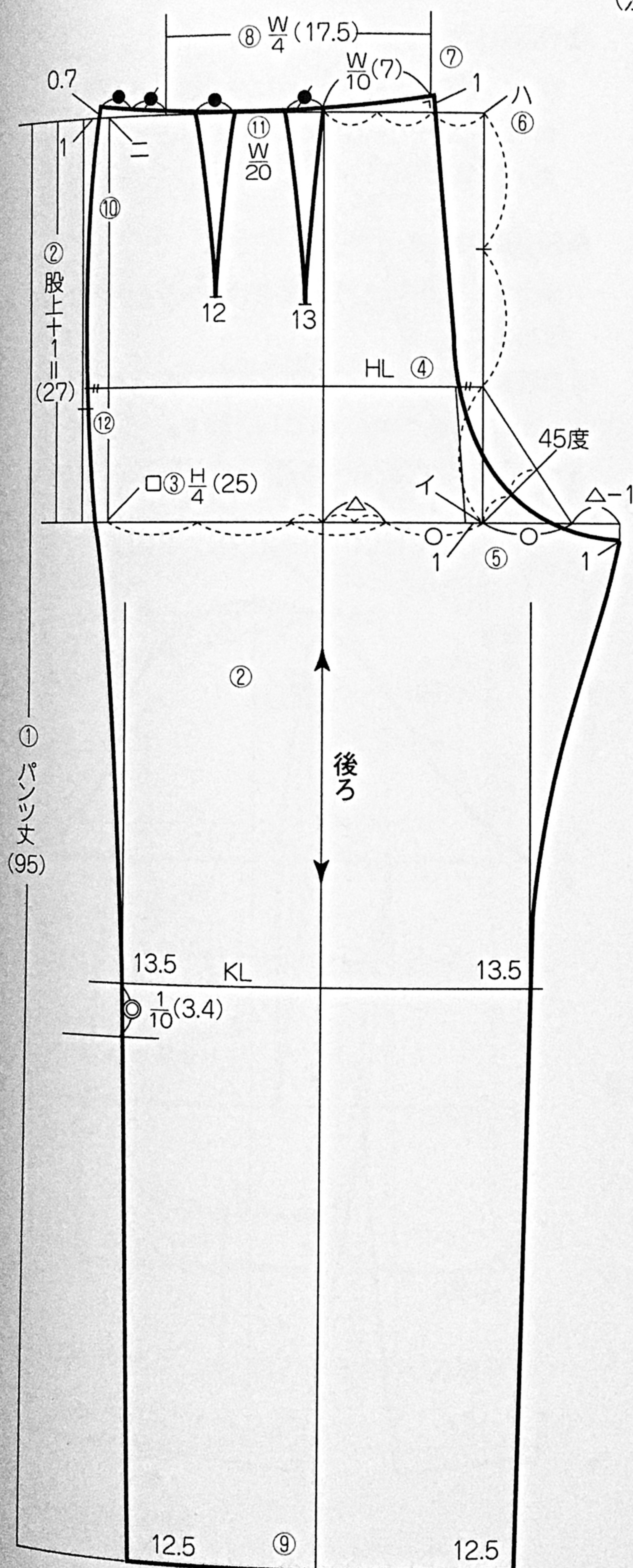
○カーブ尺、Dカーブルーラーの使いかた
あくまでもB、W、H、背丈などによってカーブ尺の使用箇所が違いますが、寸法に合う箇所を求め使いかたを覚えて下さい。

タックのあるパンツ ―― ゆったりトロミのある生地などで

◆**用　　尺**　110幅220cm/150幅170cm
W出来上がり寸法　$68\frac{1}{4}$=17

◆**作図寸法**
W　68+2(いせ分)=$70\frac{1}{4}$=17.5
H　94+10(ゆとり分)=$104\frac{1}{4}$=26
(H$\frac{1}{4}$=26+1=27前寸法
　　　　　−1=25後ろ寸法)
パンツ丈　95
股　　上　26+1=27
裾　　幅　25

○このパンツは前身頃にタックを2本とりましたので、前Wでタック分が多くなるようにH寸法を1前に移動して製図をします。

◆**製図順序(前パンツ)**
① パンツ丈(95)がWLになります。
② 股上寸法をWLから下に引きます。
③ $\frac{H}{4}$(27)をイ〜ロ、ハ〜ニ、へとり結びます。
④ 股上寸法の$\frac{1}{3}$をHLとします。
⑤ 股下線 $\frac{1}{4}$(○)を前端に出しHLと結び、45度の$\frac{1}{3}$に前股下線を引きます。
⑥ 股下線$\frac{2}{3}$を中心線としてWLから裾まで引きます(身体の中心から、脇は脇から)。
⑦ WLハから0.5入り$\frac{W}{4}$(17.5)を印し、脇ニから1入り、残りをタックにします。
・タック分2本にします(1本でも)。
⑧ 脇0.7上げきれいなWLを引きます。
⑨ 裾線12.5を左右に印し、膝線と結び、案内線として長めに引きます。
⑩ 脇0.7上よりHLを通り、きれいな脇線を引きます(カーブ尺を上手に使って)。
⑪ タック2本をきれいに引きます。
⑫ 脇WLから20.5下がりファスナー付け止りの合印をします。

（注）P17にシック、靴ずれの作りかたがあります。
参考にして下さい。
ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23のウールなど少し伸びる布、P32の綿繊維など伸びない布などを、参考にして下さい。

○このパンツは前身頃にタックを2本とりましたので、型紙は前後2枚になります。

○前身頃でタック分が多くなるように移動しますので後ろHは（25）で製図します。

◆製図順序（後ろパンツ）

① パンツ丈（95）がWLになります。
② 股上寸法をWL下から引きます。
③ $\frac{H}{4}$（25）をイ～ロ、ハ～ニ、へとり結び、前身頃と同じ位置に、後ろ中心線を引きます。
④ 股上寸法の$\frac{1}{3}$をHLとします。
⑤ 股下線 ○、△－1を出し1印します。
⑥ イから1入り、ハから$\frac{1}{3}$と結び、45度の$\frac{1}{2}$を通り後ろ股下線を引きます。
⑦ 後ろ股上線1上げWLへ直角に引きます。
⑧ $\frac{W}{4}$（17.5）印し、脇線から1入り印し、ダーツ分を決めます。
⑨ 裾幅12.5、膝線13.5に印し、結びます（前幅と同じになります）。
⑩ 脇0.7上りHLを通り、きれいな脇線を引きます（カーブ尺を上手に使って）。
⑪ 後ろ$\frac{W}{10}$（7）ダーツ、$\frac{W}{20}$（3.5）ダーツをとりきれいに引きます。
⑫ ファスナー付け止り20.5の合印をします。

ジャケット——キルティング、コーデュロイなどで裏なしに仕上げます

◆用　　尺　110幅220cm/150幅170cm

◆作図寸法

B　　(84)＋16(ゆとり分)＝100 $\frac{1}{4}$＝(25)

裾幅　(H94＋16ゆとり分)＝110 $\frac{1}{4}$＝27.5

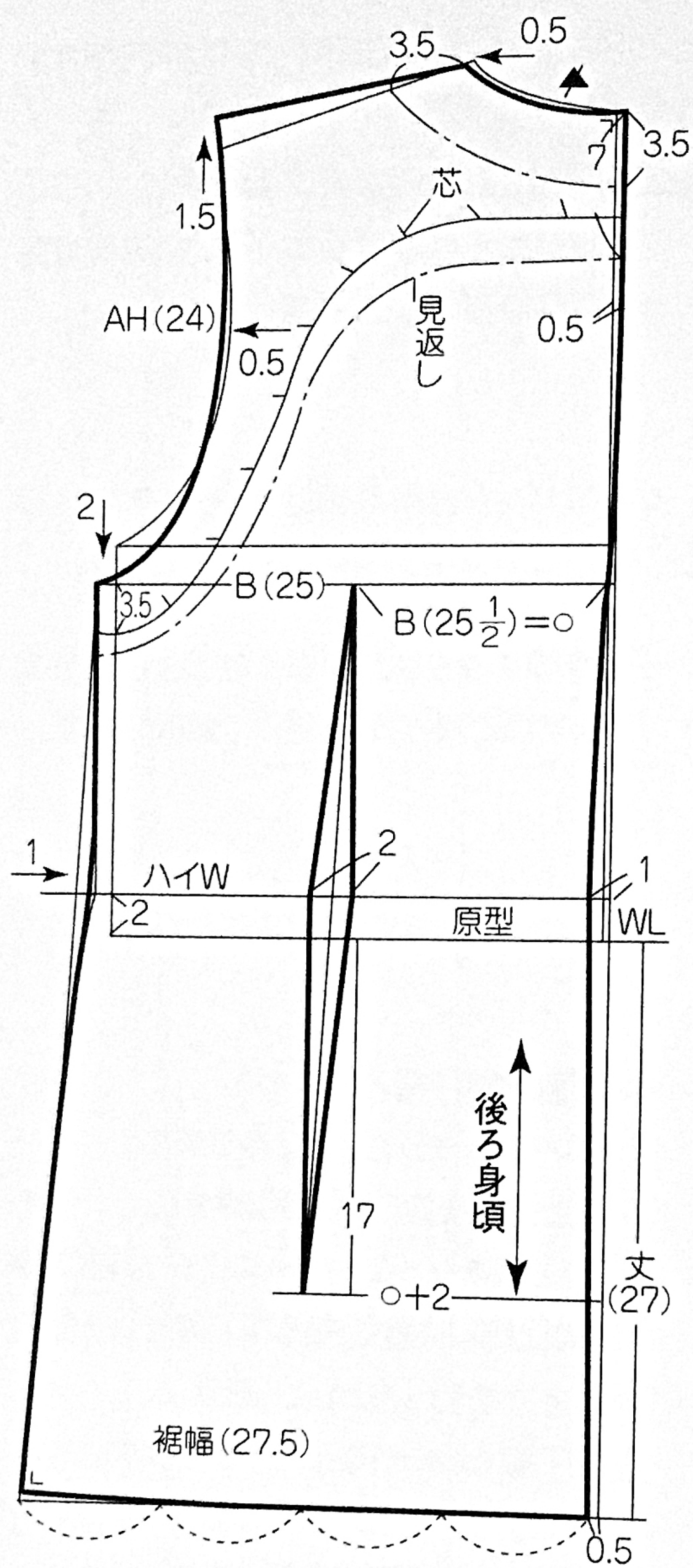
丈　　Wから27

◆製図順序（後ろから）

1 後ろ中心0.5ゆとりを持たせ、着丈27を引き原型を写します。

2 胸囲線2下げB(25)を印し、裾(27.5)と結びます。

3 ハイWLで後ろ中心、脇で1入ります。

・それぞれの寸法(AH、首回り)は目安にして下さい。

（注）キルティング生地の場合はB、裾幅、袖幅を2～5位多めに加えて下さい。

◆製図順序（一枚袖）

1 前AH　(24)＝$\frac{1}{10}$＝2.4＝△

2 後ろAH　(24)＋1＝(25)

3 腕回り　(27)＋8(ゆとり分)＝35

4 袖丈　(53)＋1(パット分)＋1(上着)＝55

5 後ろ袖幅 $\frac{1}{2}$ を袖口まで直下します。

6 中心線から(▲)を印し $\frac{1}{2}$ と結びます。

見返しのとりかた
1 肩からとる
2 脇からとる 〉どちらかに

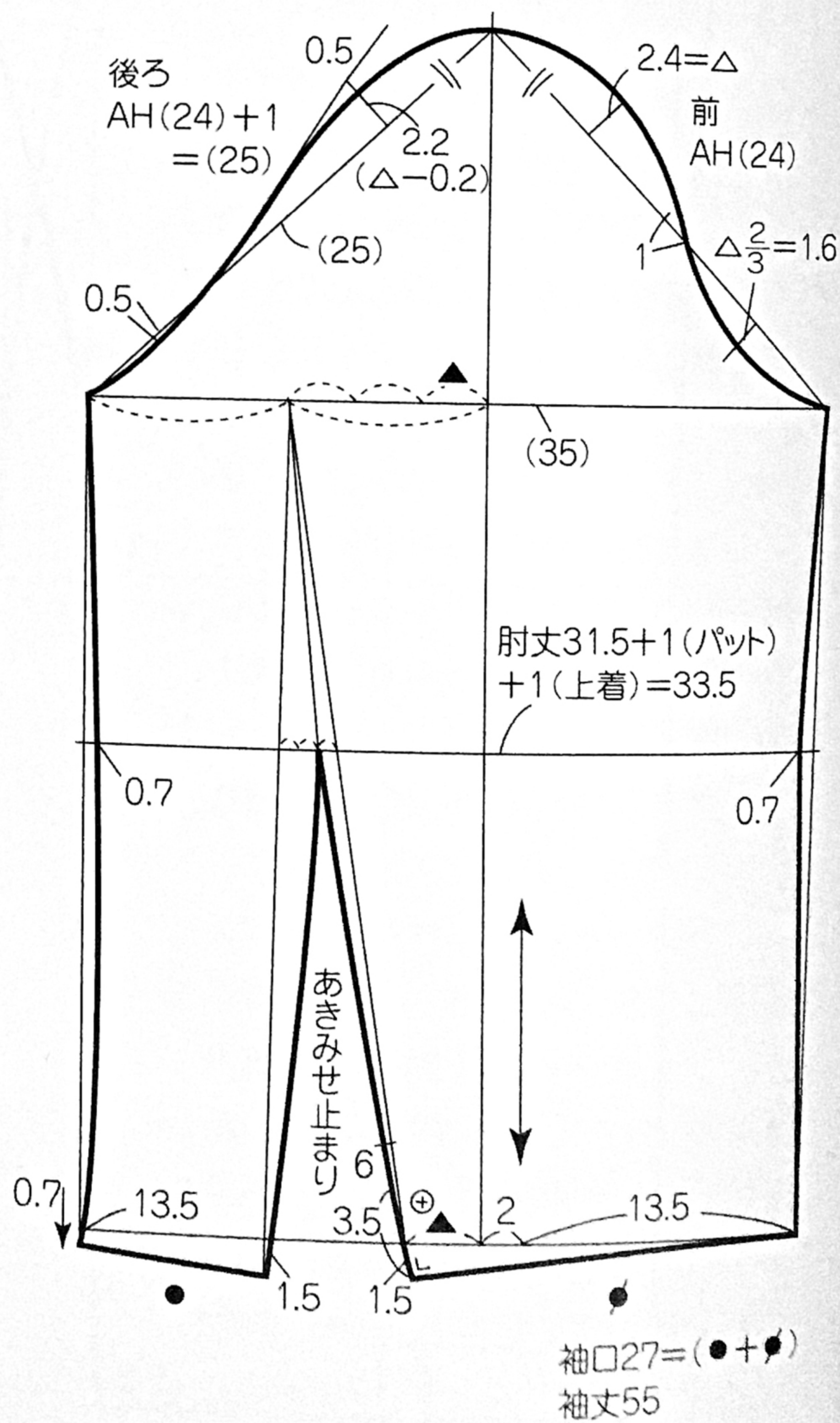
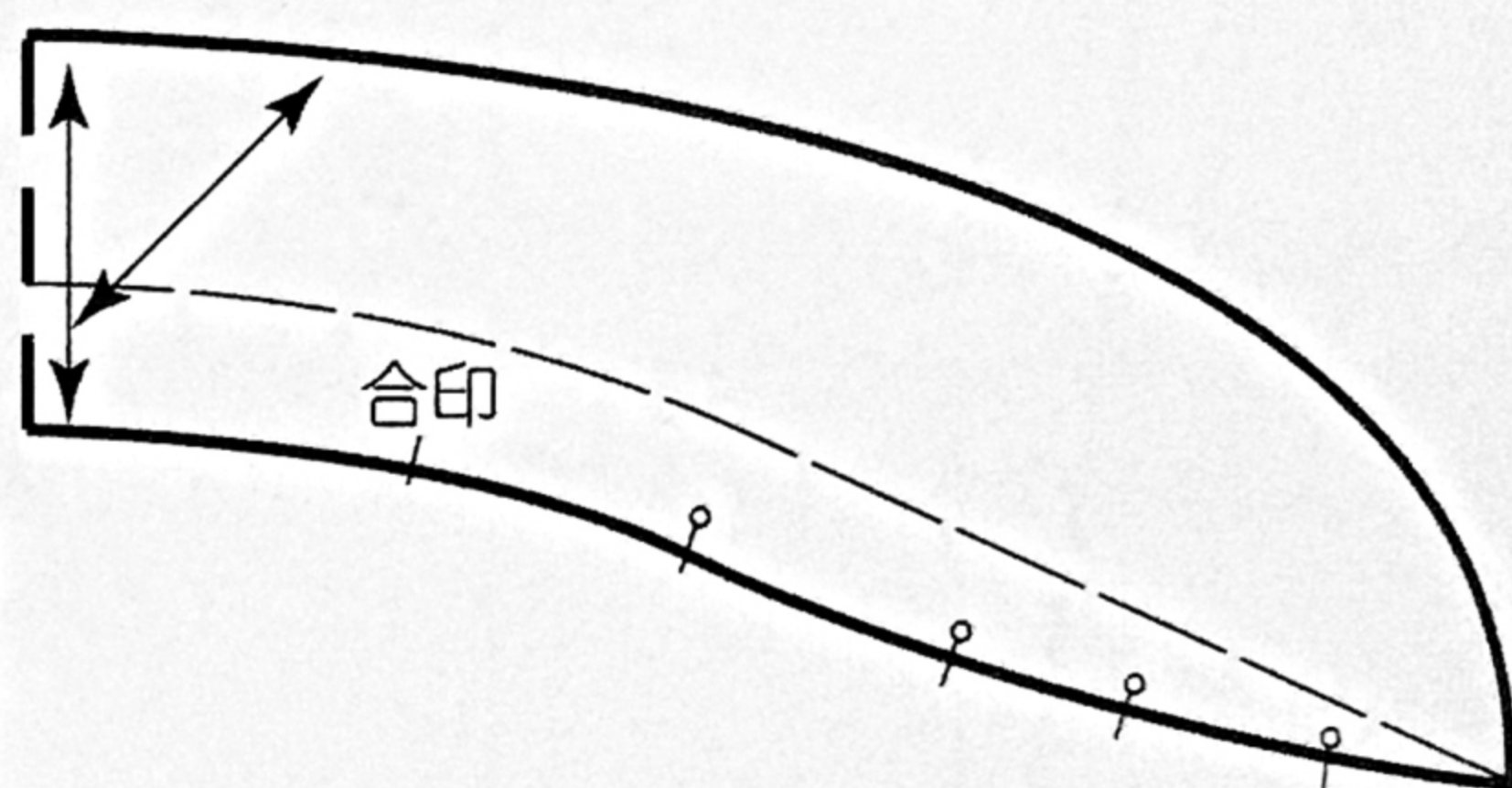
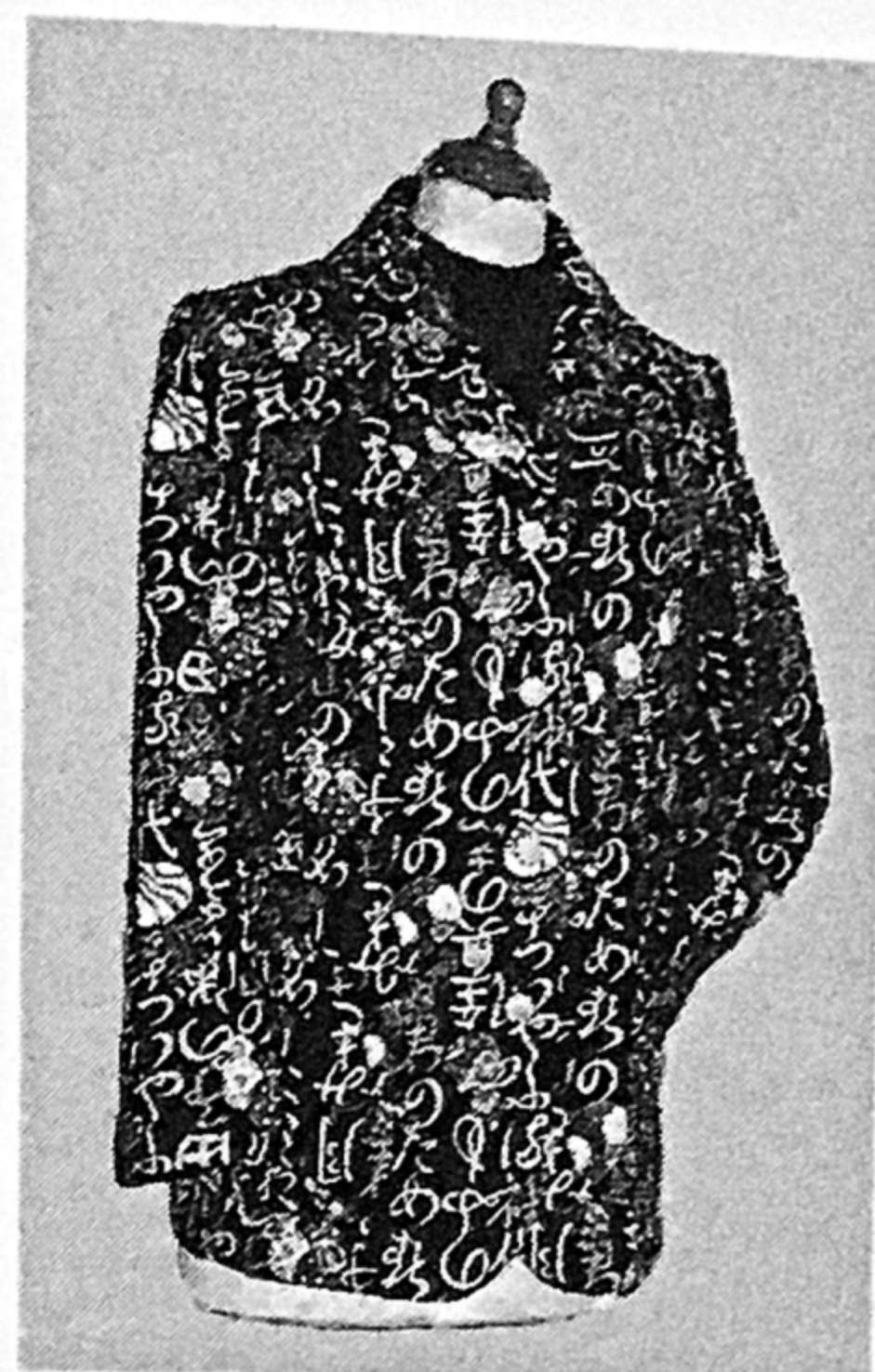
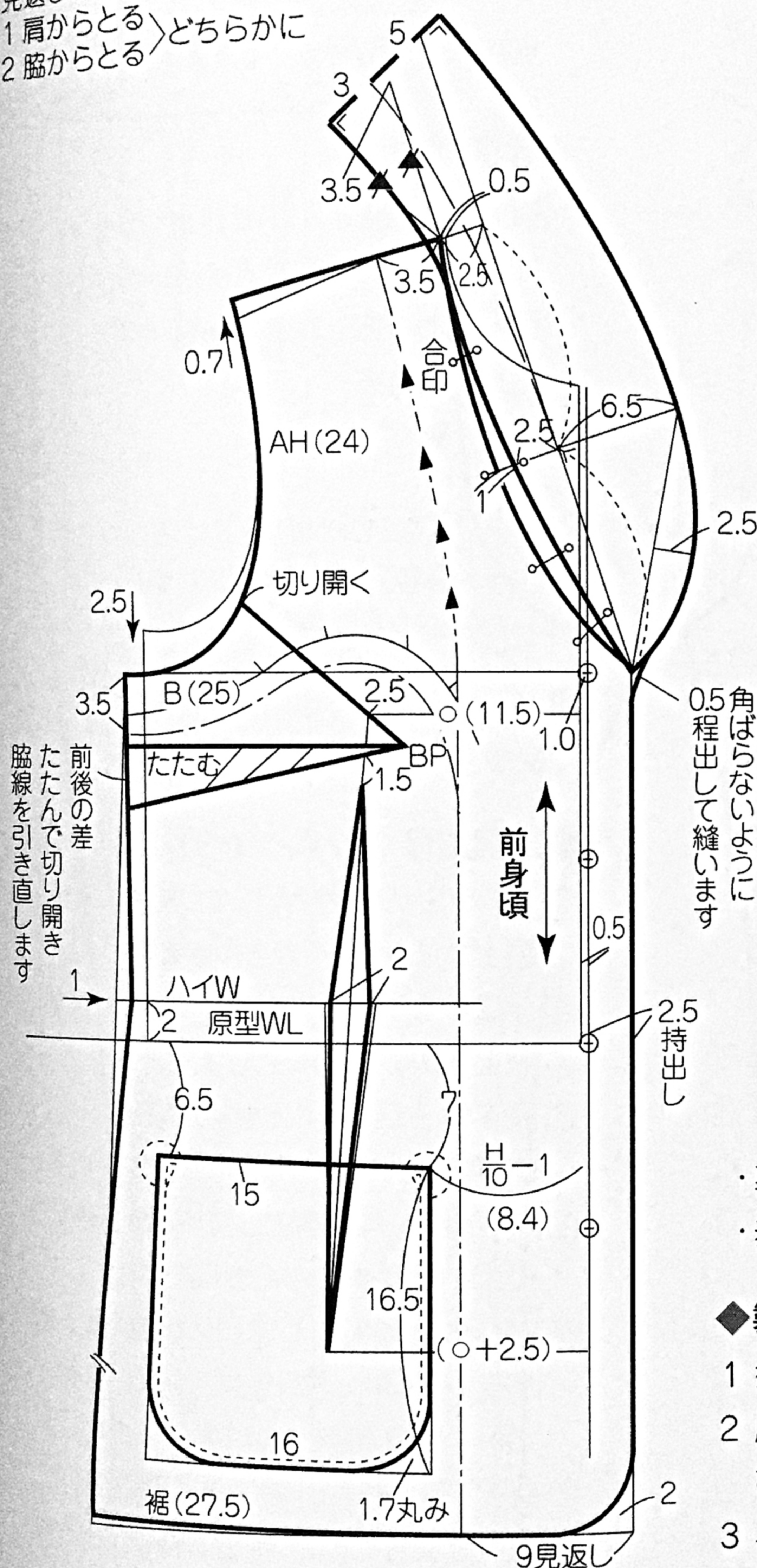
切り開く

たたむ

前後の差たたんで切り開き脇線を引き直します

角ばらないように0.5程出して縫います

前身頃

(注)P55のポケット口、角の力布の作り方を参考にして下さい。

(注)P67の袖山の丸みを補う布を参考にして下さい。

・コーデュロイ又はキルティングなどの生地は大切な箇所に。又10cm位の間隔に4cm位ずつミシンを掛けておいてから、端から縫います。

・裏衿はバイヤス裁ち、身頃につけて割ります。

・表衿は縦地に裁ち、見返しにつけて割ります。

◆製図順序(前身頃)

1 持出し2.5ゆとり幅0.5を引き、原型を写します。

2 胸囲線2.5下げB(25)を印し、裾(27.5)と結び、び、後ろ寸法に合せ裾線を引き直します。

3 ネックポイント0.5入り、2.5の衿返り線を引きます。

4 返り線$\frac{1}{2}$で直角をとり1、2.5、6.5と印し、それぞれ結び、細かく合印をします。

・接着芯は身頃と裏衿にはります。

・AHのダーツはBPの2.5が縫い止りです。

・ポケットの位置前中心から$\frac{H}{10}$(9.4)−1=(8.4)

スリムなパンツ──若々しく、スマートに映えるH寸法計算のしかた

◆用　　尺　110幅220cm/150幅120cm

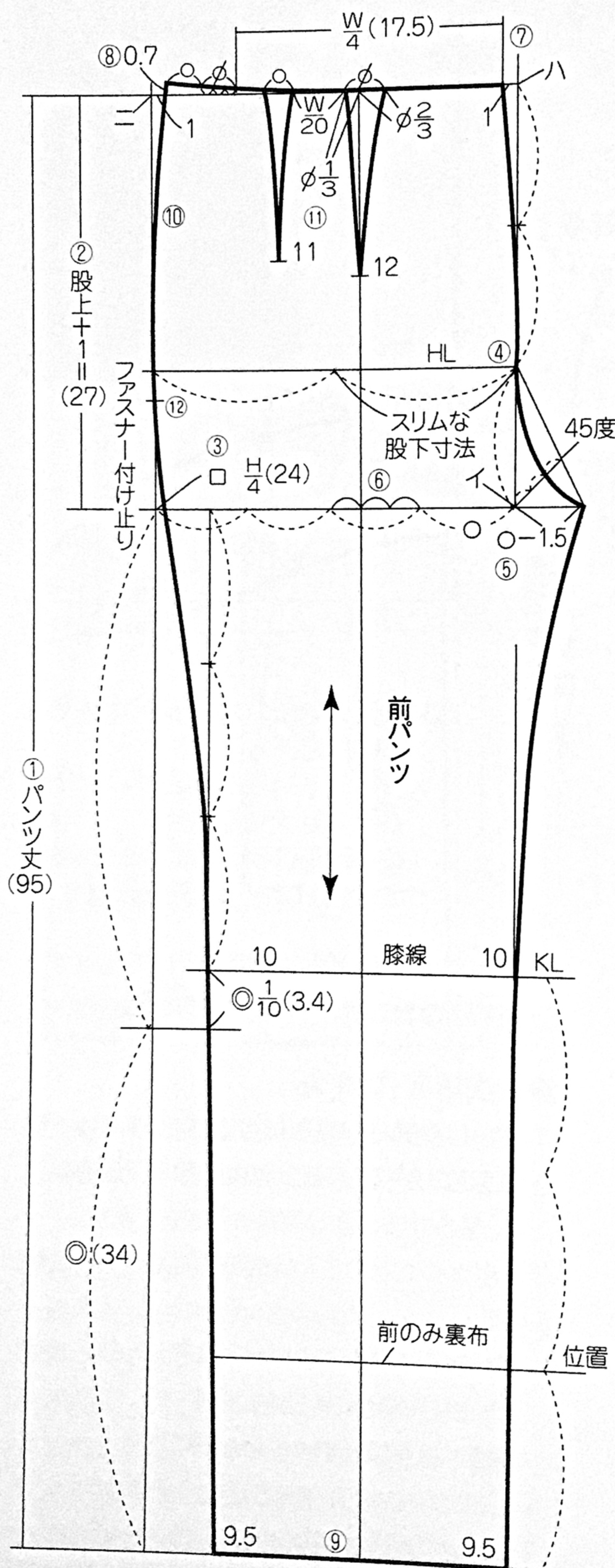
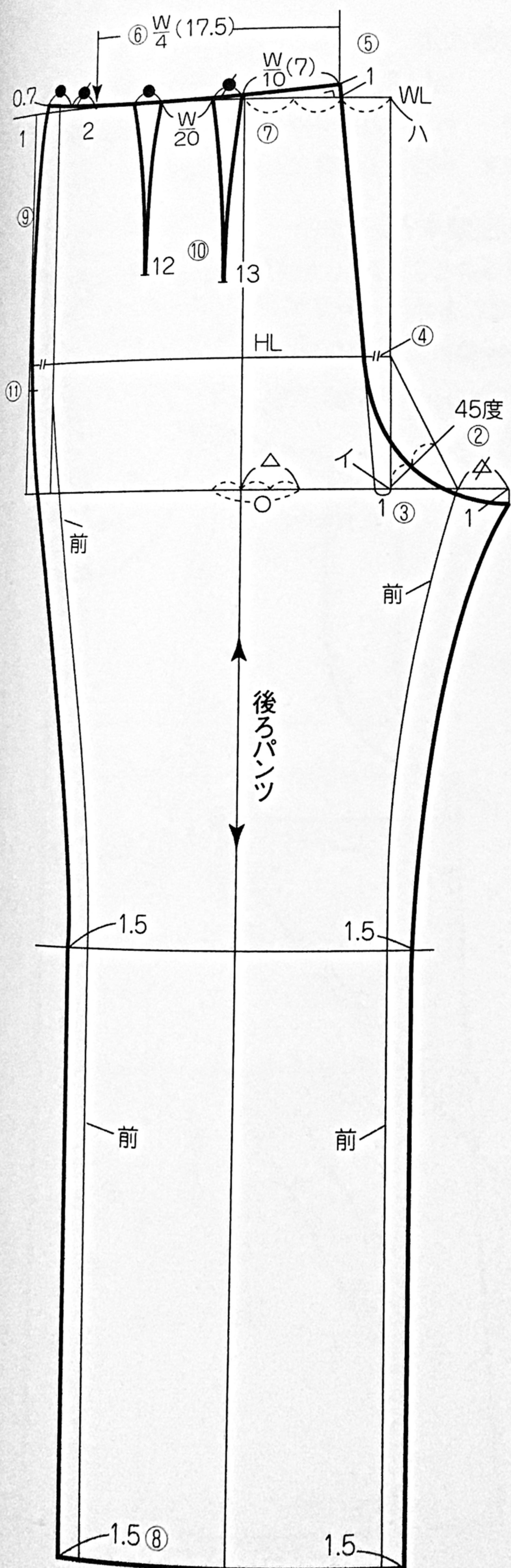
W出来上がり寸法　$68\frac{1}{4}=17$

◆作図寸法

W	68+2（いせ分）$=70\ \frac{1}{4}=$（17.5）
H	94+2（ゆとり分）$=96\ \frac{1}{4}=$（24）
股　上	26+1（ゆとり分）=27
パンツ丈	95
裾　幅	20.5

（注）スリムなパンツの股下寸法 $\frac{H}{4}=24$の$\frac{1}{2}$位がスリムです。

◆製図順序（前パンツから）

① パンツ丈（95）がWLになります。
② 股上寸法をWL下から引きます。
③ $\frac{H}{4}$（24）をイ～ロ、ハ～ニ、へとり結びます。
④ 股上寸法の$\frac{1}{3}$をHLとします。
⑤ 股下線$\frac{1}{4}$（○）－1.5を前端に出しHLと結び、45度の$\frac{1}{3}$に前股下線を引きます。
⑥ 股下線$\frac{2}{3}$を中心線としてWLから裾まで引きます（身体の中心からの2）。
⑦ WL、ハ、から1入り、$\frac{W}{4}$（17.5）を印し、脇から1入り印し、残りをダーツにします。
・ダーツ分3.5位までは1本にします。
⑧ 脇0.7上げ、きれいなWLを引きます。
⑨ 裾線を左右に印し、膝線と結び、案内線として長めに引きます。
⑩ 脇0.7上よりHLを通り、きれいな脇線を引きます（カーブ尺を上手に使って）。
⑪ ダーツ2本をきれいに引きます。
⑫ 脇WLから20.5下りファスナー付け止りの合印をします。

パンツを作図する場合大切なこと

・膝より10位上の寸法$\frac{1}{2}$が前膝線寸法(目安に)です。それ以上は(ゆとり)ある寸法に、それ以下は(タイト)になりますので、デニム、伸縮地を使用します。

・裾幅、膝線寸法(KL幅)、又パンツ丈も(七分丈、九分丈と)用途により自由に楽しんで下さい。

(注)P17のシック、靴ずれの作りかたを参考にして下さい。

・ベルト布と芯の印のしかたは、P23の少し伸びる布用(ウール、チリメンなど)、P32の伸びない布用(絹、綿など)を読んで参考にして下さい。

◆製図順序(後ろパンツ)

① 後ろパンツの製図は前型紙の上にします。前型紙の出来上がりは赤鉛筆にしておくと良いでしょう。

② 股下線△−0.5=⍉を出し、1下げて印します。

③ イから1入り、ハから$\frac{1}{3}$と結び、45度の$\frac{1}{2}$を通り後ろ股下線を引きます。

④ 後ろHLで入った分を脇線で出し、WLから股上線まで案内線として引きます。

⑤ 後ろ中心股上線1上げ、WLへ直角に引きます。

⑥ $\frac{W}{4}$(17.5)印し、脇端から1入り印し、ダーツ分を決めます。

⑦ 後ろ$\frac{W}{10}$(7)、ダーツを印します。

⑧ 裾幅、膝線、左右に1.5出し結びます。

⑨ 脇線0.7上よりHLを通りきれいな脇線を引きます。

⑩ ダーツをきれいに引きます。

⑪ ファスナーの付け止りの合印をします。

フードつきのベスト──スリーシーズン用に ロングのレースなどでも楽しんで下さい

◆用　尺　110幅170cm/150幅140cm

◆作図寸法

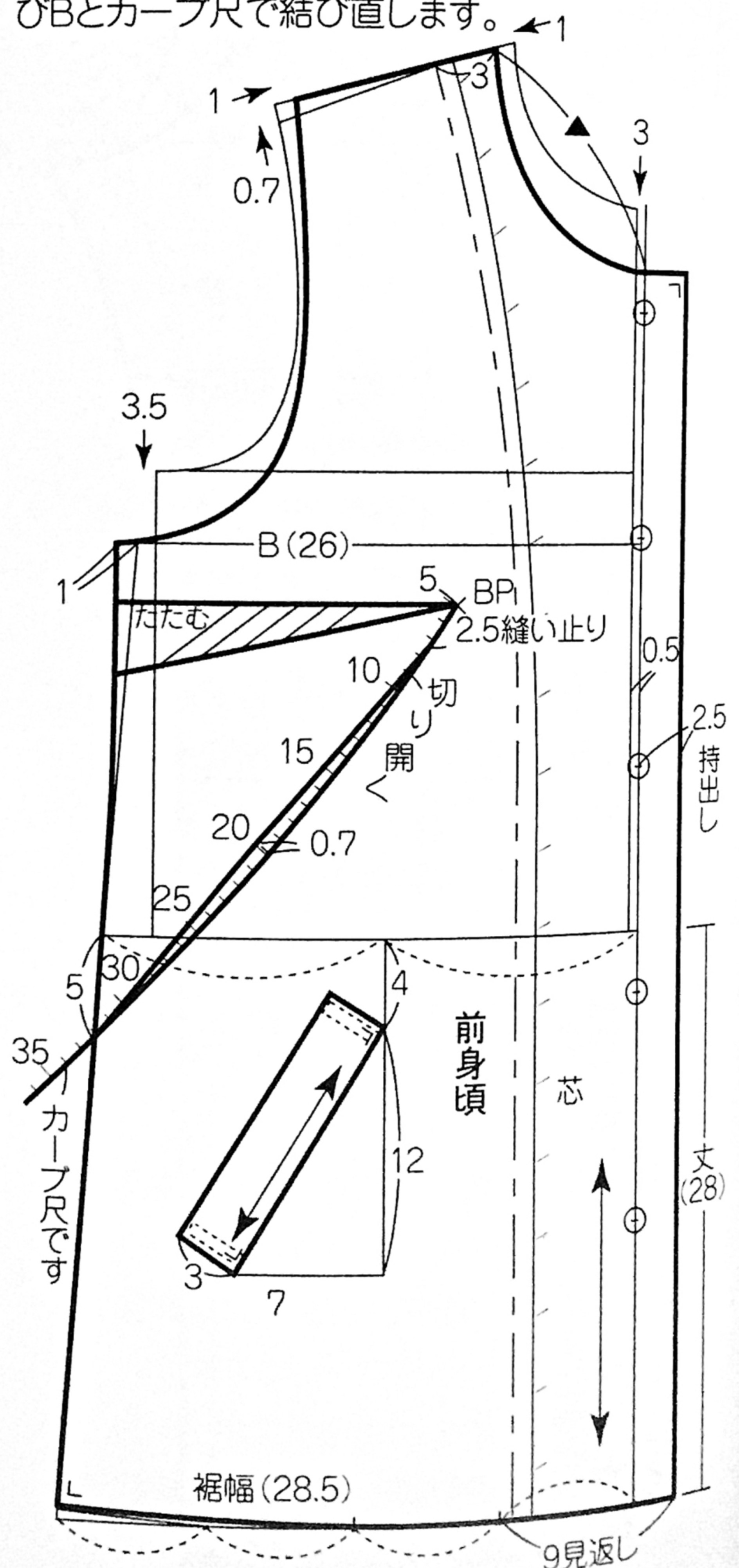
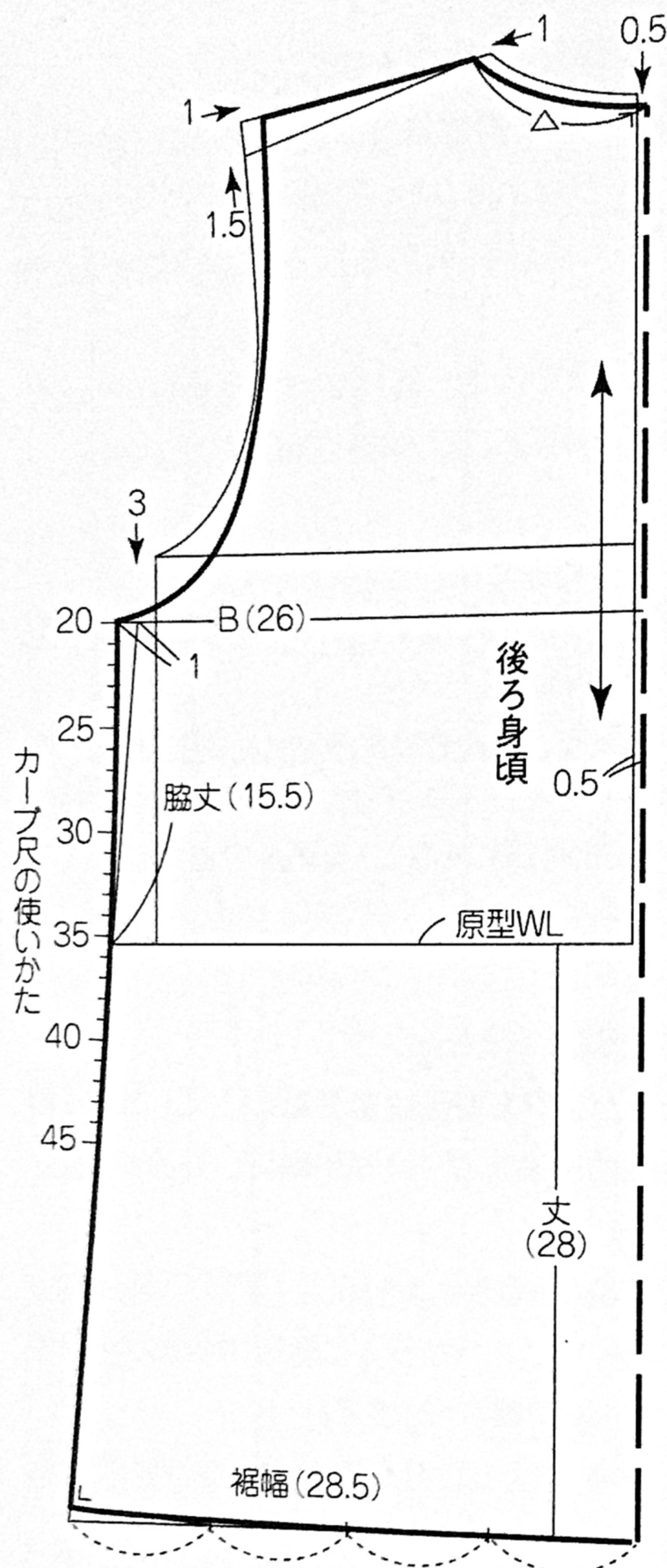
B　84+20(ゆとり分)=104 $\frac{1}{4}$=(26)

裾　H94+20(ゆとり分)=114 $\frac{1}{4}$=(28.5)

着丈　Wから28(背丈39+28)=67

◆製図順序(後ろから)

1 後ろ中心0.5ゆとりを持たせ、着丈(28)を引き原型を写します。

2 胸囲線3下げB(26)を印し、1内側を裾(28.5)と結びBとカーブ尺で結び直します。

◆製図順序(前身頃)

1 持出し2.5印し、ゆとり0.5を引き原型を写します。

2 胸囲線3.5下げ、B(26)を印し、1内側を裾(28.5)と結びBとカーブ尺で結び直します。

3 脇WLから5下げBPと結び、切り開き線をカーブ尺で引きます。

◆フード作図寸法

フード寸法　(74) $\frac{1}{2}$=37

頭回り寸法　(56) $\frac{1}{2}$=28

(顔幅分13前後のゆとりがあります)

頭回り寸法 $\frac{1}{2}$(28)

6

たっぷりしたフードの場合は、
頭回り寸法(28)+5位
身頃との衿付けにタックを
2〜3本位に

優雅なレース
透ける生地に
はタックに

フード寸法
(37)
+
5〜10 (多いほど肩に
パフル分にな
ります)
＝
47

0.5

11

0.5

0.7

◎この下り分は
1.5〜原型の
胸囲線位まで

コートにスーツに、
オーバーブラウス、
リゾートウェアなど
楽しんで下さい

頭回り寸法(28)−2=26

5

フード寸法
(37)
+
5
＝
42

0.5

0.5

1

0.5

0.7

1

3

2.5

0.5

持出し

3.5

たたんで

2.5

合印

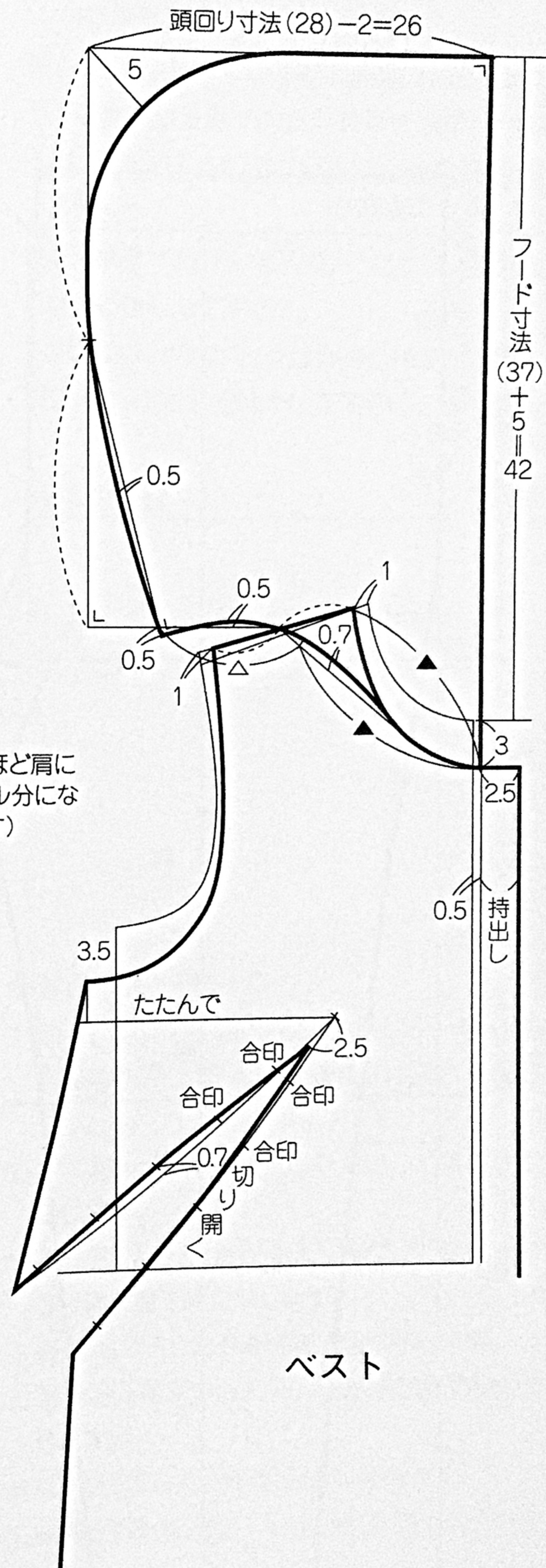
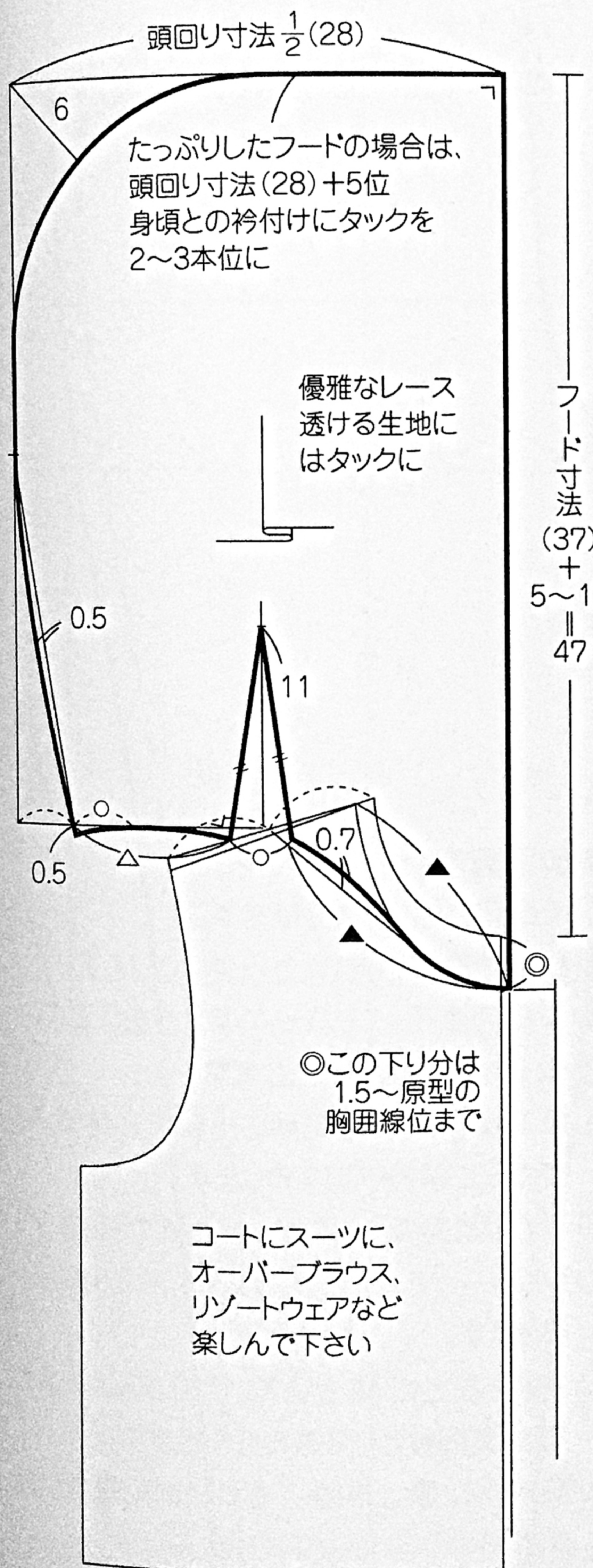
合印

合印

合印

0.7

切り開く

ベスト

ジョッパーズ —— Wにゴムの入ったくるぶし丈

◆用　　尺　110幅220cm/150幅190cm

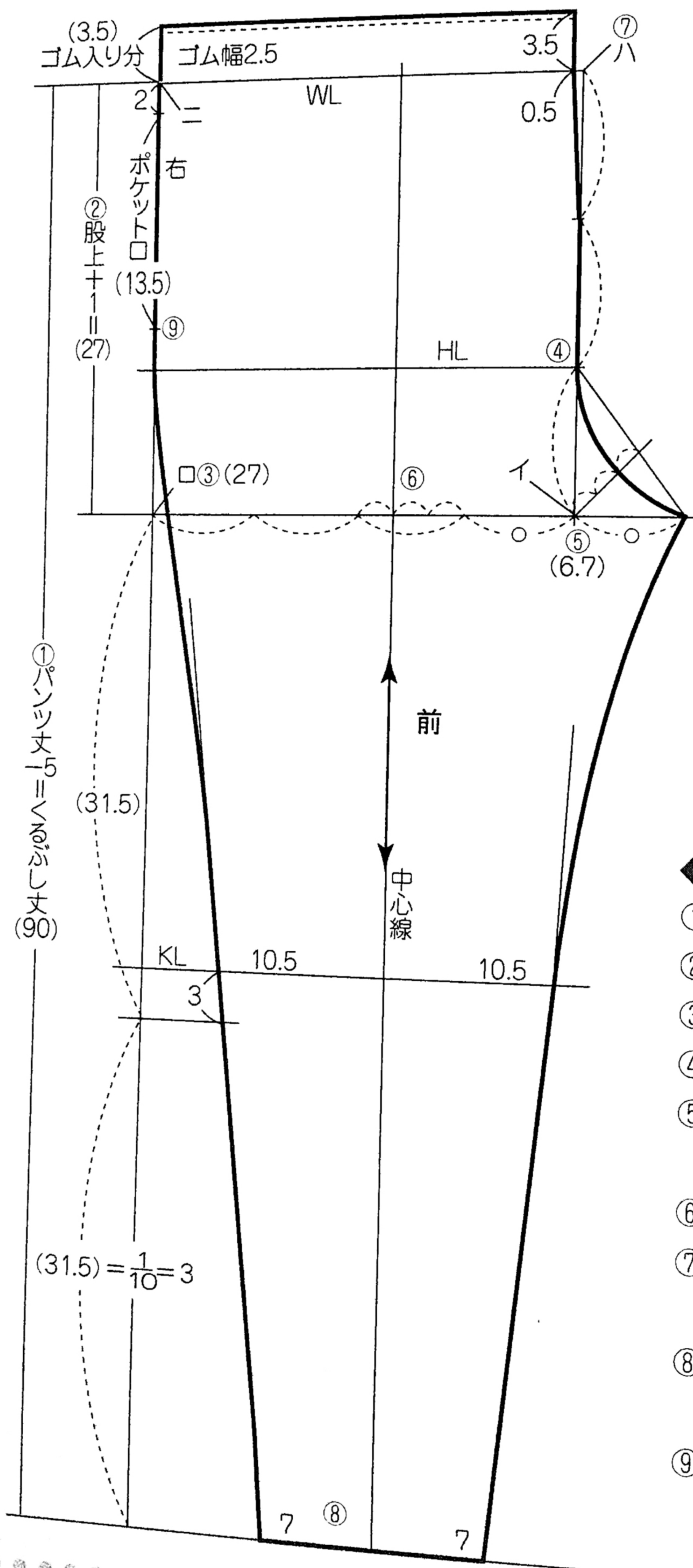
◆作図寸法

W　68

H　(94)＋14(ゆとり分)＝108 $\frac{1}{4}$＝27

股上　(26)＋1＝27

パンツ丈　−5＝90(くるぶし丈)

Wゴム寸法　68(重なり分を含む)

◆製図順序(前パンツから)

① くるぶし丈(90)を引きます。

② 股上寸法(27)をWLから下にとります。

③ $\frac{H}{4}$(27)をイ～ロ、ハ～ニ、にとり結びます。

④ 股上寸法の$\frac{1}{3}$をHLとします。

⑤ 股下線$\frac{1}{4}$(6.7)を前端に出しHLと結び、45度の$\frac{1}{3}$に前股下線を作ります。

⑥ 中心線は図のようにWLから裾まで引きます。

⑦ WL前ハから0.5入り、ゴム入り分3.5を出し引きます。

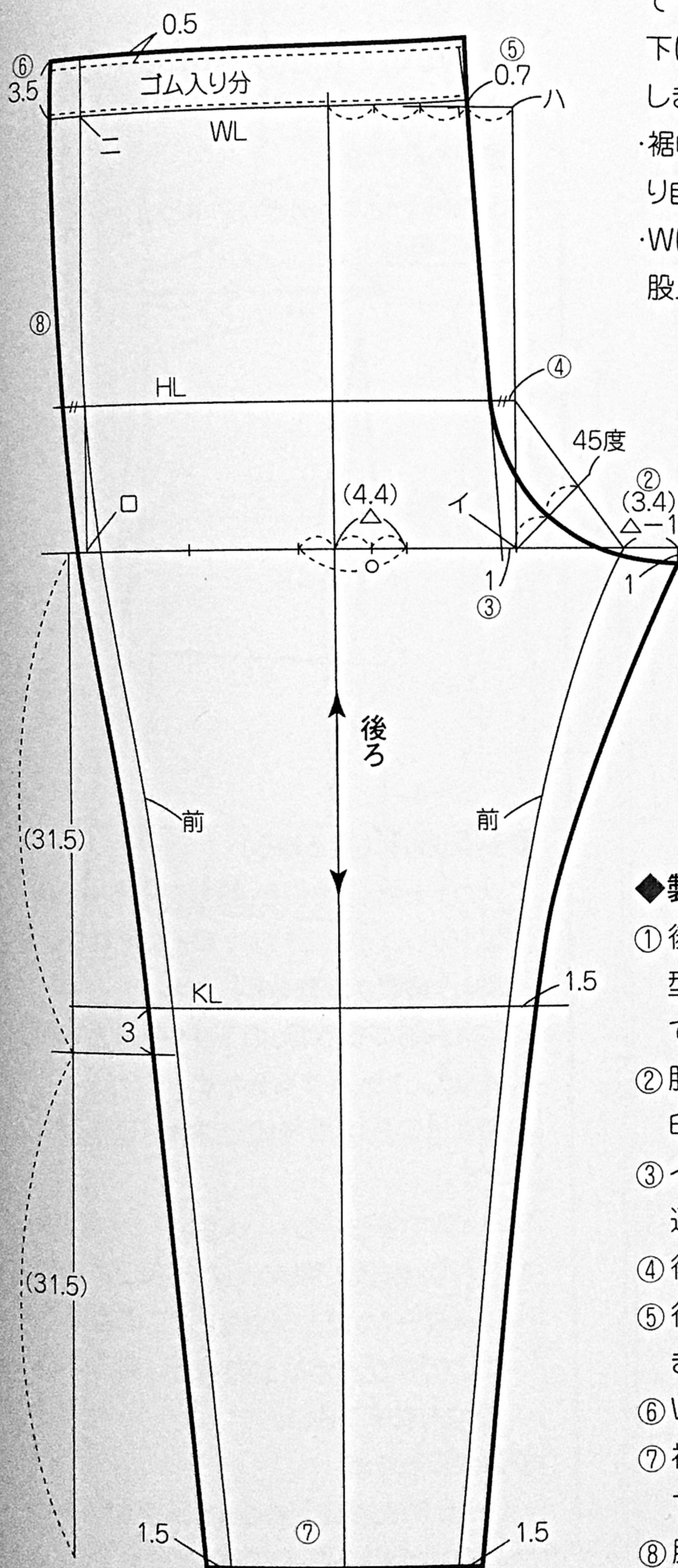
⑧ 裾線を左右に7をとり、KLで10.5にして裾と結び、案内線として長めに引きます。

⑨ 脇線、HL、股上を通り、きれいな脇線を引きます。

パンツの作図をする場合に大切なこと

・膝より10位上の寸法$\frac{1}{2}$が前膝線寸法（目安に）です。それ以上は（ゆとり）ある寸法に、それ以下は（タイト）になります（デニム、伸縮地を使用します）。

・裾幅、膝線寸法（KL幅）、又パンツ丈も用途により自由に楽しんで下さい。

・Wはゴム入りなので、少し深めにはきたい方は、股上＋2〜3位に加減をして下さい。

◆製図順序（後ろパンツ）

① 後ろパンツの製図は前型紙の上にします。前型紙の出来上がりは赤鉛筆にしておくと良いでしょう。

② 股下線 ○$\frac{2}{3}$=△−1=（3.4）を出して、1下げて印します。

③ イから1入り、ハから$\frac{1}{4}$入り結び、45度の$\frac{1}{2}$を通り後ろ股下線になります。

④ 後ろHLで入った分を脇線で出し印します。

⑤ 後ろ股上線0.7上げ、WLへ直角にし、WLを引きます。

⑥ WLからゴム入り分（3.5）出し引きます。

⑦ 裾幅、膝線、左右に1.5出し結び、長めに引きます。

⑧ 脇線、HL、股上線を通り、脇線を引きます。

ジャンパースカート ── 衿あきをつめてロングベストなど生地により楽しんで下さい

◆用　　尺　110幅230cm/150幅150cm

◆作図寸法

B　84＋12（ゆとり分）＝96 $\frac{1}{4}$＝（24）

W　68＋12（ゆとり分）＝80 $\frac{1}{4}$＝（20）

スカート丈　62

確かめる寸法

H　94＋12（ゆとり分）＝106 $\frac{1}{4}$＝（26.5）

◆製図順序（後ろから）

1 スカート丈62を引き、原型の後ろ中心WLに1印し、（イ）（ロ）（ハ）がそれぞれ線に合うように置き原型を写します。

・スカートの後ろWLの下りを製図上で原型を倒し、1カットする分です。

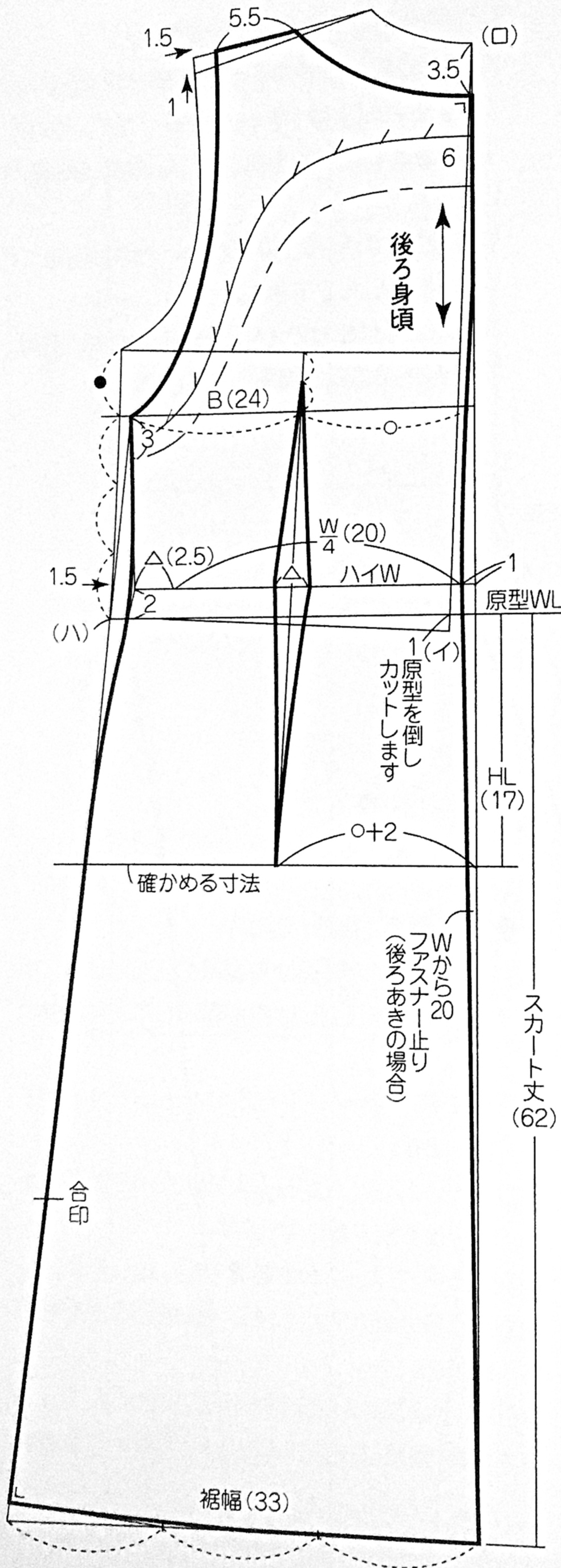
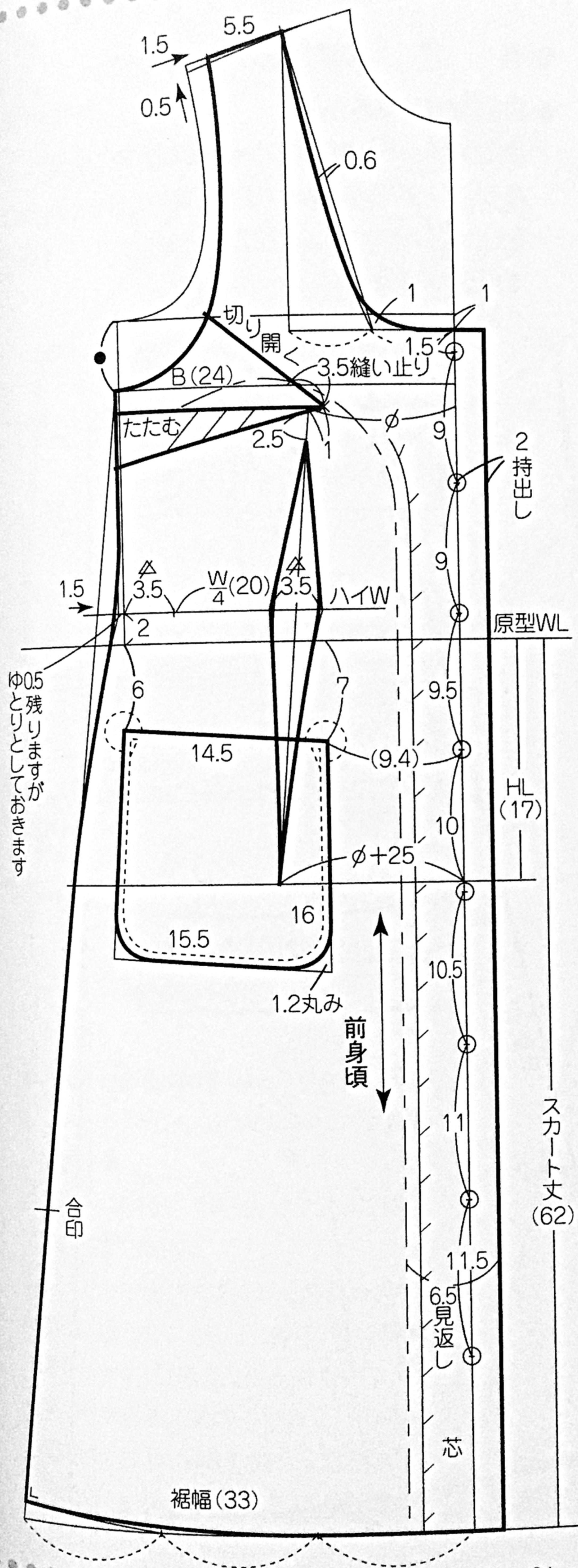
2 脇丈 $\frac{1}{4}$ にB（24）を印し、裾幅（33）と結びます。

3 ハイWで後ろ中心1入り、脇で1.5入れます。

4 $\frac{W}{4}$（20）を印し、残り△（ダーツ）になります。

・△（ダーツ）が3.5以内ではこの製図でよいのですが、3.5以上の場合は後ろ中心と脇で入れて下さい。

5 確かめる寸法

H（26.5）位を確かめる。多少ゆるめはよいのですが、最小限H＋10位は必要です。

生地により楽しんで下さい。

・コーデュロイなど地厚な布の場合B、W、H裾線ともに＋2位ゆとりを多く加えて下さい。

・衿あきをつめてロングベストにして。

・衿あきをVにしても。

・前後のダーツは生地によりとらなくても良いですね。

・ロング丈はこのまま伸ばします。

・後ろファスナーにして。

・前中心ファスナーにして。

・肩をあけてボタンをつけ（前後中心をわに裁つ）。

○ポケットの位置（位にして下さい）

・前あきの場合（H94）

前中心線から$\frac{H}{10}$＝9.4

・前中心わの場合

前中心線から$\frac{H}{10}$－1＝8.4

◆製図順序（前身頃）

1 スカート丈62を引き、持出し2をとり原型を写します。

2 後ろ脇丈（●）にB（24）を印し、裾幅（33）と結びます。

3 ハイWで脇1.5入れます。

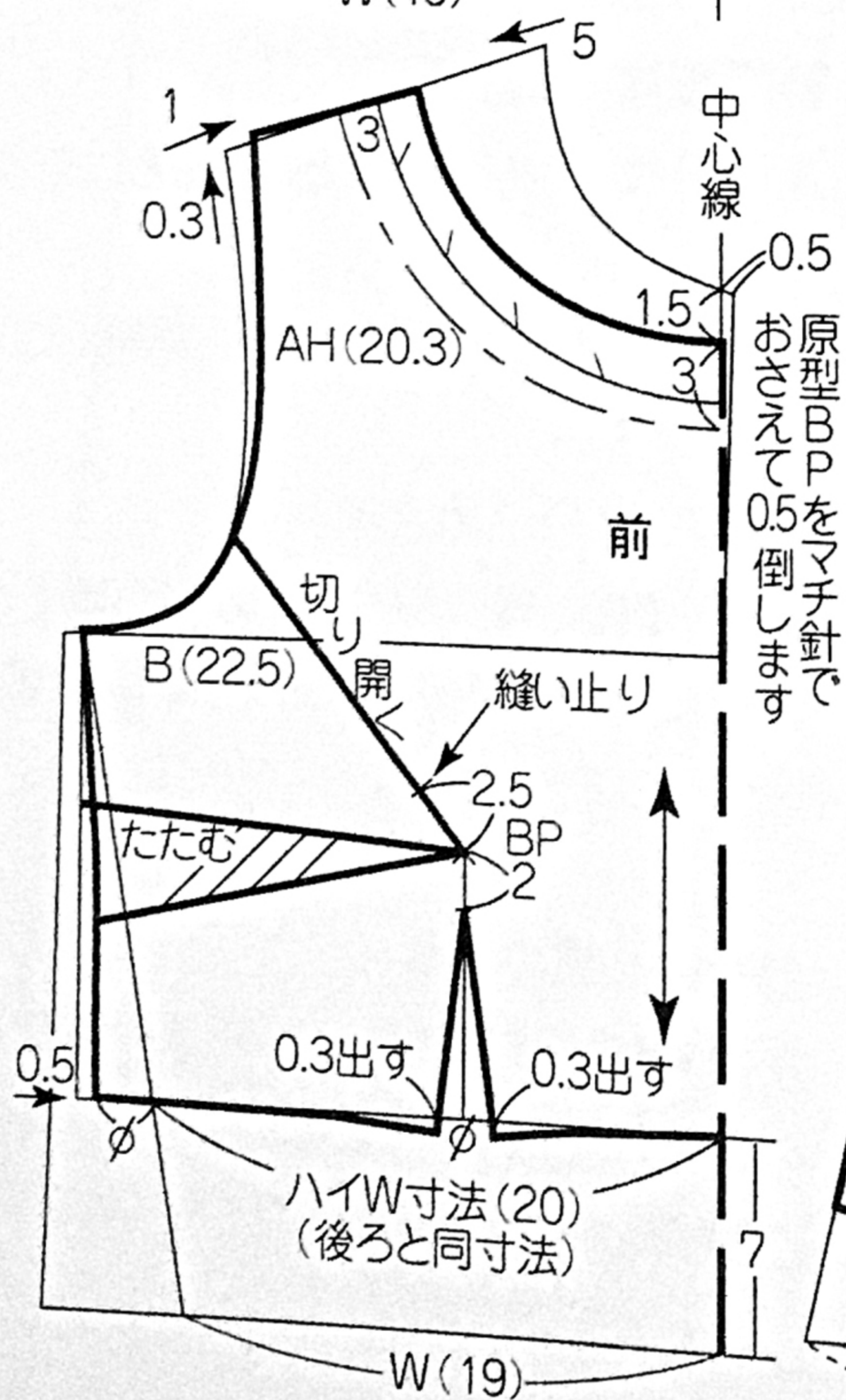
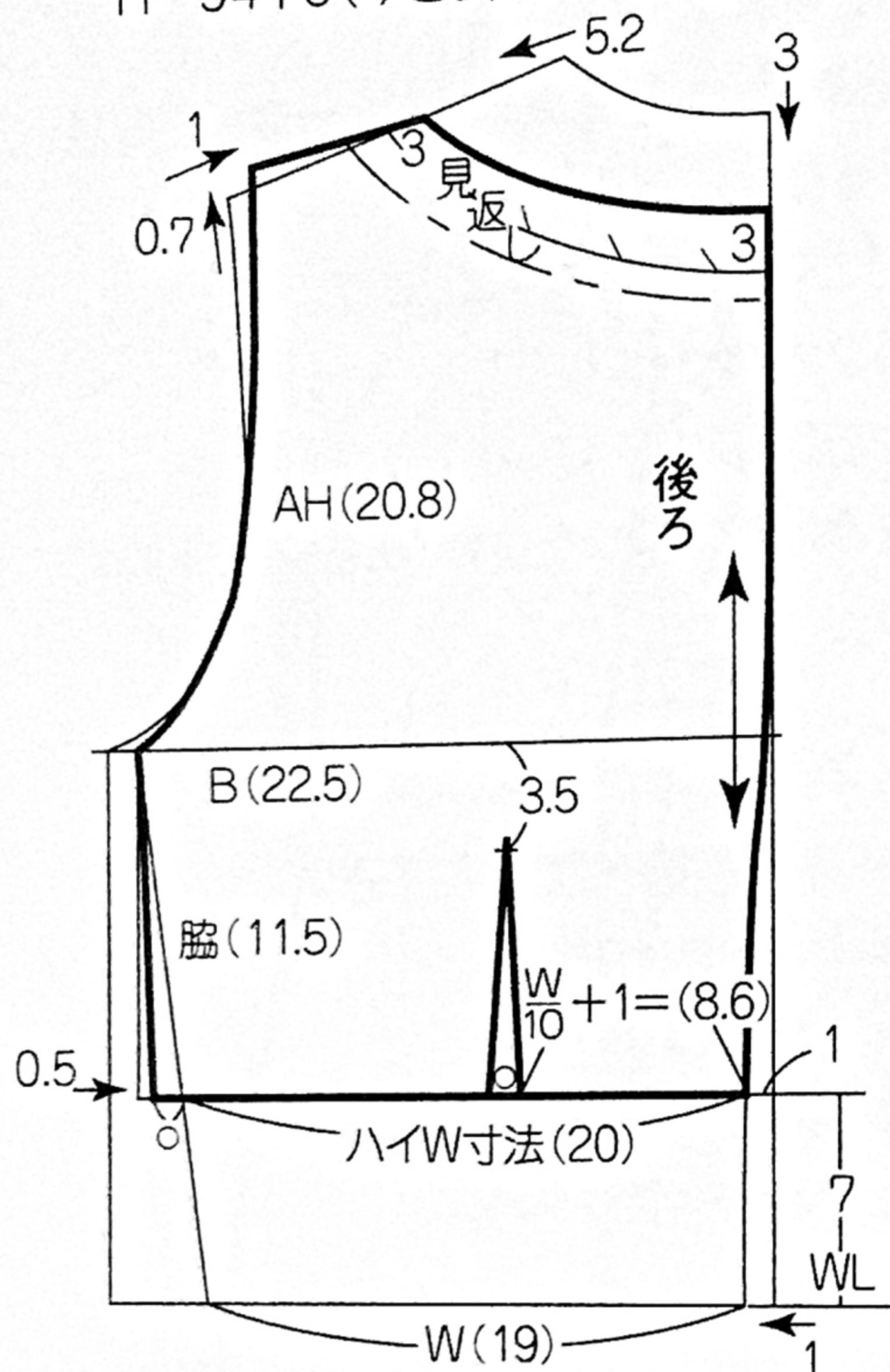
4 $\frac{W}{4}$(20)を印し残り⦰（ダーツ）になります。ダーツ3.5とりました。0.5残りましたが、ゆとりとしておきます。

○ポケット口裏の力布

表布3.5を円形に切り、10円玉の大きさの接着芯をはります。まわりをぐし縫いにちぢめ、ポケットの裏角にまつりつけます。

ワンピースドレス —— ハイWで切り替えた優雅な装いです

◆作図寸法

B　84+6（ゆとり分）=90 $\frac{1}{4}$=（22.5）
W　68+8（ゆとり分）=76 $\frac{1}{4}$=（19）
ミドルH　90+4（ゆとり分）=94 $\frac{1}{4}$=（23.5）
H　94+6（ゆとり分）=100 $\frac{1}{4}$=（25）

◆用　尺　110幅280cm/150幅240cm

◆製図順序（後ろから）

1 原型を写し、B（22.5）をハイWまで直下します。
2 後ろ中心WからハイWまで1入り、背中心線を引きます。
3 WLに $\frac{W}{4}$（19）を印し、B（22.5）と結びます（ハイW寸法が決まります）。

ギャザードスリーブ

後ろAH20.8
＋　1(ゆとり分)
＋　2(ギャザー分)
23.8

前AH20.3
＋　2(ギャザー分)
22.3

●〜●迄
ギャザーを
寄せる

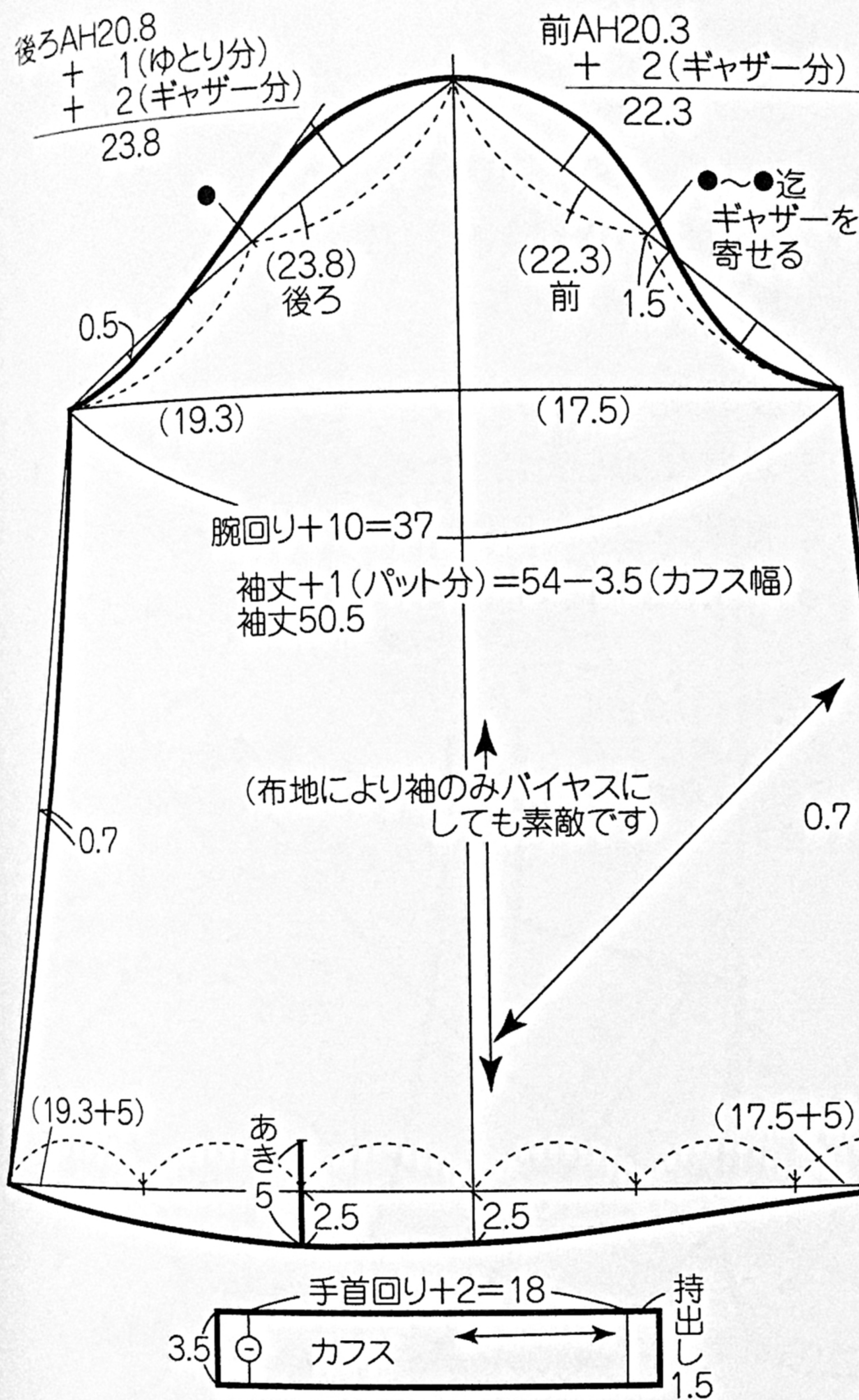
(23.8)
後ろ

(22.3)
前

0.5
1.5
(19.3)
(17.5)
腕回り＋10＝37
袖丈＋1(パット分)＝54−3.5(カフス幅)
袖丈50.5

(布地により袖のみバイヤスにしても素敵です)

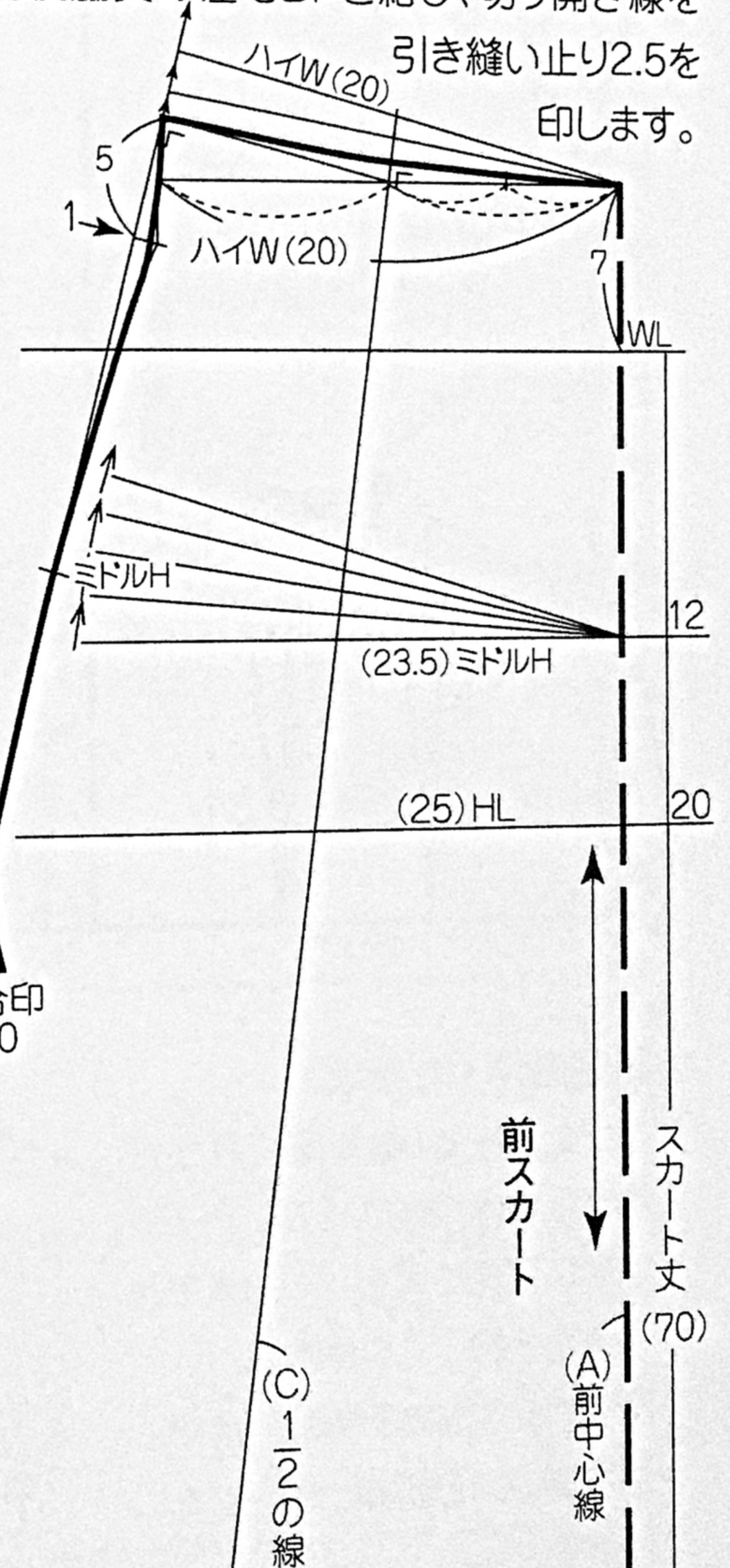
0.7
0.7
(19.3＋5)
(17.5＋5)
あき5
2.5
2.5

手首回り＋2＝18
3.5
カフス
持出し1.5

◆製図順序(前身頃)

1 原型BPをマチ針でおさえて0.5前に倒し、原型を写しB(22.5)をハイWまで直下します。

2 ハイWで後ろと同寸法を印し脇0.5入り、残り(ϕ)はダーツになります。

3 前後脇丈の差をBPと結び、切り開き線を引き縫い止り2.5を印します。

ハイW(20)
5
1
ハイW(20)
7
WL
ミドルH
12
(23.5)ミドルH
(25)HL
20
合印
20
前スカート
スカート丈(70)
(A)前中心線
(B)脇線
(C)$\frac{1}{2}$の線
合印
20
裾幅40

◆スカート製図順序(前から引きます。前後とも)

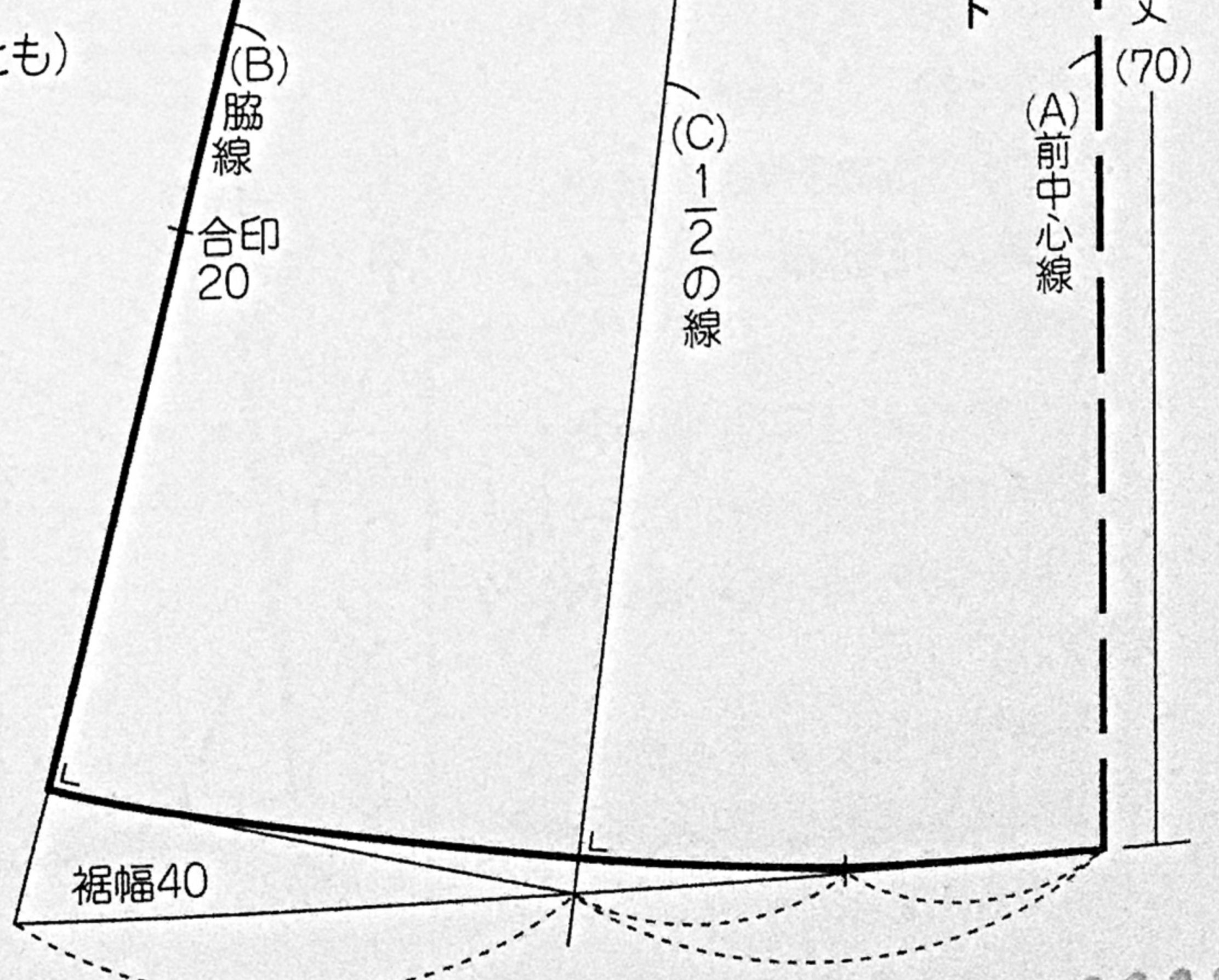
1 スカート丈70＋ハイW丈7＝(77)を引きます。

2 裾幅40を印し、ハイW寸法20の交わる点を結びます。

3 H、ミドル寸法が大丈夫かを確かめます。

4 W、裾線ともに(A)と(B)の$\frac{1}{2}$に直角をとります(型紙をたたんで引く)。

5 W、裾線の案内線を(A)と(C)の$\frac{1}{2}$に直角をとり、W、裾線をきれいに引きます。

6 後ろのみハイW、Wで1入り裾2出し、結びます。

長袖のソフトスーツ——カシュクールのドレープが魅力の装いです

◆用　　尺　110幅210cm/150幅180cm

◆作図寸法

B	84＋10（ゆとり分）＝94 $\frac{1}{4}$＝（23.5）
W	68＋10（ゆとり分）＝78 $\frac{1}{4}$＝（19.5）
ミドルH	90＋12（ゆとり分）＝102 $\frac{1}{4}$＝（25.5）
着丈	Wから12

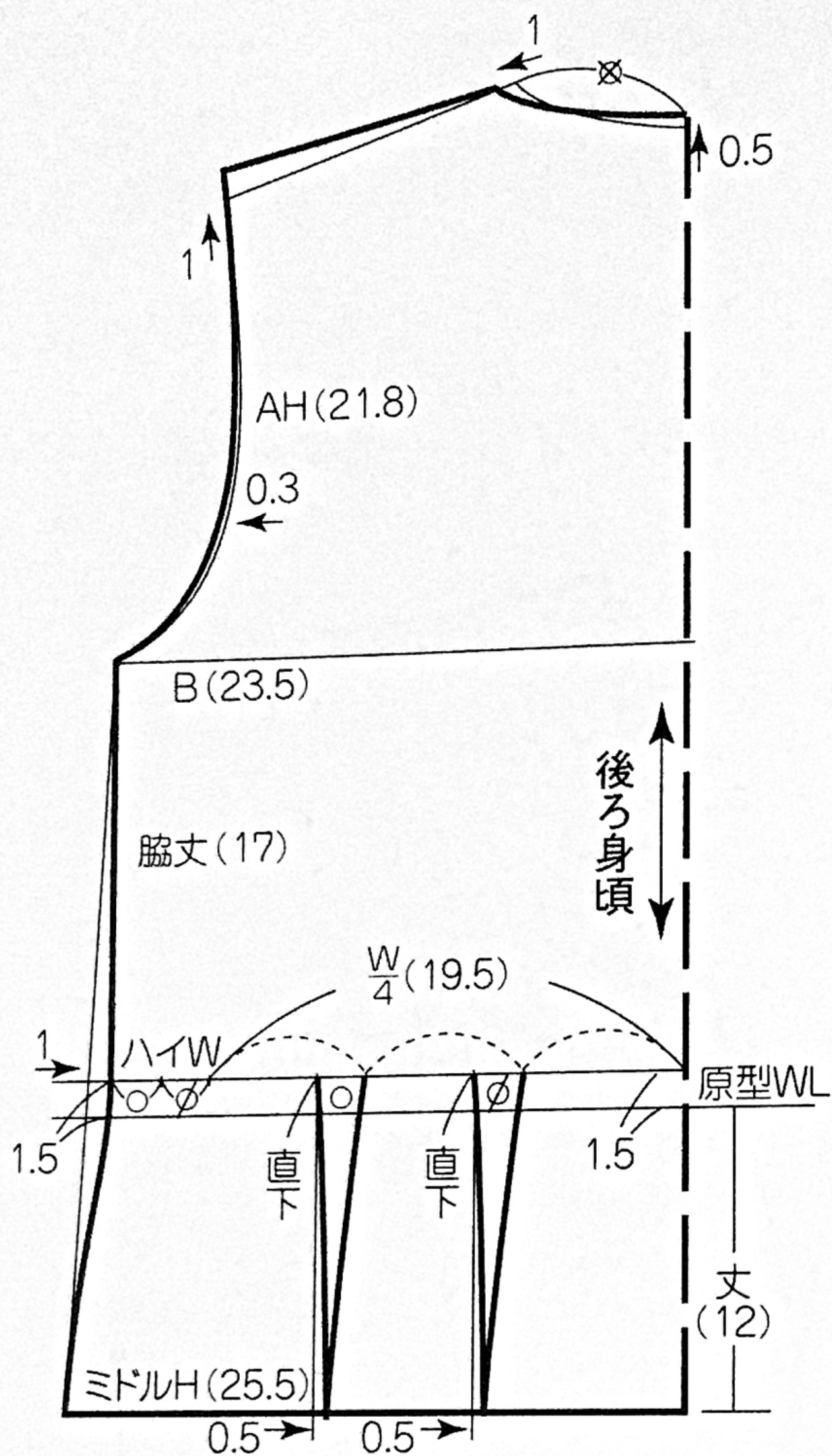
◆製図順序（後ろから）

1 原型WLから丈12引き裾線とします。

2 裾線25.5印し、胸囲線23.5と結びます。

3 $\frac{W}{4}$（19.5）を印し脇1入り残りをダーツ2本とります。

後ろ衿ぐり寸法を前中心線に平行に引き0.5後ろにします

△前後脇丈の差が少ない場合はAHのたたみ寸法はなくてもよいです
肩の切り開き線と同じように0.3手前まで切り開き6位のドレープ線を引きます

◆製図順序（前身頃）

1 カシュクール（着物風に打ち合わせた）W寸法（19.5）の $\frac{3}{4}$（15）を出し原型を写し、1～3まで後ろ身頃と同じに引きます。

4 バックル寸法幅3.5印し、前中心胸囲線上4と結び、カーブをつけます。

5 ネックポイント1印し、後ろ衿ぐり寸法（⊗）引き、カシュクールラインを引き、切り開き線を引きます。

6 打ち合わせ（15）の $\frac{1}{2}$ を直下し、5出しHL $\frac{1}{2}$ と結び、カーブ尺で引き直します。

後ろAH+3=24.8
+3=タック分

前AH+2=23.3
+2=タック分

2.5 1.5 2.5 2.5 1.5 2.5
1.5 1.5

△−2
(24.8)
23.3
1.5 $\frac{AH}{10}$△
△$\frac{2}{3}$(1.5)

0.5 後ろ
前

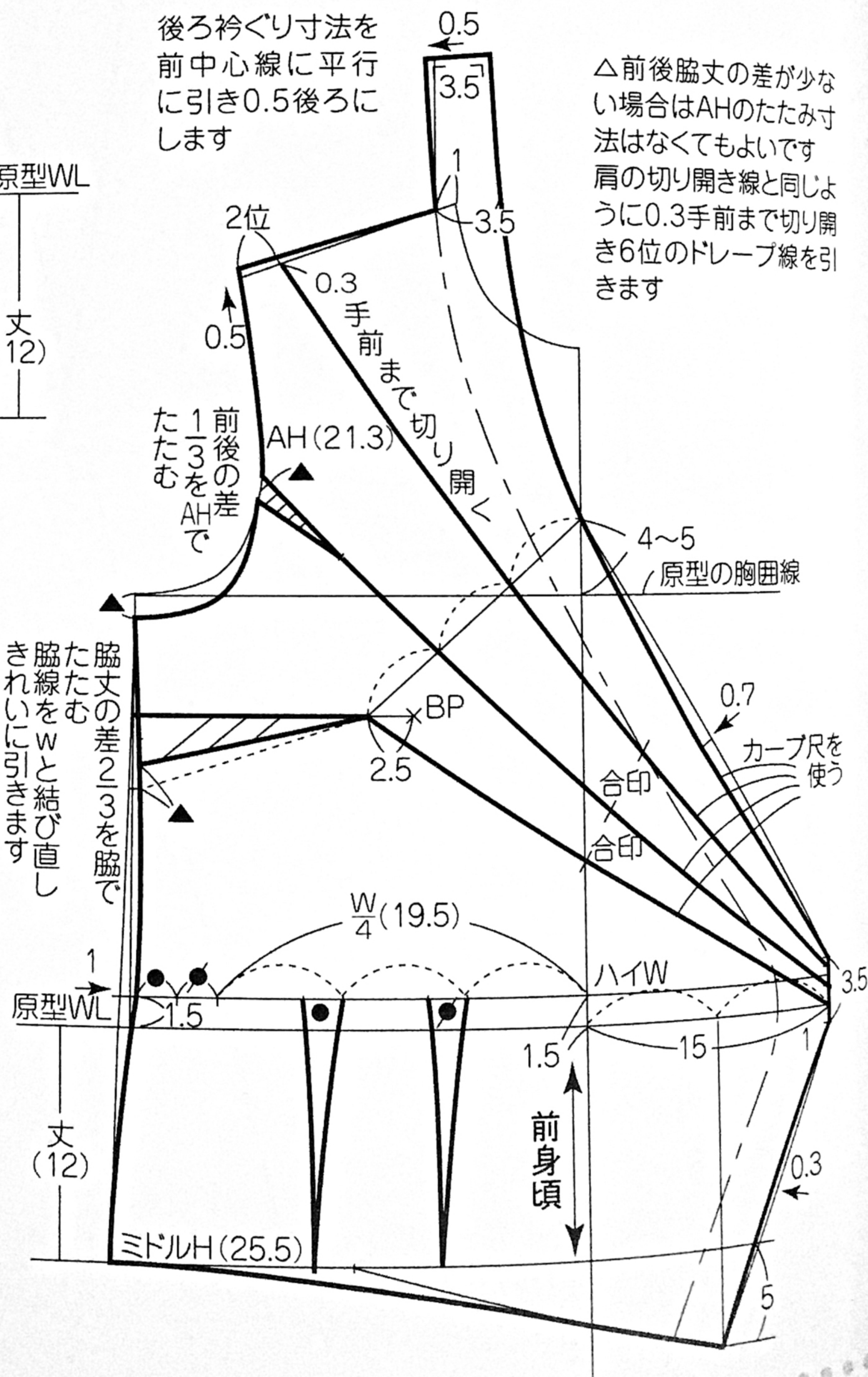
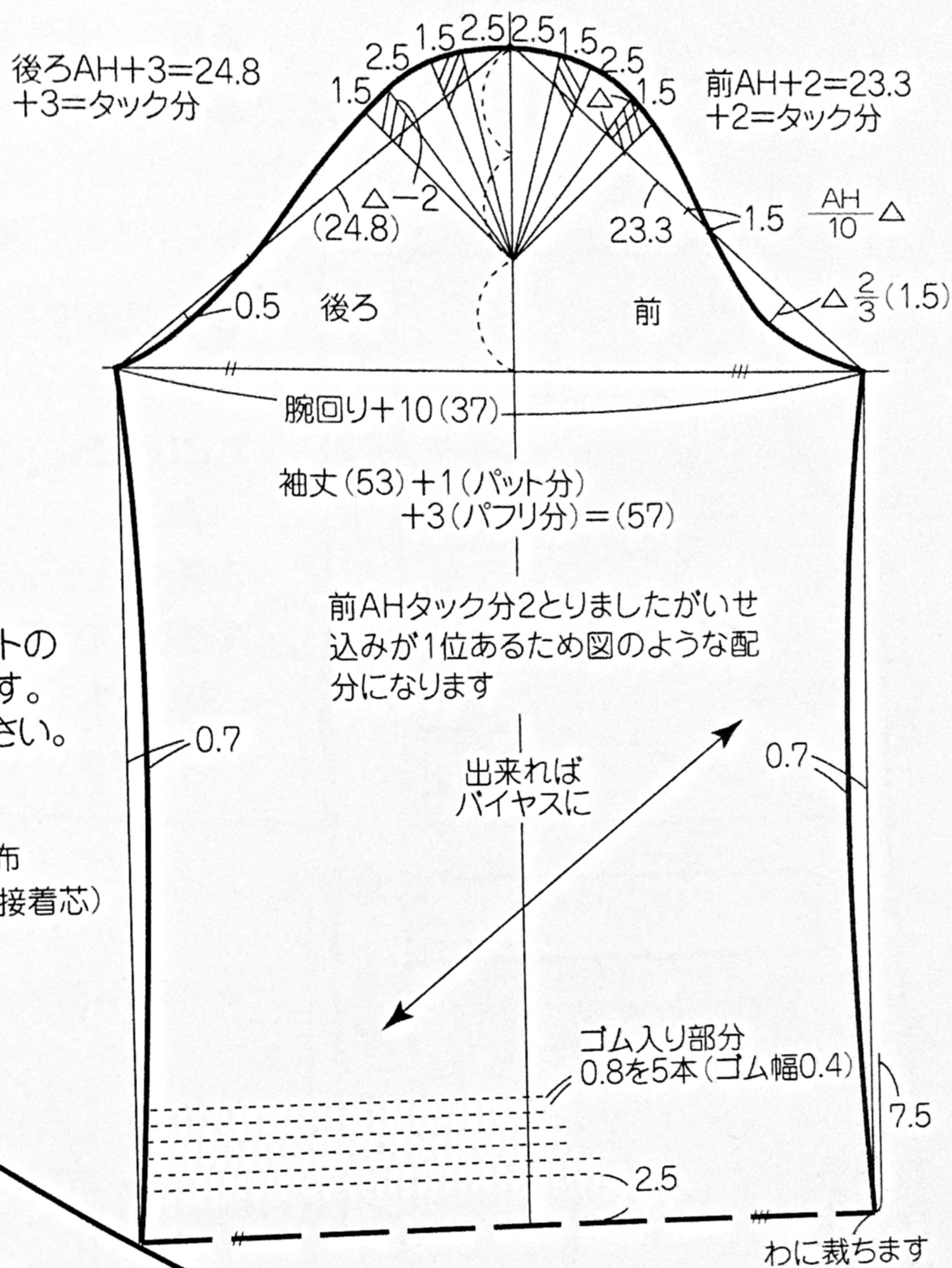
腕回り+10(37)

袖丈(53)+1(パット分)
+3(パフリ分)=(57)

前AHタック分2とりましたがいせ
込みが1位あるため図のような配
分になります

0.7
0.7

出来れば
バイヤスに

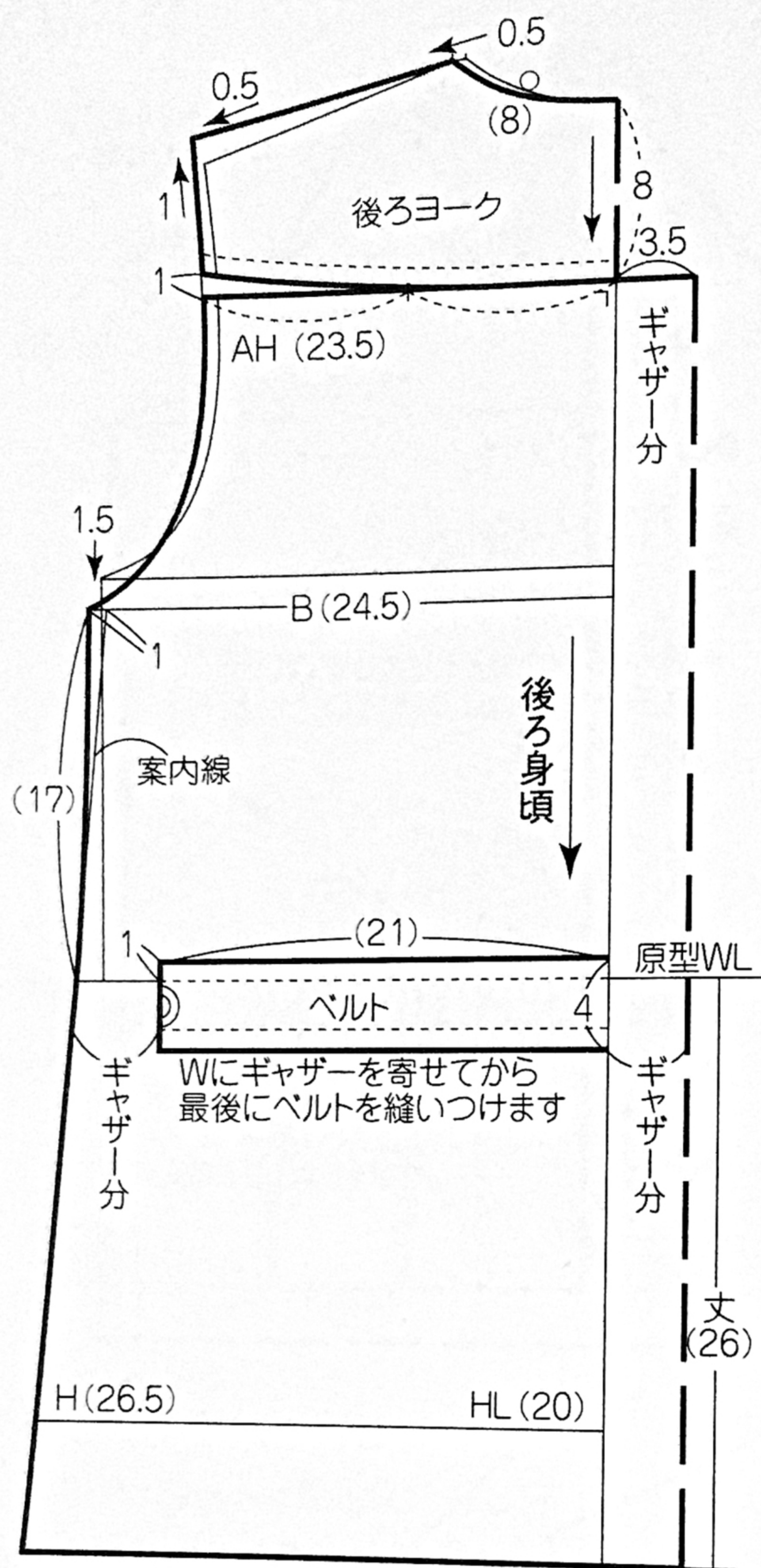
ゴム入り部分
0.8を5本(ゴム幅0.4)
7.5
2.5
わに裁ちます

(注)P36にスカートの
製図があります。
参考にして下さい。

○角の始末バイヤス布
(裏生地又は薄手の接着芯)

合印
合印
合印
0.5
6位
1
6位
1
6位
1

前後脇丈の差は胸
の高さにより違って
きますからドレープ
の深さは6位にする
ようにたたみ寸法
を加減して下さい
短くたたむと広くあ
きます

くるみバックル幅4
サッシュ布
わに裁ちます
25
バイヤス裁ち
出来上り
19
3.5にたたむ
(バックルの幅)
サッシュ布
19出来上り寸法
縫目

長袖のスーツ—— 洗練されたシルエットが魅力的なスーツです

◆用　尺　110幅200cm/150幅150cm

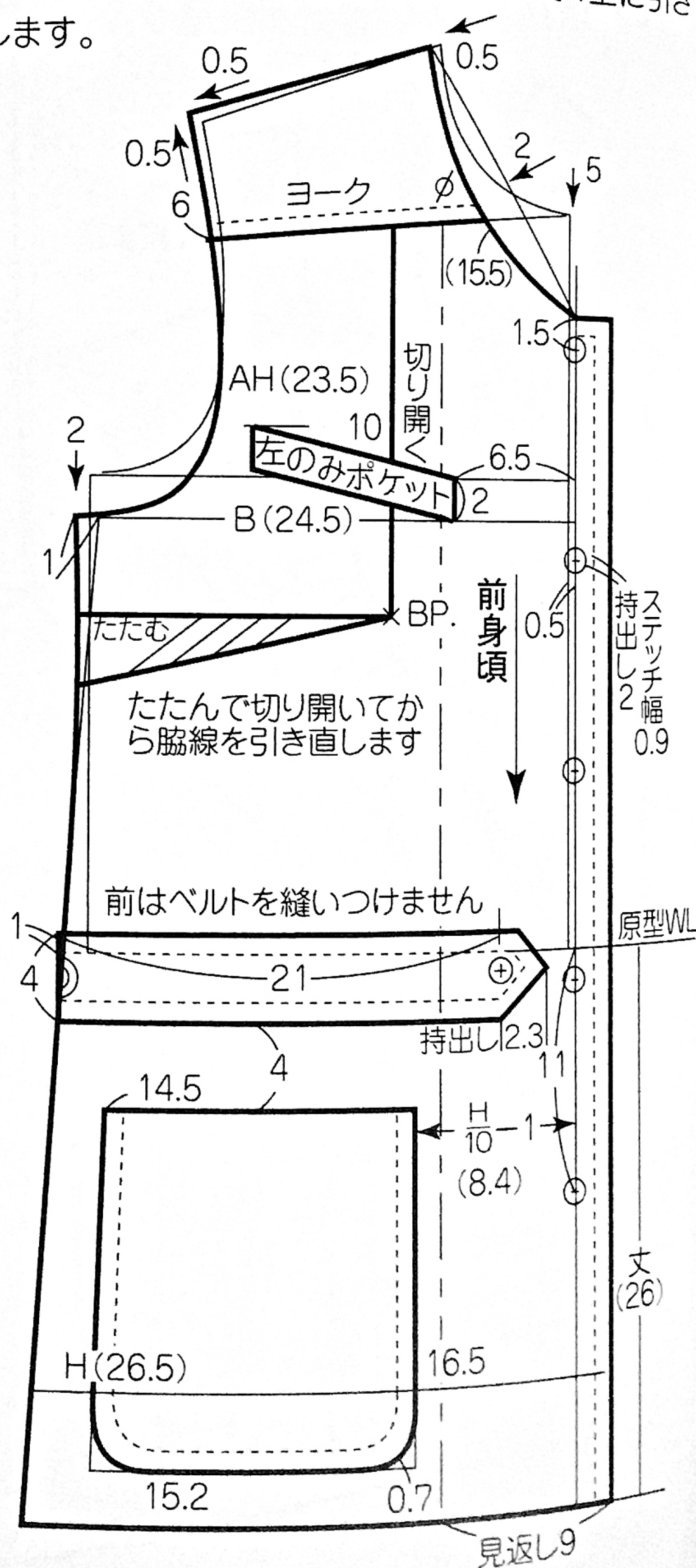
◆作図寸法　B　84+14(ゆとり分)=$98\frac{1}{4}$=(24.5)
W　68+16(ゆとり分)=$84\frac{1}{4}$=(21)
H　94+12(ゆとり分)=$106\frac{1}{4}$=(26.5)

◆製図順序(後ろから)

1 後ろ中心ギャザー寸法3.5とり、原型を写します。

2 B(24.5)の内側1とH(26.5)で案内線を引きます。次にカーブ尺で案内線にそうよう引き直します。

3 肩先1上げ0.5出し、ネックポイント0.5印し結びます。

4 後ろ中心8下げAHまで直角を引き、AHで1上に引き直します。

◆製図順序(前身頃)

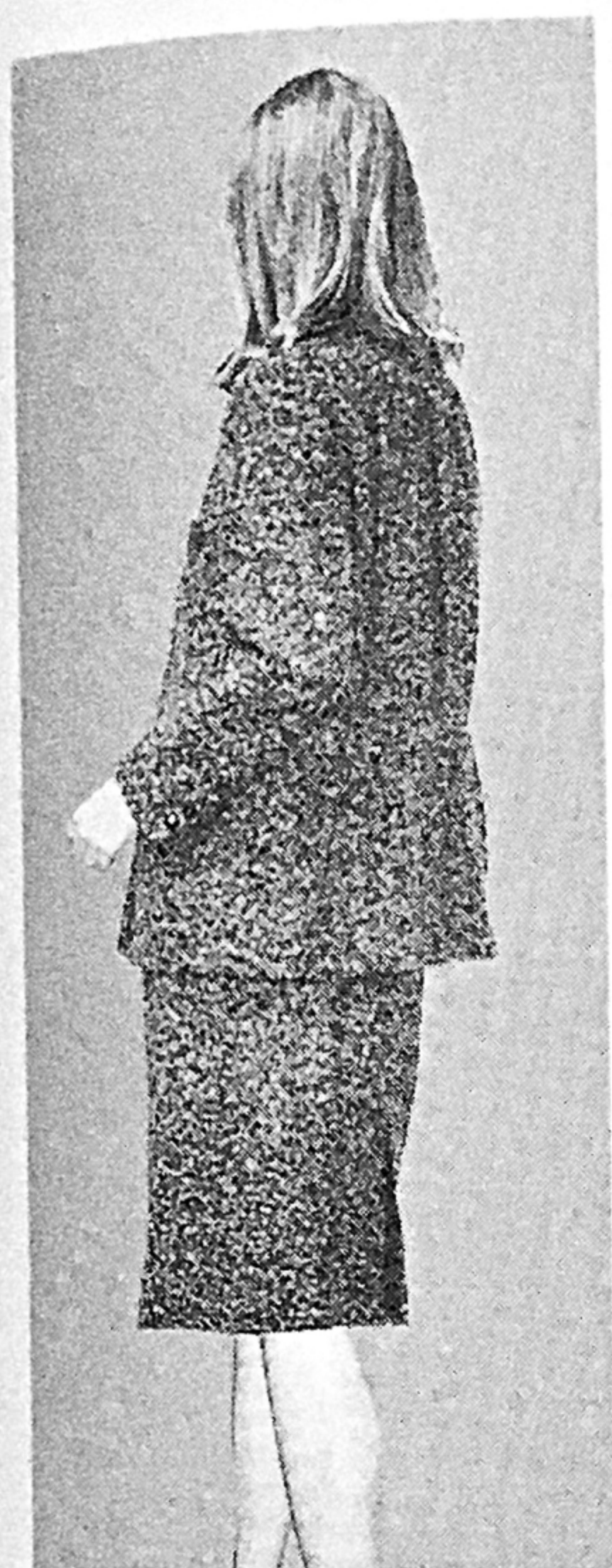
1 持出し2引き前中心ゆとり分0.5印し、原型を写します。

2 丈(26)出し、B(24.5)の1内側とH(26.5)を結びB(24.5)とカーブ尺で結び直します。

3 肩先0.5上げ0.5出し、ネックポイント0.5印し結びます。

4 肩先6下げ前衿ぐり線と結び、BPを直上し切り開き線を引きます。

5 ポケット前中心線から$\frac{H}{10}$−1=(8.4)を印し、ベルト下4印し引きます。

6 ベルト寸法長さ84+4(持出し)=88　幅4×2=8

◆袖作図寸法

前 A H　(23.5)+0.5=24

後ろAH　(23.5)+1=24.5

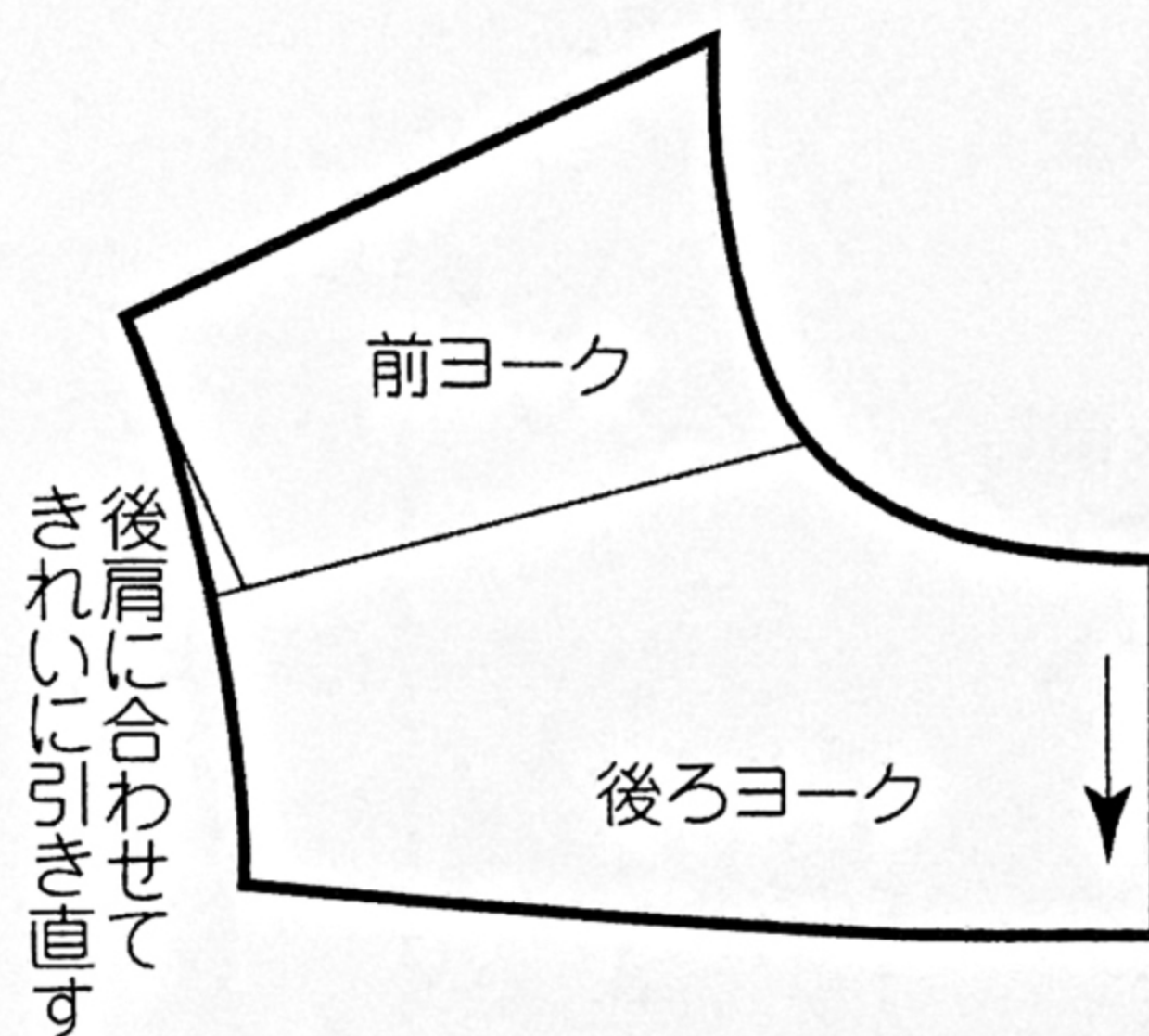
袖　丈　(53)+1(パット分)+1(上着)=55

腕回り　(27)+7=34

袖　口　26

前ヨーク

後ろヨーク

後肩に合わせてきれいに引き直す

(注)P67にスーツなど袖山の丸みを補う布がありますので参考にして下さい。

4　3　4.6　3　8　0.7　1

$○+\phi=23.5\frac{2}{10}=4.6$(衿こし寸法)

$\frac{前AH}{10}$(2.4)=△

△−0.2

1

後ろAH(24.5)

前AH(24)

0.5

△$\frac{2}{3}$(1.6)

腕回り+7=34

肘丈31.5+1(パット)+1(上着)=(33.5)

(33.5)EL

0.7

あきみせ止り

8

2.5

2

袖丈(55)

13

13

0.7

1.5　1.5

0.5

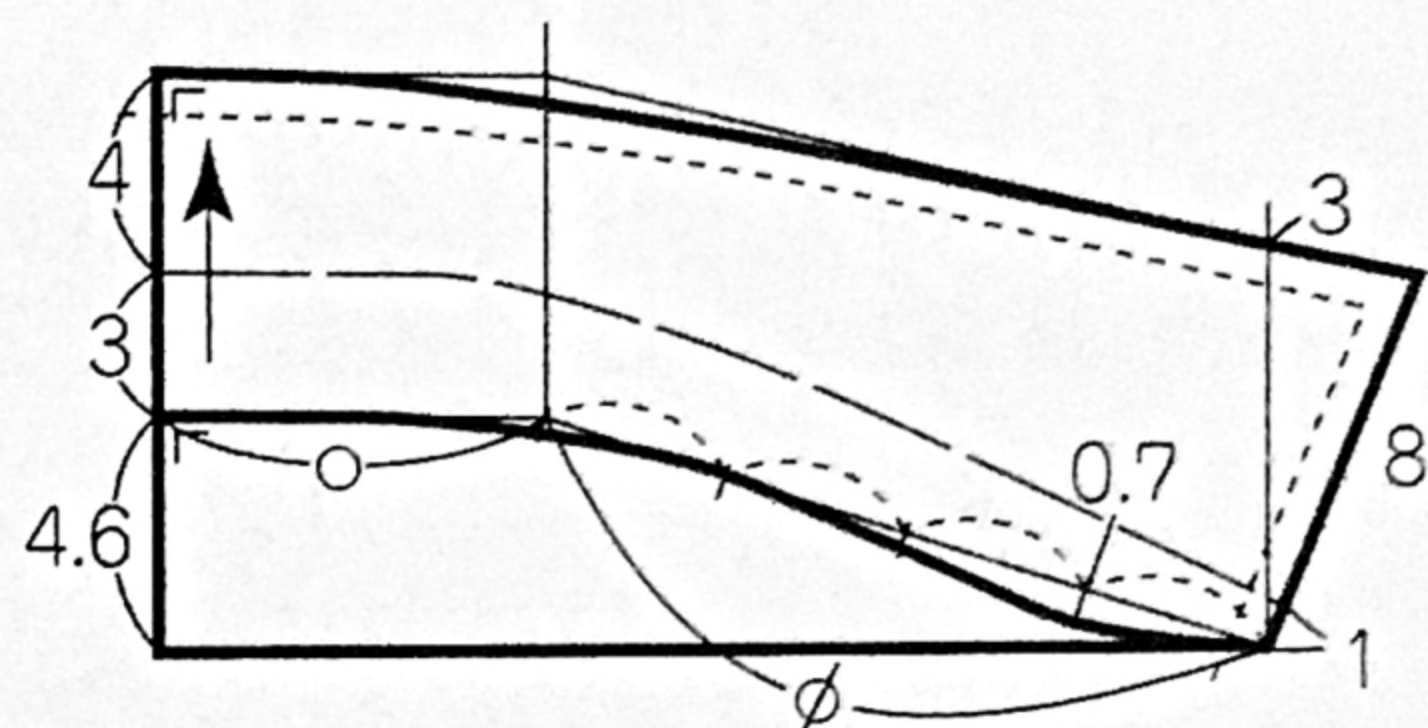
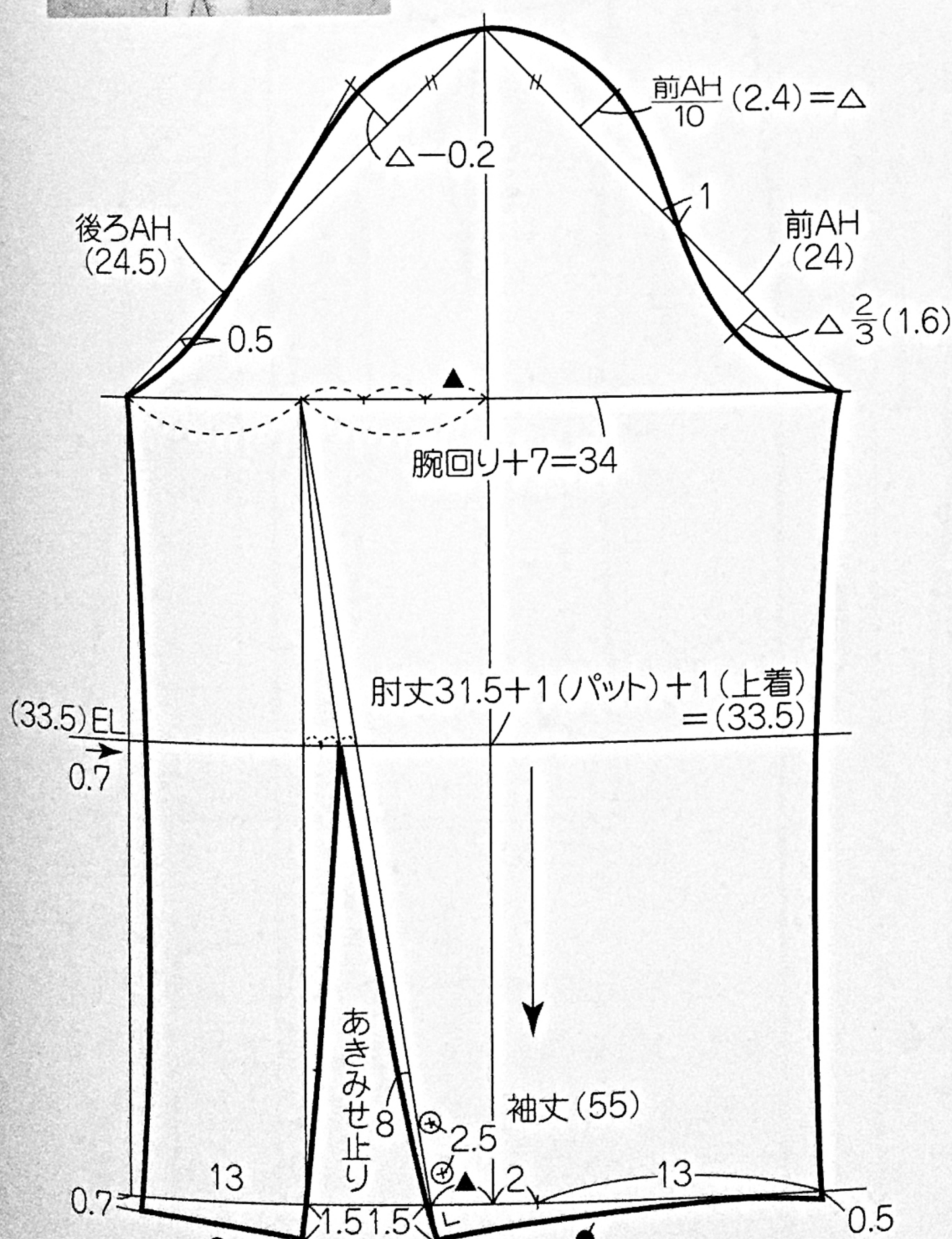
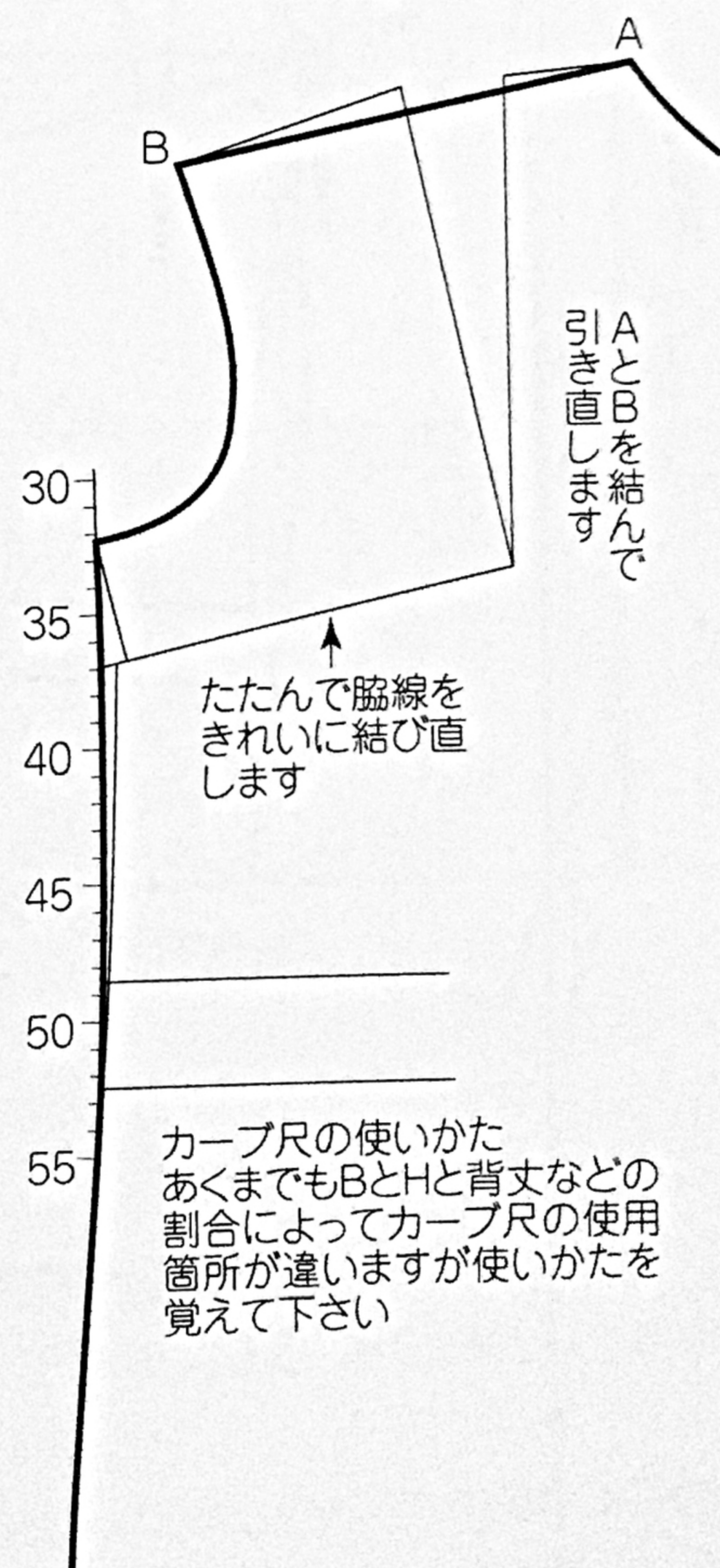
袖口26=(●+ϕ)

A

B

AとBを結んで引き直します

たたんで脇線をきれいに結び直します

30　35　40　45　50　55

カーブ尺の使いかた
あくまでもBとHと背丈などの割合によってカーブ尺の使用箇所が違いますが使いかたを覚えて下さい

タイトスカート

◆**用　　尺**　110幅150cm/150幅75cm

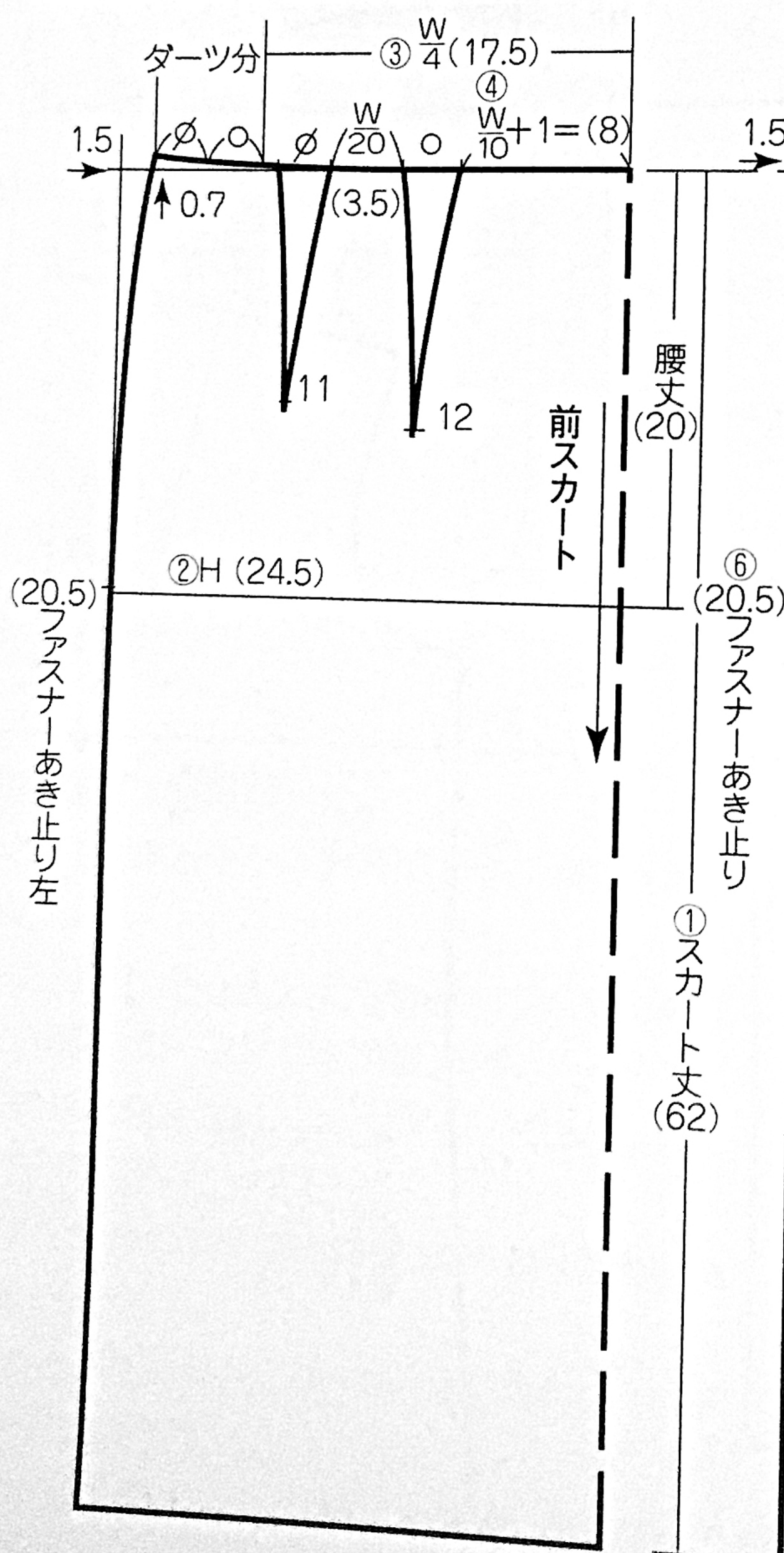
◆**製図順序（前スカートから）**

①スカート丈62はWLになります。製図用紙の端からはかり引きます。

②$\frac{H}{4}$(24.5)をWから裾まで直下します。

③前中心より$\frac{W}{4}$(17.5)を印し、脇線から1.5位入り、残りがダーツになります。

④$\frac{W}{10}$+1=(8)印し、ダーツ(○)印し、$\frac{W}{20}$(3.5)印し、ダーツ(ø)を印します。

(注)ベルト布と芯の印のしかたはP23少し伸びる布用(ウール、チリメンなど)P32伸びない布用(絹、綿など)を見て参考にして下さい。

◆**作図寸法**

W出来上がり寸法　$68\frac{1}{4}$=(17)

W　68+2(いせ分)=$70\frac{1}{4}$=(17.5)

H　94+4(ゆとり分)=$98\frac{1}{4}$=(24.5)

◆**製図順序（後ろスカート）**

①①〜③まで前スカートと同じです。

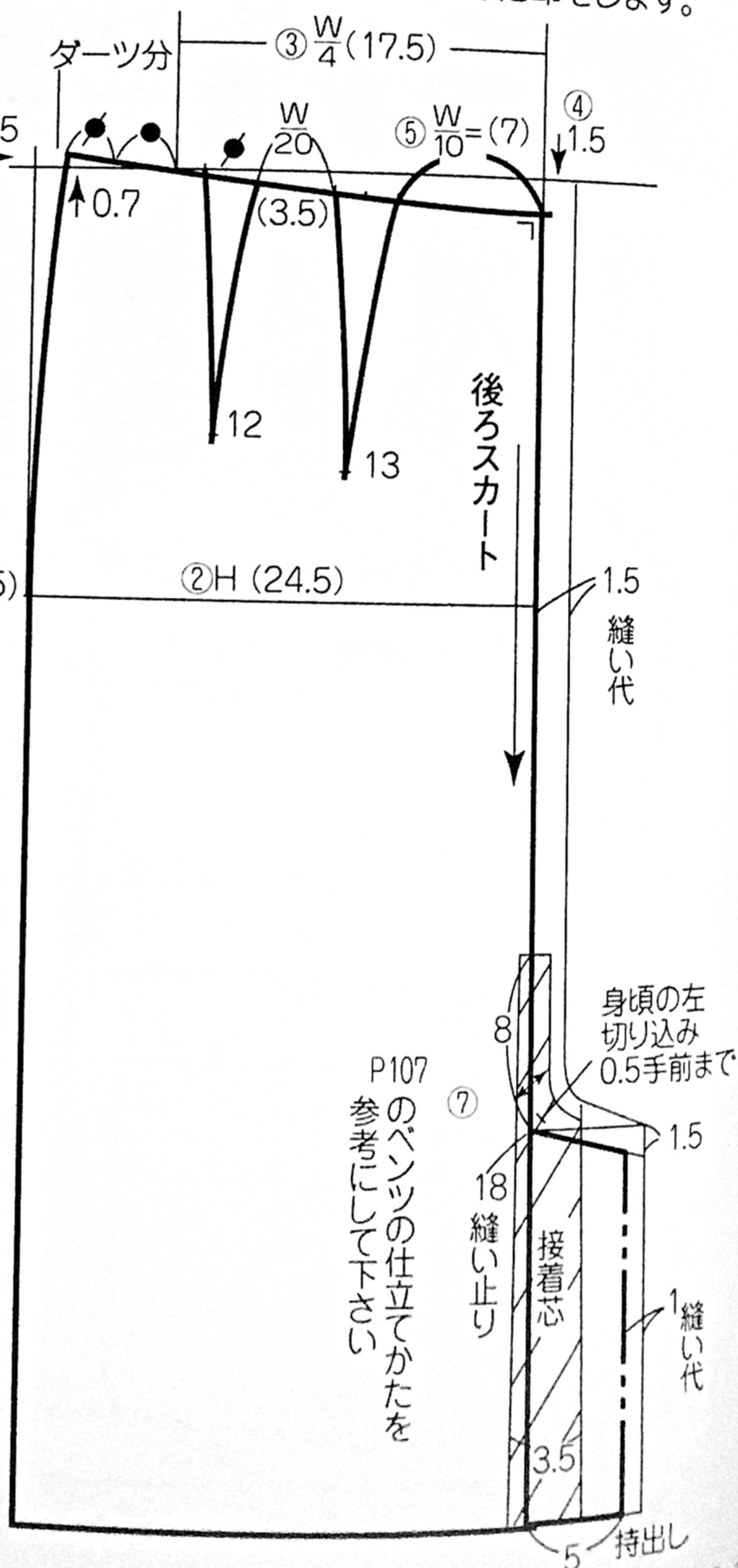
④後ろ中心1.5下げ脇0.7上と結びます。

⑤$\frac{W}{10}$(7)印し、ダーツ(●)印し、$\frac{W}{20}$(3.5)印し、ダーツ(●̸)を印します。

⑥ファスナー付け止り左Wより20.5に合印をします。

⑦後ろ中心あき止り裾から18に印をします。

ダーツ分
③$\frac{W}{4}$(17.5)
④$\frac{W}{10}$+1=(8)
ø　○　ø　$\frac{W}{20}$　○
1.5
0.7
(3.5)
11
12
前スカート
腰丈(20)
②H (24.5)
(20.5)
ファスナーあき止り左
⑥(20.5)
ファスナーあき止り
①スカート丈(62)

ダーツ分
③$\frac{W}{4}$(17.5)
$\frac{W}{20}$
⑤$\frac{W}{10}$=(7)
④1.5
1.5
0.7
(3.5)
12
13
後ろスカート
②H (24.5)
1.5 縫い代
身頃の左切り込み0.5手前まで
8
P107のベンツの仕立てかたを参考にして下さい
⑦
18 縫い止り
1.5
接着芯
1 縫い代
3.5
5
持出し

ベスト — V衿のあきがスッキリしています

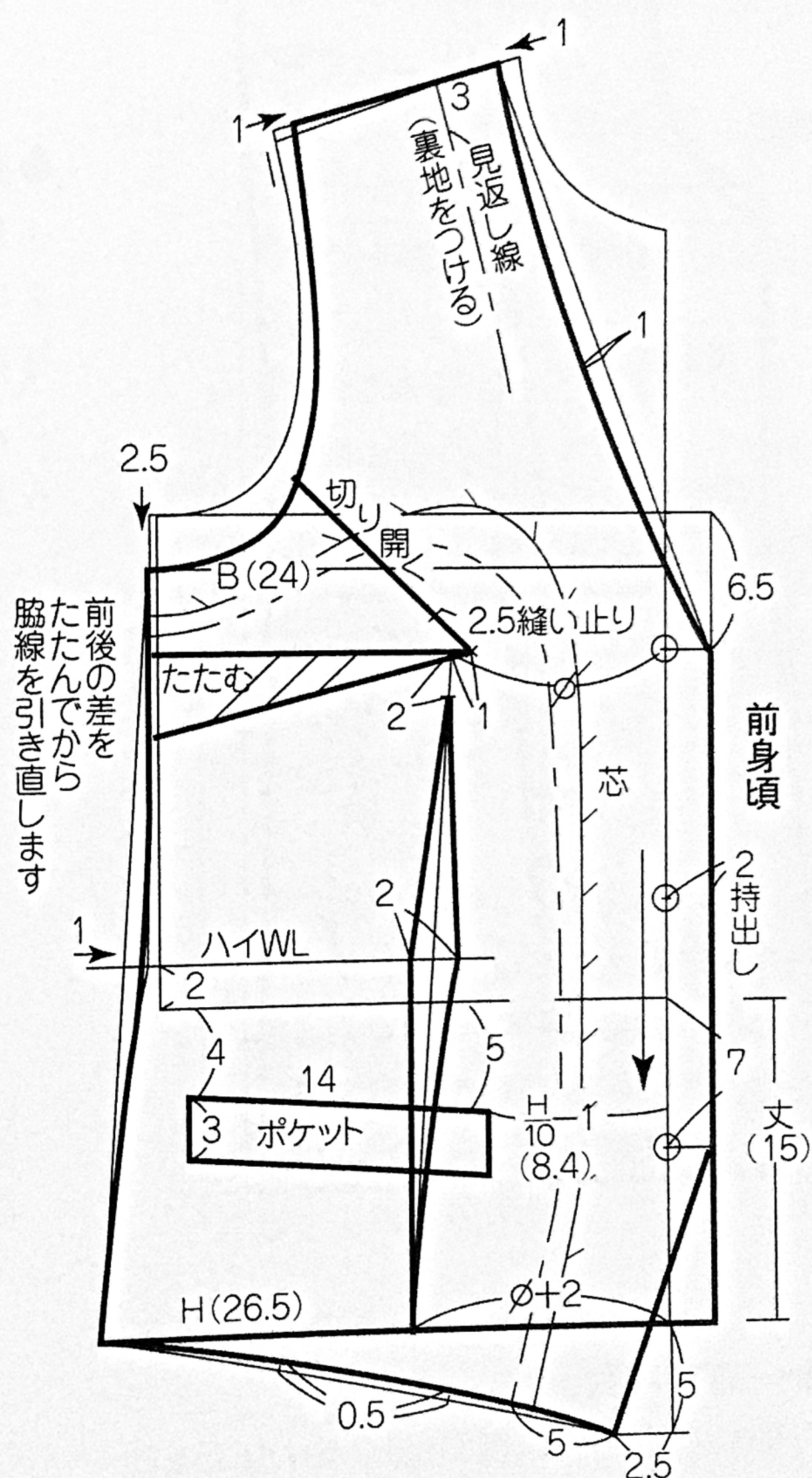
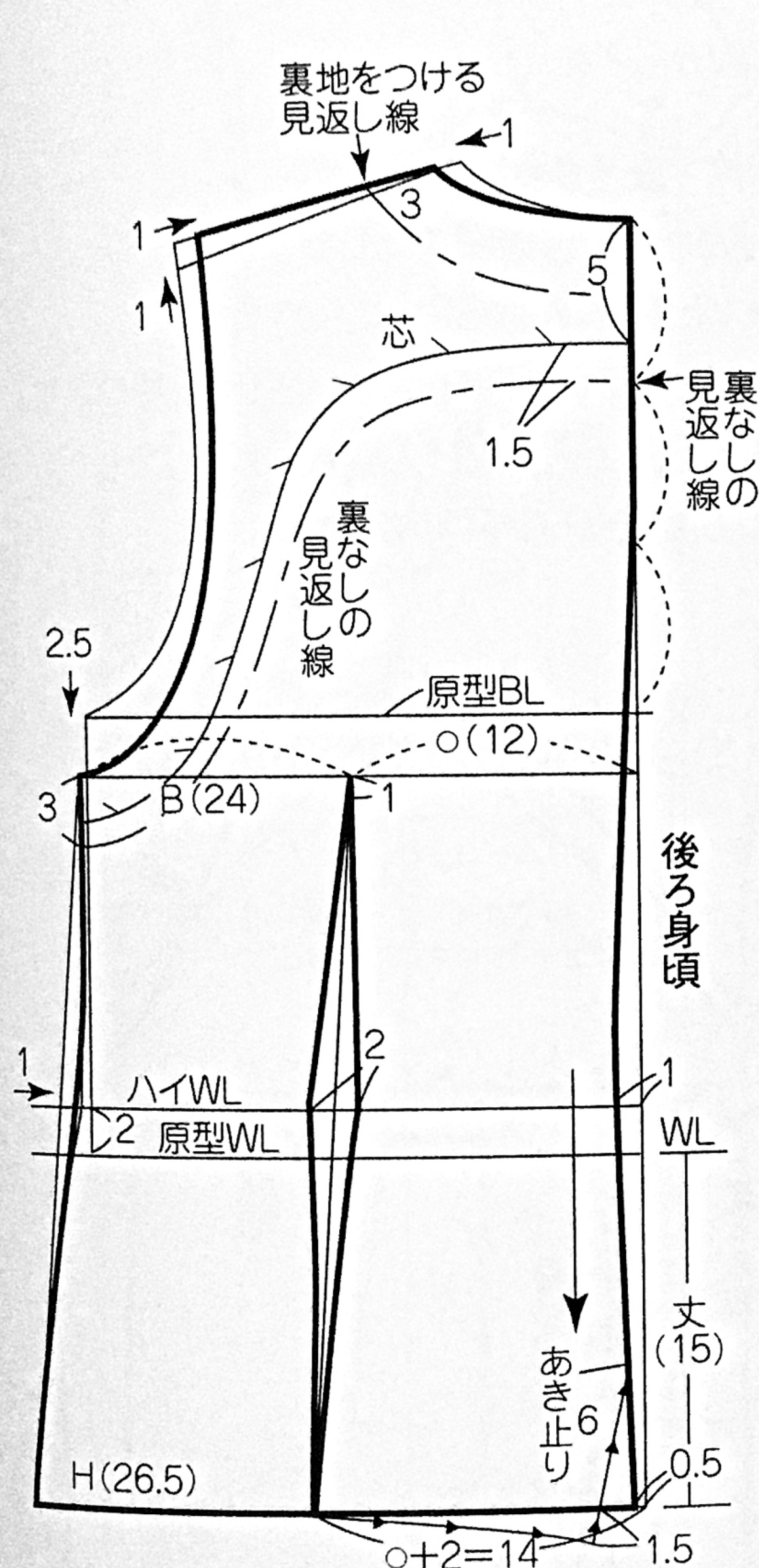
◆用　尺　110幅140cm/150幅70cm

（注）P106の箱ポケットの作りかたを参考にして下さい。

◆作図寸法

B　84+12（ゆとり分）=96　$\frac{1}{4}$=24

H　94+12（ゆとり分）=106　$\frac{1}{4}$=26.5（裾とします）

ベスト丈　Wから15

◆製図順序（後ろから）

1 原型のWLから丈15を引き裾線とします。

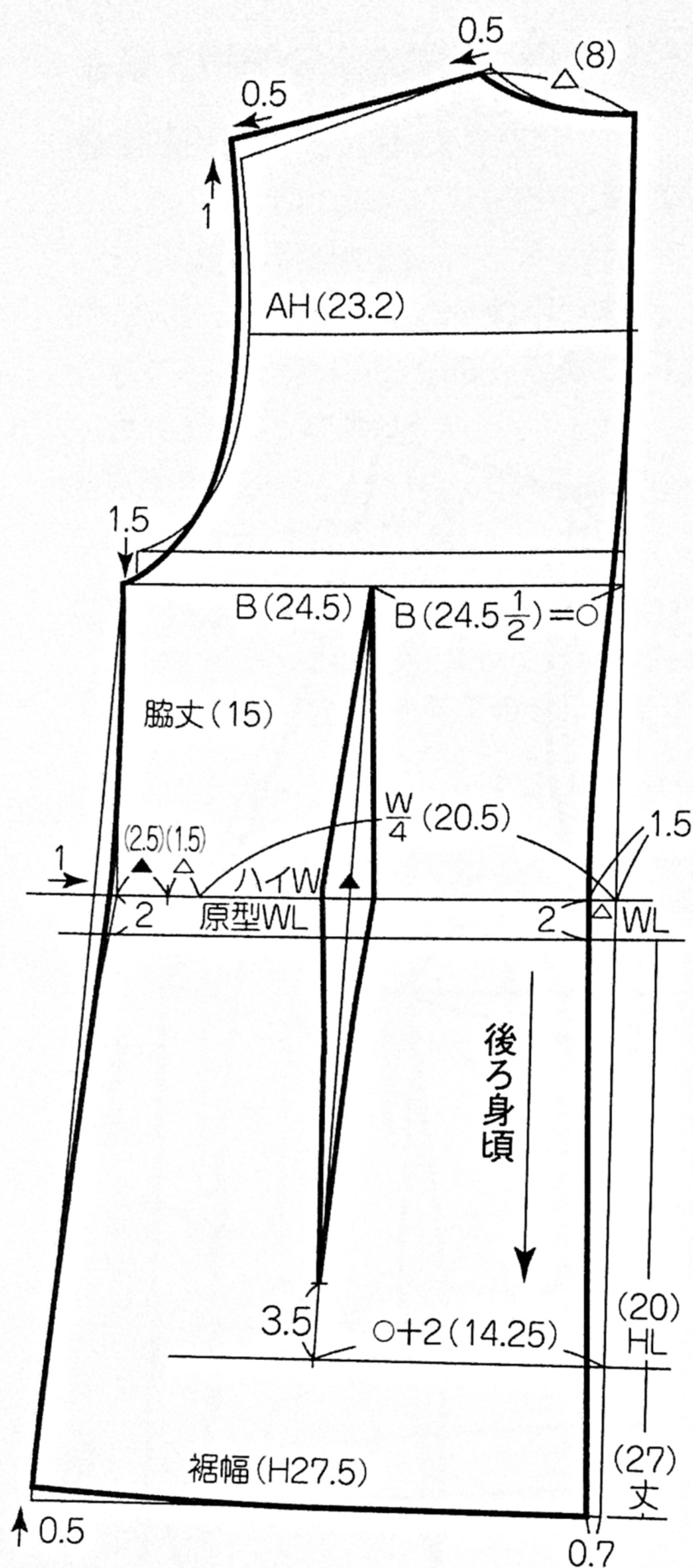
2 原型の胸囲線を2.5下げB（24）を印し、裾線H（26.5）と結びます（→→→→ 好みの線です）。

・BとHとの差がない方は、裾に広がりが欲しいので、2位裾幅を出して下さい。

◆製図順序（前身頃）

1 前中心で持出し2出し、後ろと同じように引いて下さい。

2 BPを1脇寄りに印し（ø）とし、裾線（ø+2）と結びハイWで2のダーツをとります。

テーラードジャケット —— 二ッ釦の粋に装いたいスーツです

◆用　　尺　110幅210cm/150幅160cm

◆作図寸法

B　84+14(ゆとり分)=98 $\frac{1}{4}$=24.5

W　68+14(ゆとり分)=82 $\frac{1}{4}$=20.5

裾幅　H94+(10+6=16)=110 $\frac{1}{4}$=27.5

(10ゆとり分、6裾幅分=16)

着丈　Wから27

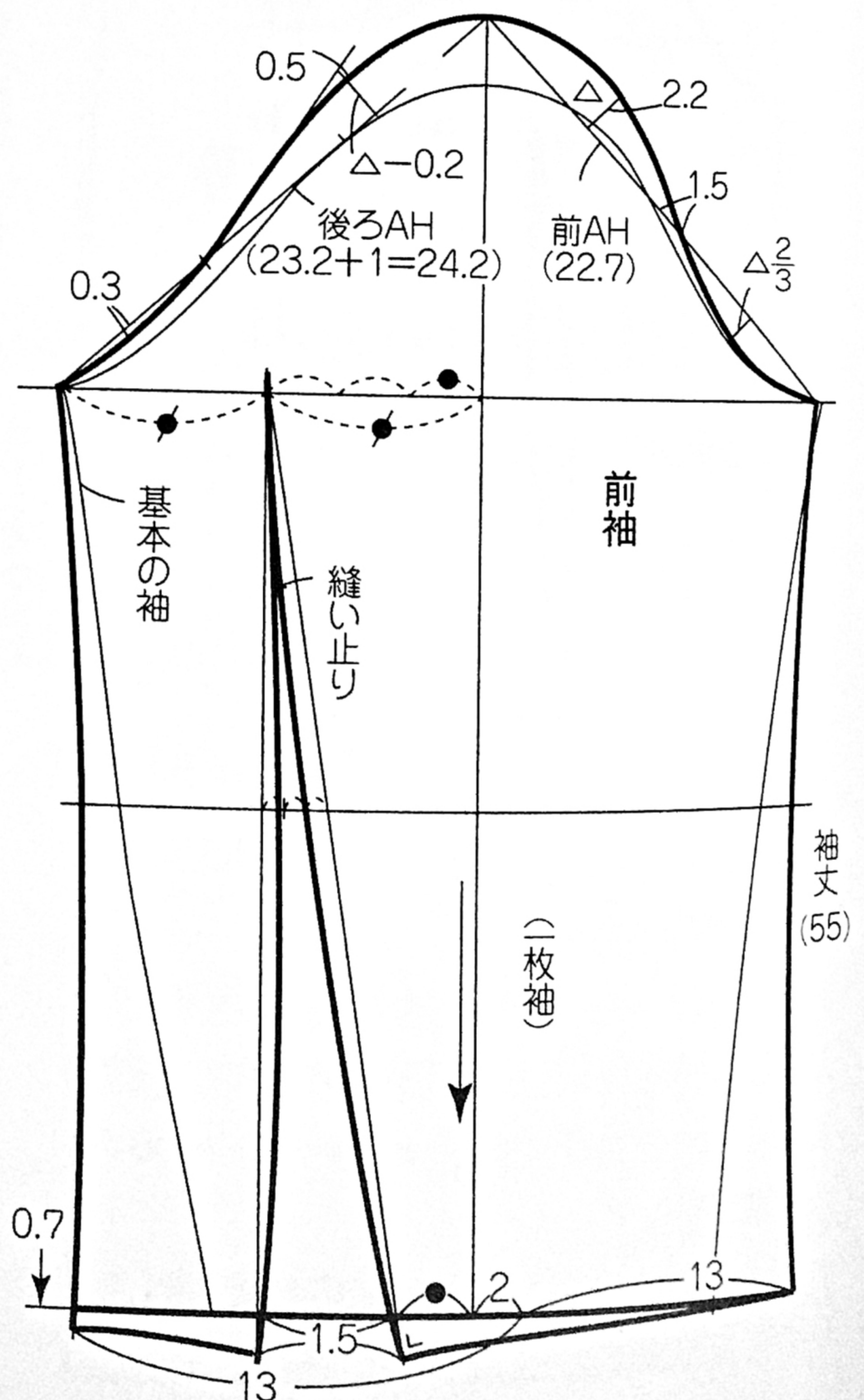
◆製図順序(後ろから)

1 原型のWLから27引き裾線とします。

2 HL、ハイW、原型WLから2上に引きます。

3 胸囲線1.5下げB(24.5)印し、HL(27.5)と結びます。

4 ハイW後中心1.5入り、脇1入り結びます。

5 脇裾丈0.5上げカーブ尺で結びます。

◆一枚袖の製図

1 基本の袖を写し、腕回り+7.5=34.5を印します。

2 前AH(22.7)の山を求めます。

3 後ろAH(23.2)+1(いせ分)=24.2

4 袖丈+1(上着の袖)+1(パット分)=55

5 後ろ袖幅 $\frac{1}{2}$を袖口まで直下します。

6 袖中心線を2前に移動し中心とします。

7 中心から左右に13(26)の袖口を引きます。

◆製図順序（前身頃）

1 原型のWLから丈27を引き裾線とします。

2 前幅ゆとり分0.5、持出し2.5を引きます。

3 HL、ハイW、原型のWLより2上に引きます。

4 胸囲線2下げB（24.5）を印し、裾線（27.5）と結びます。

5 前後の差をたたみ、AH$\frac{1}{3}$とBPを結びます。

6 切り開き線BPから2.5縫い止り。

7 縫い止りの印と○＋2.5＝（14）をHLでとり結び、ダーツをとります。

8 衿、原型のWLより（3）上と衿こし（2.5）を結び引きます。後ろ衿ぐり寸法を平行に引きます。

9 衿ねかし寸法3
衿こし寸法3
表衿幅4.5直角にして引きます。

10 前後脇丈の差をたたみ、脇線を引き直します。カーブ尺とDカーブルーラを上手に使って下さい。

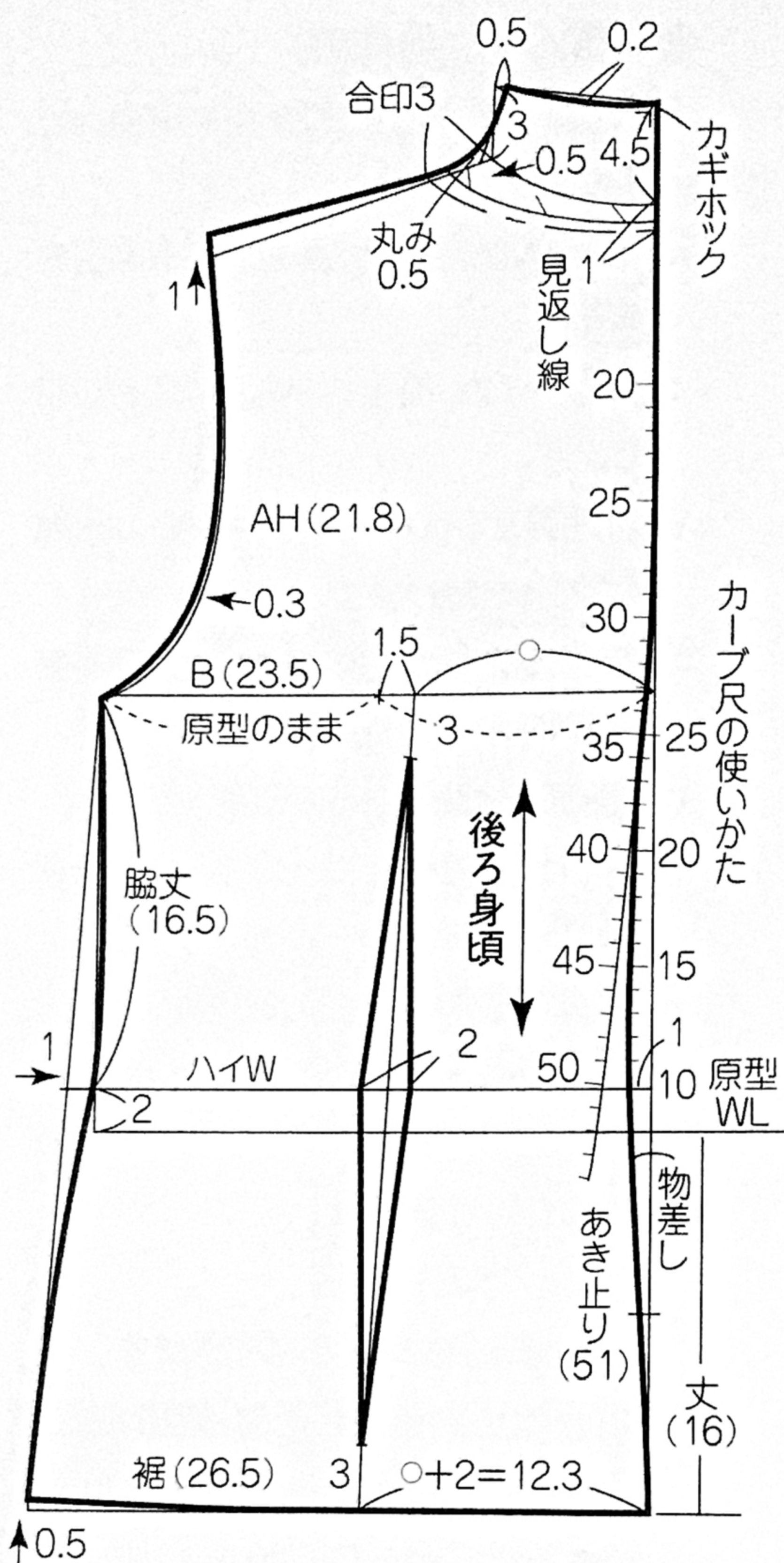
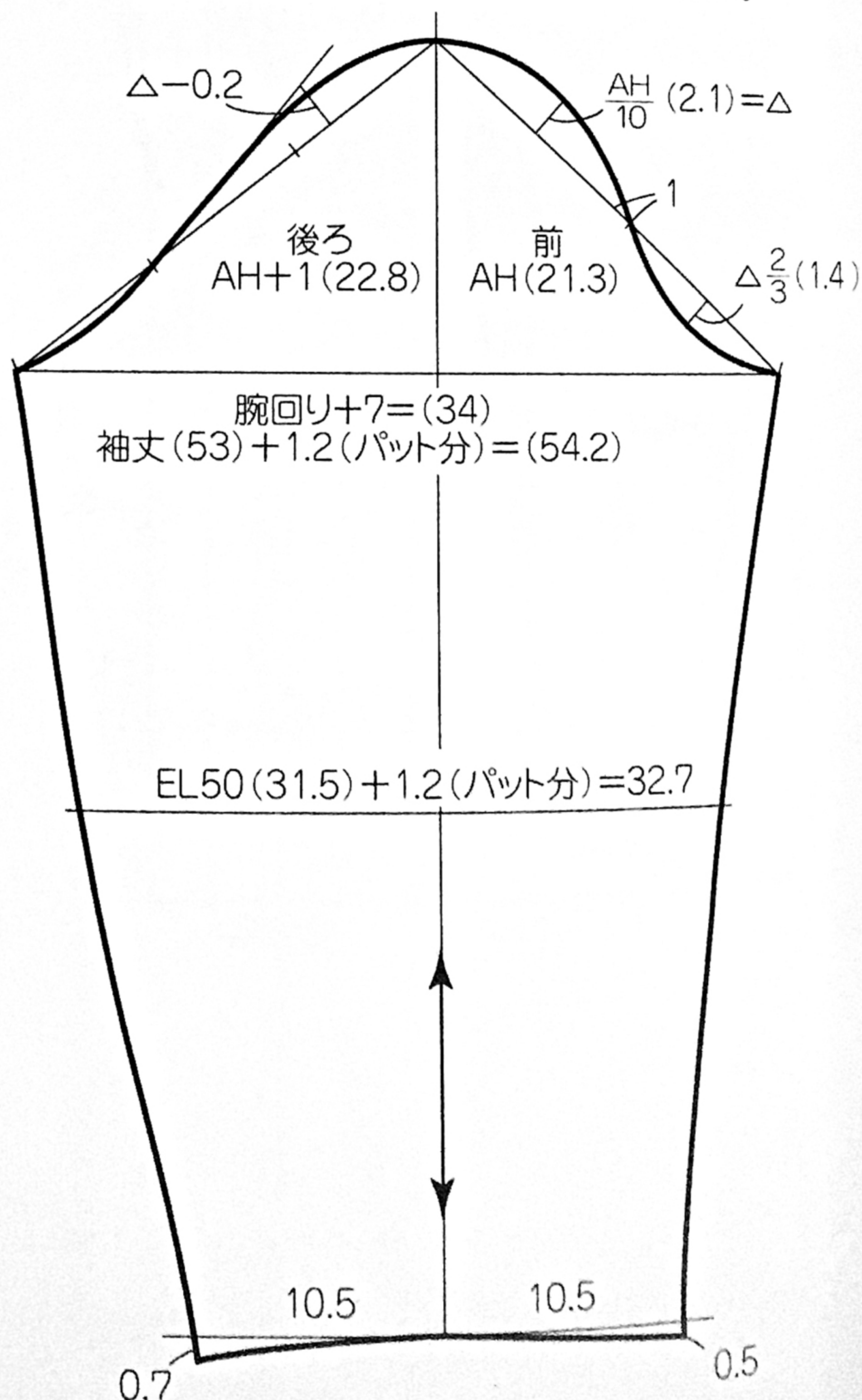
11 前中心より$\frac{H}{10}$(9.4)－1＝8.4をとり、ポケット線を引きます。

（注）P67の袖山の丸みを補う布のとりかたを参考にして下さい。
裏地が付く場合、ポケット口の力布は接着芯（3×4位）をバイヤスにしてはります。

ソフトスーツ ―― ハイネックにドレープを寄せた美しく改まった装いです

0.5 0.2 合印3 3 0.5 4.5 カギホック 丸み 0.5 見返し線 1 1 20 25 AH(21.8) 0.3 30 1.5 B(23.5) 原型のまま 3 35 25 カーブ尺の使いかた 後ろ身頃 脇丈(16.5) 40 20 45 15 1 1 ハイW 2 50 10 原型 WL 2 物差し あき止り(51) 丈(16) 裾(26.5) 3 ○+2=12.3 0.5

P7の基本の袖を見て製図をして下さい。

△−0.2 $\frac{AH}{10}$(2.1)=△ 1 後ろ AH+1(22.8) 前 AH(21.3) △$\frac{2}{3}$(1.4) 腕回り+7=(34) 袖丈(53)+1.2(パット分)=(54.2) EL50(31.5)+1.2(パット分)=32.7 10.5 10.5 0.7 0.5

◆用　　尺　110幅200cm/150幅140cm

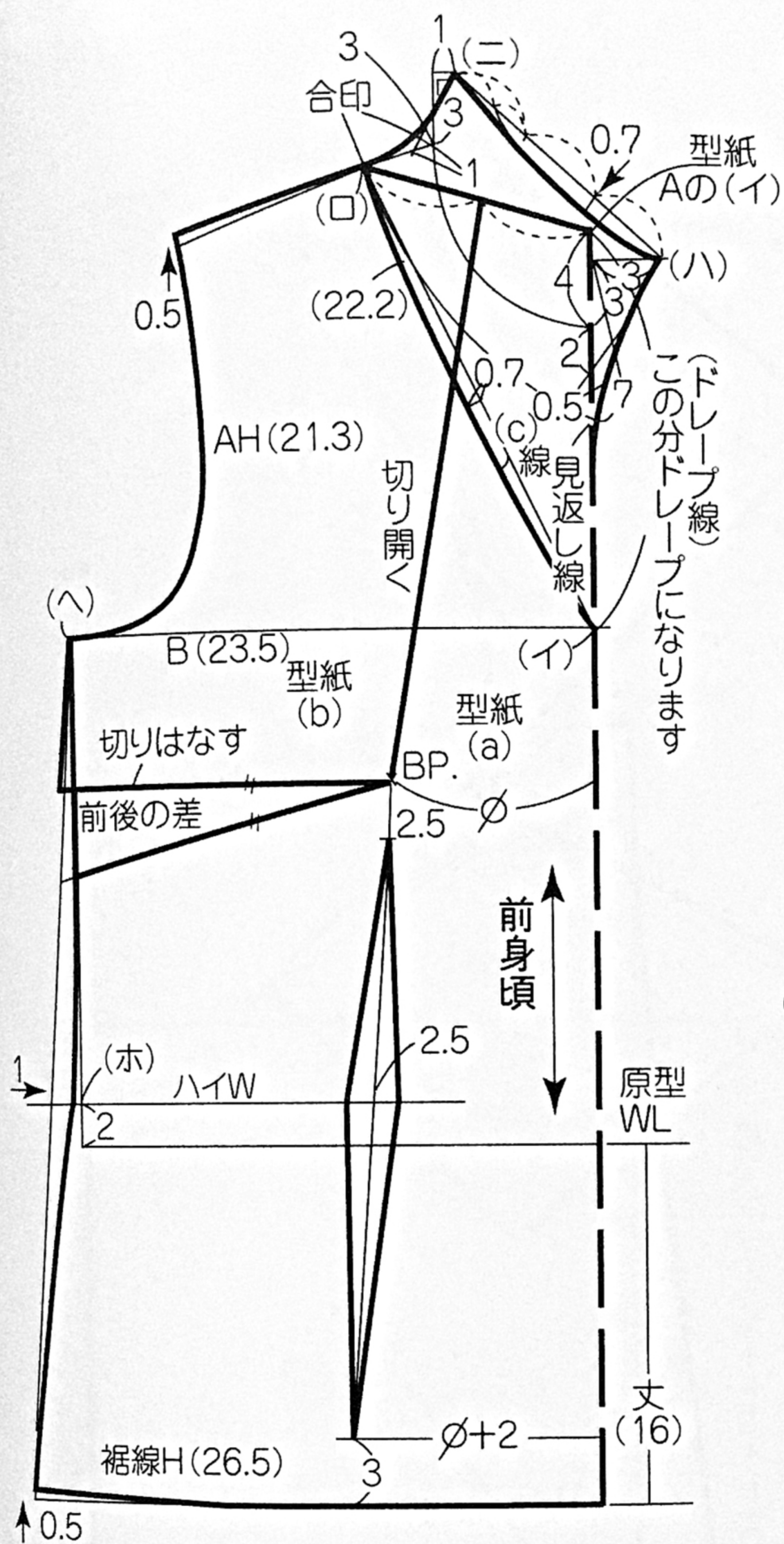
◆作図寸法

B　84+10(ゆとり分)=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

H　94+12(ゆとり分)=106 $\frac{1}{4}$=(26.5)

着丈　55(WLから16)

◆製図順序(後ろ身頃から)

1 原型のWLから丈16引き裾線とします。
2 原型の胸囲線と裾線H(26.5)を結びます。
3 脇線ハイWで1、後ろ中心で1入ります。
4 後ろ中心衿ぐり線4.5上げ、直角に引きます。
5 ネックポイント3上げ、0.5直角にし肩、衿と結び、ハイネック線を引きます。

◆製図順序（前身頃）（Bは原型のまま使用）

1 原型のWLから丈16引き裾線とします。
2 原型の胸囲線と裾線H（26.5）を結びます。
3 脇線ハイWで1入り、前後差をBPと結びます。
4 前中心衿ぐり線3上げ、直角に3出します。
5 ネックポイント3上げ、1直角にし（ハ）と結びます。
6 胸囲線（イ）から（ロ）に切り替え線を引きます。
7 衿ぐりのドレープ線$\frac{1}{2}$とBPを結び、切り開きます。
8 BPと（ø）＋2を結び、2.5のダーツをとります。
9 （イ）から（ロ）の切り替え線寸法、AH寸法を印します。

（注）P26にスカートの製図がありますので参考にして下さい。

図1 切り開いた製図

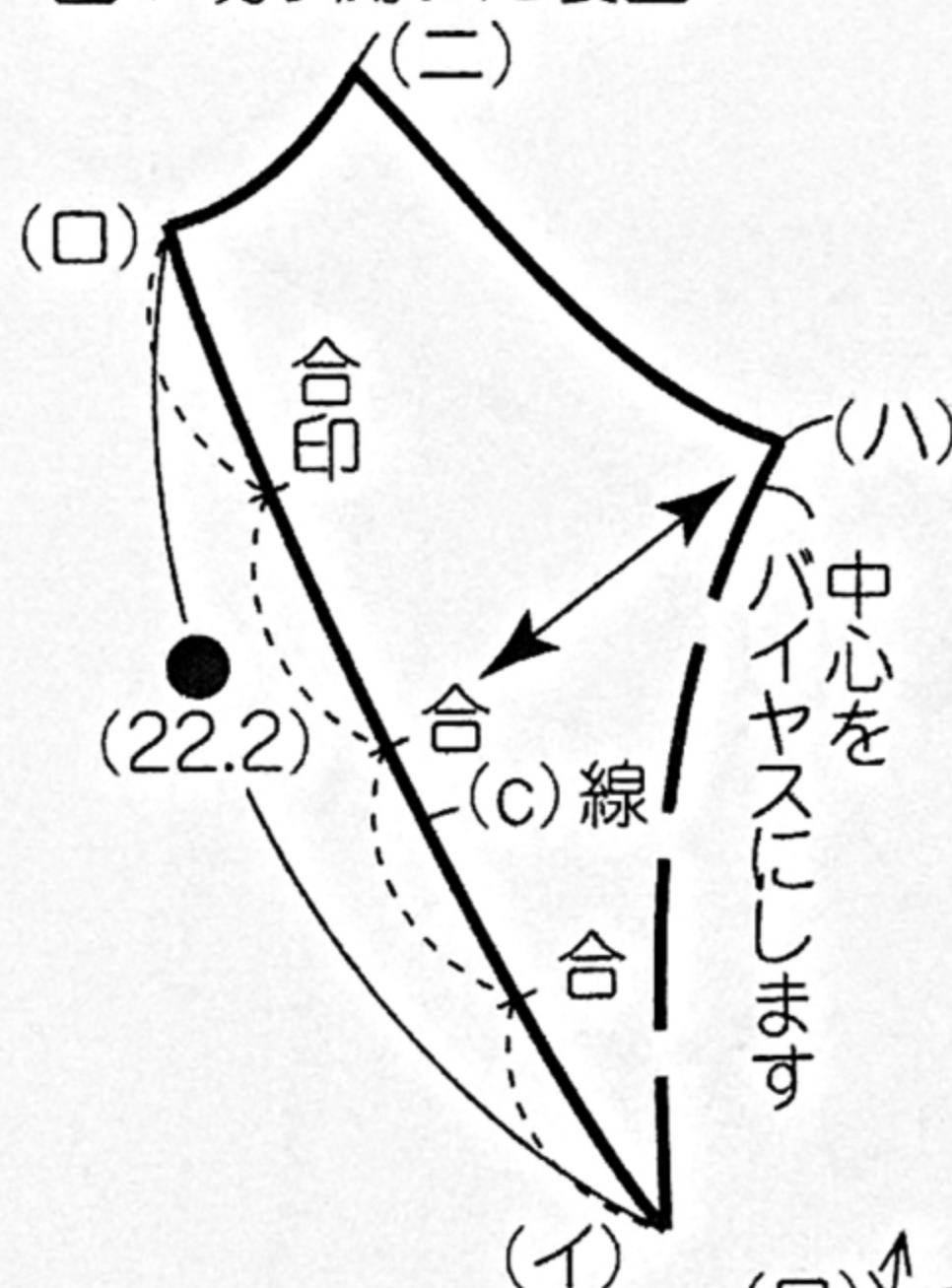
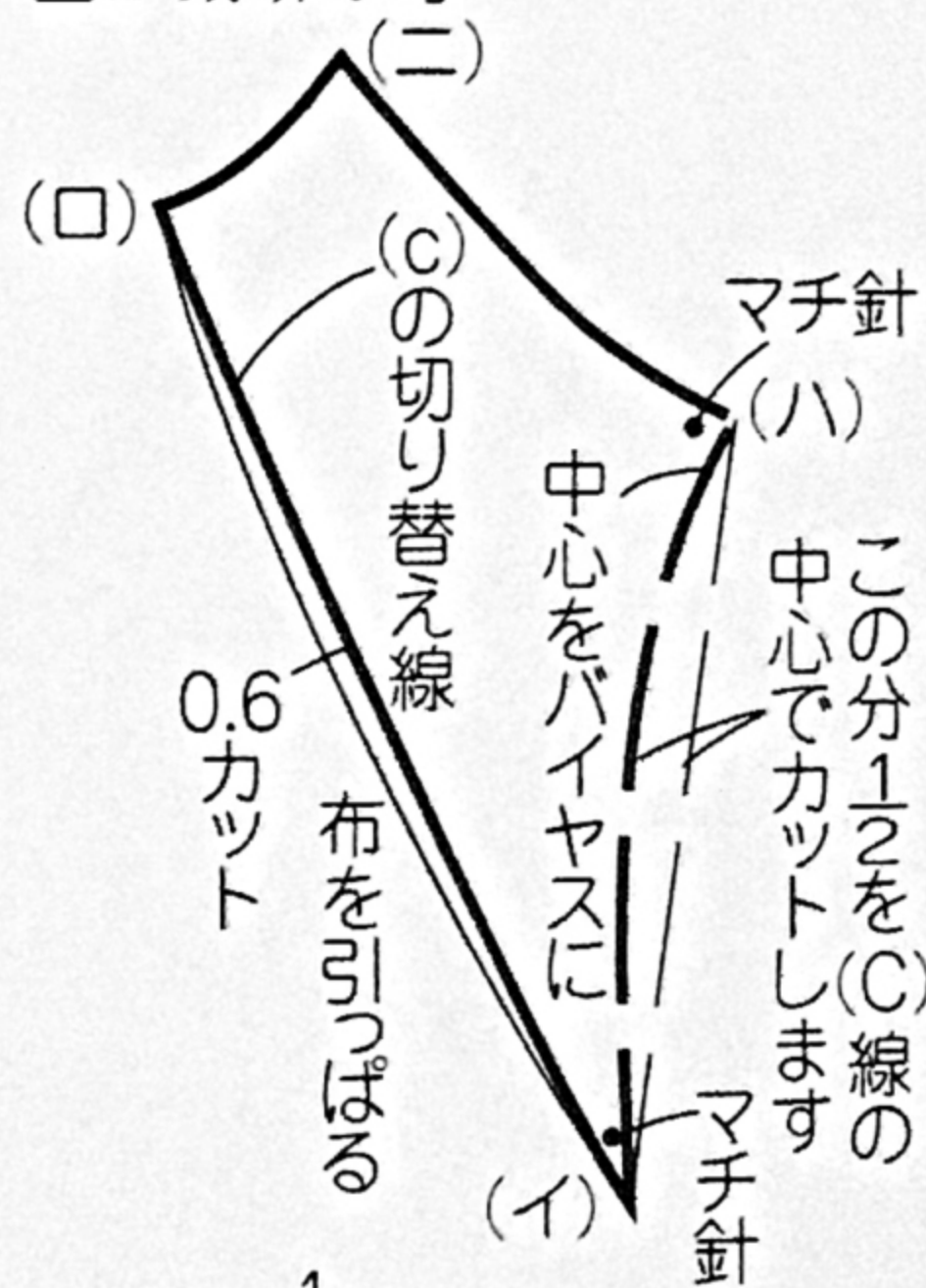
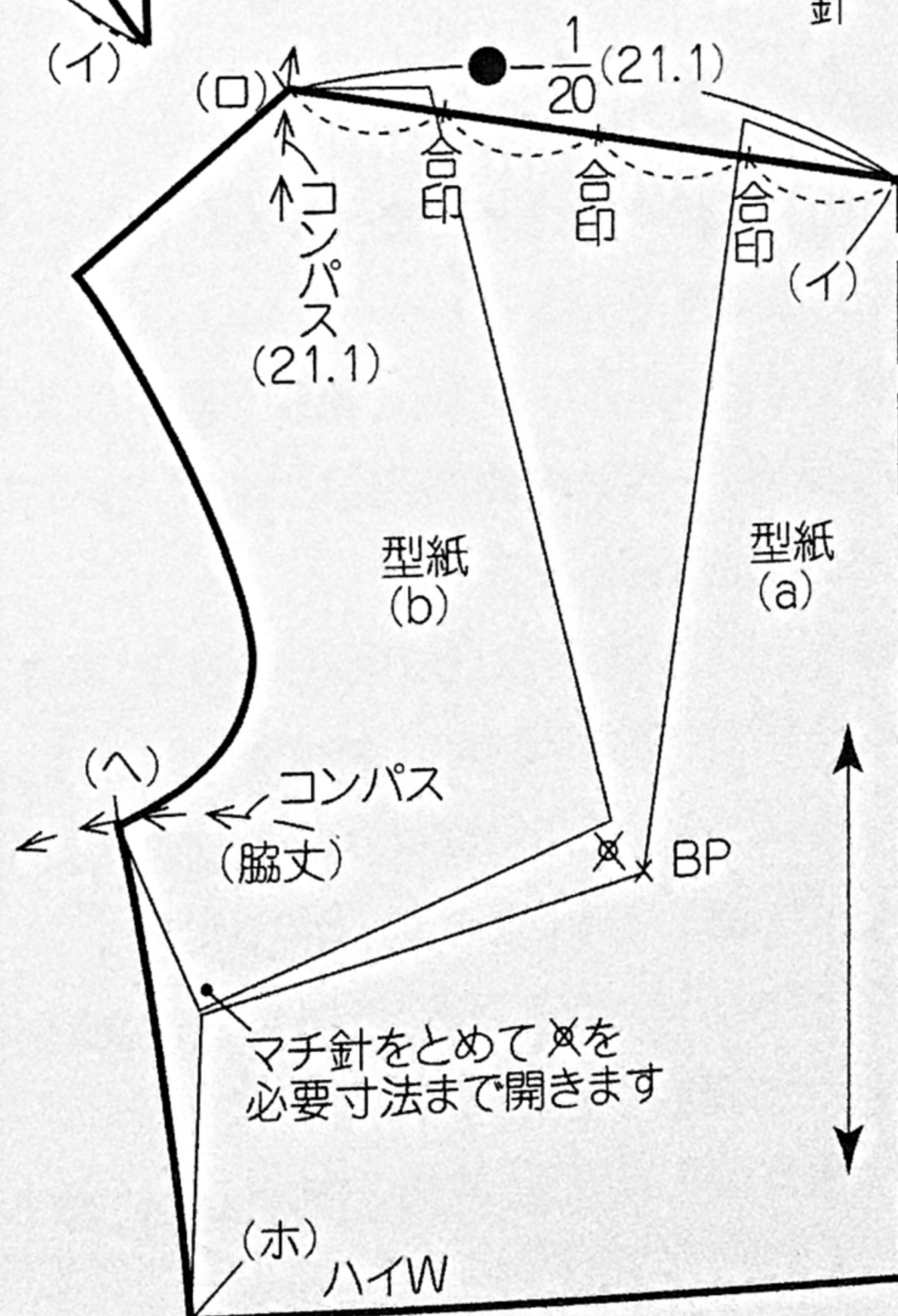



図2 裁断の時

◆型紙を切る前に

1 （イ）〜（ロ）、（ハ）〜（ニ）の型紙を目打ちとルレットにて写しとり、型紙を切ります。
2 ハイネックの切り替え線寸法（22.2）＝●
3 ●－$\frac{1}{20}$（21.1）が身頃の切り替え線になります。
4 型紙aの（イ）にコンパスを立て、（21.1）矢印の案内線を引きます。
5 ハイW（ホ）にコンパスを立て、後ろ脇丈寸法（16.5）の矢印の案内線（ヘ）を引きます。
6 型紙（b）を（イ）〜（ロ）、（ホ）〜（ヘ）に合わせてきれいな線に引き直します。
7 型紙（a）の（イ）と（c）の切り替え線（イ）と合印になります。

オーバーコート —— エレガントなショールカラーのコート（キルティングのショート丈製図）

◆用　尺　110幅350cm/150幅300cm

◆作図寸法

B　84+24（ゆとり分）=108$\frac{1}{4}$=27

スカート丈　62+2（コート丈）=64

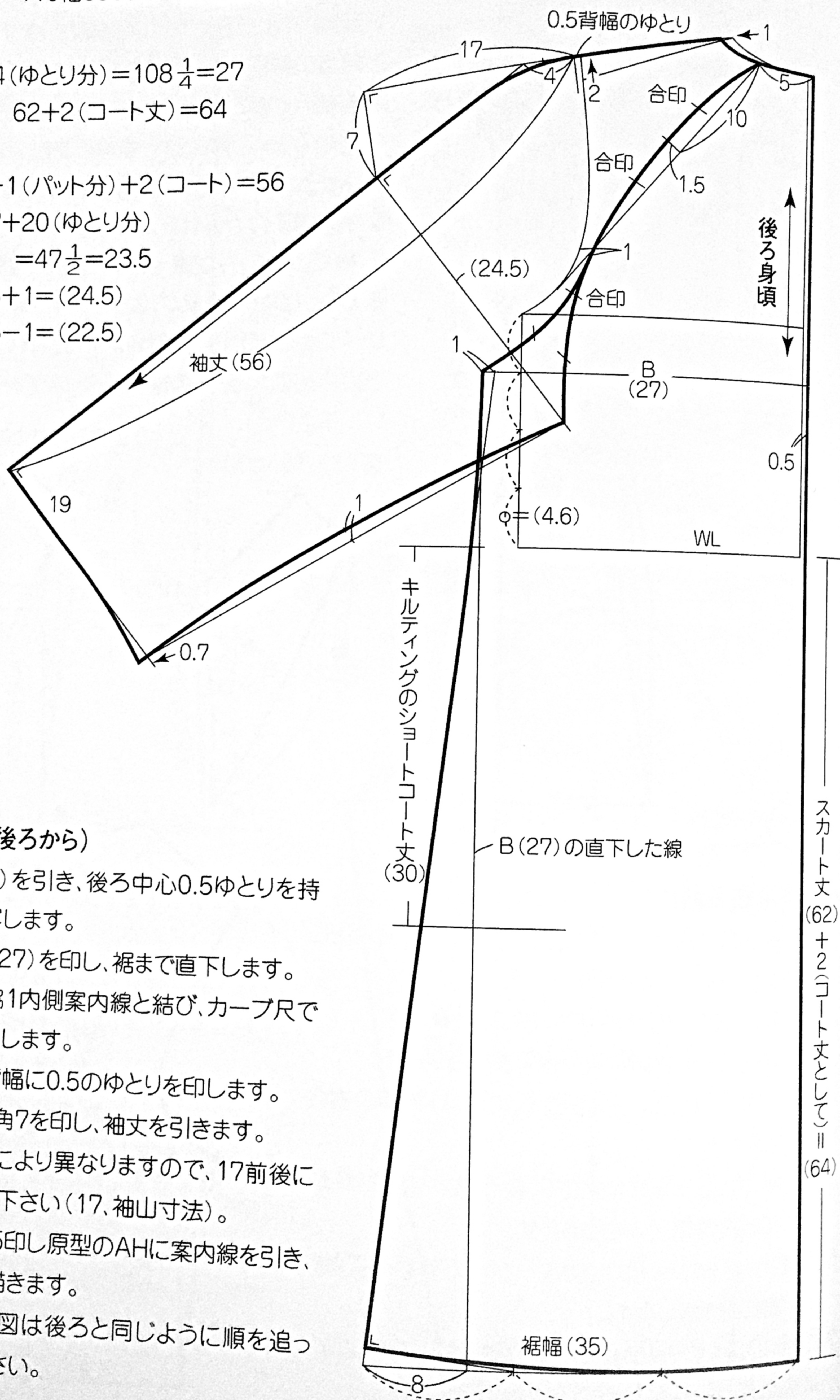
裾幅　35

袖丈　53+1（パット分）+2（コート）=56

腕回り　27+20（ゆとり分）

=47$\frac{1}{2}$=23.5

後ろ　23.5+1=（24.5）

前　23.5−1=（22.5）

◆製図順序（後ろから）

1 コート丈（64）を引き、後ろ中心0.5ゆとりを持たせ原型を写します。

2 脇丈$\frac{1}{4}$に、B（27）を印し、裾まで直下します。

3 裾幅8出し、脇1内側案内線と結び、カーブ尺で脇線を結び直します。

4 肩先2上げ、背幅に0.5のゆとりを印します。

5 肩線17に、直角7を印し、袖丈を引きます。

・7とはB寸法により異なりますので、17前後にして加減して下さい（17、袖山寸法）。

6 後ろ中心から5印し原型のAHに案内線を引き、ラグラン線を描きます。

◎前身頃の製図は後ろと同じように順を追って引いて下さい。

袖丈(56)

前身頃

裏衿

合印

切り開く

内ポケット

見返し接ぎ合わせる

原型のWL

(キルティングのショートコート丈)

ポケット

スカート丈(64)

B(27)直下の線

毛芯

見返し(11)

持出し

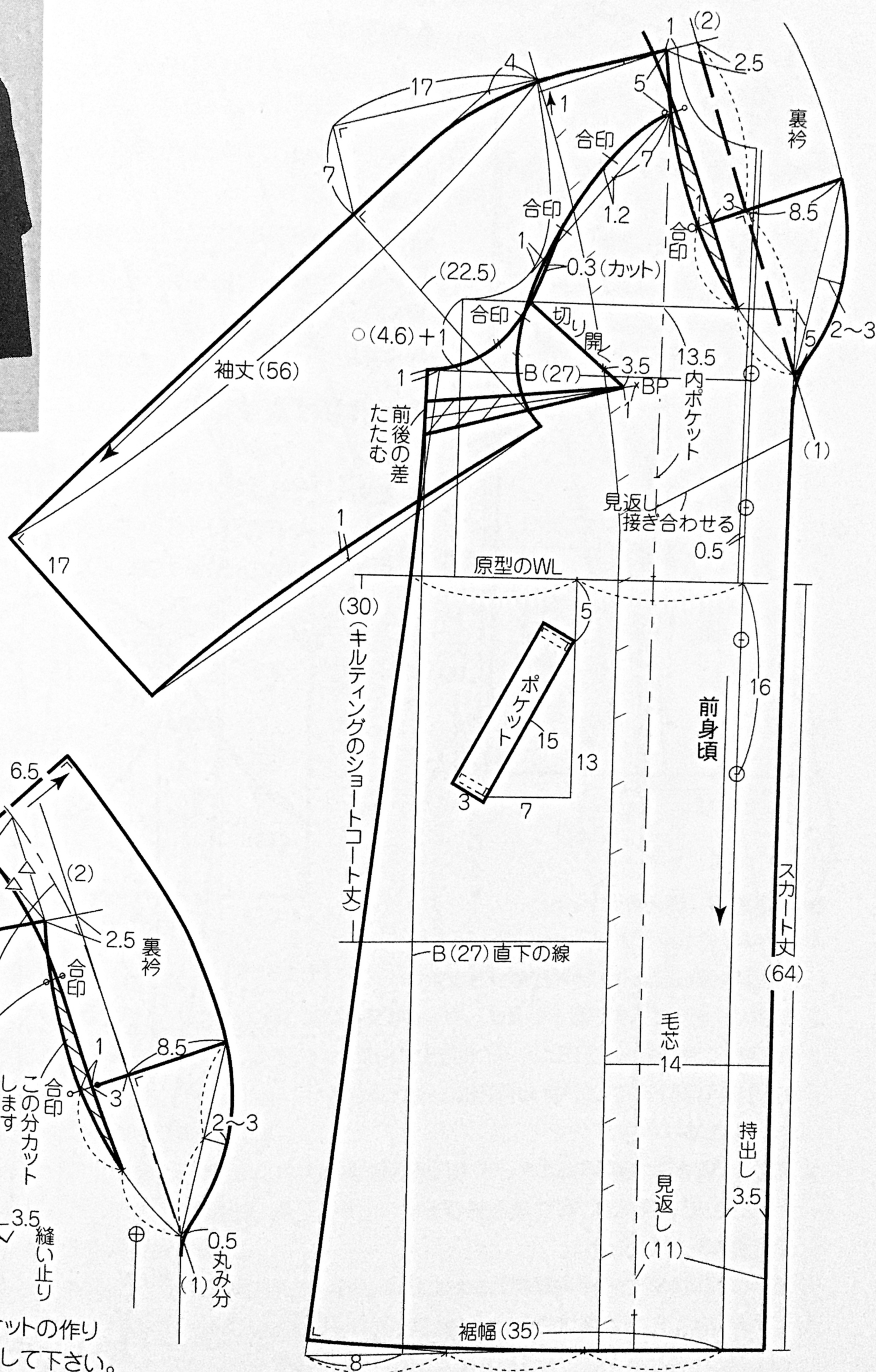
裾幅(35)

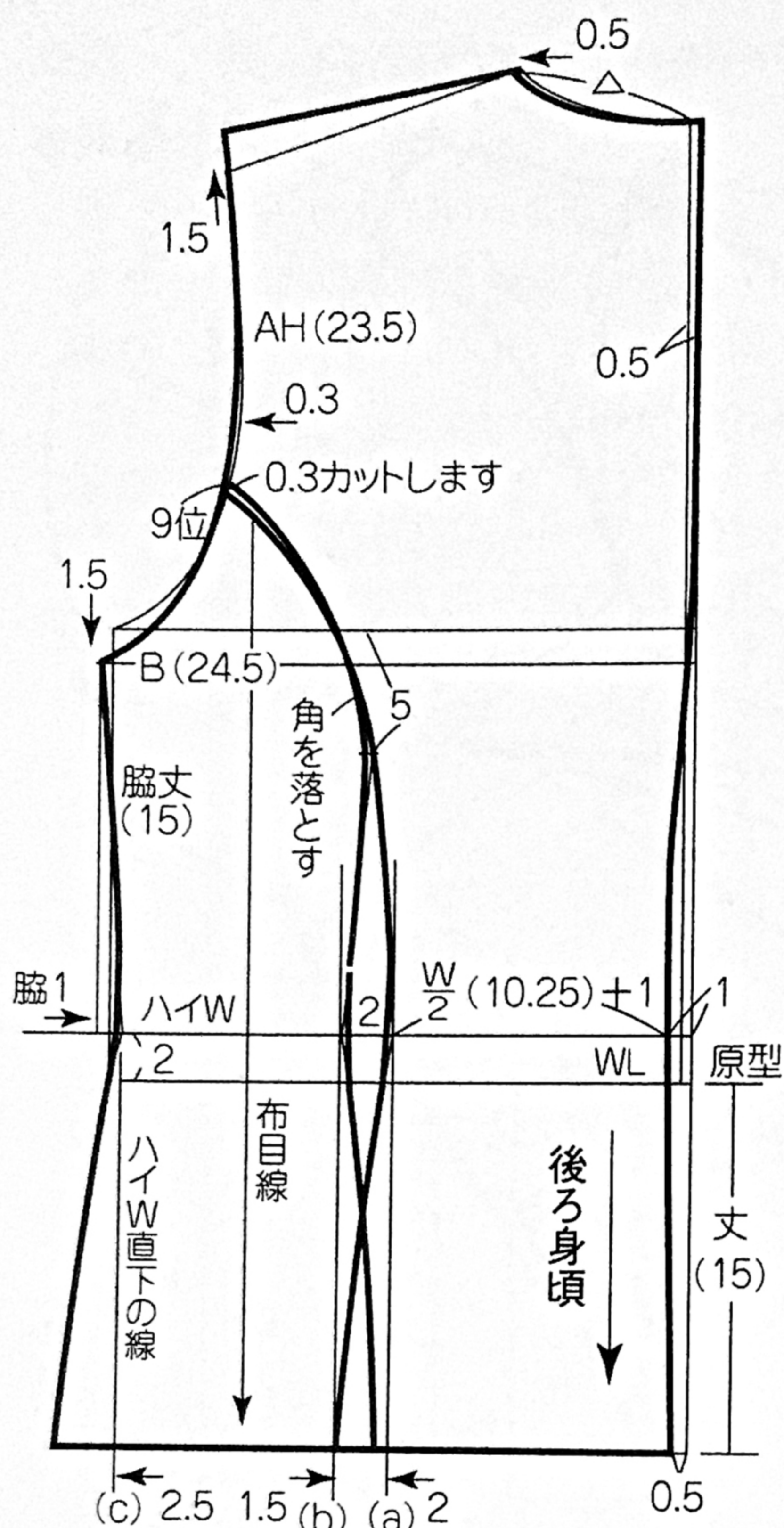
前後の差たたむ

衿返り線

この分カットします

縫い止り

丸み分

(注) P97の内ポケットの作りかたを参考にして下さい。

アンサンブル —— お祝い用に無地、紋織など格式ある素材で黒のフォーマルな装いにも

◆用　　尺　110幅240cm/150幅200cm

◆作図寸法

B　84＋14(ゆとり分)＝98 $\frac{1}{4}$＝24.5

W　68＋14(ゆとり分)＝82 $\frac{1}{4}$＝20.5 $\frac{1}{2}$＝10.25

H　94＋12(ゆとり分)＝106 $\frac{1}{4}$＝26.5

着丈　WLから15

後ろWと裾線の決めかた(このような配分にするとラインがきれいです)

$\frac{B}{4}$(24.5)、$\frac{W}{4}$(20.5)　差4＝1(後ろ中心)2(パネル線)1(脇、ハイWLで)

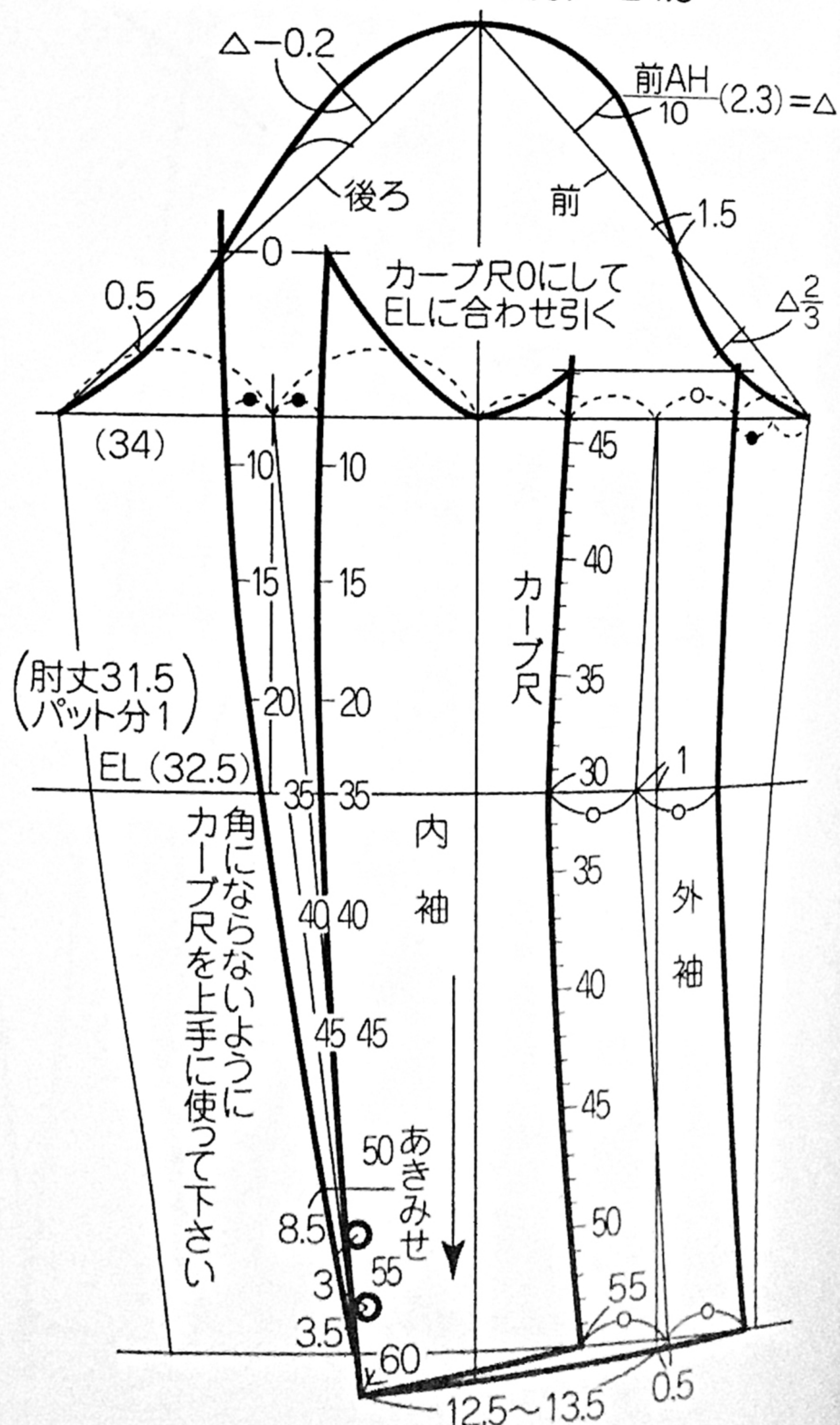
$\frac{H}{4}$(26.5)　差6÷3＝2 (a)(2　(b)1.5　(c)2.5)(裾で)

◆袖作図寸法(2枚袖)

腕回り　＋7＝34

袖丈　(53)＋1(パット分)＋2(上着分)＝56

前　AH(22.8)＋0.5(袖山のいせ分)＝23.3

後ろ　AH(23.5)＋1(袖山のいせ分)＝24.5

◆製図順序(後ろから)

1 後ろ中心0.5ゆとりを持たせ、着丈15を引き原型を写し、2上にハイWLを引きます。

2 B(24.5)をハイWまで直下します。

3 ハイWLに後ろ中心で1印し、$\frac{W}{2}$(10.25)＋1＝(11.25)を印し、パネル線2印し、脇で1入ります。

4 裾にハイW寸法の直下の印をし、(a)(b)(c)それぞれに裾を広げ、W寸法と結びます(0.2腰の丸みを出して)。

5 脇から9位のAHにパネル線を引きます。

6 パネルラインの布目線は後ろ中心線に対し上から下まで必ず平行線を引きます。

前Wと裾線の決めかた

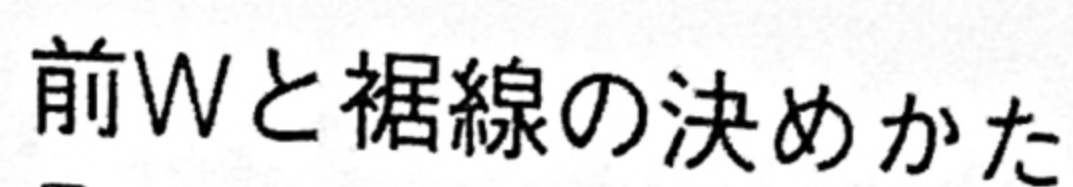
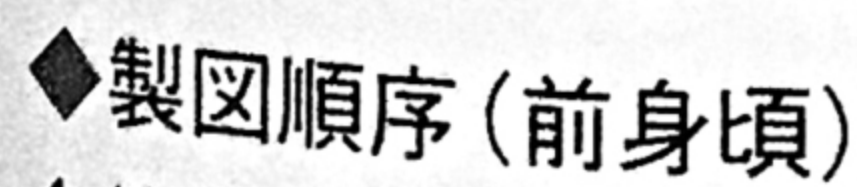
$\frac{B}{4}$(24.5)
$\frac{W}{4}$(20.5)
$\frac{H}{4}$(26.5)

差4＝1（後ろ中心）3（パネル線）1（脇、ハイWLで）

差6÷3＝2（(a) 2　(b) 1.5　(c) 2.5）（裾で）

（注）P67の袖山の丸みを補う布のとりかたを参考にして下さい。

▲一般的なショールカラーです（好みがありますので図を引いてみました）

◆製図順序（前身頃）

1 持出し6.5を引き中心に0.5のゆとりをとり、肩と首回りを写します。

2 BPをマチ針で押えて原型を1.5倒し写します（ネックポイントからダーツをとるため）。

3 脇1.5下げB（24.5）をハイWまで直下します。

4 ハイWで前中心から$\frac{W}{2}$+2（12.25）を印し、パネル線3印し脇1入り、裾まで直下し、(a)(b)(c)それぞれ出し結びます。

5 前丈1を裾線$\frac{1}{3}$位まで出し脇と結びます。

6 ネックポイント0.5入り、2.5の衿返り線を引き、返り線と平行に1.5の倒し分のダーツをとります。

7 原型胸囲線から（13.5）印し内ポケットになります。

8 角のないようにW、脇などDカーブルーラーで引いて下さい。

ワンピース —— パネルラインの優しいワンピースです

◆用　　尺　110幅290cm/150幅250cm

◆作図寸法

B　84+8(ゆとり分)=92 $\frac{1}{4}$=(23)

W　68+8(ゆとり分)=76 $\frac{1}{4}$=(19) $\frac{1}{2}$=(9.5)

ミドルH　90+4(ゆとり分)=94 $\frac{1}{4}$=(23.5)

H　94+6(ゆとり分)=100 $\frac{1}{4}$=(25)

スカート丈　70(ロング丈はこのまま引き伸ばします)

裾幅　H(25)+10=35

◆製図順序(後ろから)

後ろWと裾線の決めかた

$\frac{B}{4}$ (23) 〉差4=1(後ろ中心)2(パネル線)1(脇)
$\frac{W}{4}$ (19)
　　　　　　　　　　　　(a)　(b)　(c)
裾幅 (35) 〉差16÷3=5.3(5.3　4.3　6.3)

1 スカート丈70を引き、原型のWL背中心で1.5印し、(イ)(ロ)(ハ)がそれぞれ線に合うように置き、原型を写します。

◎スカートの後ろWLの下りを製図上で原型を倒し1.5カットします。

2 B(23)をハイWLまで直下します。

3 ハイWLに後ろ中心で1印し、W(19)$\frac{1}{2}$(9.5)を印し、パネル線2印し、$\frac{W}{2}$(9.5)を印します。

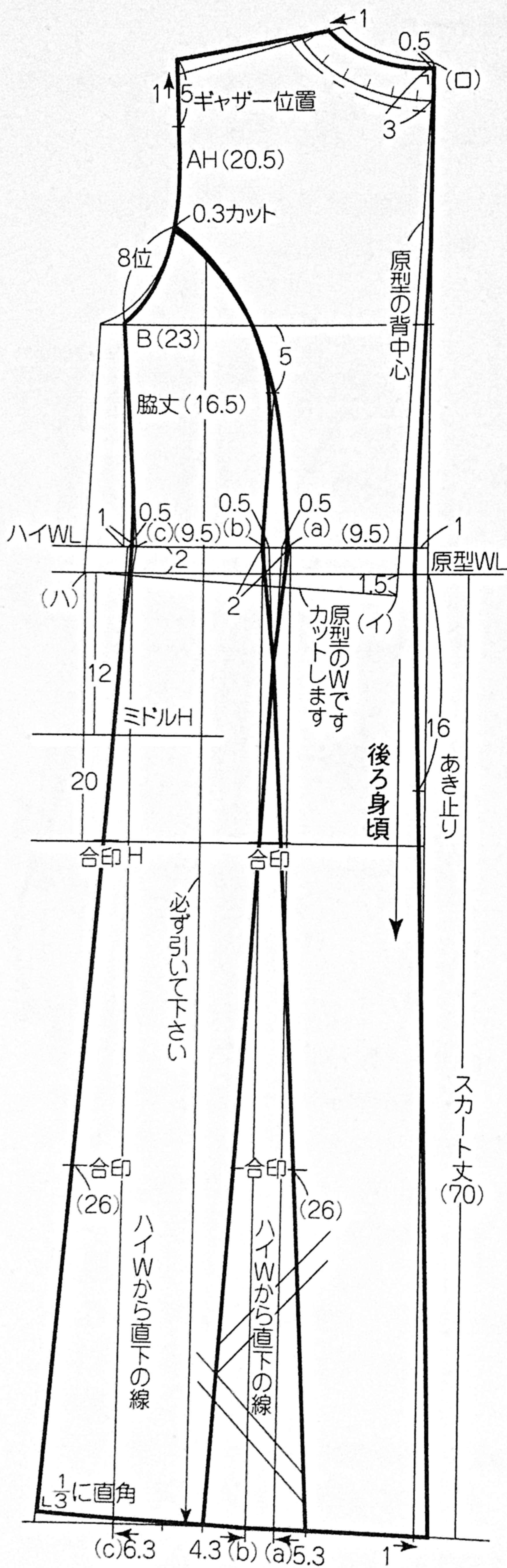
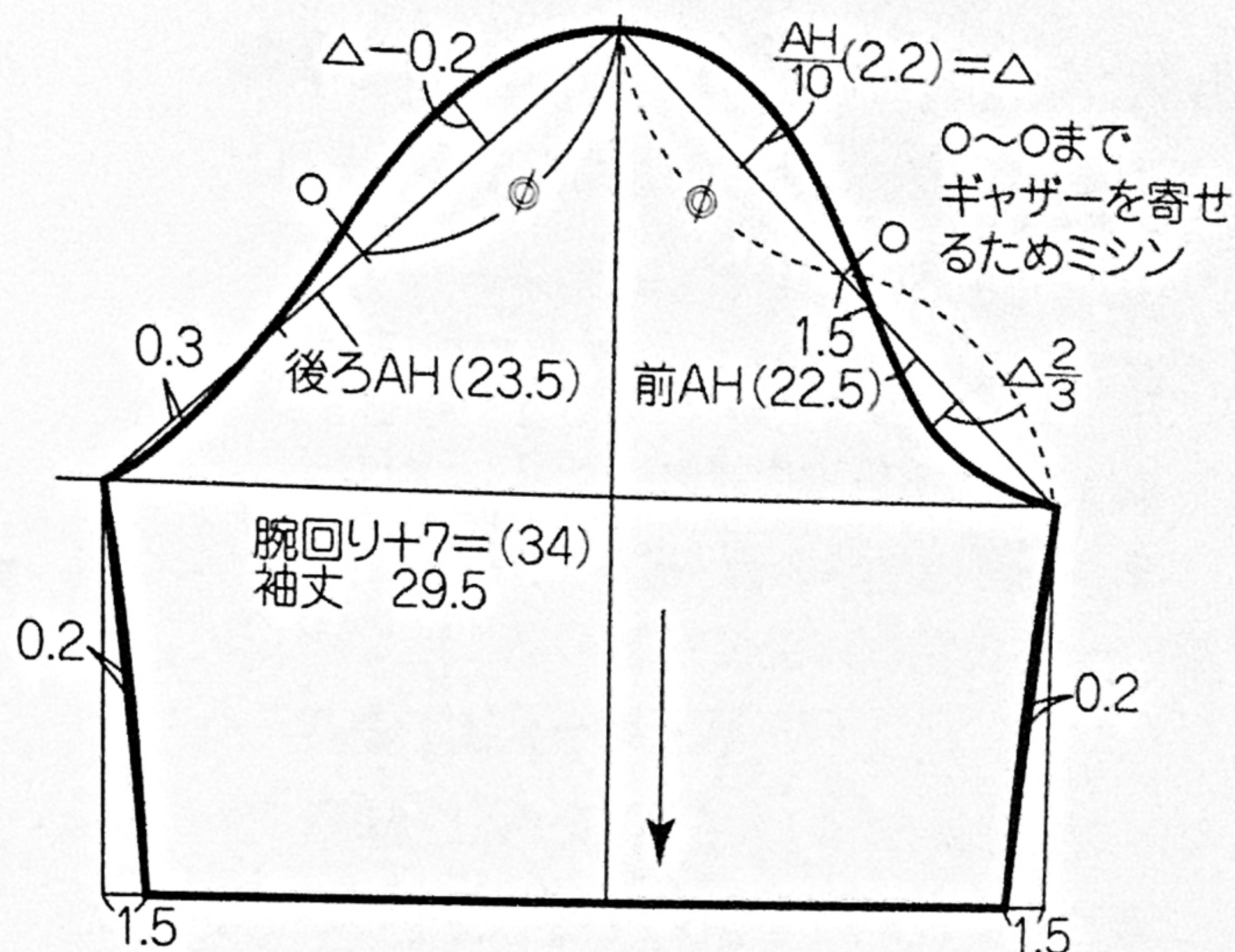
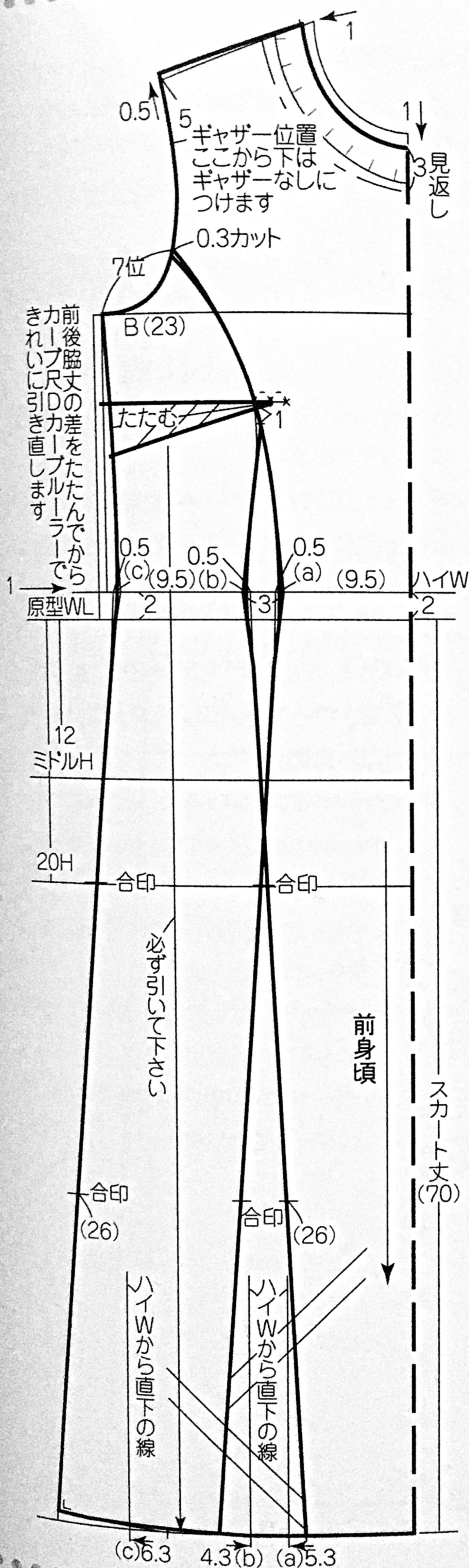
4 ハイWの印を裾まで直下し、(abc)それぞれに裾を出し、W寸法の0.5外側と結び、H、ミドルH寸法が収まるように加減して下さい(腰の丸みを出す線)。

◎収まらない場合は(0.5)外側でなく、(0.7)(1)(1.5)と結んでH、ミドルH寸法が収まるように加減して下さい。

5 後ろ中心裾1出しハイWと結び、原型のWLから16下りあき止りにします。

・パネルラインは型紙を切り離しますと布目線が分からなくなり、裁断ができませんので必ず背中心に対し、上から下まで平行線を引きます。

・脇線は裾線$\frac{1}{3}$に直角をとり、(a)、(b)は0.5上げ、きれいな裾線を引きます。

・W+8(ゆとり分)をとりましたが、楽に着られるゆとり分です。個人差がありますので好みにより加減して下さい(若い方ですと5〜6位)。

◆袖作図寸法

腕 回 り　(27)＋7＝(34)

袖　 丈　29.5

前 A H　20.5＋2(ギャザー分)＝(22.5) $\frac{1}{10}$＝(2.2)

後ろAH　20.5＋1＋2(ギャザー分)＝(23.5)

◆製図順序(前身頃)

後ろWと裾線の決めかた

$\frac{B}{4}$　(23)
$\frac{W}{4}$　(19)
裾幅　(35)

差4＝3(パネル線) 1(脇)
差16÷3＝5.3 (a)5.3　(b)4.3　(c)6.3

1 スカート丈70を引き原型を写し、2上にハイWLを引きます。

2 B(23)をハイWLまで直下します。

3 ハイWLにW(19)の $\frac{1}{2}$(9.5)を印し、パネル線3印し、$\frac{W}{2}$(9.5)を印します。

4 裾にハイW直下の印をし、(abc)それぞれに裾を出し、W寸法の0.5外側を案内線として結び、H、ミドルH寸法が収まるかを確かめ、カーブ尺で結び直します。
・収まらない場合は後ろ製図の(◎)を見て加減して下さい。

5 脇線は裾線 $\frac{1}{3}$に直角をとり、(a)、(b)は0.5上げ、きれいな裾線を引きます。
・パネルラインの布目線は前中心線に対し上から下まで必ず平行線を引きます。

キュロットスカート —— 美しく映えるH寸法の計算のしかた

◆用　　尺　110幅150cm/150幅150cm

◆作図寸法

W　　68+2（いせ分）=70 $\frac{1}{4}$=17.5

H　　94+6（ゆとり分）=100 $\frac{1}{4}$=25

股上　26+1（ゆとり分）=27

キュロットスカート丈　62

◆製図順序（前から）

① キュロットスカート丈（62）がWLになります。

② 股上寸法（27）を引きます。

③ $\frac{H}{4}$（25）をイ～ロ、ハ～ニ、へとり結び、裾まで直下します。

④ 股下寸法イから（11.5）出し、裾まで直下します。

⑤ WLハから0.7入り、股上$\frac{1}{3}$と結びます。

⑥ 股上$\frac{1}{3}$と股下線を結び、45度の線$\frac{1}{3}$に前股下線を引きます。

⑦ 裾幅3.5出しWから$\frac{1}{3}$（▲）と結び、WLより少し上まで出しておきます（裾と結んだ線）。

⑧ 脇線の裾$\frac{1}{3}$に直角をとり、きれいな裾線に引き直します。

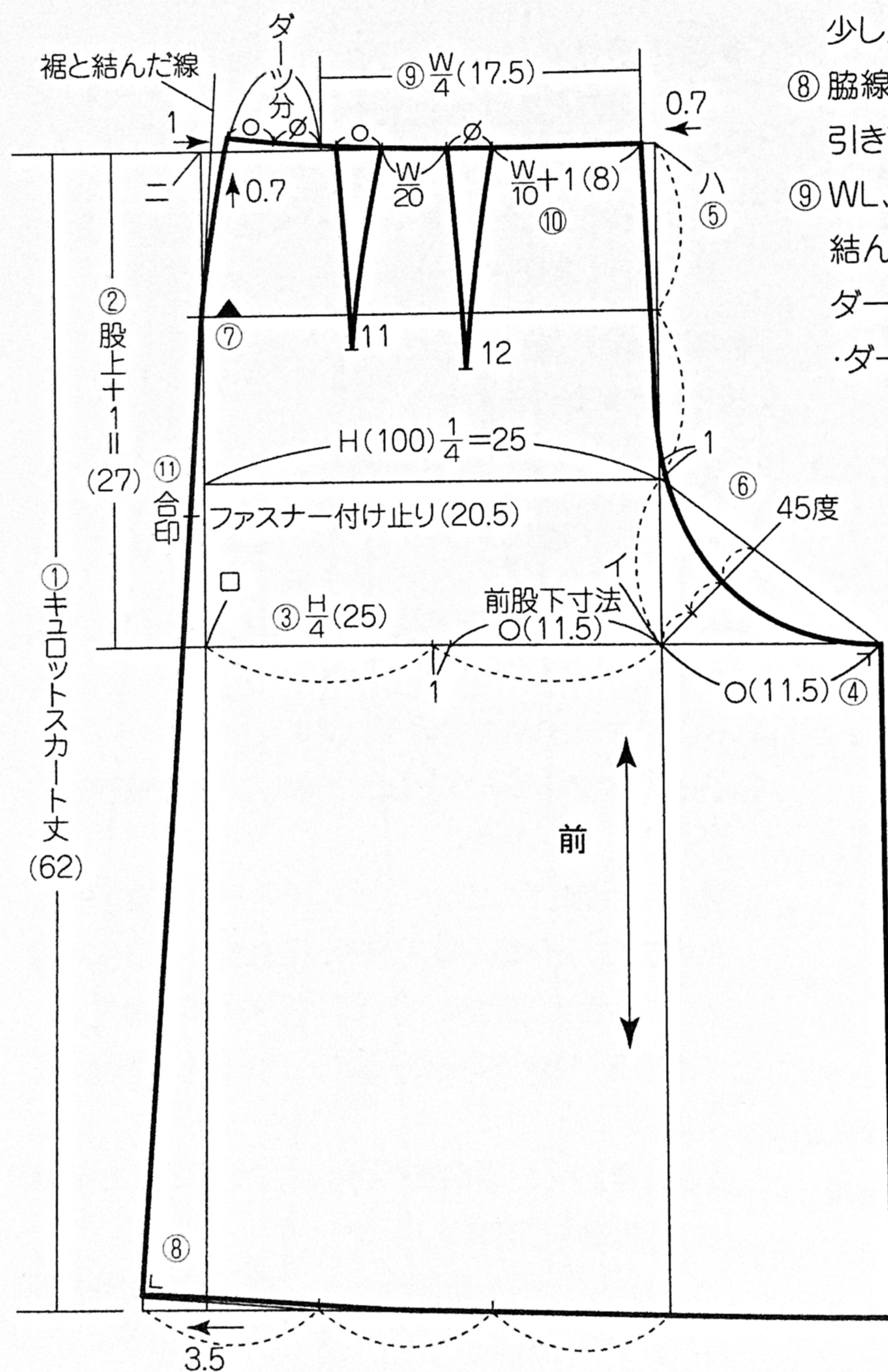
⑨ WL、前中心から$\frac{W}{4}$（17.5）を印し、脇（裾と結んだ線）から1入り印し、0.7上に、残りをダーツにします。

・ダーツ分3.5位までは1本にします。

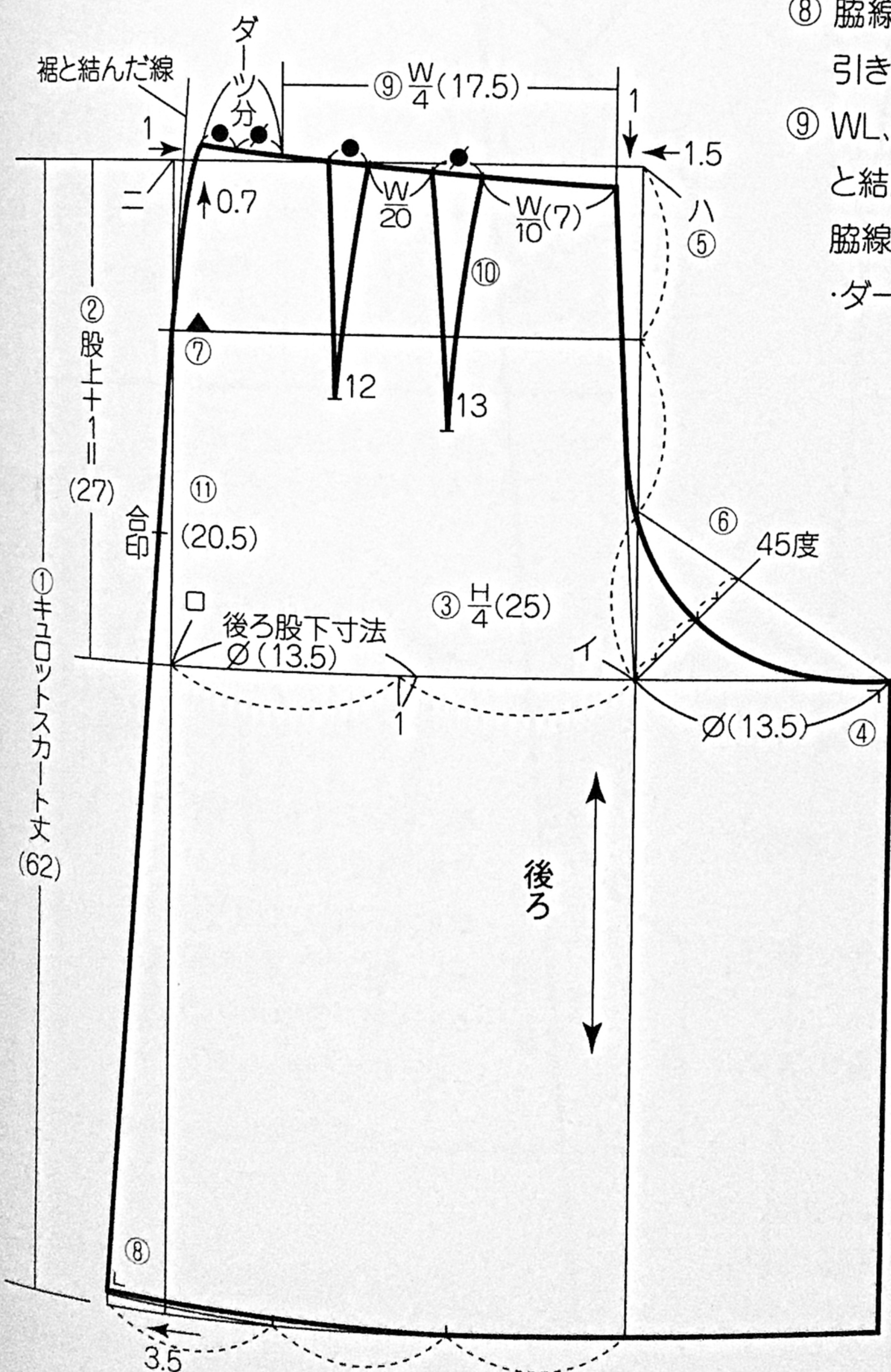
⑩ 前中心より$\frac{W}{10}$+1（8）ダーツø印し、$\frac{W}{20}$（3.5）ダーツ○を印し、カーブ尺を使って、腰の丸みを出す製図をします。

⑪ ファスナーのつけ止りをWLから20.5下り、合印します。

・ダーツ1本の場合は$\frac{W}{10}$+2=（9）印しダーツをとります。

裾と結んだ線
ダーツ分
⑨ $\frac{W}{4}$（17.5）
0.7
1
ニ
0.7
$\frac{W}{20}$
$\frac{W}{10}$+1（8）
⑩
ハ
⑤
② 股上＋1＝（27）
⑦
11
12
H（100）$\frac{1}{4}$=25
1
⑪ 合印
ファスナー付け止り（20.5）
⑥
45度
① キュロットスカート丈（62）
ロ
③ $\frac{H}{4}$（25）
前股下寸法
○（11.5）
イ
1
○（11.5）④
前
⑧
3.5

(注) ベルト布とベルト芯の印のしかたは、P23のウールなど少し伸びる布用、P32の絹、綿など伸びない布用を読んで参考にして下さい。

・美しく映えるキュロット股下寸法
H+2〜6（ゆとり分）＝100 $\frac{1}{4}$（25）を前後の股下で出します。

裾と結んだ線
ダーツ分
⑨ $\frac{W}{4}$(17.5)
1
1.5
1
ニ
0.7
$\frac{W}{20}$
$\frac{W}{10}$(7)
ハ
⑤
⑩
⑦
12
13
② 股上＋1＝(27)
⑪
合印 (20.5)
⑥
45度
□
後ろ股下寸法
ø(13.5)
③ $\frac{H}{4}$(25)
イ
1
ø(13.5)
④
① キュロットスカート丈(62)
後ろ
⑧
3.5

◆製図順序（後ろ）

① ①〜③までは前キュロットスカートと同じです。

④ 股下寸法イから（13.5）出し、裾まで直下します。

⑤ WLハから1.5入り、股下線イと結びます。

⑥ 股上 $\frac{1}{3}$ と股下線を結び、45度の線 $\frac{2}{5}$ に後ろ股下線を引きます。

⑦ 裾幅3.5出しWから $\frac{1}{3}$（▲）と結び、WLより少し上まで出しておきます（裾と結んだ線）。

⑧ 脇線、裾 $\frac{1}{3}$ に直角をとり、きれいな裾線に引き直します。

⑨ WL、後ろ中心から $\frac{W}{4}$（17.5）を印し、脇（裾と結んだ線）から1入り印し、0.7上にして、脇線WLを引きます。

・ダーツ分3.5位までは1本にします。

⑩ 後ろ中心より $\frac{W}{10}$(7) ダーツ● 印し、$\frac{W}{20}$(3.5) ダーツ ● を印し、カーブ尺を上手に使って腰の丸みを出す製図をします。

⑪ ファスナーのつけ止りをWLから20.5下り、合印します。

・ダーツ1本の場合は $\frac{W}{10}$+1＝(8) 印しダーツをとります。

ムームー —— 袖を2点製図しました 好みで楽しんで下さい

◆**用　　尺**　110幅270cm/150幅170cm

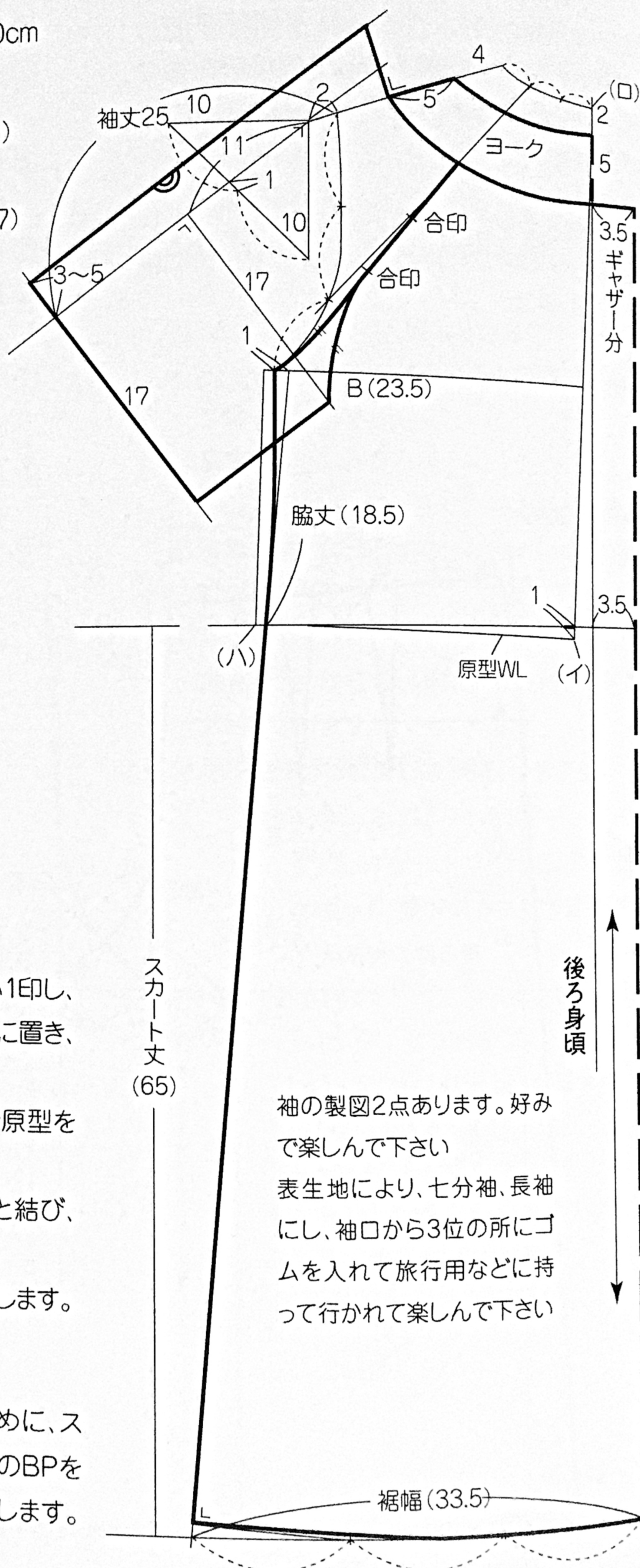
◆**作図寸法**

B　84+10(ゆとり分)=$94\frac{1}{4}$=(23.5)

丈　Wから65

腕回り　27+7(ゆとり分)=$34\frac{1}{2}$=(17)

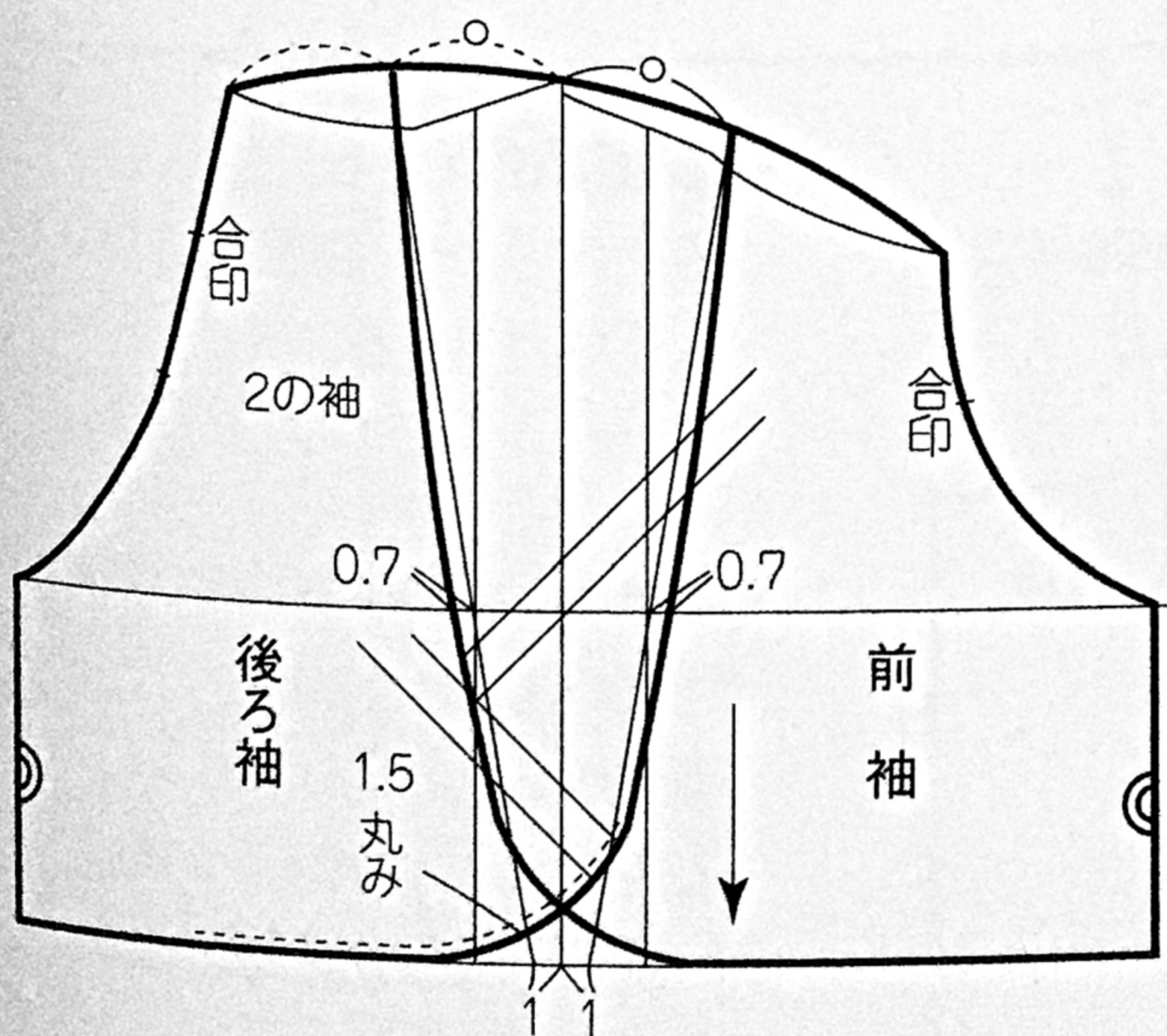
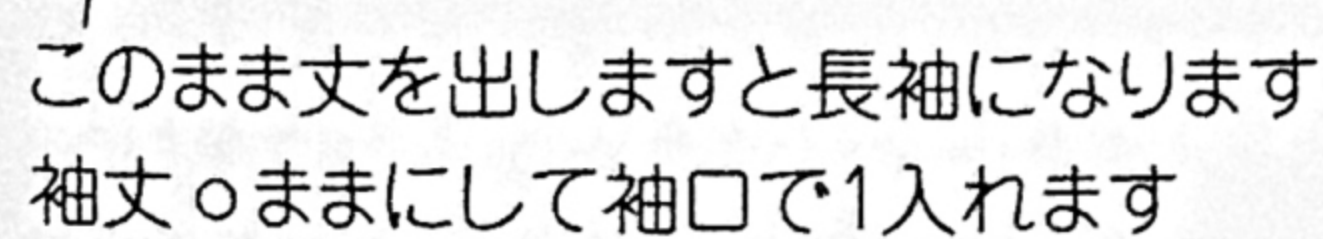
袖丈　25

袖の製図2点あります。好みで楽しんで下さい
表生地により、七分袖、長袖にし、袖口から3位の所にゴムを入れて旅行用などに持って行かれて楽しんで下さい

◆**製図順序(後ろから)**

1 スカート丈65を引き原型のWL後ろ中心1印し、(イ)(ロ)(ハ)がそれぞれ線に合うように置き、原型を写します。
　・スカートの後ろWLの下りを製図上で原型を倒し1カットします。
2 B(23.5)を印し1内側と裾幅(33.5)と結び、カーブ尺でB(23.5)と引き直します。
3 原型の衿ぐり$\frac{1}{3}$とAH$\frac{1}{3}$を結び、案内線とします。

◆**製図順序(前身頃)**

1 少し大きくあく衿ぐりを美しく着るために、スカート丈を引き、前中心線を引き、原型のBPをマチ針でおさえ0.5前に倒し、原型を写します。
2 後ろと同じに引きます。

衿あき
頭回り(58)必要寸法なので、あきが少ない場合は、前中心縫目にしてファスナー30をつけて下さい。
・衿あきが少ない場合は原型を倒さないで下さい。

○袖下をわに裁ち、一枚の袖にします。
○三ッ巻きミシン、又はよりぐけに。
○袖山の中心線、合印をつけます。

キュロットスカート ── ゴム入りなので夏の日常着や旅行などに

◆用　　尺　110幅140cm/150幅140cm

◆作図寸法

W　68

H　94＋10（ゆとり分）＝104 $\frac{1}{4}$＝26

股上　26＋1（ゆとり分）＝27

キュロットスカート　丈55

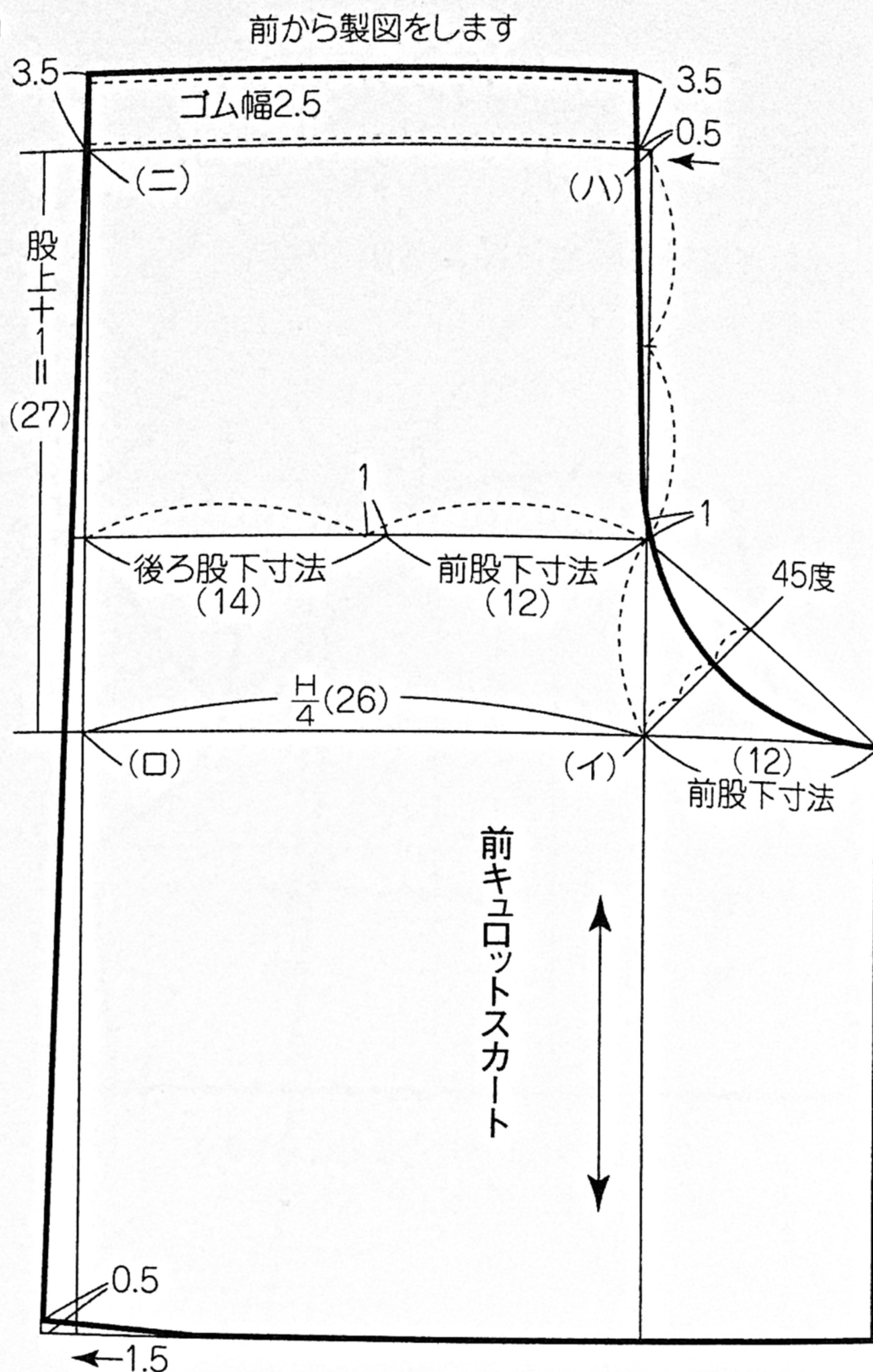
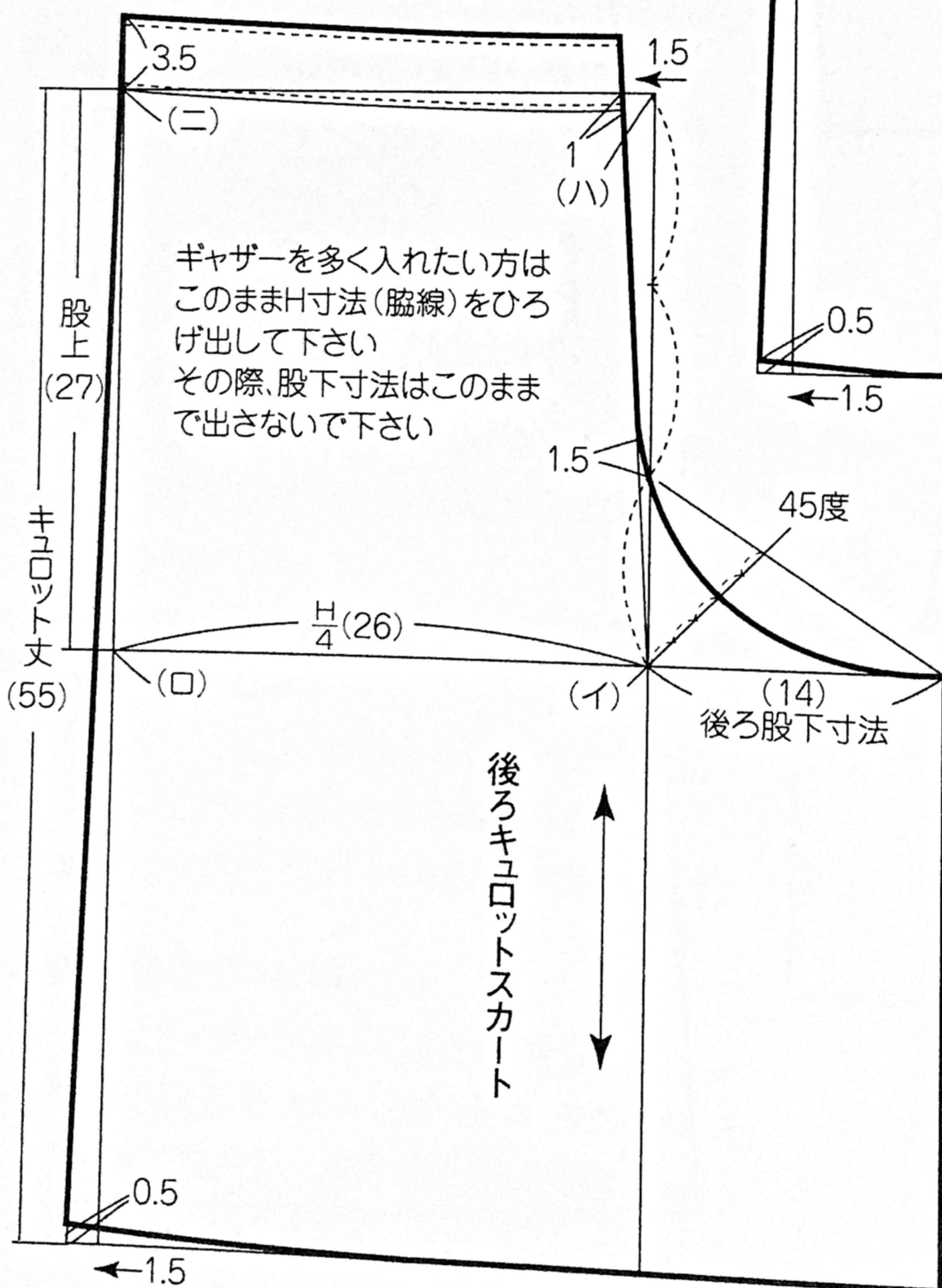
◆製図順序（前から）

1 $\frac{H}{4}$(26)を（イ）～（ロ）、（ハ）～（ニ）へとり、結び裾まで直下します。

2 股下寸法（イ）から12出し裾まで直下します。

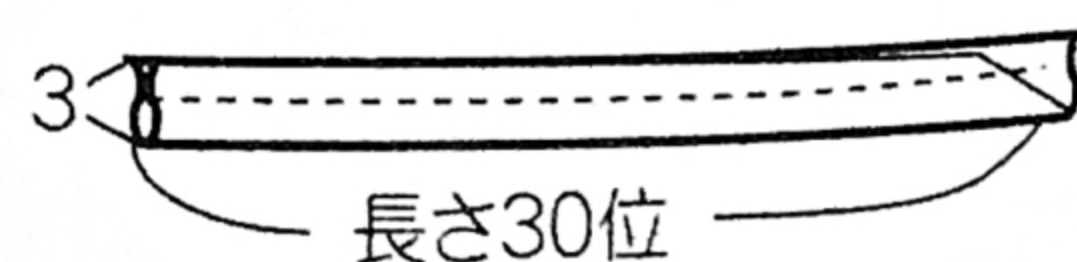
3 裾幅1.5出し、（ニ）と結び3.5ゴム幅分を出します。

4 （ハ）から0.5入り、股上 $\frac{1}{3}$ と結びます。

5 45度の $\frac{1}{3}$ に前股下線を引きます。

◆製図順序（後ろ）

1 前と同じように製図をし、（ハ）で1.5入り1下げる。

・後ろ中心にゴム紐の取り替え口をあけておきます。

・前後の印共布のりぼん（バイヤス布、二度ミシン縫い）

前中心（ハ）につけます。ウエストゴムのため前後の区別になるように。

マイエプロン ── 黒レース、白レースなどでロング丈でも楽しんで下さい

◆用　　尺　110幅160cm/150幅110cm

◆作図方法（ゆとり分を入れたもの）

B　84+10=94

H　$94\frac{1}{4}$=(23.5)

エプロン丈　Wから56

・カーブ尺の使いかた
あくまでもBとHと背丈などの割合によって、カーブ尺の使用箇所が違いますが使いかたを覚えてください。

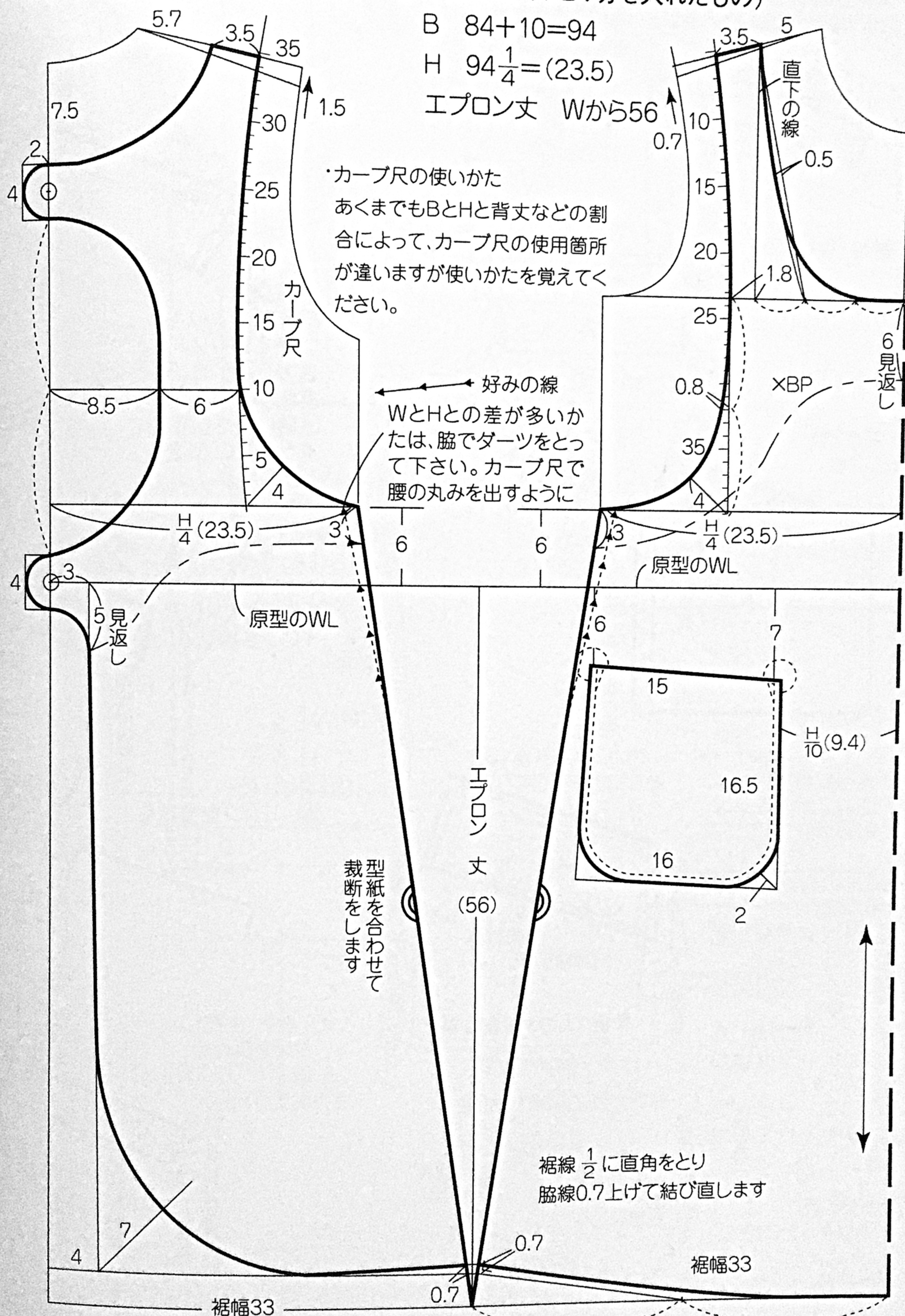
好みの線

WとHとの差が多いかたは、脇でダーツをとって下さい。カーブ尺で腰の丸みを出すように

型紙を合わせて裁断をします

裾線$\frac{1}{2}$に直角をとり
脇線0.7上げて結び直します

5.7　3.5　35　1.5　7.5　2　4　30　25　20　15　10　5　4　カーブ尺　8.5　6　$\frac{H}{4}$(23.5)　3　6　6　4　3　5　見返し　原型のWL　エプロン丈(56)　7　4　裾幅33　0.7　0.7

3.5　5　直下の線　0.5　0.7　10　15　20　1.8　25　6　見返し　0.8　×BP　35　4　3　$\frac{H}{4}$(23.5)　原型のWL　6　7　15　$\frac{H}{10}$(9.4)　16.5　16　2　裾幅33

箱ポケットの作りかた

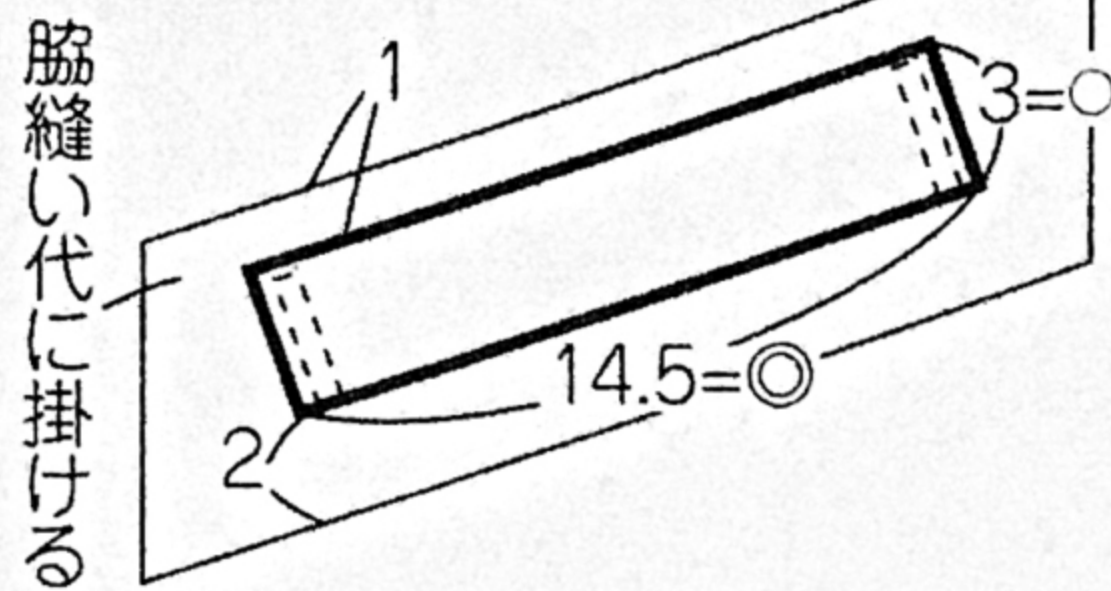
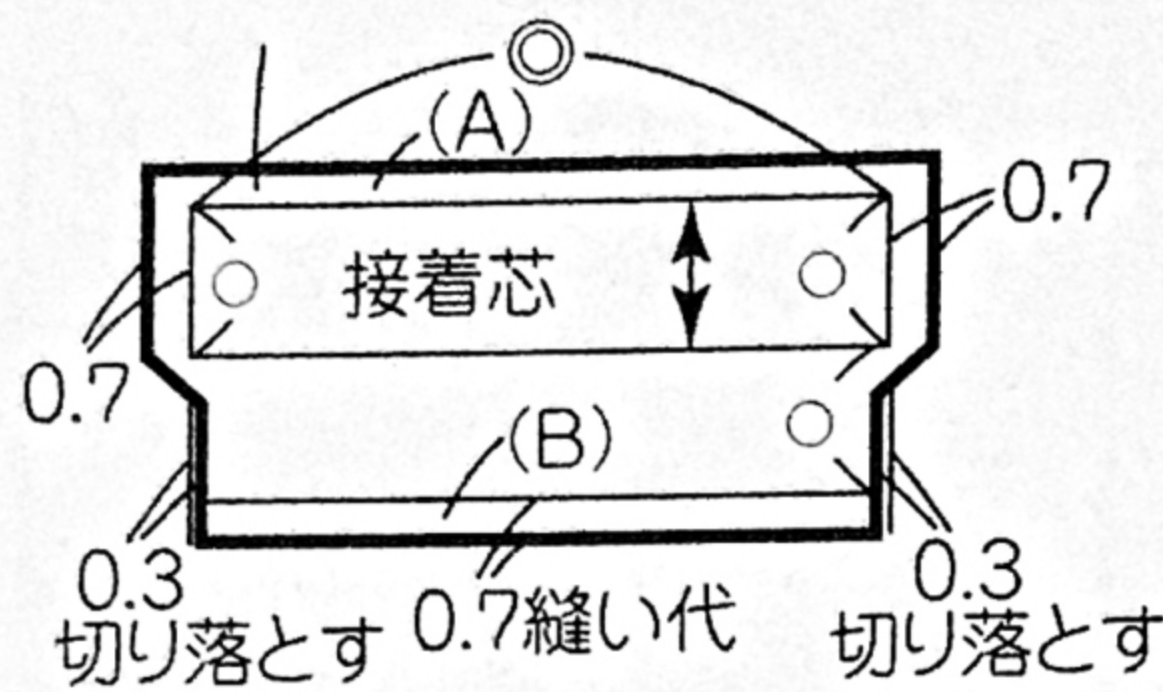
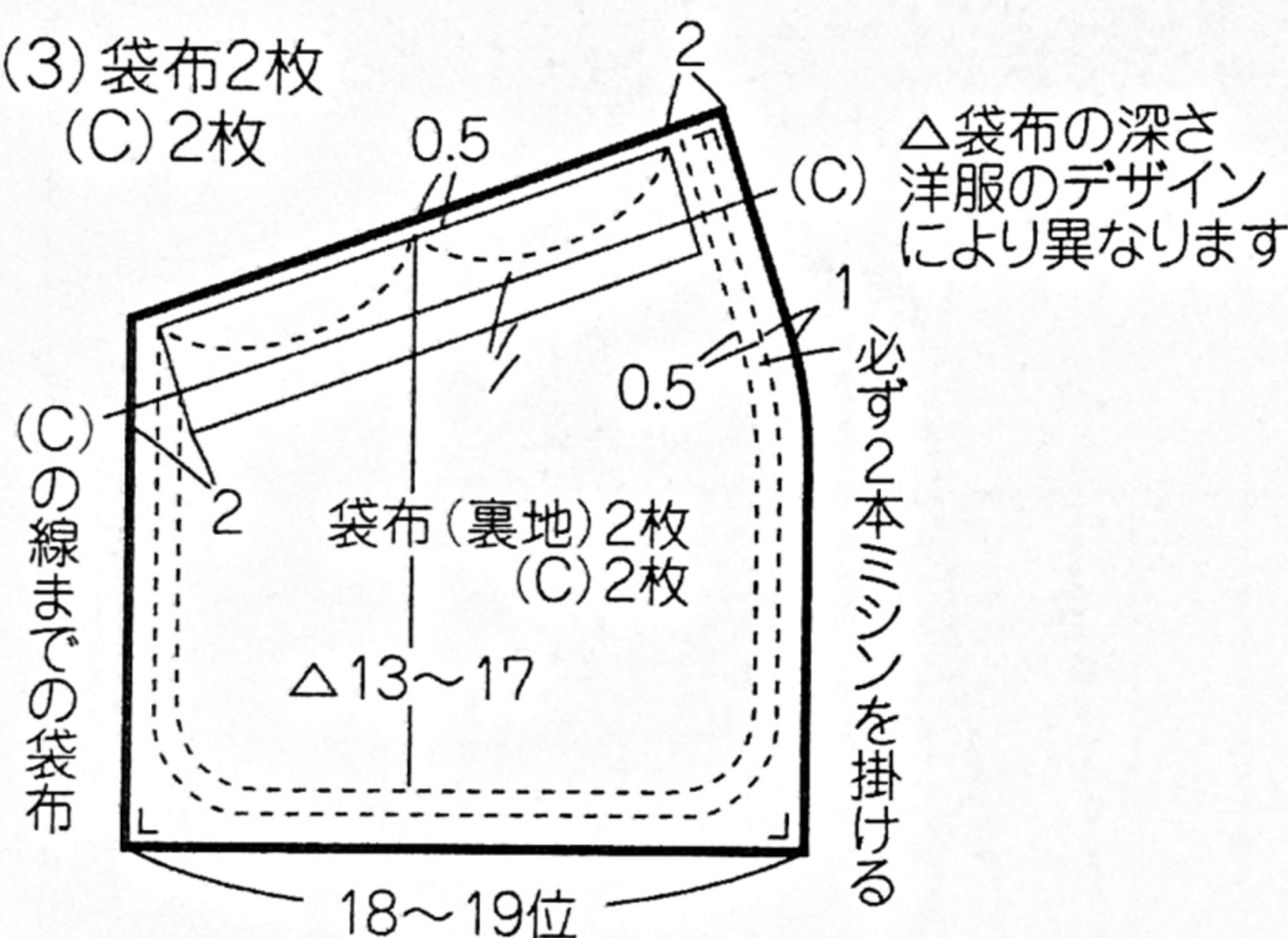
(1) 接着芯2枚
身頃の裏に接着芯をはる

前身頃の芯に重ねる(1.5位)
脇縫い代に掛ける
1
3=○
14.5=◎
2

(2) 箱布(共布)2枚

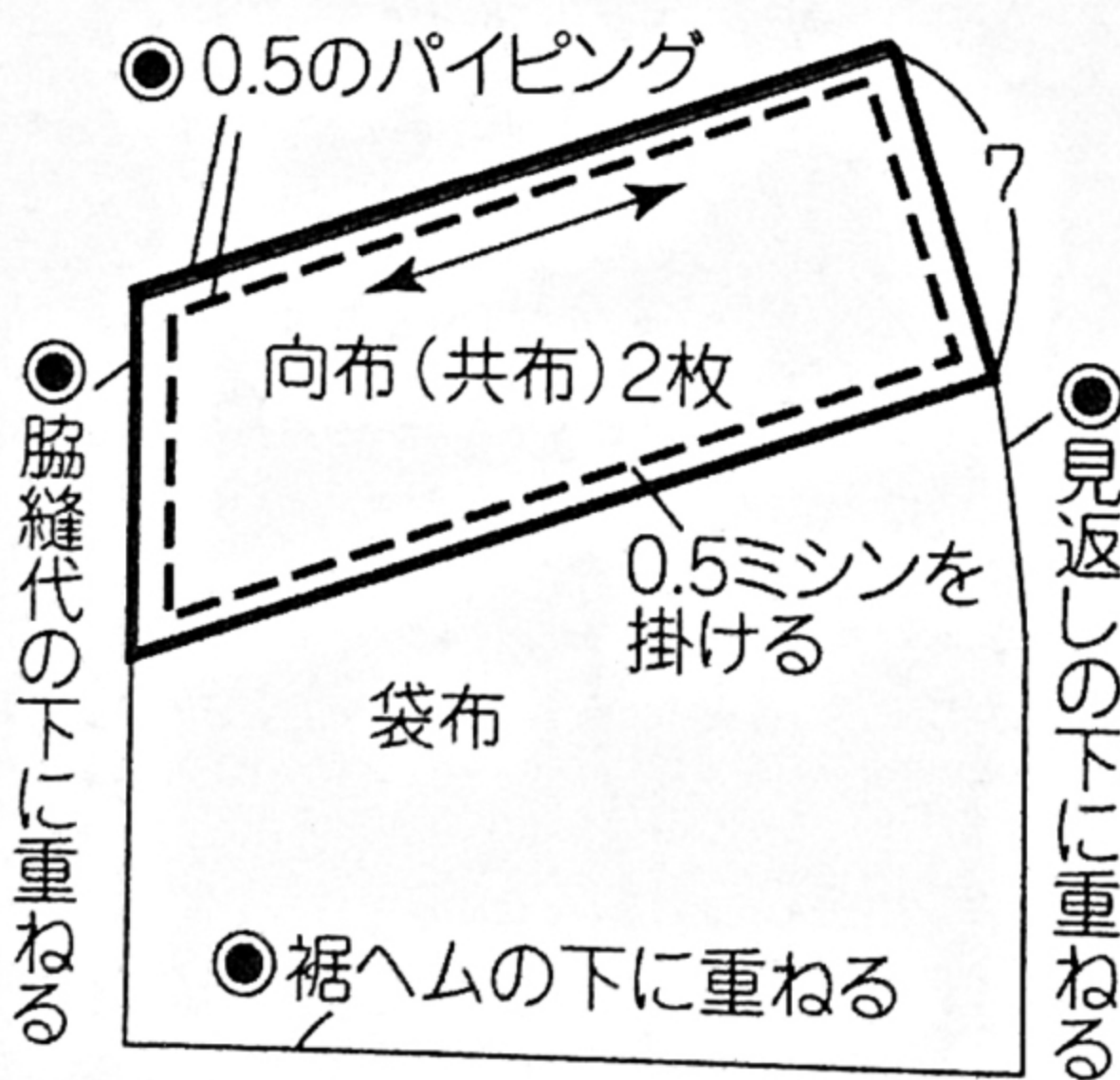
◎
(A)
接着芯
0.7
0.7
(B)
0.3 切り落とす
0.7縫い代
0.3 切り落とす

(3) 袋布2枚
(C)2枚

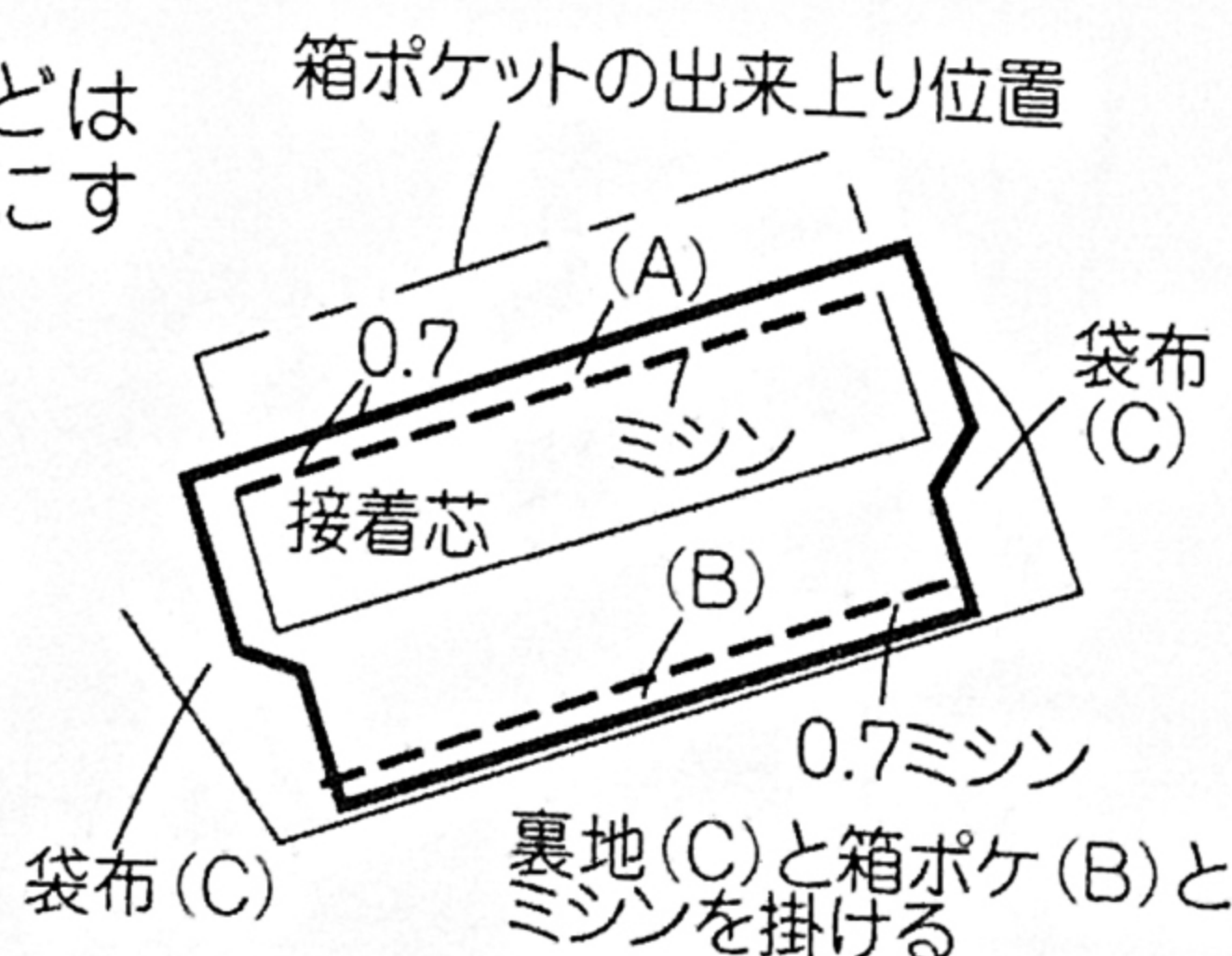
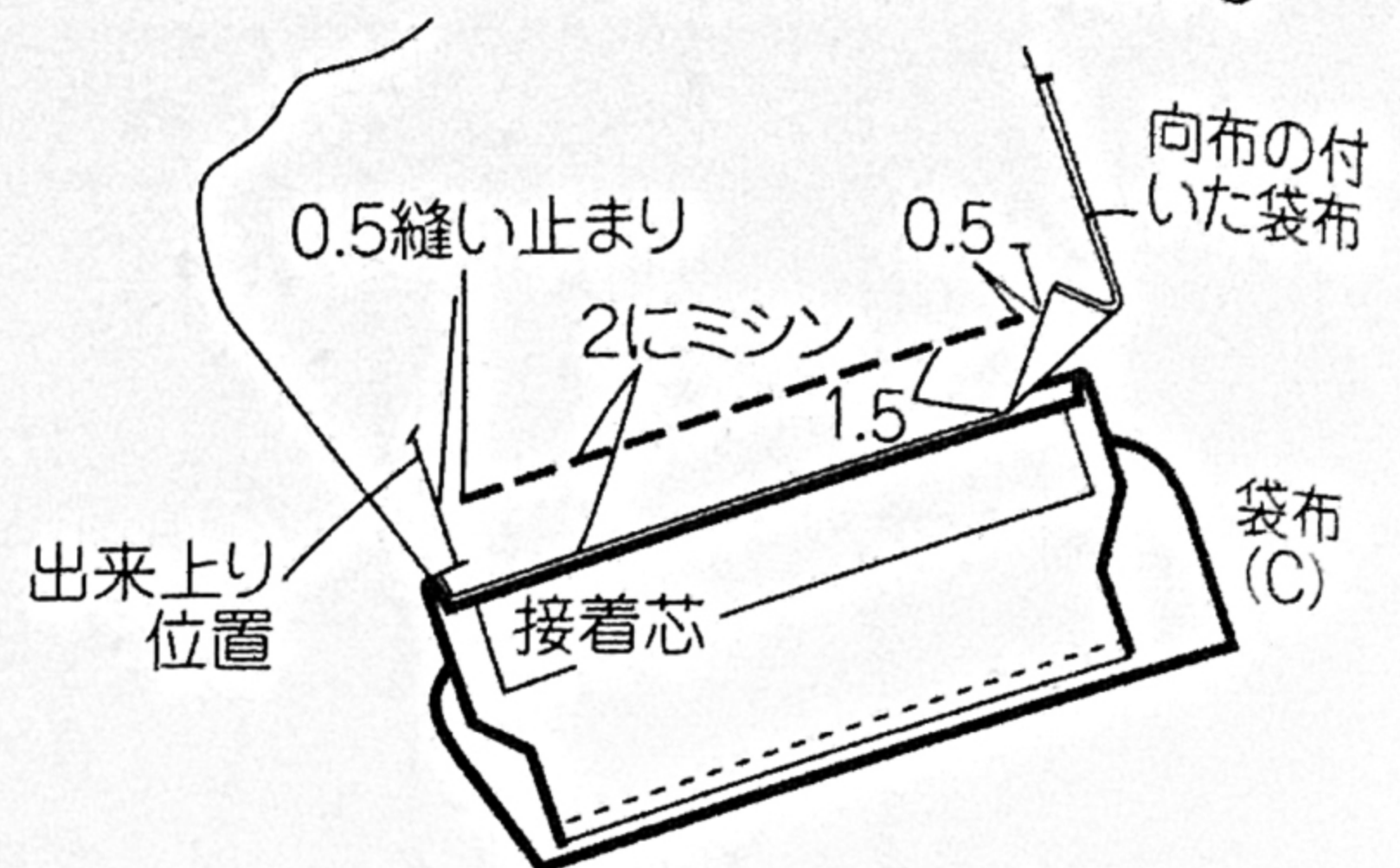
0.5
2
(C)
△袋布の深さ洋服のデザインにより異なります
1
0.5
必ず2本ミシンを掛ける
(C)の線までの袋布
2
袋布(裏地)2枚
(C)2枚
△13〜17
18〜19位

(4) 袋布に向布をノリではりつけ、ミシンを掛ける

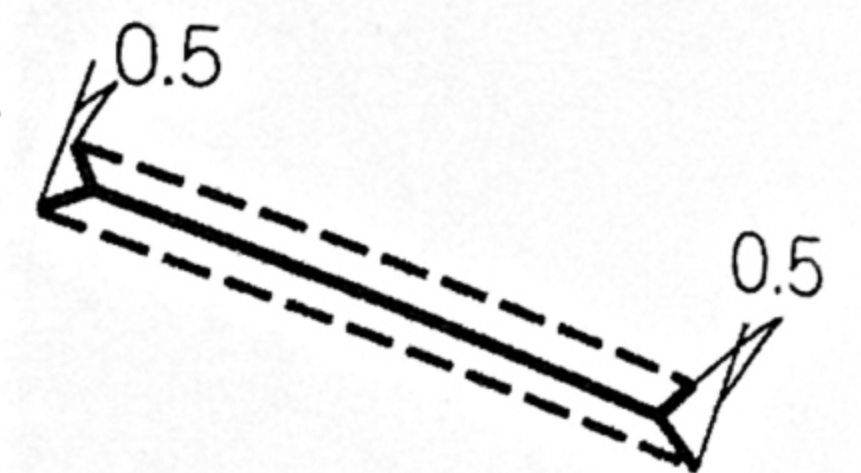
◉0.5のパイピング
7
◉脇縫代の下に重ねる
向布(共布)2枚
◉見返しの下に重ねる
0.5ミシンを掛ける
袋布
◉裾ヘムの下に重ねる

◉裏地の付かない洋服の場合
・袋布は共布を大きめに裁って使う
◉重ねることの出来ない場合
・ポケット布の周りをパイピング又はロックにする
・合いコートなどはフウキン仕立にする

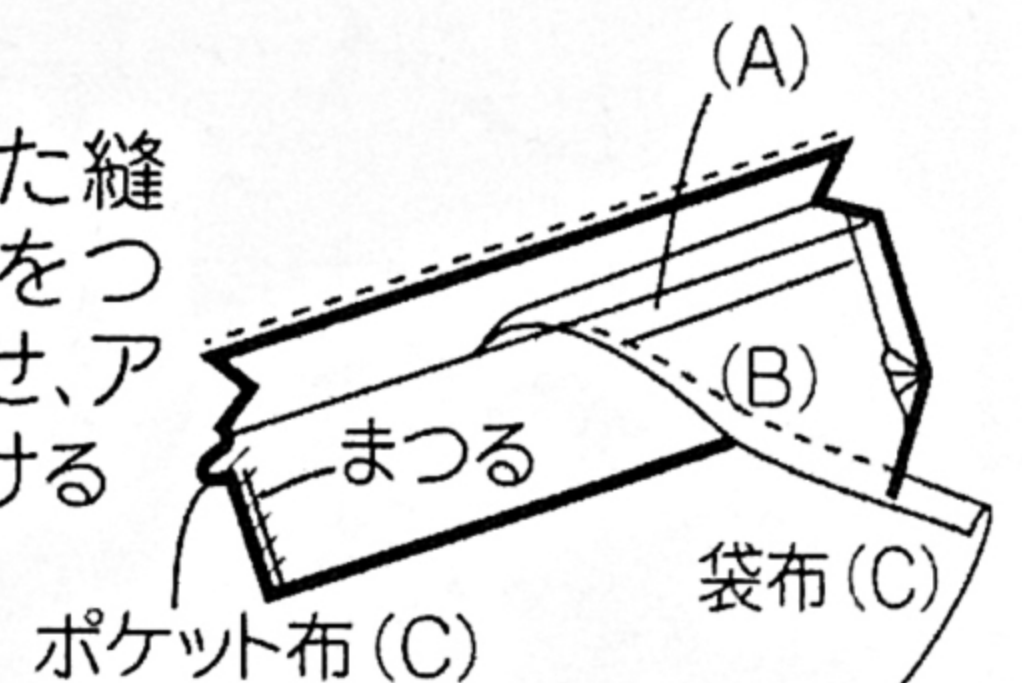
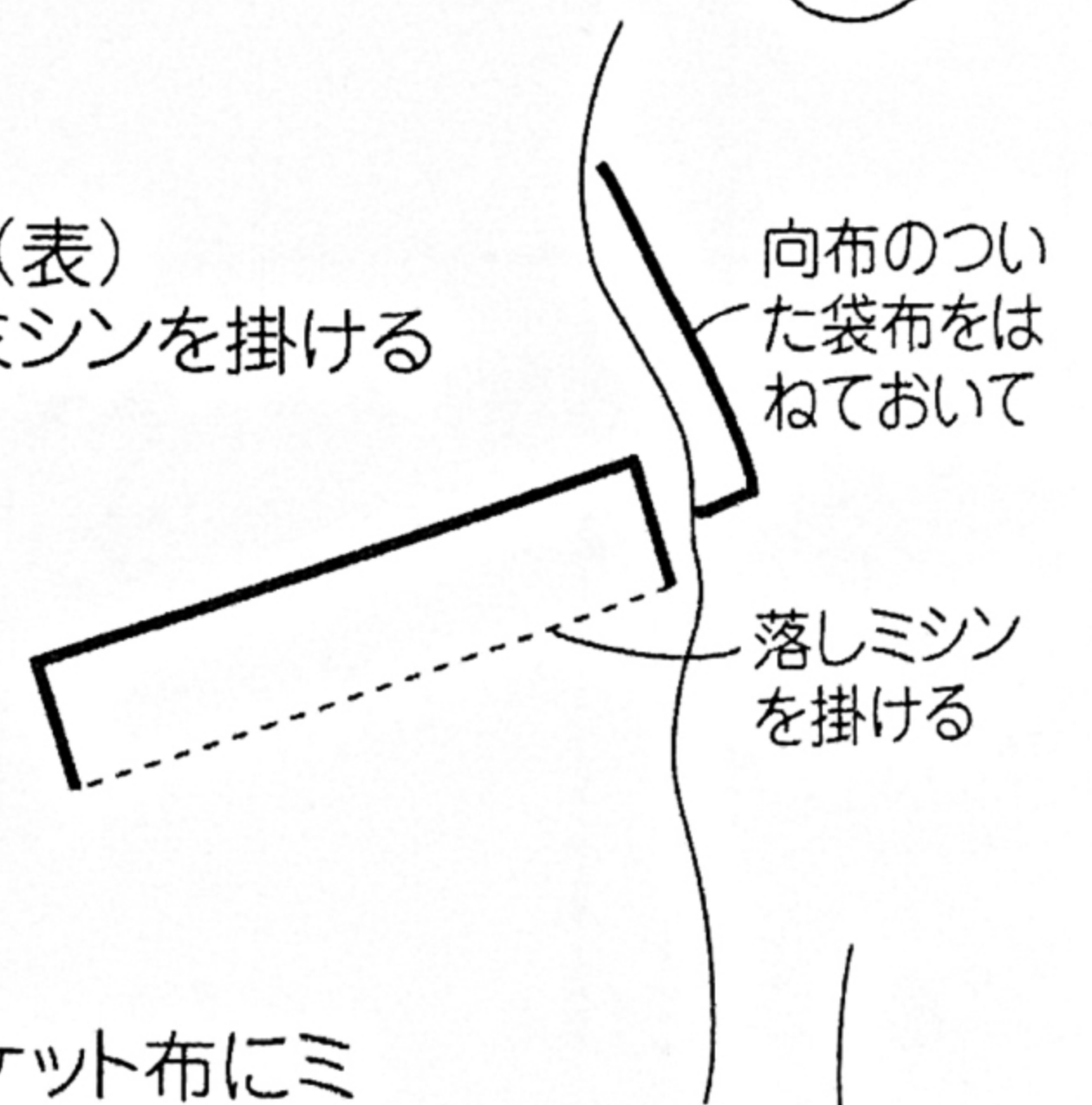
(5) 身頃(表)
箱ポケットの口(A)にミシンを掛ける

箱ポケットの出来上り位置
(A)
0.7
7
ミシン
袋布(C)
接着芯
(B)
0.7ミシン
袋布(C)
裏地(C)と箱ポケ(B)とミシンを掛ける

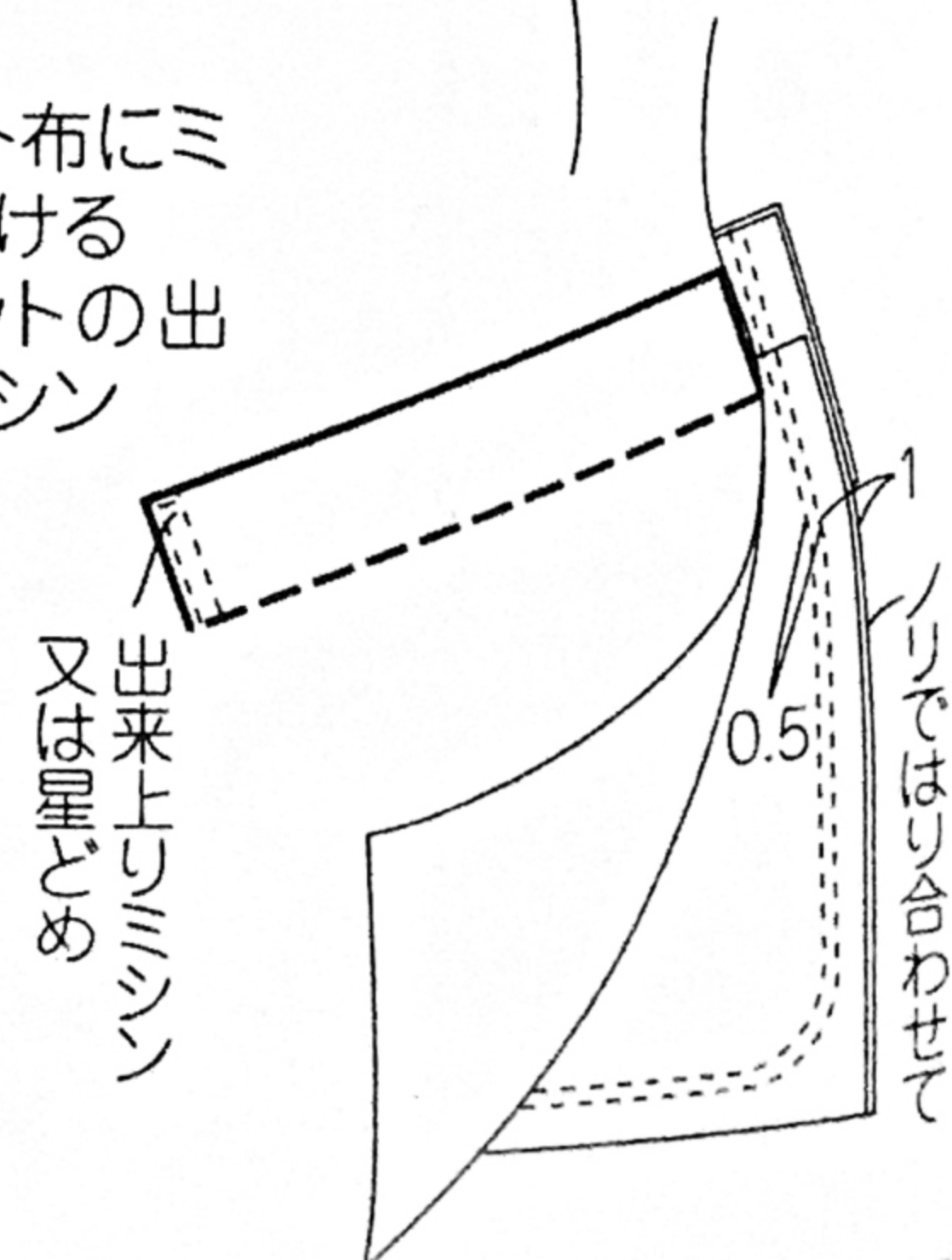
(6) 向布のついた袋布にミシンを掛ける

向布の付いた袋布
0.5縫い止まり
0.5
2にミシン
1.5
出来上り位置
接着芯
袋布(C)

(7) 身頃(裏)
4箇所へノリをつけて切り込み袋布は身頃の裏側に出し箱布は縫い代を割るポケットの型をととのえる

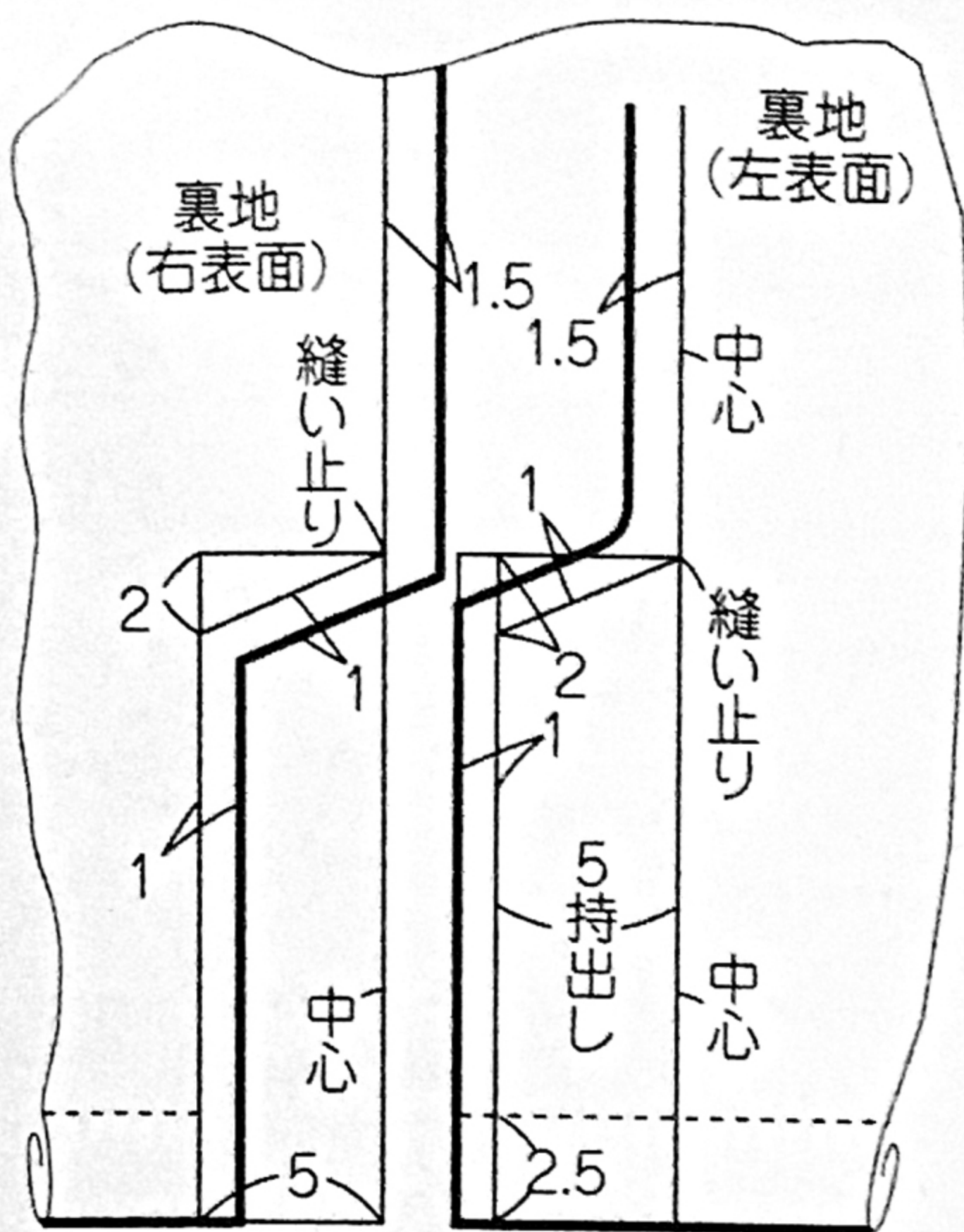
0.5
0.5

(8) 身頃(表)
(A)の割った縫い代にノリをつけ(B)をのせ、アイロンを掛ける

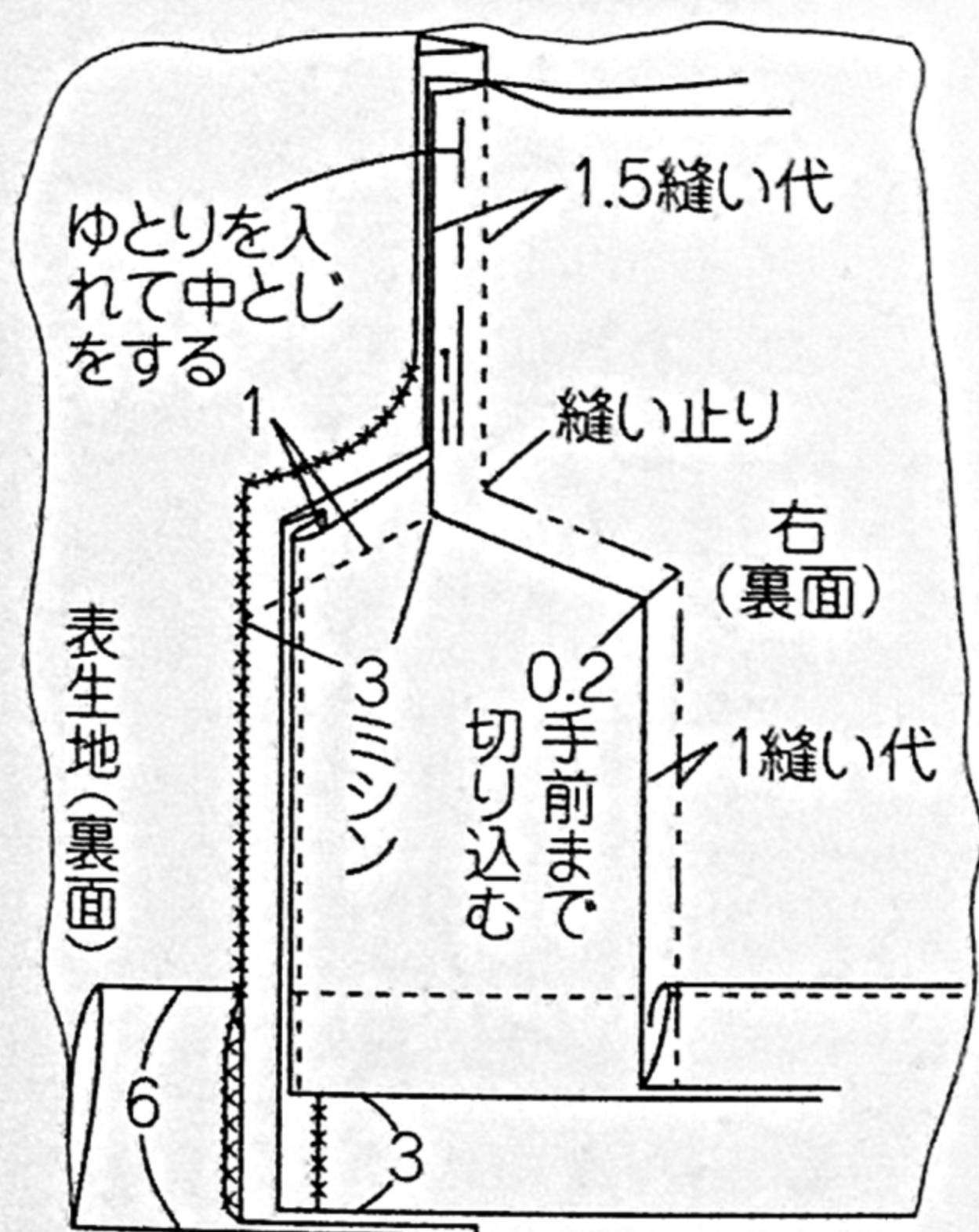
(A)
(B)
まつる
袋布(C)
ポケット布(C)

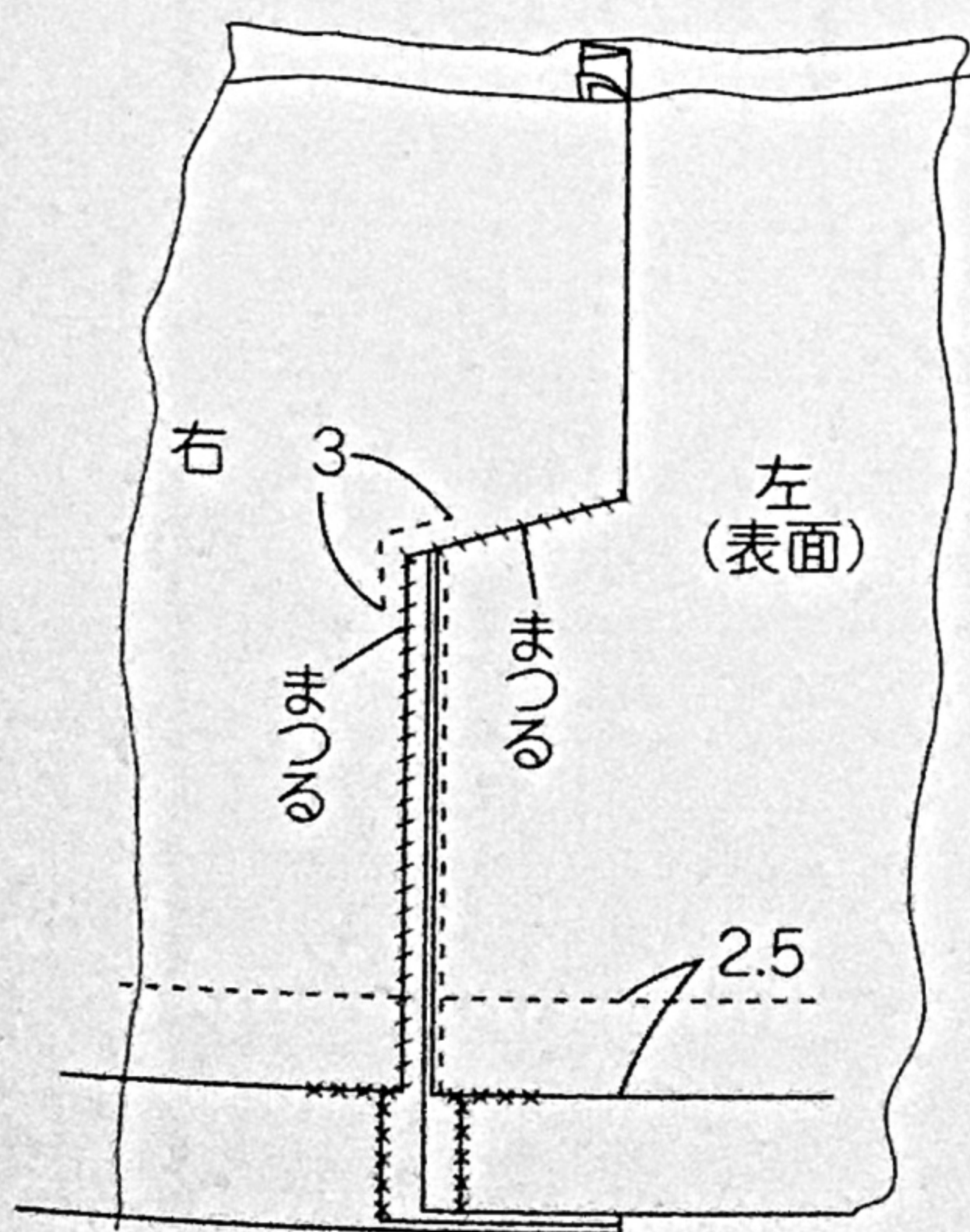
(9) 身頃(表)
落しミシンを掛ける

向布のついた袋布をはねておいて
落しミシンを掛ける

(10) ポケット布にミシンを掛ける
箱ポケットの出来上りミシン

1
0.5
出来上りミシン又は星どめ
ノリではり合わせて

タイトスカートベンツの作りかた

①裏地は後ろ中心を表生地より0.5～1長く裁っておく(表生地の伸びと縫い縮み分)

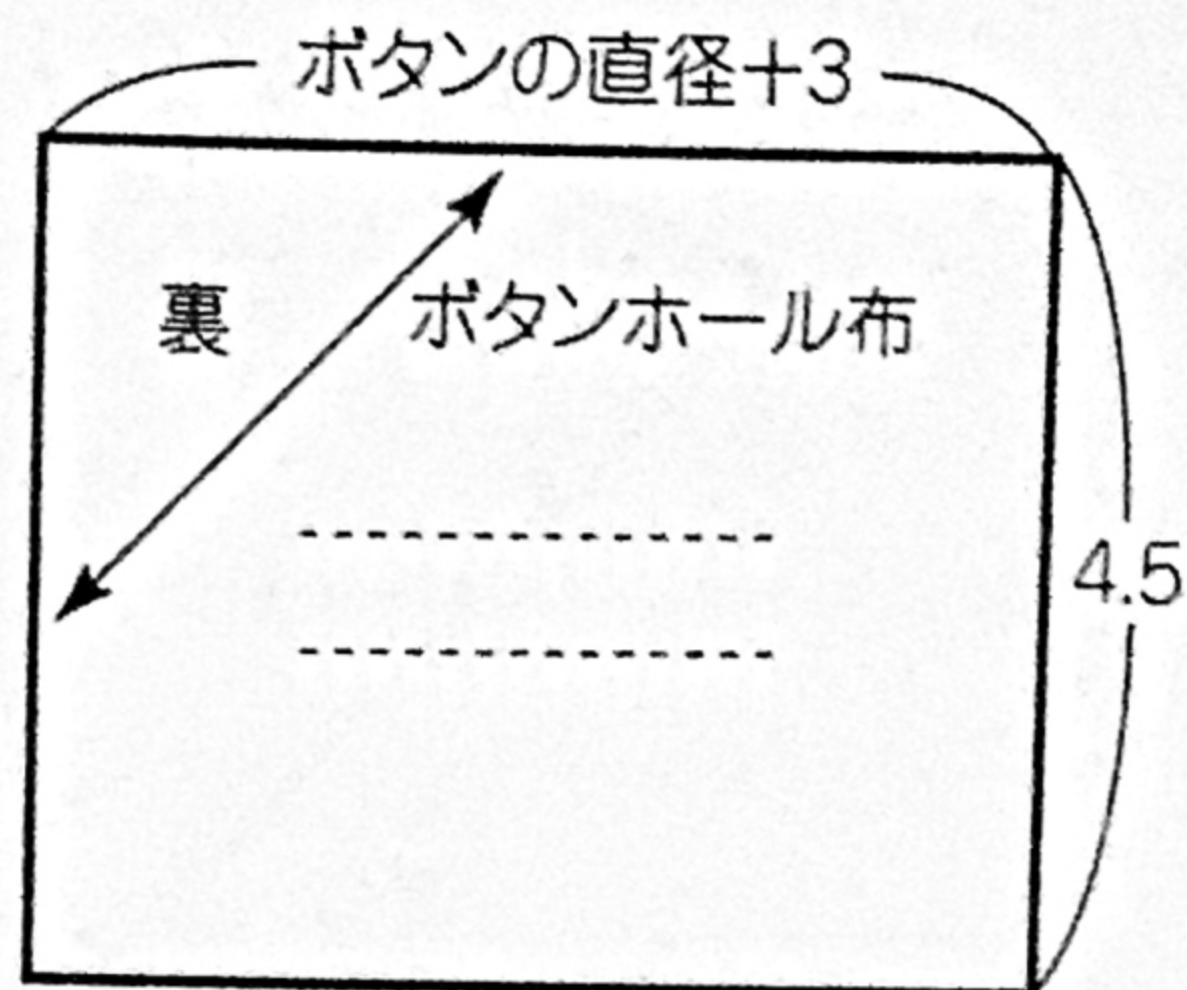
裏地(右表面)
縫い止り
1.5
2
1
1
中心
5
裏地(左表面)
1.5
中心
1
2
1
縫い止り
5持出し
中心
2.5

②裏地の縫い止りと表と合わせて表にひびかないように中とじをする(裏表のWをマチ針でとめて)

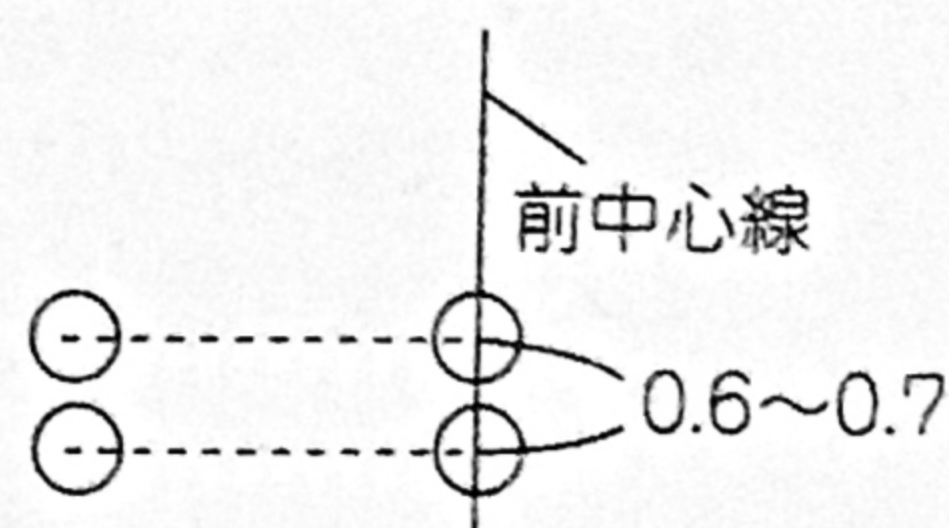
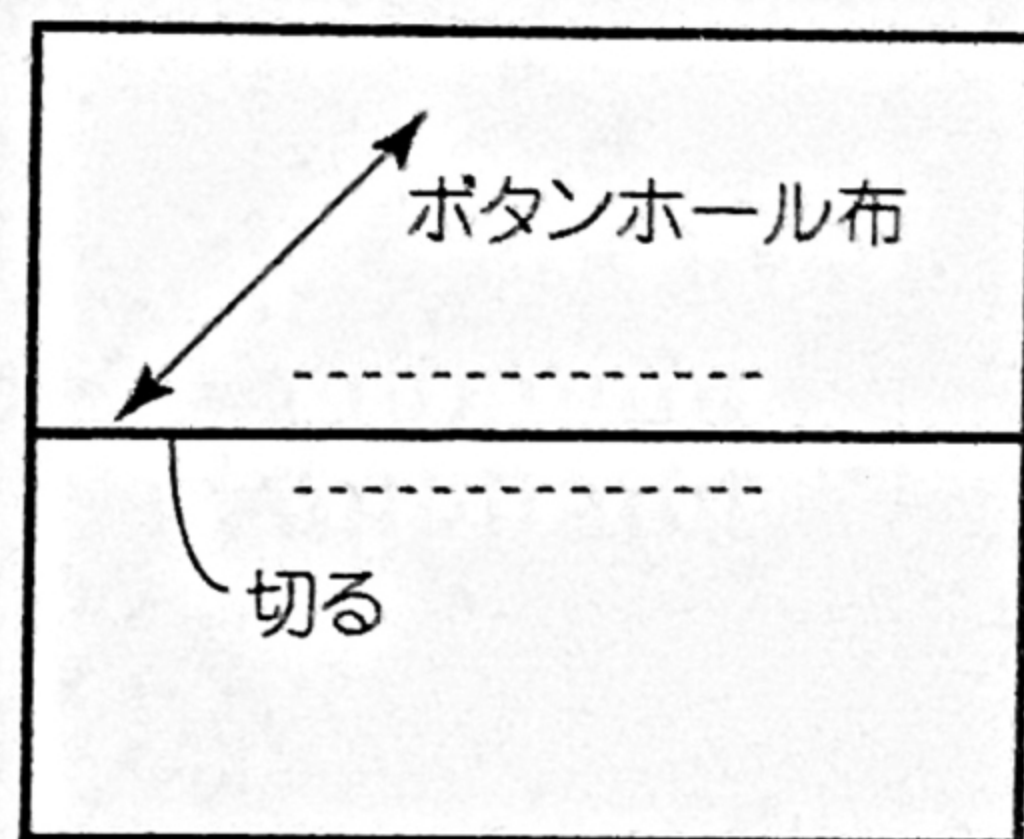
ゆとりを入れて中とじをする
1.5縫い代
縫い止り
1
右(裏面)
3ミシン
0.2手前まで切り込む
1縫い代
表生地(裏面)
6
3

③後ろベンツ出来上り図
・角がほつれやすいので縫代に星止めをする

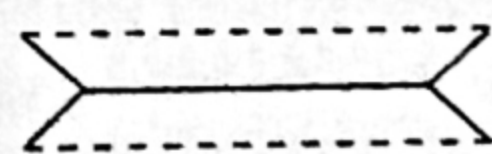
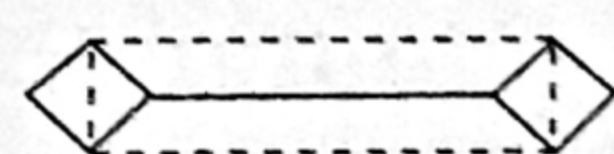
右
3
まつる
まつる
左(表面)
2.5

ボタンホールの作りかた

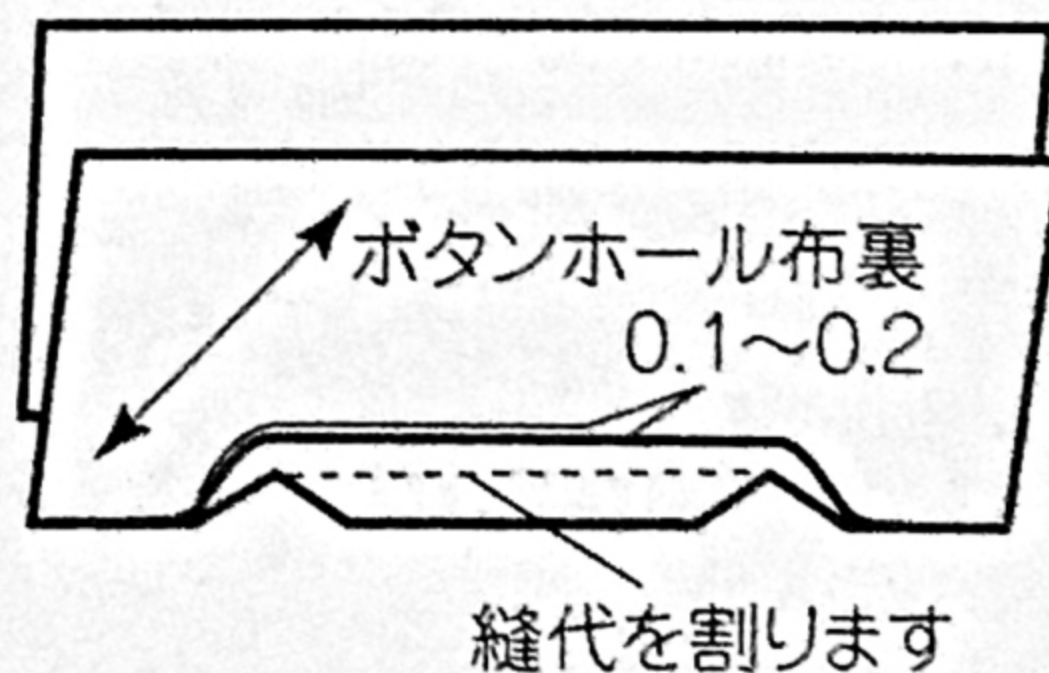
ボタンホール布にバイヤスの裏地、又は薄手の接着芯を貼り合わせて使います。

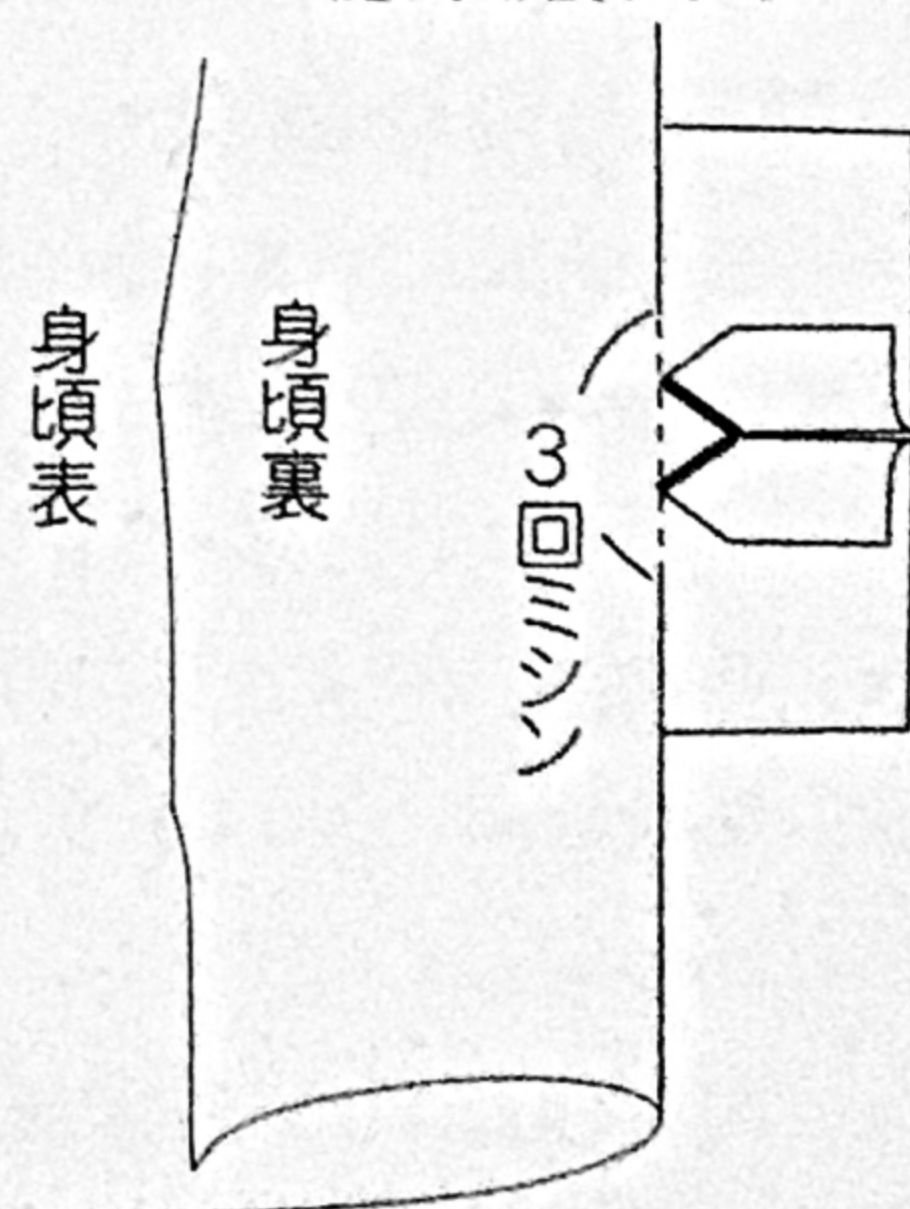
(1) 身頃とバイヤス布を中表に合わせる

ボタンの直径+3
裏
ボタンホール布
4.5

(2) 身頃の裏から二の字に縫い、二の字の四ッ角にほつれ止め用にノリをつける

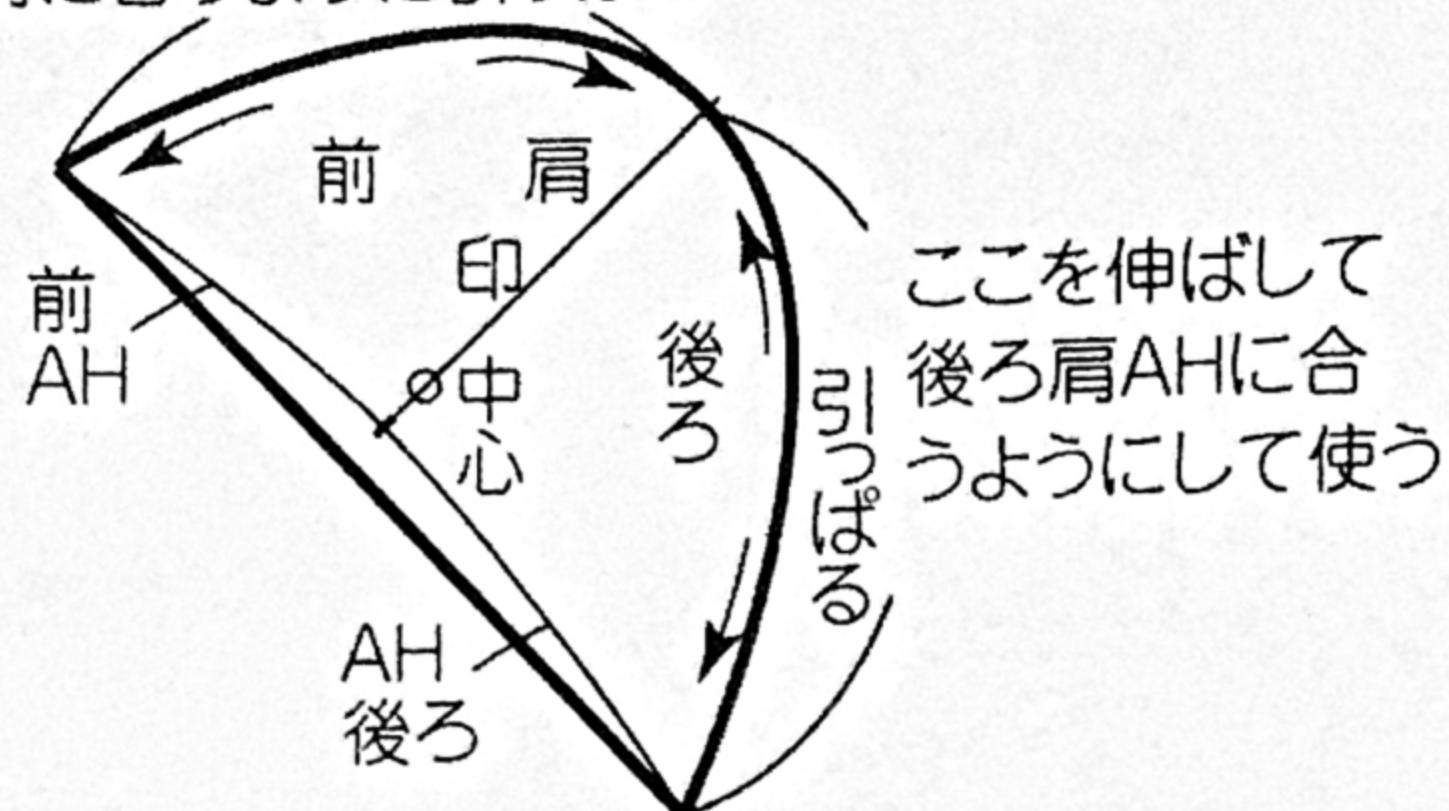
前中心線
0.6～0.7

(3) ボタンホール布の中心を切る

ボタンホール布
切る

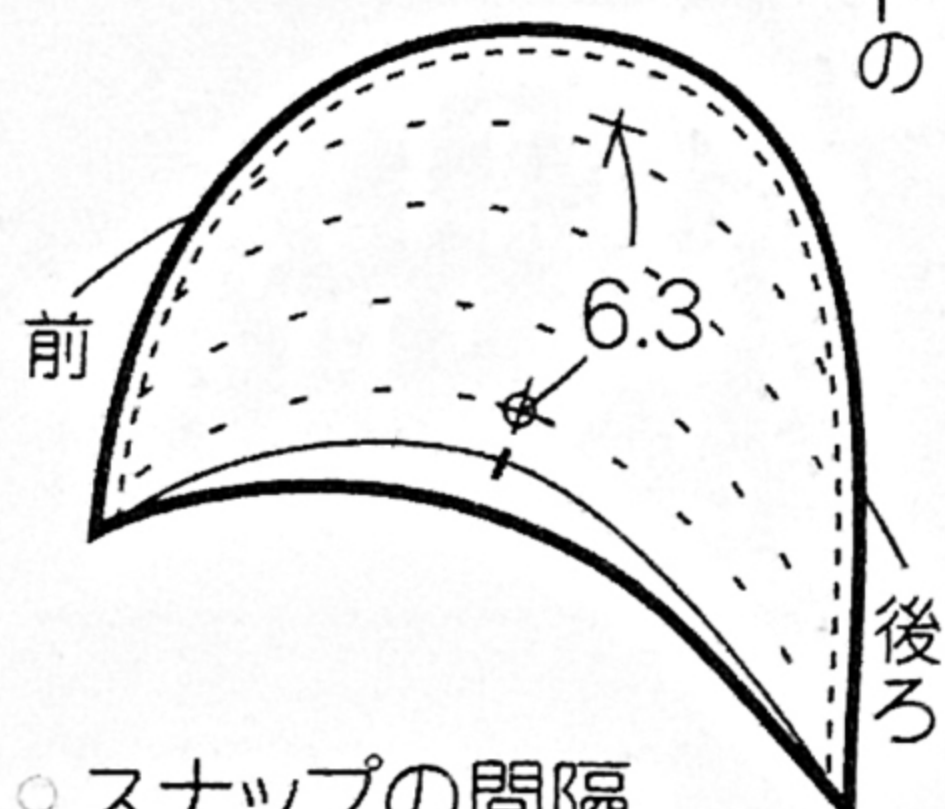
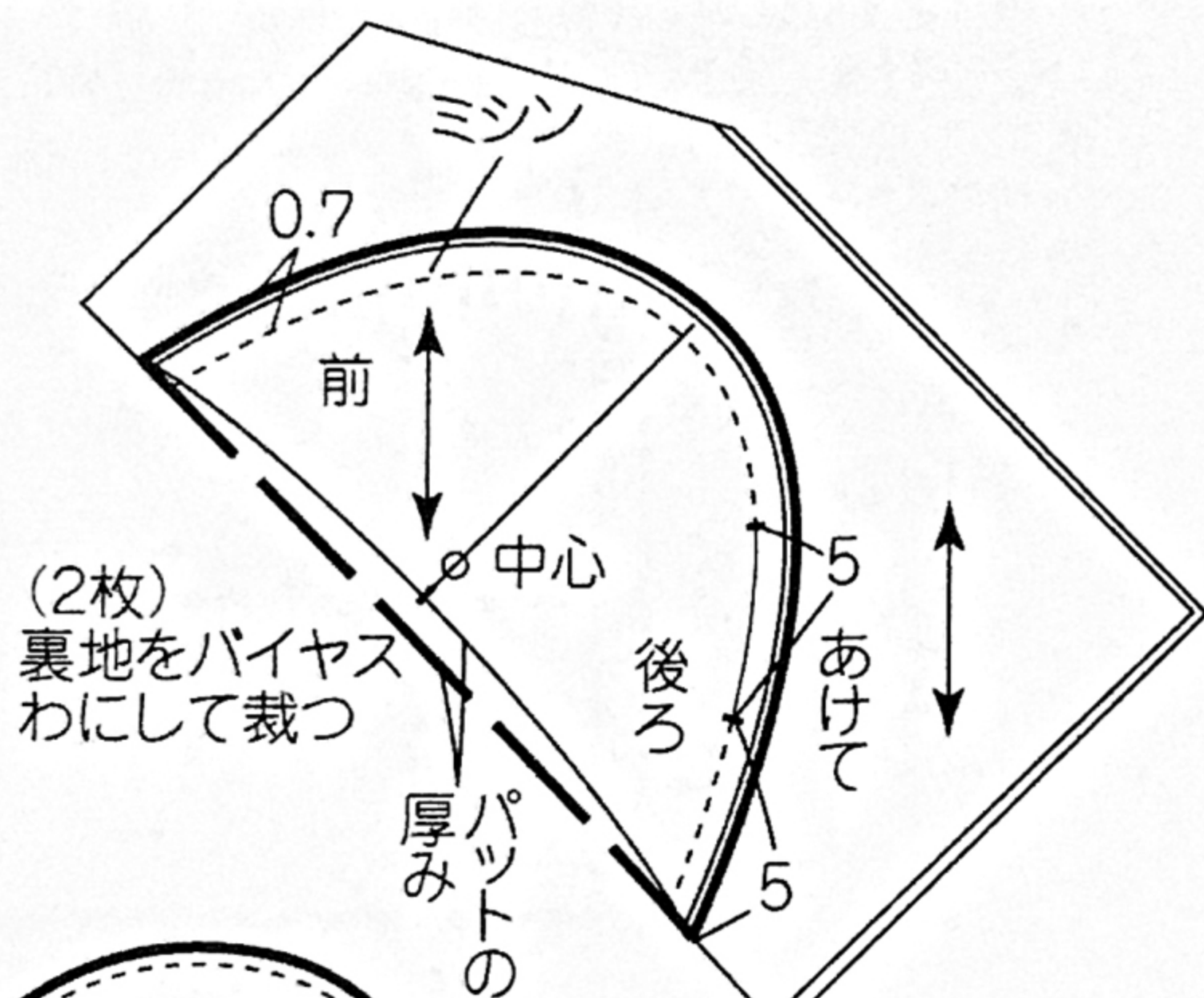
(4) 身頃のみハの字に切り込む

(5) 三角部分をアイロンで折る

(6) ボタンホール布の厚み分0.1～0.2位切り落とす

ボタンホール布裏
0.1～0.2
縫代を割ります

(7) 三角部分を目打の先でおさえて3回ミシンを掛ける

身頃表
身頃裏
3回ミシン

肩パットの作りかた

ハダカのパット

○裏地がつく場合（スーツ、コートなど）

○裏地がつかない場合
共布又は裏地にパットの型をチャコで印し、ミシンを掛け裏返し、パットを入れてまつる

左手、指のはらで肩先の丸みをイメージしながら星止めをし、回りをぐし縫いする

○スナップの間隔
パットは6.3にスナップを付ける
ブラウスなどは6に付ける

作図記号

(イ) 脇、サイドダーツ
(ロ) アームホールのダーツ、ドレープ線、パネル線に応用
(ハ) ショルダーダーツ、ヨークの切り替えのギャザー、プリンセスライン
(ニ) いろいろな衿に応用、又カーブをつけ軟らかさを出す線
(ホ) ネックダーツ、ハイネック、ドレープの切り替え線
(ヘ・ト) ドレープ、ギャザーに
(チ) ダーツ、ギャザー
(リ) サイドダーツ

＜各部名称の略語＞

BP…BustPoint（バストポイント）	乳頭の位置
AH…Armhole（アームホール）	袖ぐり寸法
KL…Kneeline（ニーライン）	ひざ線
BL…Bustline（バストライン）	胸囲線
WL…Waistline（ウエストライン）	腹囲線
HL…Hipline（ヒップライン）	腰囲線
EL…Elbowline（エルボーライン）	ひじ線

おわりに

私が独立し、洋装店を開業してから40有余年の歳月が流れ去ろうとしております。最初の頃は、自分の気に入った洋服を作りたいという気持ちで、胸躍らせていました。当時はまだ、白黒スクリーンの時代でしたが、ファッションのお手本は映画でした。特に洋画に強烈に惹かれ、多くの事柄を学ばさせていただきました。また、妹と銀座界隈での買い物の帰途に、素敵なスカートを身に着けた女性の後ろ姿を追って型を覚え、同じようなものを何枚も作って楽しみました。

自分で仕事をしながら実感したことは、若い世代の女性方は、どのような「作図」でも綺麗に着こなせるんだ、ということでした。そこから得た教訓を基に視点を変え、あらゆる年齢層に「合った」製図方法を考案するため、日夜、創意・研究を重ねてまいりました。

洋裁人として一人立ちできるよう、洋裁への道を究めるため、陰ながら見守ってくれた母への感謝を証(あか)すと共に、折角習得した技術をより多くの皆様にご利用いただければと念じ、拙い冊子ではございますが、私の積年の集大成として上梓いたしました。教則本としてご活用くだされば幸いと存じます。

ここに紹介した洋服のパターンは、私の体験から得た独自の創作と、実践から編み出した方法です。皆様方に美しく装っていただきたく、製図にあたっては細心の努力をいたしましたが、必ずしも全ての方にフィットするものではありませんので、適宜応用していただければと思っております。

昨今は多種多様なファッションが巷に溢れ華やいでおりますが、流行に捉われることなく、一本の鉛筆の線を自由に応用・展開して楽しみながら布地と遊び、製図・仕立てまで、胸をときめかせながら、貴女の感性が存分に活かされるような作品を生み出していただけたらと存じます。

お客様はじめ多くのお弟子さんに恵まれ、大好きな洋裁を続けてこられたのも、皆様のご厚情・ご支援の賜物であり、この上ない喜びに浸っております。

末筆になりましたが、本書を刊行するにあたり、ご多用にも拘らず快くお引き受け下さり、裏表紙の「母」という文字を揮亳してくださった奥多摩町小丹波の曹洞宗西光山丹叟院住職・石田充法様はじめ、何も判らない私に編集から製本まで逐一ご指導賜わった「けやき出版」の社長様や、本書に携わっていただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。また、洋装店当時より長年ご尽力いただいた宇田川昭子様、浜本良子様、そして洋裁教室の海老沢初子様、遠藤允代様、羽村理子様にもご協力・ご助言をいただきました。ご協力いただきました皆様に改めて深謝いたします。ありがとうございました。

平成15年　初夏

古 川　み や

NOIR

◆洋装ノワール◆

TEL

御住所			
御氏名		仮縫	
御品名		出来上り	

原型を引くための寸法	1	背丈		そり肩	
	2	背肩幅		並肩	
	3	背幅		怒肩	
	4	首回り		前肩	
	5	首つけ根回り		下がり肩	
	6	バスト（B）			
	7	胸幅			
	8	乳下がり			
	9	前丈			
袖を引く寸法	10	肘丈			
	11	裄丈			
	12	腕回り			
	13	肘下回り			
	14	手首回り			
	15	手の平回り			
	16	袖丈			
着やすく素敵な洋服を作るために	17	頭回り			
	18	ウエスト（W）			
	19	ミドルヒップ			
	20	ヒップ（H）			
	21	腰丈			
	22	スカート丈			
	23	ロング丈			
	24	パンツ丈			
	25	股上			
	26	フード寸法			

著者略歴

古川みや

昭和11年　東京市向島区吾嬬町に生まれる
数年後奥多摩町に転居
昭和35年　国立文化服装学院研究科卒業
洋裁店、オートクチュールなどの縫製を経験し同学院にて助手を務める
昭和38年　「洋装ノワール」を現住所地に開業
平成４年　洋裁教室を始め現在に至る

現住所　東京都羽村市川崎2-1-24
TEL:042-554-3396

おしゃれな洋服たち　知りたかった製図のコツ

2003年6月24日 第1刷発行
2004年3月11日 第2刷発行

著者　古川 みや
発行　株式会社けやき出版(出版サービス)
〒190-0023　東京都立川市柴崎町3-9-6
TEL:042-525-9909　FAX:042-524-7736
DTP　株式会社大廣社
印刷　株式会社平河工業社

ISBN4-87751-195-4 C0077

書/奥多摩町小丹波曹洞宗西光山丹叟院
住職　石　田　充　法

ISBN4-87751-195-4 C0077 ¥2500E 定価：本体2500円（税別） けやき出版